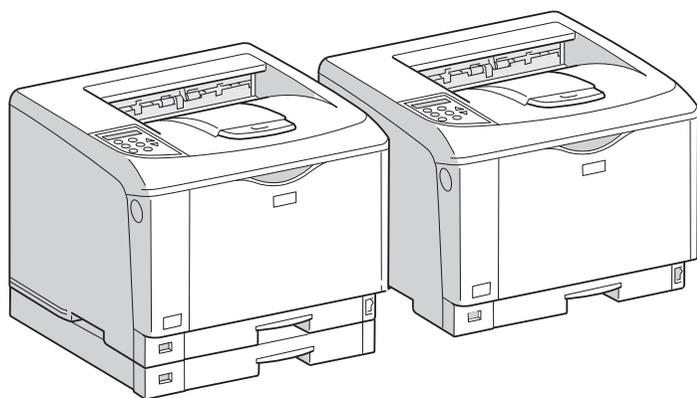


HITACHI
Inspire the Next

日立モノクロページプリンター
Prinfina LASER BX3540/3530

Prinfina

PC-PL3540/3530シリーズ ページプリンター取扱説明書 ソフトウェアガイド



マニュアルはよく読み、保管してください。

- ・製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分に理解してください。
- ・このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

■重要なお知らせ

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載あるいは引用することを禁止します。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の記述内容について万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- (4) 本製品を運用した結果については(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 弊社指定のオプションまたは消耗品以外を装着してのトラブルについては(3)項にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

■プリンターの信頼性について

本プリンターは、一般事務用を意図して設計・作成されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社は一切責任を負いません。

■規制、対策などについて

●電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●高調波電流規格：JIS C 6100-3-2 適合品

JIS C 6100-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第3-2部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1相当の入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

●プリンターでの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘らず、法律に違反し、罰せられます。

(1) 複製、印刷することが禁止されているもの

（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）

- ・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
- ・日本や外国の郵便切手、印紙
 - ・関連法規 刑法 第148条、第149条、第162条
 - ・通貨及証券模造取締法 第1条、第2条
 - ・郵便切手類模造等取締法
 - ・紙幣類似証券取締法
 - ・印紙等模造取締法

(2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの

- ・外国の紙幣、貨幣、銀行券
- ・株券、手形、小切手などの有価証券
- ・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
- ・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
 - ・関連法規 刑法 第149条 第155条 第159条 第162条
 - ・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

(3) 著作権法で保護されているもの

- ・著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

●輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■保守部品について

本プリンターの保守用部品の保有期限は製造打ち切り後5年です。

■著作権についてのお知らせ

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で転載することは禁じられています。

はじめに

このたびは、日立ページプリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
本機を正しくお使いいただくために、本書は必ずお読みください。
また、お読みいただいたあとも大切に保管してください。

添付品に欠損・欠品等ありましたら、担当営業またはご購入先までご連絡ください。

お問い合わせ先

●プリンターの操作方法などについてのお問い合わせ

HITAC カスタマ・アンサ・センターにお問い合わせください。

製品の技術的なお問い合わせについて回答いたします。

ただし、各言語によるユーザープログラム等の技術支援は除きます。

また、明らかに故障であると思われる内容につきましては、販売会社、担当営業、または保守会社にご連絡ください。

HITAC カスタマ・アンサ・センター（HCA センター）

フリーダイヤル 0120-2580-12

受付時間 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00

（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

■コールバック方式

受付担当者がお問い合わせ内容を承り、専門エンジニアが折り返し電話またはメールでお答えします。

●故障や保守サービスについてのお問い合わせ

トラブルが発生した場合は、まず、取扱説明書（本書）をご確認ください。

故障と判断される場合は販売会社、担当営業、または保守会社にご連絡ください。

目次

使用説明書について	9
使用説明書の分冊構成	9
各使用説明書の記載内容	10
マークについて	11
商標・略称について	12
お使いになる前に	13
PC-PL 3540/3530 の性能・機能	13
IP アドレスについて	13
操作部	14

1. 印刷するための準備

おすすめインストール	17
接続方法を確認する	19
ネットワーク接続	19
Windows の印刷ポートを使用する	19
プリントサーバーを使用する	21
ローカル接続	21
Network Monitor for Client ポートを使う	23
Network Monitor for Client のインストール	23
プリンタードライバのインストール (TCP/IP)	24
プリンタードライバのインストール (IPP)	27
Network Monitor for Client ポートの設定を変更する	30
Standard TCP/IP ポートを使う	32
LPR ポートを使う	35
Windows ネットワークプリンターを使う	38
NetWare プリントサーバ、リモートプリンターを使う	41
PostScript (Windows) で印刷するとき	44
フォームフィードの設定	44
バナーページの設定	44
プリンターのリセット後に印刷するとき	45
USB 接続	46
Windows 2000 と USB で接続する	46
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 と USB で接続する	47
Windows Vista と USB で接続する	49
USB 接続がうまくいかないとき	50
パラレル接続	51
CD-ROM からのプリンタードライバのインストールに失敗したとき	53
Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0 の場合	53
Windows XP Professional、Windows Server 2003/2003 R2 の場合	54
Windows XP Home Edition の場合	55
Windows Vista の場合	55
オプション構成の設定	57
双方向通信が働く条件	57
双方向通信が働かない場合	58
メモリー容量と用紙サイズ	59
片面印刷 (400 dpi 400 dpi) の場合	59
片面印刷 (600 dpi 600 dpi) の場合	59
ページメモリーを優先している場合	59

ユーザーメモリーを優先している場合	59
片面印刷 (1200 dpi 1200 dpi) の場合	60
ページメモリーを優先している場合	60
ユーザーメモリーを優先している場合	60
両面印刷 (400 dpi 400 dpi) の場合	61
両面印刷 (600 dpi 600 dpi) の場合	61
両面印刷 (1200 dpi 1200 dpi) の場合	61
ページメモリーを優先している場合	61
ユーザーメモリーを優先している場合	61

2. プリンタードライバー画面と設定方法

2 種類の操作画面	63
Windows 95/98/Me の場合	64
Windows 95/98/Me で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	64
Windows 95/98/Me でアプリケーションからプロパティを表示する	65
Windows 2000 の場合	66
Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	66
Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する	67
Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する	68
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合	69
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で [プリンタと FAX] ウィンドウからプロパティを表示する	69
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で [プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定を表示する	70
Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 でアプリケーションからプロパティを表示する	71
Windows Vista の場合	72
Windows Vista で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する	72
Windows Vista で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する	73
Windows Vista でアプリケーションからプロパティを表示する	74
Windows NT 4.0 の場合	75
Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティ表示する	75
Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからドキュメントの既定値を表示する	76
Windows NT 4.0 でアプリケーションからプロパティを表示する	77

3. いろいろな印刷

PDF ファイルを直接印刷する	79
Network Monitor for Client を使用する	79
Network Monitor for Client のインストール	80
コマンドを使用する	80
試し印刷	81
1 部目を印刷する (試し印刷)	81
2 部目以降を印刷する (試し印刷)	82
試し印刷文書を消去する	85
機密印刷	89
プリンターに機密文書データを送る	89
操作部を使って機密印刷する	90
機密印刷文書を消去する	94
保留文書印刷	98
プリンターに保留文書データを送る	98
操作部を使って保留印刷する	99
保留印刷文書を消去する	102
保存文書印刷	105
プリンターに保存文書データを送る	105
操作部を使って保存文書を印刷する	106

保存文書を消去する	109
エラー文書を確認する	112
強制印刷する	114
トレイを選んで印刷するとき	114
印刷を中止する	116
中止したいデータが印刷されている場合	116
中止したいデータが印刷されていない場合	117
登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）	118
フォームデータの登録	119
登録したフォームを使用して印刷する	120
ソートについて	121
スプール印刷について	122
表紙について	123
合紙について	125
印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える	126

4. 用紙に独自の名前をつけて使用する

用紙種類の登録から使用するまでの流れ	127
用紙種類に名前をつけて登録する	129
トレイにユーザー用紙種類を設定する	131
Web Image Monitor からトレイの設定をする	131
登録した用紙種類に印刷をする	133

5. プリンター本体の設定

[メニュー] キー機能一覧	135
メモリー内残存データ状態確認メニュー	142
メモリー内のデータ状態を確認する	142
用紙設定メニュー	144
用紙設定メニューの設定項目	144
用紙設定メニューの設定を変更する	145
特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す	145
優先給紙トレイを設定する	146
テスト印刷メニュー	148
テスト印刷メニューの項目	148
テスト印刷をする	149
システム設定リストを印刷する	149
システム設定リストの見かた	151
調整 / 管理メニュー	153
調整 / 管理メニューの項目	153
調整 / 管理メニューの設定を変更する	154
オプションのハードディスクをフォーマットする（初期設置以降）	154
システム設定メニュー	156
システム設定メニューの設定項目	156
システム設定メニューの設定を変更する	161
システム設定（EM）メニュー	163
システム設定（EM）メニューの設定項目	163
印刷設定メニューの設定を変更する	165
PS 設定メニュー	166
PS 設定メニューの設定項目	166
PS 設定メニューの設定を変更する	167

PDF 設定メニュー	168
PDF 設定メニューの設定項目	168
PDF 設定メニューの設定を変更する	169
インターフェース設定メニュー	170
インターフェース設定メニューの設定項目	170
インターフェース設定メニューの設定を変更する	173
表示言語メニュー	174
表示言語を変更する	174

6. 機器の監視

Web ブラウザを使う	175
トップページを表示する	177
メニュー構成とモード	178
管理者モードでアクセスする	180
Web Image Monitor のヘルプについて	180
ヘルプのダウンロード	181
ヘルプへのアドレス (URL) リンク	181
Network Monitor for Admin を使う	183
Network Monitor for Admin のインストール	184
機器の状態を表示する	185
ユーザー情報を管理する	186
ユーザー情報管理ツールを起動する	186
印刷枚数を表示する	187
印刷枚数の情報を保存する	188
印刷枚数の情報をリセットする	189
利用制限を設定する	190
ユーザーごとに利用可能な機能を設定する	191
スプール印刷ジョブの一覧を確認する	193
機器の設定を変更する	194
機器側操作部のメニューをロックする	196
用紙種類を設定する	197
管理者用パスワードを設定する	197
本体機器名とコメントを変更する	198
Network Monitor for Client を使う	199
監視する機器を設定する	199
機器の状態を表示する	200
Network Monitor for Client で IPP を使用する場合	201
機器の状態をメールで通知する	202
「自動メール通知」の設定	204
「要求時メール通知」の設定	205
メールの認証について	205
要求時メールの送信	207
telnet を使う	209
操作の流れ	209
access	210
autonet	211
bmlinks	211
bonjour	212
devicename	213
dhcp	214
diprint	215
dns	215
domainname	216

help	217
hostname	217
ifconfig	218
info	218
ipp	219
ipv6	219
lpr	220
netware	220
passwd	221
pathmtu	221
prnlog	222
route	222
set	223
show	225
slp	225
smb	226
snmp	226
sntp	229
spoolsw	229
ssdp	230
ssh	230
status	231
syslog	231
upnp	232
web	232
wins	232
SNMP	234
ネットワーク経由で確認できる情報	235
機器の状態	235
機器情報	237
取得情報の内容	239
プリントジョブ情報	239
プリントログ情報	240
ネットワークインターフェースボードの情報	240
メッセージ一覧	247
システムログ情報	247

7. プリントサーバーの準備

Windows ネットワークプリンターを設定する	257
Network Monitor for Client 経由で印刷通知をする	258
プリンターの設定をする	258
クライアントの設定をする	259

8. Windows の補足情報

Windows からのファイル直接印刷	261
セットアップ	261
IP アドレスの代わりにホスト名を使用する	262
DNS を使用している場合	262
DHCP を使用してプリンターの IPv4 アドレスを設定している場合	262
その他の場合	262
印刷方法	264
lpr	265
rcp	265

ftp	266
-----------	-----

9. UNIX で使う

セットアップ	267
IP アドレスの設定	268
インストールシェルの実行	268
インストールシェルの実行結果	271
/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加	271
/etc/printcap へのエントリーの追加	271
スプールディレクトリの作成	272
ログファイルの作成	273
オプション指定 (UNIX)	274
エミュレーションとプログラム	275
漢字フィルター	276
給紙トレイ	276
用紙サイズ	277
用紙種類	278
排紙トレイ	279
印刷部数	279
ソート部数	280
両面印刷	280
解像度	281
オプション指定の変更方法	281
本機の状態表示	282
表示する場合	282
ファイルにコピーする場合	282

10. 付録

注意と制限	283
プリンターおよびシステムについて	283
最新情報の入手	283
接続について	283
仕様 (プリントタイム、本体・消耗品寿命)	284
PDL について	285
電源について	285
使用環境	286
使用上の注意と制限事項	286
OS のサポートについて	286
ソフトウェアに関して	287
ドライバーインストール・アンインストール	287
ドライバーに関する注意と制限事項	288
RPCS プリンタードライバーに関する注意と制限事項	290
PostScript ドライバーについて	293
Network Monitor for Admin に関する注意と制限事項	295
Network Monitor for Client に関する注意と制限事項	297
印刷ポートについての注意と制限事項	300
TCP/IP 使用時の注意と制限	300
ハードウェアに関して	301
使用上の条件	301
用紙の保管について	302
再生紙について	302
再生紙の購入、保管	302
用紙が詰まったとき	302

注意と制限事項	303
トナー寿命について	304
保守・運用	304
運用上の注意事項	304
保守・運用について	304
性能低下の条件	305
その他	305
形名の読み替え	305
USB について	305
560 について	306
印刷結果の相違について注意事項	306
印字品質について	306
移行に関する注意事項	307
清掃について	307
サポート対象外機能一覧	308
最新ソフトウェアのダウンロード	309
最新の OS について	309
CD-ROM 収録ソフトウェア	310
ファイル一覧	310
ドライバ (RPCS)	310
RPCS プリンタードライバ	310
Network Monitor for Admin	311
Network Monitor for Client	311
Network Monitor for Client	312
TrueTypeWorld	313
基本仕様	315
Windows へのインストール	315
各種マニュアル (PDF ファイル)	316
印刷条件を設定する	317
エミュレーションを切り替える	317
印刷条件を設定する	318
RPDL の印刷条件設定項目一覧表	319
PRDL の印刷条件の設定項目	321
印刷条件リストを印刷する	330
印刷条件リストの見方	331
よく使う印刷条件を登録する	332
プログラムを登録する	332
プログラムを呼び出す	333
プログラムを削除する	334
プログラム内容を印刷する	335
給紙トレイを選択する	336
文書の複製を抑止する	337
不正コピーガード機能	337
マスクパターン	339
おことわり	340
ネットワークで運用する場合の注意事項	341
ネットワークに ISDN 回線を接続している場合	341
ネットワーク管理上の対応方法	341
DHCP を使用する	342
AutoNet 機能を使用する	343
WINS サーバーを使用する場合	343
Web ブラウザを使用する方法	343
telnet を使用する方法	344
ダイナミック DNS 機能を使用する	345
更新処理について	345

動作対象の DNS サーバー	346
動作対象の DHCP サーバー	346
ダイナミック DNS 機能の設定方法	346
SSL (暗号化通信) の設定	347
サーバー証明書の作成と導入 (自己証明書)	348
サーバー証明書の作成 (認証局証明書)	349
サーバー証明書の導入 (認証局証明書)	350
SSL を有効にする	351
SSL (暗号化通信) のユーザーの設定	352
SSL/TLS 通信許可設定	352
暗号化通信モードの設定	353
SNMPv3 暗号化通信の設定	354
Windows ターミナルサービス /MetaFrame を使用する場合	355
動作環境	355
制限	355
搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報	357
expat (Ver 1.95.2) について	357
NetBSD について	358
Netatalk (NetBSD 1.5.3 kernel)/NetaTalk 1.4b2+asan2.1.3 (pap/atp) について	359
FreeBSD 4.6.2 について	359
Sablotron	360
RSA BSAFE®	360
Open SSL	361
Open SSH	363
管理者の方へ	367
IP アドレスについて	367
パスワードについて	367
[メニュー] キー機能の補足情報	367
管理者のための隠しメニュー	367
隠しメニューを表示する	368
ネットワークセキュリティレベル設定	371
各機能とセキュリティモードレベルの関係	371
ハードディスクを上書き消去する	373
ハードディスクのデータを上書き消去する	373
メモリー自動消去の設定 (メモリーショウキョセツテイ)	374
メモリー自動消去を使用しない	375
上書き消去できるデータ/できないデータ	375
メモリー全消去の操作 (メモリーゼンショウキョ)	376
メモリー全消去を中止する	377
索引	378

使用説明書について

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

◆ かんたんセットアップ



本機に同梱されています。プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバをインストールするまでの手順を説明しています。

◆ クイックガイド



本機に同梱されています。困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

◆ ハードウェアガイド (HARDWARE.pdf)



付属の CD-ROM に、PDF 形式の電子マニュアルが収録されています。オプションの接続方法や用紙に関する情報、消耗品の交換手順、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

◆ ソフトウェアガイド (本書) (SOFTWARE.pdf)



付属の CD-ROM に、PDF 形式の電子マニュアルが収録されています。プリンタードライバのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

◆ PostScript3 ガイド (PS3.pdf)



付属の CD-ROM に、PDF 形式の電子マニュアルが収録されています。PostScript3 に関する情報、使用方法などについて説明しています。



補足

・PDF形式の使用説明書を表示するには、Adobe Acrobat Reader/Adobe Readerが必要です。

各使用説明書の記載内容

本機に添付されている、説明書の記載内容を簡単に説明します。

かんたん セットアップ (紙面)	ハードウェア ガイド (PDF)	ソフトウェア ガイド (PDF)	PostScript3 ガイド (PDF)	クイック ガイド (紙面)
プリンターの 設置	お使いいただく ための注意事項	ソフトウェア ガイド	PSドライバーの インストール(Mac)	お使いいただく ための注意事項
オプションの 取り付け	プリンターの 概要紹介	ユーティリティ プリンタードライバ のインストール	PSドライバーの 設定 (Mac)	各部の名称
ケーブルの 接続	オプションの 取り付け	プリンタードライバ の設定	PSドライバーの インストール(Win)	用紙が詰まったとき
インターフェースの 設定	インターフェース ケーブルの接続	いろいろな印刷 の操作	PSドライバーの 設定 (Win)	困ったときには
プリンタードライバ のインストール	インターフェースの 設定	プリンターの 設定	設定項目の一覧	消耗品の交換
	用紙のセット	プリンターの 監視		メッセージ一覧
	消耗品の交換	ネットワークプリンタ の設定		
	プリンターの 清掃・調整			
	困った時の 対処			
	消耗品のご案内 と注意事項			
	仕様			

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

警告

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

『ハードウェアガイド』『プリンターを安全にお使いいただくために』にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

注意

※安全上のご注意についての説明です。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

『ハードウェアガイド』『プリンターを安全にお使いいただくために』にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。各タイトルの一番最後に記載しています。

[]

キーとボタンの名称を示します。

『 』

本書以外の分冊名称を示します。

商標・略称について

「NetWare」は、Novell, Inc. の登録商標です。

「Macintosh」「MacOS」「漢字 Talk」「AppleTalk」「EtherTalk」「LocalTalk」「TrueType」は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。

「UNIX」は、X/OPEN Company Ltd. がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

「SunOS」「Sun Workstation」「NIS (Network Information Service)」は、米国サンマイクロシステムズ社の商標または登録商標です。

「Adobe」「Adobe ロゴ」「PostScript」「PostScript 3」「PostScript ロゴ」は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標または商標です。

「Microsoft」「MS-DOS」「Windows」「Windows NT」は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国及びその他の国における登録商標です。

「HP」「HP-GL」「HP-GL/2」「HP-UX」は、日本ヒューレット・パッカード社の登録商標です。

「平成明朝体 W3」「平成角ゴシック体 W5」は、財団法人日本規格協会フォント普及センターの商標です。

その他の製品名、会社名は各社の商標または登録商標です。

お使いになる前に

設置・設定が可能な装備・機能について説明します。

PC-PL 3540/3530 の性能・機能

PC-PL 3540/3530 のおもな性能 / 機能、オプション構成は以下の表のとおりです。詳細については、『ハードウェアガイド』「仕様」を参照してください。

・性能

商品名	PC-PL 3540	PC-PL 3530
印刷速度	35ppm	28ppm
印刷解像度	400dpi/600dpi/1200dpi	
ROM	32MB	
メモリー（標準）	オンボード：128MB メモリスロット：64MB 合計 192MB	
メモリー（最大）	384MB	
150 枚トレイ	あり	なし
プリンター言語	RPCS	
暗号化モジュール	あり	
オプションSDカード用スロット	あり（2スロット）	
インターフェース（標準）	Ethernet (10BASE-T/100BASE-TX) IEEE1284/ECP、ハーフピッチ規格 USB 2.0 ※ネットワーク対応	
プリンタードライバーの Windows Vista 対応状況	同梱の CD-ROM に収録	

・オプション

拡張 HDD

PS3 カード

VM カード

セキュリティカード

メモリモジュール（256MB）

☒ 参照

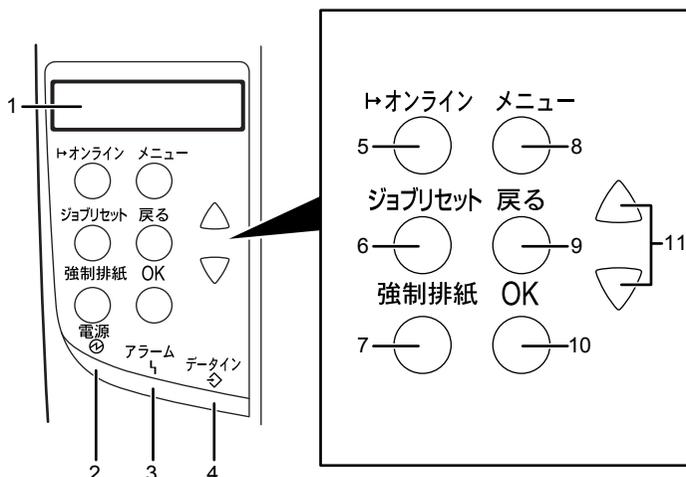
・『ハードウェアガイド』「仕様」

IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

操作部

プリンター操作部の各部の名称とはたらきに関する説明です。



AUA011S

1 画面

プリンターの状態やエラーメッセージが表示されます。
省エネモードに移行すると、バックライトが消灯します。
設定が有効になっている項目の左側には、「*」が表示されます。

2 電源ランプ (Power)

電源が入っているときに点灯します。ただし、省エネモードになっているときは消灯します。

3 アラームランプ (Alert)

エラーが発生しているときに点灯します。ディスプレイでエラーの内容を確認して対処してください。
封筒レバーを下げた状態にしていると点灯します。

4 データインランプ (DataIn)

パソコンから送られたデータを受信しているときに点滅します。印刷待ちのデータがあるときは点灯します。

5 オンラインランプ / 【オンライン】 キー (Online)

プリンターが「オンライン状態」か「オフライン状態」かを示し、キーを押すことでオンラインとオフラインを切り替えることができます。
オンライン状態はパソコンからのデータを受信できる状態でランプは点灯します。
オフライン状態はパソコンからデータを受信できない状態でランプは消灯します。
各種の設定中に【オンライン】キーを押すと、通常の画面に戻ります。

6 【ジョブリセット】 キー (JobReset)

印刷中または受信中のデータを取り消すときに使用します。

7 【強制排紙】 キー (Form Feed)

オフライン状態のときはプリンター内に残っているデータを強制的に印刷します。

オンライン状態のときに送られたデータの用紙サイズや用紙種類が、実際にセットされている用紙サイズや用紙種類と合わなかった場合に、強制的に印刷することができません。

8 【メニュー】 キー (Menu)

操作部で行うプリンターに関するすべての設定は、このボタンを押してメニュー内部で行います。

9 【戻る】 キー (Escape)

設定を有効にせずに上位の階層に戻るとき、またはメニューから通常の表示に戻るときに使用します。

10 【OK】 キー (# or Enter)

設定や設定値を確定させるとき、または下位の階層に移動するときに使用します。

11 【▲】 【▼】 キー

表示画面をスクロールさせるとき、または設定値を増減させるときに使用します。キーを押しつづけると、表示が早くスクロールしたり、数値が10倍の単位で増減したりします。

↓ 補足

- 各キー名称の後ろに画面を英語表示したときの英語名称を記載しています。表示言語メニューの切り替えについては、「表示言語メニュー」を参照してください。

☰ 参照

- P.174 「表示言語メニュー」



1. 印刷するための準備

1

同梱の CD-ROM からドライバーやソフトウェアをインストールする手順などについての説明です。

おすすめインストール

Windows 95/98/Me/2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2、または Windows NT 4.0 をご使用の場合、同梱の CD-ROM から簡単にソフトウェアをインストールすることができます。

[おすすめインストール] ボタンをクリックすると、プリンターをネットワーク接続している場合は「プリンタードライバー」と「Network Monitor for Client」がインストールされ、TCP/IP ポートが設定されます。プリンターをパラレル接続している場合は「プリンタードライバー」がインストールされ、LPT1 ポートが設定されます

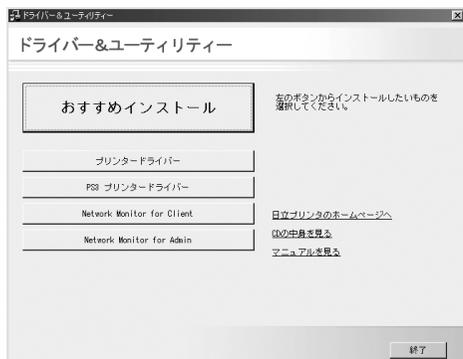
おすすめインストールが利用できるのは、ご使用の OS が Windows 95/98/Me/2000/XP/Vista または Windows Server 2003/2003 R2 の場合です。

★重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista または Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators グループまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・Windows 95/98/Me/NT 4.0 はサポート対象外となります。
- ・x 64 Edition OS はオートランプログラム非対応となります。
ご使用の場合は、P53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してドライバーをインストールしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。



3 [おすすめインストール] をクリックします。

[使用許諾] ダイアログが表示されます。

4 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は [次へ] をクリックします。

5 [モデル名] をクリックし、使用する機種を選択します。

ネットワーク接続の場合、[接続先] に IP アドレスが表示されているプリンターを選択します。

パラレル接続の場合、[接続先] にプリンタポートが表示されているプリンターを選択します。

6 [インストール] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされ、[導入完了] ダイアログが表示されます。インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい]、[続行] または [このドライバソフトをインストールします] をクリックし、インストールを続行してください。

7 [完了] をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示された場合は、Windows を再起動してください。

8 最初の画面で [終了] をクリックし、CD-ROM を取り出します。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- 本機を USB 接続で使用する場合、おすすめインストールではプリンタードライバをインストールすることができません。USB 接続で使用する場合は、「USB 接続」を参照してください。
- パラレル接続で本機とパソコンが双方向通信していない場合、おすすめインストールをすることができません。「双方向通信が働かない場合」を参照して、本機とパソコン間の双方向通信を設定してください。

E 参照

- P.46 「USB 接続」
- P.58 「双方向通信が働かない場合」

接続方法を確認する

プリンターは、ネットワーク接続またはローカル接続することができます。
プリンタードライバーをインストールする前に、プリンターをどのように接続したかを確認し、ご使用の接続方法でのインストール方法を参照し、プリンタードライバーをインストールしてください。

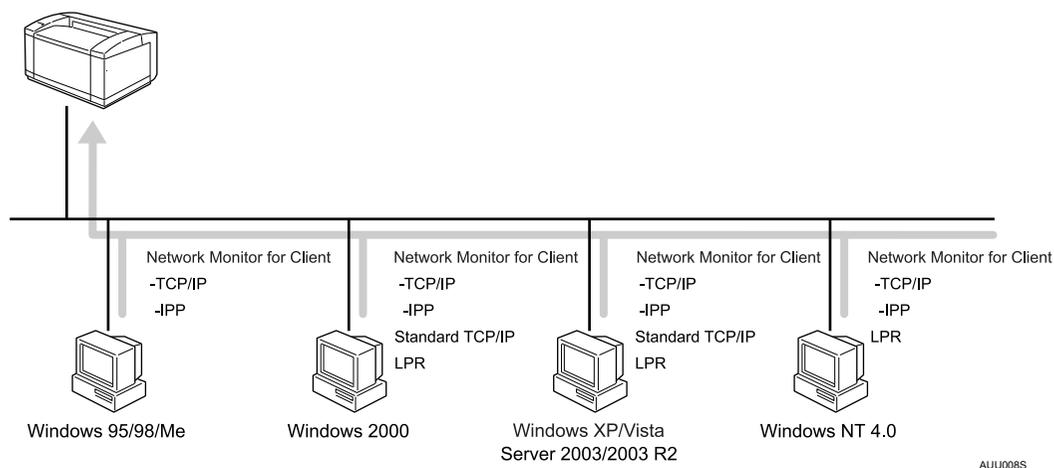
1

ネットワーク接続

ネットワーク接続では、Windows の印刷ポートを使用してプリンターへダイレクト印刷 (Peer-to-Peer ネットワーク)、またはサーバーを使用してクライアントから印刷するネットワークプリンターとして本機を使用します。

Windows の印刷ポートを使用する

ご使用の Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。インターフェースは、イーサネットインターフェースを使用します。



AUU008S

◆ Windows 95/98 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	Network Monitor for Client ポート

◆ Windows Me の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	Network Monitor for Client ポート

◆ Windows 2000 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • Network Monitor for Client ポート (推奨) • Standard TCP/IP ポート • LPR ポート

◆ Windows XP/Vista の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • Network Monitor for Client ポート (推奨) • Standard TCP/IP ポート • LPR ポート

◆ Windows Server 2003/2003 R2 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • Network Monitor for Client ポート (推奨) • Standard TCP/IP ポート • LPR ポート

◆ Windows NT 4.0 の場合

接続方法	使用できるポート
イーサネット	<ul style="list-style-type: none"> • Network Monitor for Client ポート (推奨) • LPR ポート

↓ 補足

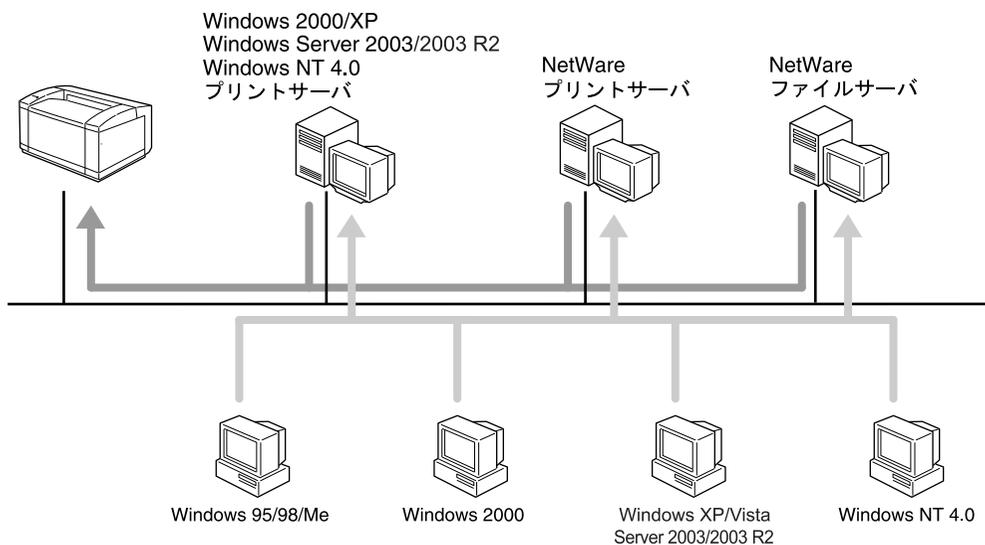
- 各ポートごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のポートの記載を参照してください。

☰ 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.23 「Network Monitor for Client ポートを使う」
- P.32 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- P.35 「LPR ポートを使う」

プリントサーバーを使用する

Windows ネットワークプリンター、NetWare プリントサーバ、または NetWare リモートプリンターとして使用できます。



AUU009S

↓ 補足

- ・ ネットワークプリンターの種類ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用のネットワークプリンターの記載を参照してください。

📖 参照

- ・ P.38 「Windows ネットワークプリンターを使う」
- ・ P.41 「NetWare プリントサーバ、リモートプリンターを使う」

ローカル接続

ローカル接続には、USB 接続とパラレル接続があります。
ご使用の Windows によって、使用できる接続方法が異なります。

- ・ Windows 95 の場合
 - ・ パラレル接続
- ・ Windows 98 の場合
 - ・ パラレル接続
- ・ Windows Me の場合
 - ・ パラレル接続
- ・ Windows 2000 の場合
 - ・ USB 接続、パラレル接続
- ・ Windows XP/Vista の場合
 - ・ USB 接続、パラレル接続
- ・ Windows Server 2003/2003 R2 の場合
 - ・ USB 接続、パラレル接続

- Windows NT 4.0 の場合
 - パラレル接続

↓ 補足

- 接続方法ごとにプリンタードライバーのインストール方法を記載しています。ご使用の接続方法の記載を確認してください。

目 参照

- P.46 「USB 接続」
- P.51 「パラレル接続」

Network Monitor for Client ポートを使う

ここでは Network Monitor for Client を使用する場合の方法を説明します。

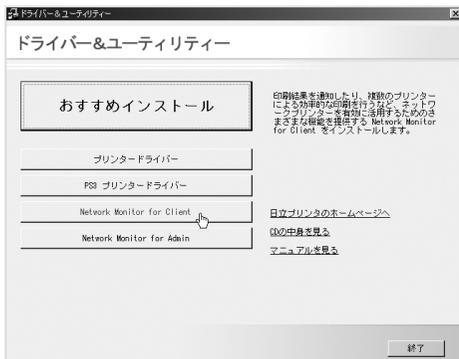
★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators グループまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Network Monitor for Client ポートを使う場合、プリンタードライバーをインストールする前に Network Monitor for Client をインストールします。
- Network Monitor for Client をインストールすると、同時に Network Monitor for Client ポートもインストールされます。

1

Network Monitor for Client のインストール

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。インストーラーが起動します。
- 3 [Network Monitor for Client] をクリックします。



Network Monitor for Client のインストーラーが起動します。

- 4 [Network Monitor for Client] をクリックします。ダイアログが表示されます。内容の確認をしたあと、[はい] をクリックします。
- 5 Network Monitor for Client のセットアップ画面が表示されます。[次へ] をクリックします。
- 6 [使用許諾契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

- 7 ユーザー名、会社名を入力し、[次へ] をクリックします。
- 8 [フルインストール]、[カスタムインストール] または [Network Monitor for Client のみインストール] をクリックします。
- 9 表示されるメッセージに従って Network Monitor for Client をインストールします。
インストールが完了するとメッセージが表示されます。
- 10 [完了] をクリックします。
「Windows の再起動」ダイアログが表示されます。Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ・インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

📖 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

プリンタードライバーのインストール (TCP/IP)

TCP/IP を使用する場合は、インストール方法です。

★ 重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、または Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators グループまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログで、使用するプリンタードライバーをチェックし、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 [プリンタードライバーの導入] ダイアログの使用する [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバー:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。

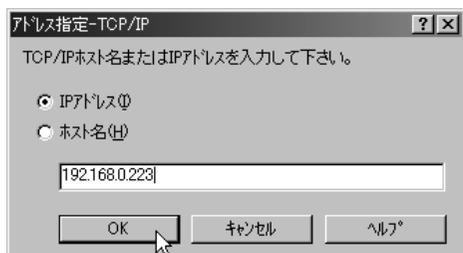


9 [TCP/IP] をクリックします。

10 [機器検索] をクリックします。

TCP/IP プロトコルで印刷可能なプリンターが検索され、一覧表示されます。

コンピューターからのブロードキャストに 응답したプリンターだけが表示されま
す。表示されないプリンターに印刷するときは、[アドレス指定] をクリックし、本
機のアドレスまたはホスト名を直接入力してください。



11 印刷するプリンターをクリックして選択します。

12 [OK] をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

13 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認し
ます。

14 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

15 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

16 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリッ
クします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、
Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または
[続行] をクリックし、インストールを続行してください。

17 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場
合は、次の手順に進んでください。

18 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、今すぐ再起動するか、後で再
起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止さ
れます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合
は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動して
ください。

- ・ユーザーコードを設定しておく、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

目 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」
- ・P.53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」

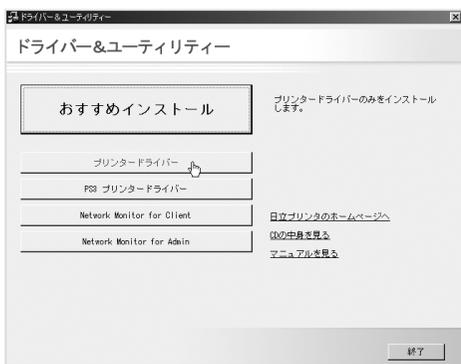
プリンタードライバーのインストール (IPP)

IPP を使用する場合のインストール方法です。

★重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、または Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators グループまたは PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- 3 [プリンタードライバー] をクリックします。



- 4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。
- 5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

- 6** [プリンタードライバーの導入] ダイアログの使用する [プリンタ名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

- 7** [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

- 8** 「Network Monitor for Client」を選択し、[OK] をクリックします。



- 9** [IPP] をクリックします。

[IPP の設定] ダイアログが表示されます。

- 10** [プリンタの URL] に「http:// (本機のアドレスまたはホスト名) /printer」のように入力します。

SSL (暗号化通信) の設定を有効にしている場合、「https:// (本機のアドレスまたはホスト名) /printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer6.0 以降を推奨します。

[プリンタの URL] には「http:// (本機のアドレスまたはホスト名) /ipp」のように入力することもできます。

- 11** 必要に応じて [IPP ポート名] にプリンターを区別するための名前を入力します。すでにある他の IPP ポート名と違う名前を入力してください。

入力を省略すると、[プリンタの URL] に入力したアドレスが IPP ポート名に設定されます。

- 12** プロキシサーバーや IPP ユーザー名などの設定を行う場合は、[詳細設定] をクリックし、必要な項目を設定し、[OK] をクリックします。

詳しい設定項目については、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

- 13** [OK] をクリックします。

ポートの追加ダイアログが閉じます。

- 14** [ポート:]に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

- 15** 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

16 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

17 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

18 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

19 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUPEXE」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておくこと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

📖 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.53 「CD-ROM からのプリンタードライバのインストールに失敗したとき」

Network Monitor for Client ポートの設定を変更する

TCP/IP のタイムアウト、代行印刷や並行印刷、プリンタグループなど、Network Monitor for Client の設定を変更することができます。

1

★重要

- Windows 95/98/Me/NT 4.0 はサポート対象外となります。

■ Windows 95/98/Me の場合

- 1 [プリンタ] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- 3 [詳細] タブをクリックし、[ポートの設定] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

■ Windows 2000/Windows NT 4.0 の場合

- 1 [プリンタ] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- 3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

■ Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

- 1 [プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
- 3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

■ Windows Vista の場合

- 1 [プリンタ] ウィンドウを表示します。
- 2 印刷するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
- 3 [ポート] タブをクリックし、[ポートの構成] をクリックします。
ポートの設定画面が表示されます。

↓ 補足

- 印刷通知、代行印刷 / 並行印刷の設定は拡張機能設定でおこないます。設定は使用する Network Monitor for Client ポートすべてに有効となります。Network Monitor for Client を起動し、タスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックして [拡張機能設定] を選択してください。
- [代行印刷 / 並行印刷] はポート毎に設定できます。Network Monitor for Client を起動し、タスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックして [拡張機能設定] を選択し、[代行 / 並行印刷をポート毎に設定する] にチェックを付けます。
- IPP の場合、IPP ユーザー設定、プロキシ設定、タイムアウト設定ができます。
- 設定方法の詳細は、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

📖 参照

- P.13 「お使いになる前に」

Standard TCP/IP ポートを使う

Standard TCP/IP ポートを使用する場合の、インストール方法です。

1

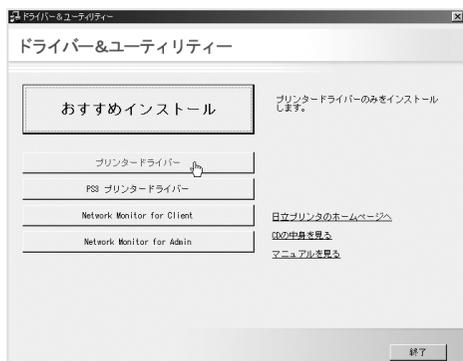
★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



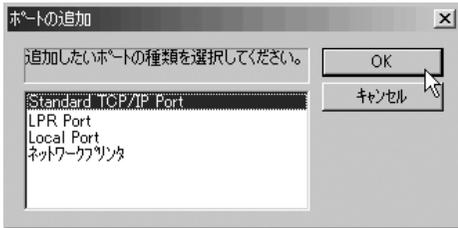
4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 [プリンタードライバーの導入] ダイアログの使用する [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。
[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

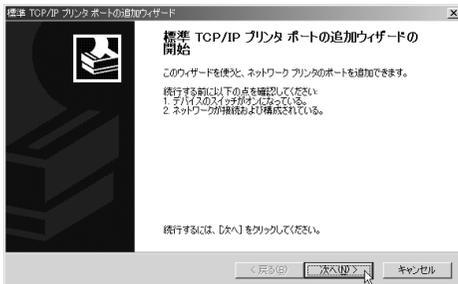
7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「Standard TCP/IP Port」を選択し、[OK] をクリックします。



「Standard TCP/IP Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して Standard TCP/IP の設定をしてください。

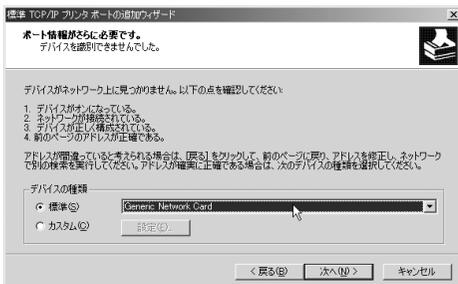
9 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの開始」画面で、[次へ] をクリックします。



10 [プリンタ名または IP アドレス]ボックスにプリンター名または本機のアドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

[ポート名] ボックスには自動的にポート名が入力されます。必要があれば変更してください。

デバイスの種類を選択する画面が表示された場合は、「Generic Network Card」を選択してください。



11 「標準 TCP/IP プリンタポートの追加ウィザードの完了」の画面で、[完了] をクリックします。

プリンタードライバーの導入画面に戻ります。

12 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

13 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。
入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

14 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

15 [完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。
インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

16 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

17 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUPEXE」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておくこと、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.53 「CD-ROM からのプリンタードライバのインストールに失敗したとき」

LPR ポートを使う

LPR ポートを使用する場合の、インストール方法です。

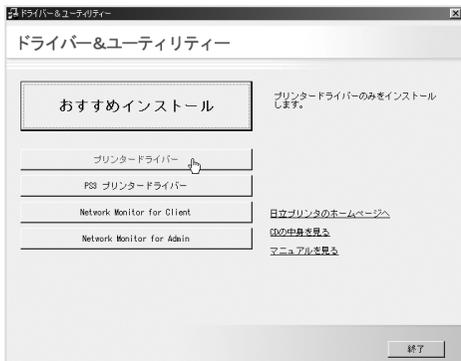
★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、または Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

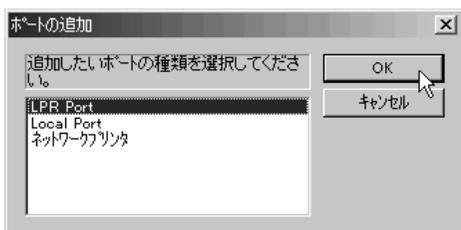
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 [プリンタードライバーの導入] ダイアログの使用する [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 「LPR Port」を選択し、[OK] をクリックします。



「LPR Port」が表示されない場合は、Windows のヘルプを参照して組み込んでください。

9 [lpd を提供しているサーバーの名前またはアドレス] ボックスに、本機のアドレスを入力します。

10 [サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名] ボックスに「lp」と入力し、[OK] をクリックします。

ポートが追加されます。

11 [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

13 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名がみつかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

15 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

16 [導入完了] ダイアログが表示された場合は、[完了] をクリックします。

「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。

- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておくことで、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」

Windows ネットワークプリンターを使う

1

Windows ネットワークプリンターを使う場合は、プリンタードライバーを「ネットワークプリンタ」を指定してインストールし、Windows ネットワーク上の共有プリンターを選択します。

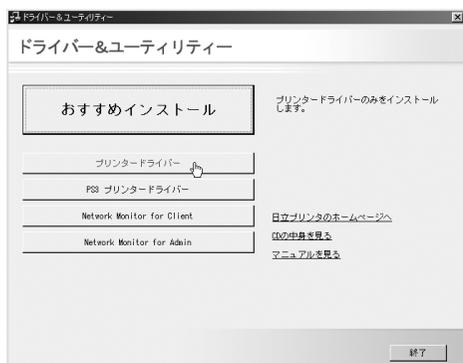
★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Network Monitor for Client ポートで本機を接続しているネットワークプリンターをご使用の場合、クライアントからの代行印刷、並行印刷を行うことはできません。
- Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の共有プリンターの場合、クライアントに印刷通知が行われない場合があります。
- 共有プリンターが Windows NT 4.0 の場合は、共有プリンターに接続する前にプリンタードライバーをインストールしておいてください。

1 すべてのアプリケーションを終了します。

2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。

3 [プリンタードライバー] をクリックします。



4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバを選択し、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

6 [プリンタードライバの導入] ダイアログの使用する [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

7 [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

8 [ネットワークプリンター] を選択し、[OK] をクリックします。



9 ネットワークツリー上で、プリントサーバーとして使用するコンピューターの名前をダブルクリックします。

10 印刷するプリンターを選択し、[OK] をクリックします。

11 [ポート:] に選択したプリンターのパスが表示されていることを確認します。

12 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

13 必要に応じて、選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

14 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

15 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

ダイアログに「再起動の確認」が表示される場合は、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ユーザーコードを設定しておく、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- 「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。
- Windows ネットワークプリンターが正しく設定されていないと、インストールを続けることができません。インストールをキャンセルしてから、「Windows ネットワークプリンターを設定する」を参照して Windows ネットワークプリンターを設定してください。

E 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」
- P.257 「Windows ネットワークプリンターを設定する」

NetWare プリントサーバ、リモートプリンターを使う

1

WindowsをNetWareのクライアントとして使用する場合のセットアップ方法を説明します。

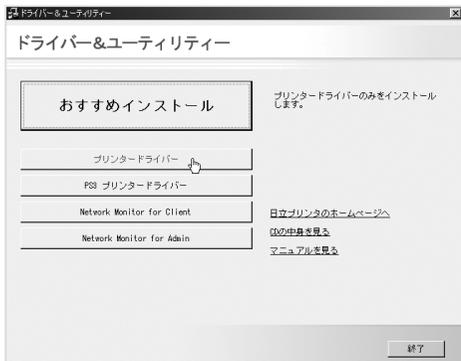
★重要

- この機能はサポート対象外となります。
- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- IPv6 の環境では、NetWare は使用できません。

NetWare のファイルサーバーにログインした状態で操作してください。操作例は次の条件で設定しています。

- OS : Windows 98
- NetWare のバージョン : 4.1J
- ファイルサーバーの名前 : CAREE
- キューの名前 : R-QUEUE

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。インストーラーが起動します。
- 3 [プリンタードライバー] をクリックします。



- 4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。

- 5** [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

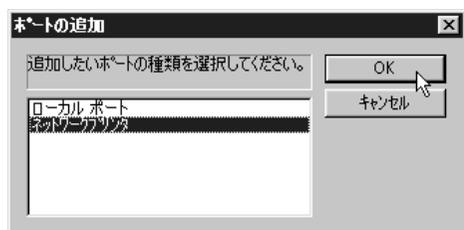
1

- 6** [プリンタードライバーの導入] ダイアログの使用する [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。

[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。

- 7** [ポート:] を選択し、[追加] をクリックします。

- 8** [ネットワークプリンタ] を選択し、[OK] をクリックします。



- 9** ネットワークツリー上で、NetWareのファイルサーバーの名前をダブルクリックします。



作成されているキューが展開されます。

- 10** 印刷するキューをクリックして反転表示させ、[OK] をクリックします。

- 11** [ポート:] に選択したプリンターのポートが表示されていることを確認します。

12 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、[完了] をクリックします。

プリンタードライバがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

13 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

14 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

15 再起動後 [プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。

16 [プリンタ設定] タブ、または [NetWare 設定] タブをクリックします。

17 [フォームフィード] と [バナーの使用] のチェックを両方とも外します。

Windows のプリンタードライバで改ページの制御を行っているので、フォームフィード (用紙送り) を NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

補足

- 本機の工場出荷時の設定はプロトコルが無効になっています。操作部、Web Image Monitor または、telnet で有効にしてください。
- インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUPEXE」をダブルクリックして起動してください。
- プロトコルの設定方法については、「Web ブラウザを使う」または「telnet を使う」を参照してください。

参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.175 「Web ブラウザを使う」
- P.209 「telnet を使う」

PostScript (Windows) で印刷するとき

PostScript 3 を含んだモジュールを使って PostScript 印刷するときは、次の設定をします。

1

- 1 [プリンタ] ウィンドウ、または [プリンタと FAX] ウィンドウからプリンターのプロパティを開きます。
- 2 [PostScript] タブをクリックします。
Windows 2000/XP または、Windows NT 4.0 をお使いの場合は、[デバイス設定] タブをクリックして、チェックを外す手順にお進みください。
- 3 [詳細設定] をクリックします。
- 4 [ジョブの前に Ctrl+D を送信] と [ジョブの後に Ctrl+D を送信] のチェックを両方とも外し、[OK] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックし、プロパティを閉じます。

目 参照

- ・ P.13 「お使いになる前に」

フォームフィードの設定

NetWare 上で用紙送り（フォームフィード）の設定をしないでください。Windows のプリンタードライバーで改ページの制御を行っているため、NetWare 上で設定する必要はありません。設定していると正しく印刷できない場合があります。

用紙送りをしないようにするには、使用している OS に応じて以下のように設定します。

- ・ Windows 95/98/Me の場合は、プリンターのプロパティの [プリンタ設定] タブで [フォームフィード] のチェックを外します。
- ・ Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2、Windows NT 4.0 の場合は、プリンターのプロパティの [NetWare設定] タブで [フォームフィード] のチェックを外します。

バナーページの設定

NetWare 上でバナーページの設定をしないでください。

バナーページを付けないようにするには、使用している OS に応じて以下のように設定します。

- ・ Windows 95/98/Me の場合は、プリンターのプロパティの [プリンタ設定] タブで [バナーの使用] のチェックを外します。
- ・ Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2、Windows NT 4.0 の場合は、プリンターのプロパティの [NetWare 設定] タブで [バナーの使用] のチェックを外します。

プリンターのリセット後に印刷するとき

リモートプリンターとして使用しているプリンターをリセットすると、プリンターは30～40秒後にいったんプリントサーバから切断され、そのあと再び接続されます。リセット後、切断されるまでの間も印刷ジョブは受け付けられますが、このジョブは実際には廃棄されて印刷されないことがあります。これは NetWare の仕様によるものです。

プリンターをリモートプリンターとして使用していて、リセットした直後に印刷するときは、プリントサーバ上でプリンターのステータスが未接続になったことを確認するか、リセットしてから2分程度待って印刷してください。

USB 接続

1

ここでは、本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、必要なドライバーをインストールする方法を説明します。

セットアップを始める前に USB ケーブルを接続するパソコンが以下の状態であることを確認してください。

- OS 以外のソフトウェアが起動していない
- 印刷を行っていない

Windows 2000 と USB で接続する

★重要

- 管理者権限が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows 2000 の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

- 1** 本機の電源が切れていることを確認します。
- 2** 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 3** 本機の電源を入れます。
プラグアンドプレイが働き [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。
- 4** [次へ] をクリックします。
- 5** [デバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 6** [場所を指定] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 7** キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。
CD-ROM のオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。

8 [参照] をクリックし、プリンタードライバーの場所を指定します。

インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D:¥ の場合は「D:¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」です。

9 [製造元のファイルのコピー元] にプリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。**10** [次へ] をクリックします。**11** プリンタードライバーのインストールが開始されます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

12 [完了] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- ・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

目 参照

- ・P53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 と USB で接続する

★ 重要

- ・管理者権限が必要です Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

USB ケーブルを初めて使用した場合、[新しいハードウェアの検出ウィザード] が表示され、Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の「USB 印刷サポート」が自動的にインストールされます。

ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プリンターのプラグアンドプレイ画面に従って、本機に同梱の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1 本機の電源が切れていることを確認します。

- 2** 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。
- 3** 本機の電源を入れます。
プラグアンドプレイが働き [新しいハードウェアの検出ウィザード] 画面が表示されます。
- 4** [一覧または特定の場所からインストールする (推奨)] をチェックし、[次へ] をクリックします。
- 5** キーボードの左側の [Shift] キーを押しながら、本機と同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
パソコンが CD-ROM を完全に認識するまで左側の [Shift] キーを押し続けます。CD-ROM のオートランが起動した場合は、[キャンセル] をクリックします。
- 6** [次の場所で最適のドライバを検索する] の [次の場所を含める] をチェックし、[参照] をクリックしてプリンタードライバーの場所を指定します。
インストールするプリンタードライバーの収録フォルダは、CD-ROM ドライブが D:¥ の場合は「D:¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN2K_XP¥DISK1」です。
- 7** プリンタードライバーの場所が表示されていることを確認し、[次へ] をクリックします。
- 8** プリンタードライバーのインストールが開始されます。
インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。
- 9** [完了] をクリックします。
インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷先のポート先] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

↓ 補足

- ・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

E 参照

- ・P53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」

Windows Vista と USB で接続する

★重要

・管理者権限が必要です。Administratorsグループのメンバーとしてログオンしてください。ご使用の機器のプリンタードライバーがインストールされている場合、プラグアンドプレイの画面が表示され、[プリンタ] フォルダに USB ケーブルをポート先に指定したプリンターが自動的に追加されます。

プリンタードライバーがインストールされていない場合は、プラグアンドプレイのウィザードに従って、付属の CD-ROM からプリンタードライバーをインストールします。

1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続します。

[新しいハードウェアが見つかりました] ダイアログが表示されます。

2 [ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)] をクリックします。

[ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合は [続行] をクリックします。

[新しいハードウェアの検出] 画面が表示されます。

3 [オンラインで検索しません] をクリックします。

本機に付属している CD-ROM の挿入を促すメッセージが表示されます。

4 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

自動的に検索が始まり、プリンタードライバーの一覧が表示されます。

5 本機の RPCS プリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。

インストールの途中で「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」というメッセージが表示された場合は、[このドライバソフトウェアをインストールします] をクリックします。

6 [閉じる] をクリックします。

インストールが正常に終了すると、「USB001」を [印刷するポート] に指定したプリンターが [プリンタ] ウィンドウに作成されます。

↓補足

・「USB」に続く数字は、接続しているプリンターの台数によって異なります。

USB 接続がうまくいかないとき

状態	対処方法
本機が自動認識されない。	本機の電源を OFF にして、ケーブルを再接続し、接続した後電源を ON にしてください。
Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった。「不明なポート」や「不明なデバイス」が表示される	Windows のデバイスマネージャで、不明なデバイスを [ユニバーサル シリアル バス コントローラ] から削除してください。不明なデバイスは、アイコンに黄色の [!] がついたり、黄色の [?] がついたりしています。必要なデバイスを削除しないようにご注意ください。 Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をお使いの場合、不明なデバイスはデバイスマネージャの [USB(Universal Serial Bus) コントローラ] に表示されます。 P.50 「「不明なデバイス」の削除手順」

■「不明なデバイス」の削除手順

- 1 Windows の [スタート] メニューから [設定]、[コントロールパネル] をクリックします。
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 [システム] をダブルクリックします。
システムのプロパティ画面が表示されます。
- 3 [ハードウェア] をクリックします。
- 4 [デバイスマネージャ] をクリックします。
デバイスマネージャ画面が表示されます。
- 5 [表示] メニューをクリックします。
メニューが表示されます。
- 6 [非表示のデバイスの表示] をクリックします。
- 7 [不明なデバイス] を右クリックし、[削除] をクリックします。
デバイスの削除の確認画面が表示されます。
- 8 [OK] をクリックします。
- 9 デバイスマネージャ画面を閉じます。
システムのプロパティ画面に戻ります。
- 10 [OK] をクリックします。

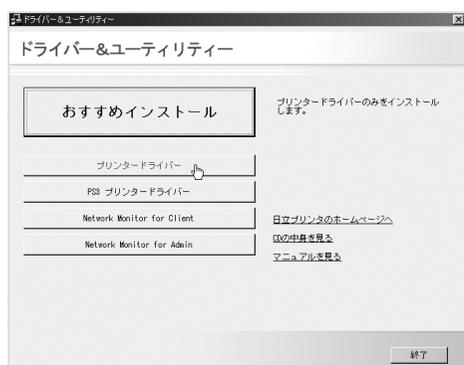
パラレル接続

プリンターをパラレル接続して使う場合は、プリンタードライバーを「ローカルポート」に指定してインストールします。

★重要

- ・ご使用の OS が Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、または Windows Server 2003/2003 R2 の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。インストーラーが起動します。
- 3 [プリンタードライバー] をクリックします。



- 4 [使用許諾] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[次へ] をクリックします。
- 5 [コンポーネントの選択] ダイアログが表示された場合は、使用するプリンタードライバーを選択し、[次へ] をクリックします。
お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。
- 6 [プリンタードライバーの導入] ダイアログの使用する [プリンター名] をダブルクリックし、プリンターの設定を展開します。
[コメント:]、[ドライバ:]、[ポート:] は、ご使用のオペレーティングシステム、選択したプリンター機種、使用するポートによって、それに応じた表示となります。
- 7 [ポート:] にプリンターを接続したポート（通常は、LPT1:）が設定されていることを確認します。

8 必要に応じて、ユーザーコードを設定します。

[ユーザーコード:] をクリックして選択します。

入力できるのは、半角数字最大 8 桁です。英字や記号はご使用になれません。

9 使用するプリンターのチェックボックスにチェックし、必要に応じて選択したプリンターを通常使うプリンターに設定します。

10 [完了] をクリックします。

プリンタードライバーがインストールされます。

インストールの途中で「デジタル署名が見つかりませんでした」という画面や、Microsoft のメッセージが表示されることがあります。その場合は、[はい] または [続行] をクリックし、インストールを続行してください。

11 [コンポーネントの選択] ダイアログに戻り、[完了] をクリックします。

お使いの機種によっては、このダイアログが表示されない場合があります。その場合は、次の手順に進んでください。

12 [導入完了] ダイアログが表示されたら、[完了] をクリックします。

「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

↓ 補足

- ・インストールの途中で [キャンセル] を押すと、ソフトウェアのインストールが中止されます。
- ・OS の設定によってはオートランプログラムが起動しない場合があります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUP.EXE」をダブルクリックして起動してください。
- ・ユーザーコードを設定しておくことで、各ユーザーごとの印刷枚数の統計をとることができ、Network Monitor for Admin で確認できます。詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。
- ・「新しいドライバが既に存在しているため、インストールを継続することができません。」というメッセージが表示された場合、オートランプログラムでのインストールを続けることができません。「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」を参照してインストールし直してください。

📖 参照

- ・P53 「CD-ROM からのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき」

CD-ROMからのプリンタードライバーのインストールに失敗したとき

1

おすすめインストールに失敗したときは、「Network Monitor for Client ポートを使う」を参照してインストールしてください。CD-ROM [プリンタードライバーのインストール] にも失敗したときは、以下の手順でインストールしてください。

Windows 95/98/Me、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
- 2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
- 3 [プリンタの追加ウィザード] にしたがってインストールします。
プリンタードライバーのディスクが CD-ROM の場合、RPCS のインストール元は CD-ROM の ¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN9X_ME、¥¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN2K_XP、または ¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥NT4 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。
- 4 ポートを設定します。
手順はご使用のポートの記載を参照してください。

補足

- お使いの Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。「Windows の印刷ポートを使用する」でご確認ください。

参照

- P.19 「Windows の印刷ポートを使用する」
- P.23 「Network Monitor for Client ポートを使う」
- P.32 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- P.35 「LPR ポートを使う」

Windows XP Professional、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

1

1 [スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。

2 [プリンタの追加] をクリックします。

3 [プリンタの追加ウィザード] にしたがってインストールします。

プリンタドライバのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN2K_XP、x64 Edition は ¥DRIVERS¥x64¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。

4 ポートを設定します。

手順はご使用のポートの記載を参照してください。

↓ 補足

- お使いのWindowsとインターフェースによって、使用できるポートが異なります。「Windowsの印刷ポートを使用する」でご確認ください。

☰ 参照

- P.19 「Windowsの印刷ポートを使用する」
- P.23 「Network Monitor for Client ポートを使う」
- P.32 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- P.35 「LPR ポートを使う」

Windows XP Home Edition の場合

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。
- 3 [プリンタと FAX] をクリックします。
- 4 [プリンタのインストール] をクリックします。
- 5 [プリンタの追加ウィザード] にしたがってインストールします。
プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN2K_XPになります。インストーラーが起動したときは[キャンセル]をクリックして終了させます。
- 6 ポートを設定します。
手順はご使用のポートの記載を参照してください。

↓ 補足

- ・お使いのWindowsとインターフェースによって、使用できるポートが異なります。「Windowsの印刷ポートを使用する」でご確認ください。

E 参照

- ・P.19 「Windowsの印刷ポートを使用する」
- ・P.23 「Network Monitor for Client ポートを使う」
- ・P.32 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- ・P.35 「LPR ポートを使う」

Windows Vista の場合

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2 [ハードウェアとサウンド] をクリックします。
- 3 [プリンタ] をクリックします。
- 4 [プリンタのインストール] をクリックします。
- 5 [プリンタの追加] に従ってインストールします。
- 6 ポートを設定します。

↓ 補足

- プリンタードライバーのディスクがCD-ROMの場合、RPCSのインストール元はCD-ROMの¥DRIVERS¥x86¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1、x64 Edition は ¥DRIVERS¥x64¥RPCS¥XP_VISTA¥DISK1 になります。インストーラーが起動したときは [キャンセル] をクリックして終了させます。
- お使いの Windows とインターフェースによって、使用できるポートが異なります。詳しくは、『プリンター機能編』「印刷するための準備」を参照してください。

☰ 参照

- P.19 「Windows の印刷ポートを使用する」
- P.23 「Network Monitor for Client ポートを使う」
- P.32 「Standard TCP/IP ポートを使う」
- P.35 「LPR ポートを使う」

オプション構成の設定

双方向通信が働いていない場合は、本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定してください。

↓ 補足

- ・本体オプションを設定する方法は、「双方向通信が働かない場合」を参照してください。

1

双方向通信が働く条件

双方向通信が働く条件についての説明です。

双方向通信が働いていると、本機にセットされている用紙サイズなどの情報が自動的にパソコンに伝わります。またパソコン側からも本機の状態を確認することができます。双方向通信が働いている場合、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定] タブの項目はプリンターの情報が自動で設定されるため、半輝度表示になります。

◆ ネットワーク接続の場合

- ・ Network Monitor for Client がインストールされている、または標準 TCP/IP ポートが使用されている。(標準 TCP/IP ポート名を変更しないで使っている)
- ・ Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 では、RPCS ドライバーの [ポート] タブにある [双方向サポートを有効にする] が選択されており、[プリンタプールを有効にする] が選択されていない。

標準 TCP/IP ポートを使用しない場合、上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- ・ Network Monitor for Client ポートを使用し、プロトコルに TCP/IP を使用している
- ・ Microsoft TCP/IP 印刷で IP アドレスを指定して使っている。(Windows NT 4.0 の場合)
- ・ IPP プロトコル使用時に、ポート名に IP アドレスを含んでいる

◆ ローカル接続の場合

- ・ パソコンが双方向通信に対応している
- ・ プリンターのプロパティで双方向通信が可能な設定になっている

上記 2 つの条件のほかに、以下のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- ・ 本機の平行コネクタとパソコンの平行コネクタが、双方向通信に対応したインターフェースケーブルで接続されている
- ・ 本機の USB インターフェースコネクタとパソコンの USB コネクタが、USB ケーブルで接続されている (Windows Me/2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 の場合)

↓ 補足

- ・ Network Monitor for Client は本機に同梱の CD-ROM からインストールしてください。

双方向通信が働かない場合

双方向通信が働かない場合の説明です。

双方向通信が働かない場合は、手動で本体オプションの構成をプリンタードライバーに設定します。

★重要

- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 の場合、[プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Windows NT 4.0 の場合、[プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 [プリンター] ウィンドウを開きます。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は [プリンタと FAX] ウィンドウを開きます。

Windows Vista の場合は、[ハードウェアとサウンド] から [プリンタ] ウィンドウを開きます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

インストール後最初にプリンターのプロパティを表示する場合、または装着しているオプションを設定していない場合は、オプション設定を促す画面が表示されます。

3 [OK] をクリックします。

4 [オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブをクリックします。

[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] タブの項目がグレー表示になっていて選択できないときは、双方向通信が働いています。このときオプションの設定は必要ありません。

5 [オプション選択:] ボックスで、取り付けたオプションにチェックを付けます。

6 メモリモジュールを増設した場合は、[トータルメモリー:] で増設後の合計メモリー容量を選択し、[OK] をクリックします。

7 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、「ファイル」メニューの [印刷設定] をクリックします。

8 「基本」タブの [給紙トレイ:] で設定するトレイを選択し、[原稿サイズ:]・[原稿方向]・[用紙種類] を正しく設定します。

9 [OK] をクリックし、プリンターの印刷設定を閉じます。

[初期設定] タブをクリックして [オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定] をクリックすると、オプション選択の画面が表示されます。

メモリー容量と用紙サイズ

本機に搭載されているメモリー容量による、印刷可能な解像度と用紙サイズについての説明です。

↓ 補足

- ・システム設定メニューの「優先メモリー」で、「ページメモリー」か「ユーザーメモリー」の選択によって印刷できる用紙サイズが違います。
- ・手差しトレイから印刷する場合は、メモリー容量にかかわらず両面印刷の指示は解除され、片面のみに印刷されます。

片面印刷（400 dpi × 400 dpi）の場合

- ◆ 128+64 MB（標準）、384 MB（標準 128+ オプションのメモリ）
 - ・ A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Double Letter（11" × 17"）、Legal（8¹/₂" × 14"）、Letter（8¹/₂" × 11"）、297mm×432mm、305 mm × 1260mm の用紙に印刷できます。

片面印刷（600 dpi × 600 dpi）の場合

ページメモリーを優先している場合

- ◆ 128+64 MB（標準）、384 MB（標準 128+ オプションのメモリ）
 - ・ A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Double Letter（11" × 17"）、Legal（8¹/₂" × 14"）、Letter（8¹/₂" × 11"）、297mm×432mm、305 mm × 1260mm の用紙に印刷できます。

ユーザーメモリーを優先している場合

- ◆ 128+64 MB（標準）
 - ・ A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Double Letter（11" × 17"）、Legal（8¹/₂" × 14"）、Letter（8¹/₂" × 11"）、297mm×432mm の用紙に印刷できます。
 - ・ 305 mm × 1260mm では、複雑な画像を印刷できない場合があります。
- ◆ 384 MB（標準 128+ オプションのメモリ）
 - ・ A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Double Letter（11" × 17"）、Legal（8¹/₂" × 14"）、Letter（8¹/₂" × 11"）、297mm×432mm、305 mm × 1260mm の用紙に印刷できます。

片面印刷（1200 dpi × 1200 dpi）の場合

1

ページメモリーを優先している場合

◆ 128+64 MB（標準）

- B4、A4、B5、A5、はがき、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") の用紙に印刷できます。
- A3、Double Letter (11" × 17")、297mm×432mm、305mm×1260mm では、複雑な画像を印刷できない場合があります。

◆ 384 MB（標準 128+ オプションのメモリ）

- A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11")、297mm×432mm の用紙に印刷できます。
- 305 mm × 1260mm では、複雑な画像を印刷できない場合があります。

ユーザーメモリーを優先している場合

◆ 128+64 MB（標準）

- A4、B5、A5、はがき、Letter (8¹/₂" × 11") の用紙に印刷できます。
- A3、B4、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、297mm×432mm では、複雑な画像を印刷できない場合があります。

◆ 384 MB（標準 128+ オプションのメモリ）

- A3、B4、A4、B5、A5、はがき、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11")、297mm×432mm の用紙に印刷できます。
- 305 mm × 1260mm では、複雑な画像を印刷できない場合があります。

↓ 補足

- 305 mm × 1260mm は、解像度が 600dpi 以下の場合印刷できます。

両面印刷 (400 dpi × 400 dpi) の場合

◆ 128+64 MB (標準)、384 MB (標準 128+ オプションのメモリー)

- A3、B4、A4、B5、A5、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") の用紙に印刷できます。

両面印刷 (600 dpi × 600 dpi) の場合

◆ 128+64 MB (標準)、384 MB (標準 128+ オプションのメモリー)

- A3、B4、A4、B5、A5、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") の用紙に印刷できます。

両面印刷 (1200 dpi × 1200 dpi) の場合

ページメモリーを優先している場合

◆ 128+64 MB (標準)

- B5、A5 の用紙に印刷できます。
- A3、B4、A4、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") では、複雑な画像を印刷できない場合があります。

◆ 384 MB (標準 128+ オプションのメモリー)

- A3、B4、A4、B5、A5、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") の用紙に印刷できます。

ユーザーメモリーを優先している場合

◆ 128+64 MB (標準)

- A5 の用紙に印刷できます。
- A3、B4、A4、B5、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") では、複雑な画像を印刷できない場合があります。

◆ 384 MB (標準 128+ オプションのメモリー)

- A3、B4、A4、B5、A5、Double Letter (11" × 17")、Legal (8¹/₂" × 14")、Letter (8¹/₂" × 11") の用紙に印刷できます。

2. プリンタードライバー画面と設定方法

プリンタードライバー画面の説明と、設定方法についての説明です。

2

2 種類の操作画面

プリンタードライバーの設定画面は「機能別ウィンドウ」と「ワンクリック設定」の2つの表示タイプがあります。

本書では「機能別ウィンドウ」の画面例を使用しています。表示タイプの切り替え方について詳しくはヘルプの「プリンタードライバーのウィンドウタイプを切り替える」を参照してください。

◆機能別ウィンドウ

印刷のたびに設定を変更することが多く、さまざまな印刷をする方向向いているウィンドウタイプです。



◆ワンクリック設定

あまり印刷条件を変えず、いつも決まった印刷のしかたをする方向向いているウィンドウタイプです。



ワンクリック設定の表示はオプションの装着状態によって変化することがあります。

Windows 95/98/Me の場合

Windows 95/98/Me には、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法が2種類あります。

★重要

- Windows 95/98/Me はサポート対象外となります。

2

Windows 95/98/Me で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する

アプリケーションから印刷するときの初期値を設定できます。

[プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般] または [詳細]、[色の管理]、[共有]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[応用設定] [ユーティリティー] タブが表示されます。



[全般] または [詳細]、[色の管理]、[共有] タブは Windows 95/98/Me が追加するタブで、Windows 95/98/Me の機能に関する設定を行います。ただし、Windows 95 をお使いの場合、[色の管理] タブは表示されません。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[応用設定]、[ユーティリティー] タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓補足

- お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 95/98/Me でアプリケーションからプロパティを表示する

アプリケーションから、プリンタードライバーの設定画面を表示させると、印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をします。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[応用設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。

2



[プリンタ] ウィンドウから表示させたプリンターのプロパティで設定した内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

ここでは Windows 98 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。

1 【ファイル】メニューの【印刷】をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、このダイアログで指定できます。

2 【プロパティ】をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows 2000 の場合

Windows 2000 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する

[プリンタ] ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

★重要

- ・プリンターのプロパティの設定を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。設定を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] タブは Windows 2000 が追加するタブで、Windows 2000 の機能に関する設定を行います。

[オプション構成の変更]、[応用設定] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows 2000 で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する

2

[プリンタ] ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバの設定画面を表示する方法です。

★ 重要

- ・印刷設定（ドキュメントプロパティ）は、設定項目によって動作が異なります。プリンタードライバごとやプリンターアイコンごと、プリンターアイコンごとのユーザーごとに、それぞれの設定を保持できる設定項目があります。
 - ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [印刷設定] をクリックします。

印刷設定が表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows 2000 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows 2000 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[全般]、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。

2



[全般] タブは Windows 2000 が追加するタブで、Windows 2000 の機能に関する設定を行います。

[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブには [プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows 2000 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

[印刷] ダイアログが表示されます。

印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。

2 プリンターを選択し、右クリックして [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で [プリンタと FAX] ウィンドウからプロパティを表示する

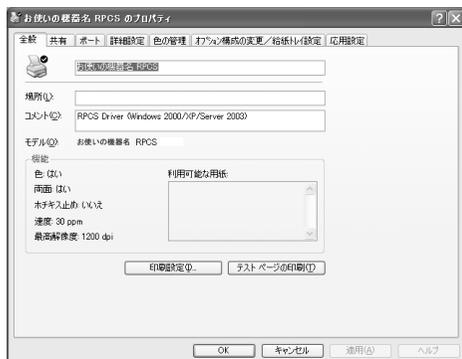
[プリンタと FAX] ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★重要

- Windows XP Professional および Windows Server 2003/2003 R2 でご使用の場合、プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

[プリンタと FAX] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、Windows XP では [全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。

Windows Server 2003/2003 R2 では [全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] タブは Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 が追加するタブで、Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の機能に関する設定を行います。

[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

2

- ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- 設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で [プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定を表示する

[プリンタと FAX] ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★ 重要

- 印刷設定（ドキュメントプロパティ）は、設定項目によって動作が異なります。プリンタードライバーごとやプリンターアイコンごと、プリンターアイコンごとのユーザーごとに、それぞれの設定を保持できる設定項目があります。
- アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。[プリンタと FAX] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



これらのタブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[プリンタと FAX] ウィンドウを表示します。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[印刷設定] をクリックします。
印刷設定が表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 でアプリケーションからプロパティを表示する

2

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 で、アプリケーションからプリンタードライバの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。



これらのタブには [プリンタと FAX] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows XP に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

2 プリンターを選択し、[詳細設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ・アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ・実際の表示の方法はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ・アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows Vista の場合

Windows Vista で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

2

Windows Vista で [プリンタ] ウィンドウからプロパティを表示する

[プリンタ] ウィンドウから、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

★重要

- ・プリンターのプロパティの内容を変更するには「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは Administrators グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。

Windows Vista では [全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



[全般]、[共有]、[ポート]、[詳細設定]、[色の管理]、[セキュリティ] タブは Windows Vista が追加するタブで、Windows Vista の機能に関する設定を行います。

[オプション構成の変更 / 給紙トレイ設定]、[応用設定] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

- 1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[コントロールパネル] ウィンドウを表示します。
- 2 [ハードウェアとサウンド] カテゴリの中から、[プリンタ] をクリックします。
- 3 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- ・設定方法については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows Vista で [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示する

2

[プリンタ] ウィンドウの印刷設定から、プリンタードライバの設定画面を表示させる方法です。

★ 重要

- ・印刷設定（ドキュメントプロパティ）は、設定項目によって動作が異なります。プリンタードライバごとやプリンターアイコンごと、プリンターアイコンごとのユーザーごとに、それぞれの設定を保持できる設定項目があります。
 - ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- [プリンタ] ウィンドウから印刷設定を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



これらのタブはプリンタードライバの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するための設定の初期値になります。

- 1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[コントロールパネル] ウィンドウを表示します。
- 2 [ハードウェアとサウンド] カテゴリの中から、[プリンタ] をクリックします。
- 3 初期値を設定するプリンターのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから [印刷設定] をクリックします。
印刷設定が表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法については、プリンタードライバのヘルプを参照してください。

Windows Vista でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows Vista で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションから印刷ダイアログを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。

2



これらのタブには [プリンタ] ウィンドウから表示させた印刷設定の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows Vista に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

2 本機を選択し、[詳細設定] をクリックします。

[印刷設定] ダイアログが表示されます。

補足

- ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- 実際の表示の方法はアプリケーションによって異なります。詳しくは、アプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、標準ユーザーでも変更することができます。
- お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- 設定方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 の場合

Windows NT 4.0 で、プリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからプロパティ表示する

2

[プリンタ] ウィンドウのプロパティから、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

★重要

- Windows NT 4.0 はサポート対象外となります。
 - プリンターのプロパティの内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
 - プリンターのプロパティの設定をユーザーごとに変えることはできません。プリンタープロパティで行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの設定になります。
 - アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。
- [プリンタ] ウィンドウからプリンターのプロパティを表示させると、[全般]、[ポート]、[スケジュール]、[共有]、[セキュリティ]、[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブが表示されます。



[全般]、[ポート]、[スケジュール]、[共有]、[セキュリティ] タブは Windows NT 4.0 が追加するタブで、Windows NT 4.0 の機能に関する設定を行います。

[オプション構成の変更/給紙トレイ設定]、[応用設定] タブはプリンターに関する設定を行うタブです。

- 1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。
- 2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定が、すべてのアプリケーションでの設定の初期値になります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 で [プリンタ] ウィンドウからドキュメントの既定値を表示する

[プリンタ] ウィンドウのドキュメントの既定値から、プリンタードライバーの設定画面を表示する方法です。

★ 重要

- ・ドキュメントの既定値の内容を変更するには「フルコントロール」のアクセス権が必要です。内容を変更するときは、Administrators または Power Users グループのメンバーとしてログオンしてください。
- ・ドキュメントの既定値をユーザーごとに変えることはできません。ドキュメントの既定値で行った設定が、このプリンタードライバーを使って印刷するすべてのユーザーの初期値になります。
- ・アプリケーションによっては、ここで設定した初期値が反映されない場合があります。[プリンタ] ウィンドウからドキュメントの規定値を表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティ] タブが表示されます。



[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質] タブはプリンタードライバーの印刷に関する設定を行うタブです。このタブで行った設定が、すべてのアプリケーションで印刷するときの設定の初期値になります。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[プリンタ] をクリックします。

2 初期値を設定するプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [ドキュメントの既定値] をクリックします。ドキュメントの既定値が表示されます。

↓ 補足

- ・ここでの設定がアプリケーションから印刷するときに必要な設定の初期値になります。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

Windows NT 4.0 でアプリケーションからプロパティを表示する

Windows NT 4.0 で、アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を表示させる方法です。

アプリケーションからプリンターのプロパティを表示させると、[基本]、[編集]、[仕上げ]、[その他]、[印刷品質]、[初期設定]、[ユーティリティー] タブが表示されます。

2



[プリンタ] ウィンドウから表示させたドキュメントの既定値の内容が初期値として表示されますので、アプリケーションからの印刷時は必要な項目を変更して印刷します。

印刷を行うアプリケーションだけに有効な設定をするには、プリンターのプロパティをアプリケーションから表示させて設定します。ここでは Windows NT 4.0 に付属の「ワードパッド」を例に説明します。

1 [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
[印刷] ダイアログが表示されます。

2 [プロパティ] をクリックします。
プリンターのプロパティが表示されます。

↓ 補足

- ・印刷部数や印刷範囲など基本的な項目は、プリンターのプロパティを開かなくても、このダイアログで指定できます。
- ・ここでの設定は印刷するアプリケーションでのみ有効な設定です。
- ・アプリケーションによっては印刷の初期値を変更するものもあります。
- ・実際の表示の手順はアプリケーションによって多少異なります。詳細はアプリケーションの説明書やヘルプを参照してください。
- ・アプリケーションの [印刷] ダイアログから表示したプロパティは、一般ユーザーでも変更することができます。
- ・お使いの機器によっては、表示されないタブがあります。
- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

3. いろいろな印刷

PDF ファイルの直接印刷、試し印刷、機密印刷、保留印刷、保存文書印刷、強制印刷や印刷の中止、およびソートなどの注意事項についての説明です。

PDF ファイルを直接印刷する

3

PDF ファイルを開くアプリケーションを起動することなく、PDF ファイルを本機に直接送信して印刷することができます。

★重要

- この機能は、オプションの PS3 カードを装着しているときに使用になれます。
- Adobe 純正の PDF のみ可能です。
- 対応している PDF ファイルのバージョンは、1.3、1.4、1.5 です。
- PDF バージョン 1.4 の固有機能である Transparency を使用した PDF ファイルは印刷できない場合があります。
- PDF バージョン 1.5 の固有機能である Crypt Filter、16bit イメージには対応していません。
- PDF バージョン 1.6 の固有機能を使用していない PDF ファイルは印刷できます。
- 当社の複合機のスキャナー機能で作成されたクリアライト PDF は印刷できない場合があります。

↓補足

- 不定形サイズの内紙に印刷する場合は、用紙サイズエラーが発生することがあります。

Network Monitor for Client を使用する

個人文書管理ソフト Network Monitor for Client に PDF ファイルを登録し、PDF ファイルを直接本機に送って印刷することができます。

PDF ダイレクトプリントの印刷条件は、PDF ダイレクトプリントのプロパティで設定できます。

★重要

- RPCS プリンタードライバがインストールされている必要があります。
- Network Monitor for Client をご使用の場合は、Port の設定をしてからご使用ください。

↓補足

- Network Monitor for Client がインストールされていると、プリンタードライバがインストールされていない場合でも印刷することができます。
- 操作方法の詳細は、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

目参照

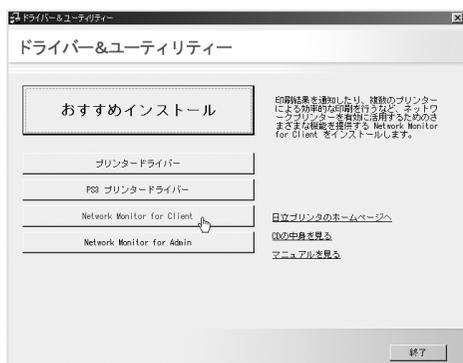
- P.80 「Network Monitor for Client のインストール」

Network Monitor for Client のインストール

Network Monitor for Client のインストール方法は次のとおりです。

- 1 すべてのアプリケーションを終了します。
- 2 本機に付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
インストーラーが起動します。
- 3 [Network Monitor for Client] をクリックします。

3



Network Monitor for Client のインストーラーが起動します。

- 4 [Network Monitor for Client] ダイアログが表示されたら、[Network Monitor for Client] をクリックします。
確認の画面が表示されます。
- 5 [はい] をクリックします。
- 6 表示されるメッセージに従って Network Monitor for Client をインストールします。
インストールが完了すると、完了画面が表示されます。
- 7 [完了] をクリックします。
- 8 [セットアップ終了] をクリックします。
「再起動の確認」ダイアログで、今すぐ再起動するか、後で再起動するかを選択し、Windows を再起動してください。

コマンドを使用する

UNIX から、ftp、lpr などのコマンドを使用して、PDF ファイルを直接印刷できます。

参照

- P267 「セットアップ」

試し印刷

複数部数印刷する場合など、最初に 1 部だけ印刷し、その結果を確認した後に操作部を使用して残り部数を印刷できます。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷することができます。内容や印刷の指定を間違えたときなどに大量のミスプリントを防ぐことができます。

★重要

- ・この機能は、オプションのハードディスクが装着されている場合に使用できます。
- ・以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー文書表示で確認できます。(印刷データによっては、以下の文書数よりも少なくなることがあります。)
 - ・1 文書あたり 1,000 ページを超える文書
 - ・保存印刷と一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）が、合計して 100 ジョブ本機に蓄積されているときに、送信された 101 番目の文書
 - ・保存印刷と一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）の合計が、1,000 ページを超えた場合

3

1 部目を印刷する（試し印刷）

- 1** 試し印刷する文書に印刷指示をします。
- 2** プリンタードライバーのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] から [試し印刷] を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。
- 3** [印刷方法の詳細] をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 4** [ユーザー ID] を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 5** [OK] をクリックします。
- 6** 印刷の指示をします。
1 部目が印刷され、本機に文書が蓄積されます。
- 7** 印刷結果を確認し、操作部から 2 部目以降を印刷するか消去するかを指示します。

補足

- ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3 プリンタードライバーを使用した場合の説明については、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。
- 主電源を「Off」にしても、蓄積された試し印刷文書は消去されずに残りますが、[イチジオキゼンショウキヨ] や [ホゾンゼンショウキヨ] が優先されます。設定については、「調整 / 管理メニュー」の [イチジオキゼンショウキヨ] や [ホゾンゼンショウキヨ] を参照してください。

参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.85 「試し印刷文書を消去する」
- P.153 「調整 / 管理メニューの項目」
- P.112 「エラー文書を確認する」

3

2 部目以降を印刷する（試し印刷）

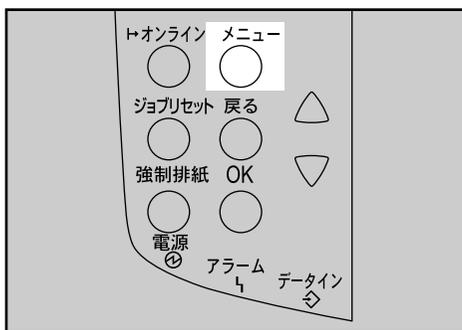
試し印刷で、2 部目以降を印刷する方法です。

★重要

- 印刷が終了すると、蓄積されていた文書は消去されます。

■ 選択した文書のみを印刷する

1 操作部の [メニュー] キーを押します。

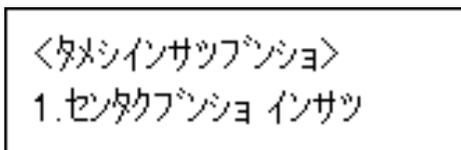


AUJA047S

2 [▼] [▲] キーを押して「タメシインサツ ブンショ」を選択し、[OK] を押します。

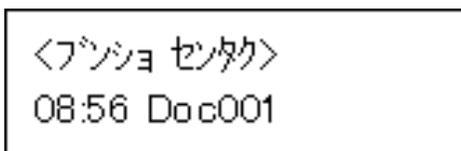
<メニュー>
タメシインサツ ブンショ

- 3** [▼] [▲] キーを押して、「1. センタクブンショ インサツ」を表示させ、[OK] を押します。



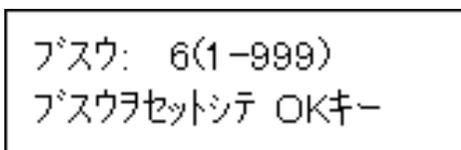
蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

- 4** [▼] [▲] キーを押して、印刷する文書を表示させ、[OK] キーを押します。

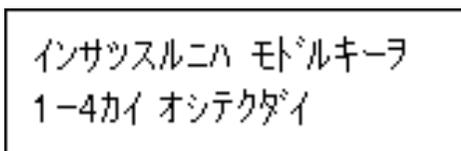


3

- 5** 印刷部数を変更する場合は、[▼] [▲] キーを押して設定し、[OK] キーを押します。



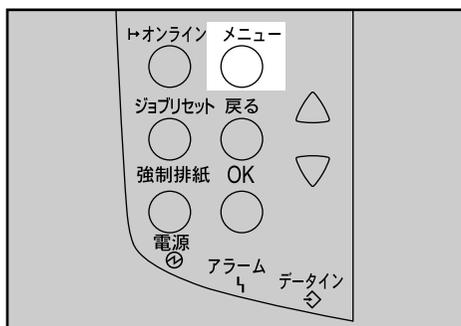
- 6** [戻る] キーを 1~4 回押します。



文書が印刷され、通常の画面に戻ります。
オプションのハードディスクに蓄積された文書は削除されます。

■すべての文書を印刷する

- 1** 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUA047S

- 2** [▼] [▲] キーを押して「タメシインサツ フンシヨ」を選択し、[OK] を押します。

<メニュー>
タメシインサツ フンシヨ

- 3** [▼] [▲] キーを押して、「2. ゼンブunシヨ インサツ」を表示させ、[OK] を押します。

<タメシインサツ フンシヨ>
2.ゼンブunシヨ インサツ

ユーザー ID が表示されます。

- 4** [▼] [▲] キーを押して、印刷するユーザー ID を表示させ、[OK] キーを押します。

<ユーザーID センタク>
ZZZ1011

- 5** 印刷対象となる文書数が表示されます。確認して [OK] キーを押します。

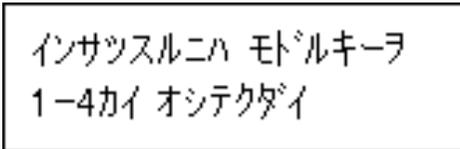
タイショウフンシヨスウ:4
OKキーテ カクテイシマス

- 6** [▼] [▲] キーを押して印刷部数を設定し、[OK] キーを押します。

パスウ: 6(1-999)
パスウヲセツシテ OKキー

印刷部数を設定しなかった場合、過去に設定した中でもっとも少ない部数より1部少ない部数で、すべての文書が印刷されます。設定した中でもっとも少ない部数が1の場合、1部ずつ印刷されます。

7 [戻る] キーを 1~4 回押します。



文書が印刷され、通常の画面に戻ります。
オプションのハードディスクに蓄積されていた文書は削除されます。

補足

- 印刷を中止する場合は、[戻る] キーを押します。
- 2 部目以降の印刷中に [ジョブリセット] を押すと、印刷を中止することができます。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 他のジョブがある場合は、そのジョブの終了後に印刷されます。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、強制印刷をしてください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.114 「強制印刷する」

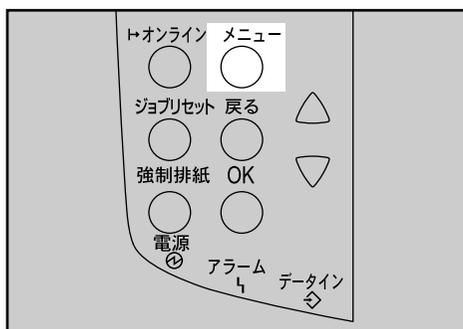
3

試し印刷文書を消去する

試し印刷の内容を確認し、2 部目以降を印刷しない場合は、本機に蓄積されている文書を消去します。

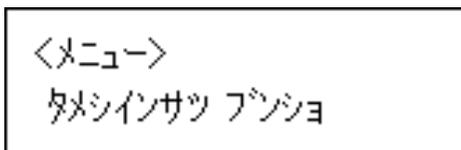
■ 選択した文書のみを消去する

1 操作部の [メニュー] キーを押します。

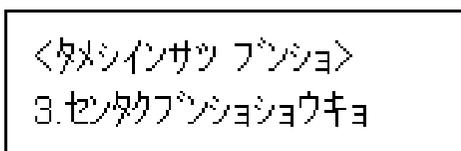


メニュー画面が表示されます。

- 2** [▼] [▲] キーを押して「タメシインサツ ブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▼] [▲] キーを押して「3. センタクブンショショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。

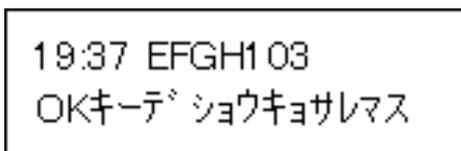


蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

- 4** [▼] [▲] キーを押して削除する文書を表示させ、[OK] キーを押します。



- 5** 文書を確認し、[OK] キーを押します。

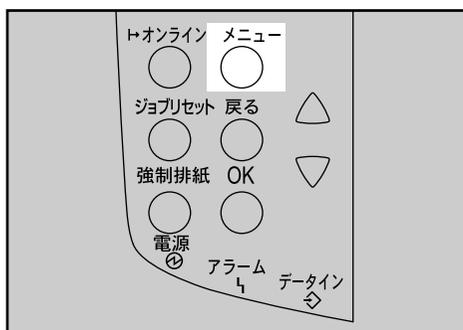


「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

- 6** [オンライン] キーを押します。
通常の画面に戻ります。

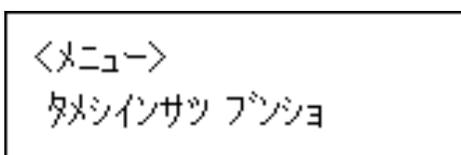
■すべての文書を消去する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

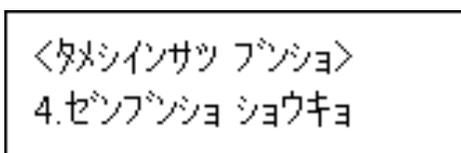


メニュー画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して「タメシインサツ フンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

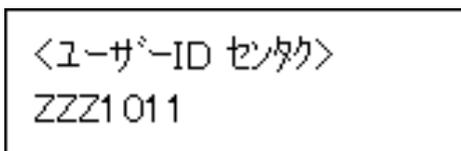


- 3 [▼] [▲] キーを押して「4.ゼンブンショ ショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。

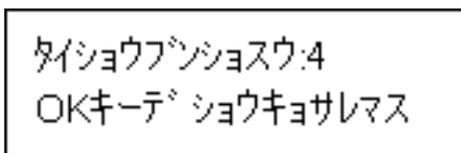


蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

- 4 [▼] [▲] キーを押し全文書消去するユーザー ID を選択し、[OK] キーを押します。



5 対象となる文書数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。



「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、試し印刷文書の選択画面に戻ります。

6 【オンライン】 キーを押します。

通常の画面に戻ります。

3

↓ 補足

・ 消去を取り消す場合は、[戻る] キーを押します。

機密印刷

ネットワークでプリンターを共有している場合など、他人に見られたくない文書を印刷するときなどに有効な機能です。いったん本機にデータを蓄積し、操作部を使用して蓄積したデータを印刷することができます。機密印刷を使うと本機の操作部からパスワードを入力しないと印刷できなくなりますので、他人に見られる心配がありません。

★重要

- ・この機能は、オプションのハードディスクが装着されている場合に使用できます。
- ・以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー文書表示で確認できます。(印刷データによっては、以下の文書数よりも少なくなることがあります。)
 - ・1文書あたり1,000ページを超える文書
 - ・保存印刷と一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）が、合計して100ジョブ本機に蓄積されているときに、送信された101番目の文書
 - ・保存印刷と一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）の合計が、1,000ページを超えた場合

3

プリンターに機密文書データを送る

- 1 機密印刷する文書に印刷指示をします。
- 2 プリンタードライバのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] から [機密印刷] を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。
- 3 [印刷方法の詳細] をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 4 [ユーザー ID] を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 5 [パスワード] を半角数字 4 文字以上 8 文字以内で入力します。
- 6 [OK] をクリックします。
パスワードの確認画面が表示されます。
- 7 パスワードを再度入力して、[OK] をクリックします。
- 8 印刷の指示をします。
本機に文書が蓄積されます。
- 9 操作部でパスワードを入力し、印刷するか消去するかを指示します。

補足

- ・オプションのハードディスクが装着されていない場合は、印刷文書は蓄積されません。
- ・ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3 プリンタードライバーを使用した場合の説明については、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。
- ・主電源を「Off」にしても、蓄積された機密印刷文書は消去されずに残りますが、[イチジオキゼンショウキョ] や [ホゾンゼンショウキョ] が優先されます。設定については、「調整 / 管理メニュー」の [イチジオキゼンショウキョ] や [ホゾンゼンショウキョ] を参照してください。

参照

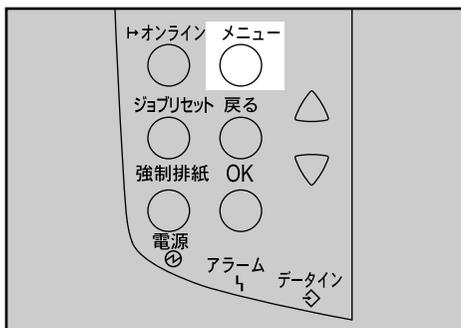
- ・P.13 「お使いになる前に」
- ・P.94 「機密印刷文書を消去する」
- ・P.153 「調整 / 管理メニューの項目」
- ・P.112 「エラー文書を確認する」

3

操作部を使って機密印刷する

■ 選択した文書のみを印刷する

1 操作部の [メニュー] を押します。

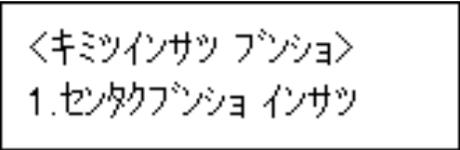


AUA047S

2 [▼] [▲] キーを押して「キミツインサツ プンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<メニュー>
キミツインサツ プンショ

- 3** [▼] [▲] キーを押して「1. センタクブシヨ インサツ」を表示させ、[OK] キーを押します。



<キミツインサツ フシヨ>
1.センタクフシヨ インサツ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

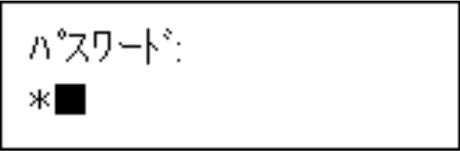
- 4** [▼] [▲] キーを押して印刷する文書を表示させ、[OK] キーを押します。



<フシヨ センタク>
08:56 Doc001

パスワード入力画面が表示されます。

- 5** [▼] [▲] キーを押して設定したパスワードの 1 桁目を表示させ、[OK] キーを押します。



パスワード:
*■

カーソルが次の桁に移動します。

- 6** 同様にすべての桁を設定し、[OK] キーを押します。



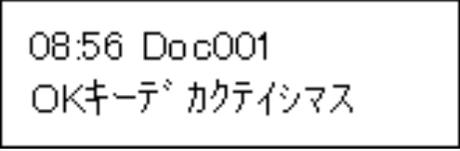
パスワード:

印刷の確認画面が表示されます。

入力したパスワードが正しくないときは、メッセージが表示されますので、再度入力してください。

パスワードが分からなくなった場合は、管理者にご相談ください。

- 7** 印刷する文書を確認し、[OK] キーを押します。



08:56 Doc001
OKキーで カクテイシマス

8 [戻る] キーを 1~4 回押します。

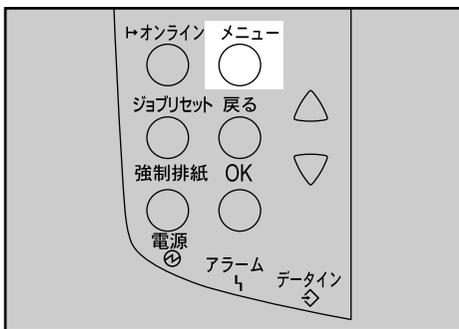
インサツスルニハ モデルキーヲ
1-4カイ オシテクダシ

文書が印刷され、オプションのハードディスクに蓄積されていた文書は削除されます。
通常画面に戻ります。

3

■すべての文書を印刷する

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUJA047S

2 [▼] [▲] キーを押して「キミツインサツ プンシヨ」を選択し、[OK] を押します。

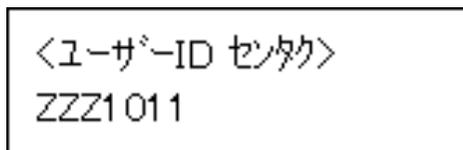
<メニュー>
キミツインサツ プンシヨ

3 [▼] [▲] キーを押して、「2.ゼンブンシヨ インサツ」を表示させ、[OK] を押します。

<キミツインサツ プンシヨ>
2.ゼンブンシヨ インサツ

蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

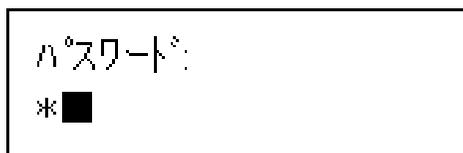
- 4 [▼] [▲] キーを押して、印刷するユーザー ID を表示させ、[OK] キーを押します。



<ユーザーID センタ>
ZZZ1011

パスワード入力画面が表示されます。

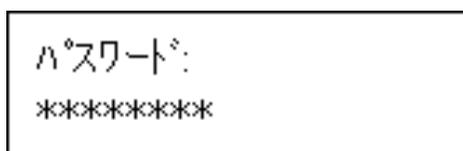
- 5 [▼] [▲] キーを押して設定したパスワードの 1 桁目を表示させ、[OK] キーを押します。



パスワード:
*■

カーソルが次の桁に移動します。

- 6 同様にすべての桁を設定し、[OK] キーを押します。



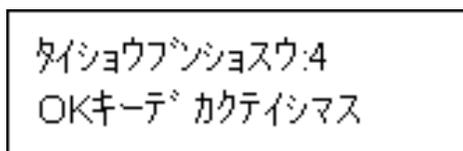
パスワード:

印刷の確認画面が表示されます。

入力したパスワードが正しくないときは、メッセージが表示されますので、再度入力してください。

パスワードが分からなくなった場合は、管理者にご相談ください。

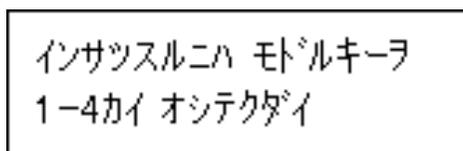
- 7 印刷対象となる文書数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。



タイショウフンショウ:4
OKキーで カクテイシマス

入力したパスワードと合致するもののみが印刷対象となります。入力したものと違うパスワードの設定された文書を印刷する場合は、同様の手順で操作します。

- 8 [戻る] キーを 1~4 回押します。



インサツスルニハ モデルキーヲ
1-4カイ オシテクダシ

文書が印刷され、通常の画面に戻ります。

オプションのハードディスクに蓄積されていた文書は削除されます。

補足

- 印刷を中止する場合は、[戻る] キーを押します。
- 印刷開始後に [ジョブプリセット] を押すと、印刷を中止することができます。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、強制印刷をしてください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

参照

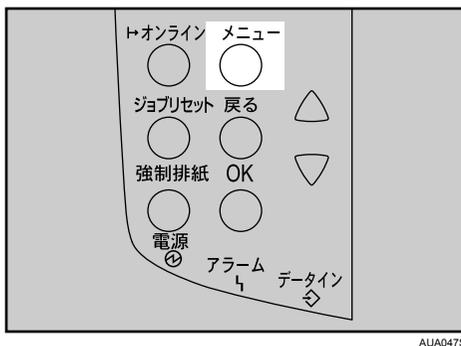
- P.13 「お使いになる前に」
- P.114 「強制印刷する」

3

機密印刷文書を消去する

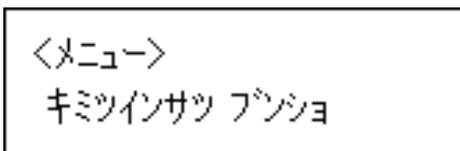
■ 選択した文書のみを消去する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

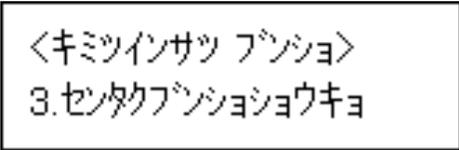


メニュー画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して「キミツインサツブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▼] [▲] キーを押して「3. センタクブンショショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。



<キミツインサツ フンショ>
3.センタクフンショショウキョ

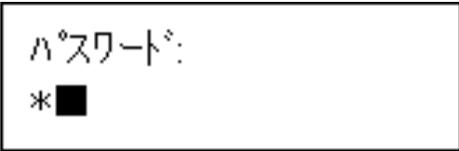
蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

- 4** [▼] [▲] キーを押して削除する文書を表示させ、[OK] キーを押します。



<フンショ センタク>
19:37 EFGH1 03

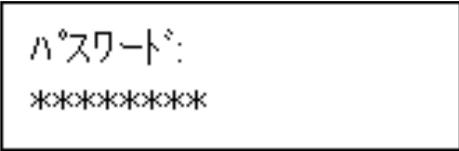
- 5** [▼] [▲] キーを押して設定したパスワードの 1 桁目を表示させ、[OK] キーを押します。



パスワード:
*■

カーソルが次の位に移動します。

- 6** 同様にすべての桁を設定し、[OK] キーを押します。

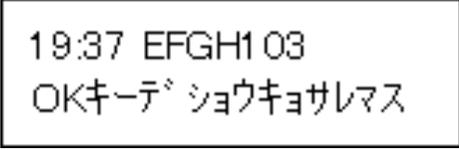


パスワード:

印刷の確認画面が表示されます。

入力したパスワードが正しくないときはメッセージが表示されますので、再度入力してください。

- 7** 削除する文書を確認し、[OK] キーを押します。



19:37 EFGH1 03
OKキーで ショウキョサレマス

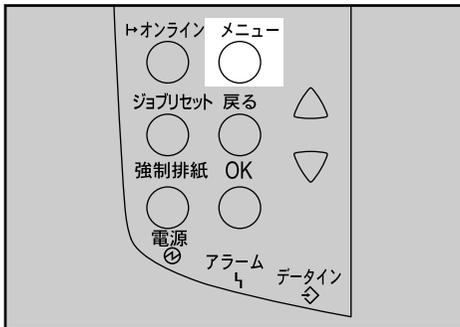
「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

- 8** [オンライン] キーを押します。

通常画面に戻ります。

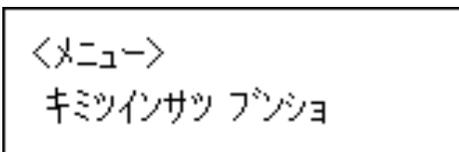
■すべての文書を消去する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

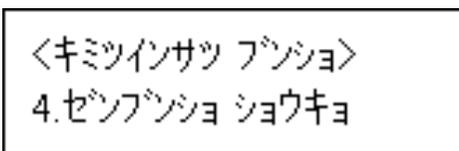


メニュー画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して「キミツインサツ ブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

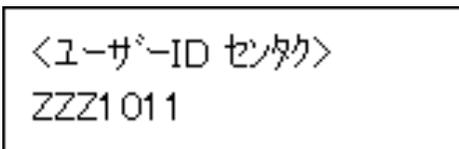


- 3 [▼] [▲] キーを押して「4. ゼンブンショ ショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。

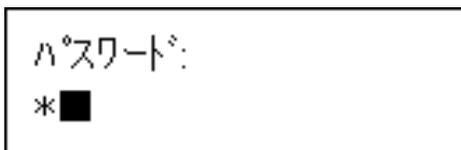


蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

- 4 [▼] [▲] キーを押して全文書消去するユーザー ID を選択し、[OK] キーを押します。



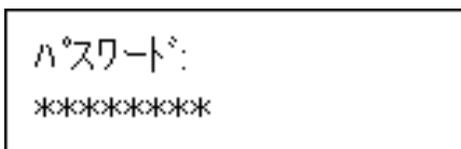
- 5 [▼] [▲] キーを押して設定したパスワードの 1 桁目を表示させ、[OK] キーを押します。



パスワード:
*■

カーソルが次の位に移動します。

- 6 同様にすべての桁を設定し、[OK] キーを押します。



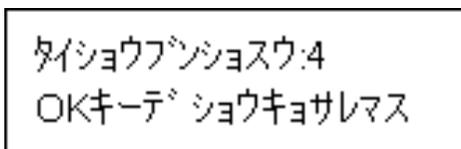
パスワード:

印刷対象となる文書数が表示されます。

入力したパスワードが正しくないときはメッセージが表示されますので、再度入力してください。

入力したパスワードと合致するものだけが消去対象となります。入力したものと違うパスワードの設定された文書を消去する場合は、同様の手順で操作します。

- 7 対象となる文書数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。



タイショウフンショウスウ:4
OKキーで ショウキョサレマス

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、機密印刷文書の選択画面に戻ります。

- 8 [オンライン] キーを押します。

通常画面に戻ります。

↓ 補足

- ・ 消去を取り消す場合は、[戻る] キーを押します。
- ・ 入力したパスワードが正しくないときは、「パスワードが正しくありません」と表示されパスワード入力画面に戻るため、再度入力します。
- ・ パスワードが分からなくなった場合は、管理者にご相談ください。

保留文書印刷

本機に文書を一時的に蓄積し、必要に応じて印刷を行います。複数の文書をまとめて印刷するときなどに有効です。

★重要

- ・この機能は、オプションのハードディスクが装着されている場合に使用できます。
- ・以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー文書表示で確認できます。(印刷データによっては、以下の文書数よりも少なくなることがあります。)
- ・1文書あたり1,000ページを超える文書
- ・保存印刷と一時的な蓄積文書(試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書)が、合計して100ジョブ本機に蓄積されているときに、送信された101番目の文書
- ・保存印刷と一時的な蓄積文書(試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書)の合計が、1,000ページを超えた場合

3

プリンターに保留文書データを送る

- 1 保留印刷する文書に印刷指示をします。
- 2 プリンタードライバーのプロパティの[基本]タブで、[印刷方法]から[保留印刷]を選択します。
「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能]タブをクリックします。
- 3 [印刷方法の詳細...]をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 4 [ユーザーID]を半角英数字8文字以内で入力します。
- 5 [OK]をクリックします。
- 6 印刷の指示をします。
本機に文書が蓄積されます。

↓補足

- ・オプションのハードディスクが装着されていない場合は、印刷文書は蓄積されません。
- ・ここではRPCSプリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript3プリンタードライバーを使用した場合の説明については、『PostScript 3』使用説明書を参照してください。
- ・主電源を「Off」にしても、蓄積された保留印刷文書は消去されずに残りますが、[イチジオキゼンショウキョ]や[ホゾンゼンショウキョ]が優先されます。設定については、「調整/管理メニュー」の[イチジオキゼンショウキョ]や[ホゾンゼンショウキョ]を参照してください。
- ・保留文書には文書名とパスワードを設定できます。ただし、どちらも必須ではありません。

参照

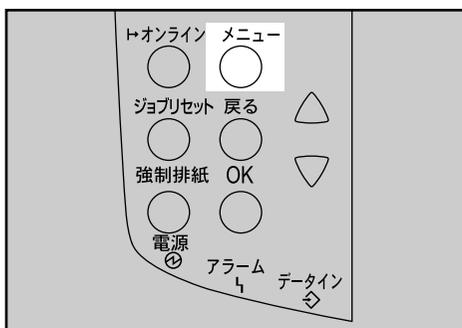
- P.13 「お使いになる前に」
- P.102 「保留印刷文書を消去する」
- P.112 「エラー文書を確認する」
- P.153 「調整 / 管理メニューの項目」

操作部を使って保留印刷する

■ 選択した文書のみを印刷する

3

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUJA047S

2 [▼] [▲] キーを押して「ホリユウインサツ フンシヨ」を選択し、[OK] を押します。

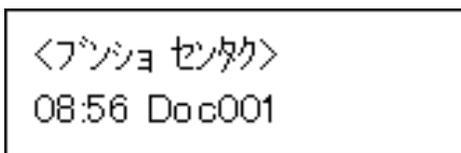
<メニュー>
ホリユウインサツ フンシヨ

3 [▼] [▲] キーを押して、「1. センタクフンシヨ インサツ」を表示させ、[OK] を押します。

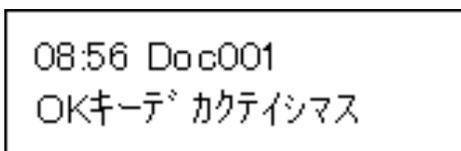
<ホリユウインサツ フンシヨ>
1. センタクフンシヨ インサツ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

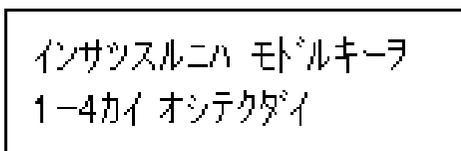
- 4 [▼] [▲] キーを押して、印刷する文書を表示させ、[OK] キーを押します。



- 5 メッセージを確認して、[OK] キーを押します。



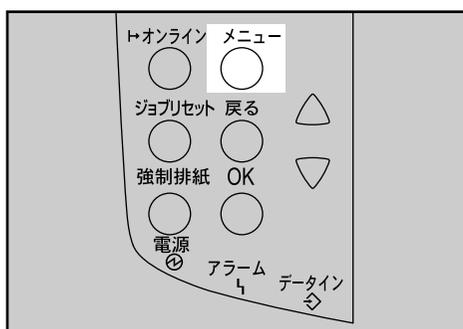
- 6 [戻る] キーを 1~4 回押します。



文書が印刷され、通常の画面に戻ります。
オプションのハードディスクに蓄積された文書は削除されます。

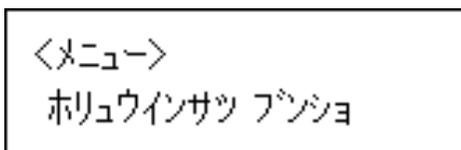
■すべての文書を印刷する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUJA047S

- 2 [▼] [▲] キーを押して「ホリユウインサツ フンショ」を選択し、[OK] を押します。



- 3 [▼] [▲] キーを押して、「2. ゼンブンシヨ インサツ」を表示させ、[OK] を押します。

〈ホリユウインサツ フンシヨ〉
2.ゼンフンシヨ インサツ

蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

- 4 [▼] [▲] キーを押して、印刷するユーザー ID を表示させ、[OK] キーを押します。

〈ユーザーID センタク〉
ZZZ1011

- 5 対象となる文書数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。

タイショウフンシヨスウ:4
OKキーテ^レ カクテイシマス

- 6 [戻る] キーを 1~4 回押します。

インサツスルニハ モドルキーヲ
1-4カイ オシテクダイ

文書が印刷されます。通常の画面に戻ります。

オプションのハードディスクに蓄積されていた文書は削除されます。

↓ 補足

- 印刷を中止する場合は、[戻る] キーを押します。
- 2 部目以降の印刷中に [ジョブリセット] を押すと、印刷を中止することができます。この場合、本機に蓄積した文書は消去されます。
- 他のジョブがある場合は、そのジョブの終了後に印刷されます。
- 蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、強制印刷をしてください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

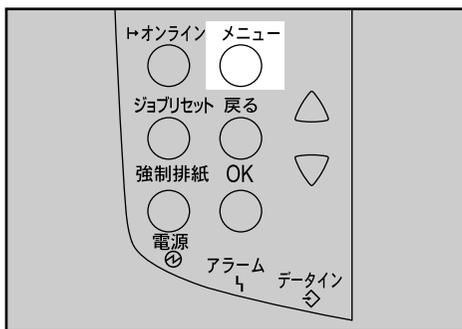
目 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.114 「強制印刷する」

保留印刷文書を消去する

■ 選択した文書のみを消去する

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



メニュー画面が表示されます。

2 [▼] [▲] キーを押して「ホリユウインサツ ブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<メニュー>
ホリユウインサツ ブンショ

3 [▼] [▲] キーを押して「3. センタクブンショショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。

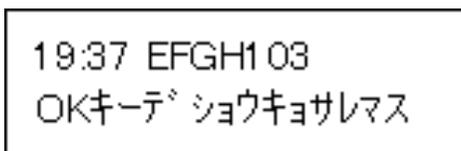
<ホリユウインサツ ブンショ>
3. センタクブンショショウキョ

蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

4 [▼] [▲] キーを押して削除する文書を表示させ、[OK] キーを押します。

<ブンショ センタク>
08:56 Doc001

- 5 文書を確認し、[OK] キーを押します。



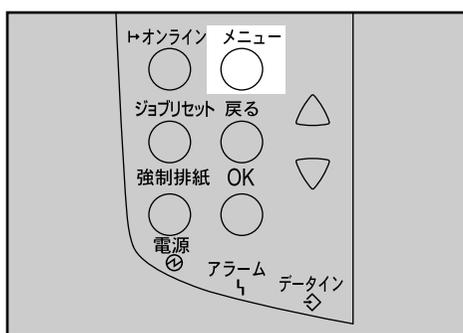
「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、保留印刷文書の選択画面に戻ります。

- 6 [オンライン] キーを押します。
通常の画面に戻ります。

3

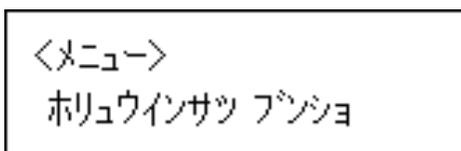
■すべての文書を消去する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

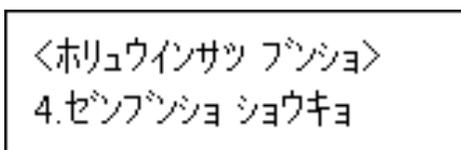


メニュー画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して「ホリユウインサツ ブンシヨ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3 [▼] [▲] キーを押して「4.ゼンブンシヨ ショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。



蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

- 4** [▼] [▲] キーを押し全文書消去するユーザー ID を選択し、[OK] キーを押します。

ユーザーID センタク ZZZ1011

- 5** 対象となる文書数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。

タイショウフンショウ:4 OKキーデ ショウキョサレマス

「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、保留印刷文書の選択画面に戻ります。

- 6** [オンライン] キーを押します。
通常の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・ 消去を取り消す場合は、[戻る] キーを押します。

保存文書印刷

本機に文書を蓄積し、必要に応じて印刷を行います。印刷終了後にも文書が消去されない
ので、繰り返し印刷するときなどに有効です。

★重要

- ・この機能は、オプションのハードディスクが装着されている場合に使用できます。
- ・以下の場合、文書は本機に蓄積されません。蓄積されなかった文書は、エラー文書表示
で確認できます。(印刷データによっては、以下の文書数よりも少なくなることがありま
す。)
- ・1文書あたり 1,000 ページを超える文書
- ・保存印刷と一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）が、合計して
100 ジョブ本機に蓄積されているときに、送信された 101 番目の文書
- ・保存印刷と一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）の合計が、1,000
ページを超えた場合

3

プリンターに保存文書データを送る

- 1 保存文書にする文書に印刷指示をします。
- 2 プリンタードライバーのプロパティの [基本] タブで、[印刷方法] から
[プリンターに保存する] または [プリンターに保存して印刷する] を選
択します。
 - ・[プリンターに保存する] を選択した場合は、本機に蓄積のみを行い、後から本機
の操作部で印刷します。
 - ・[プリンターに保存して印刷する] を選択した場合は、1 部目をすぐに印刷し、本
機にも文書を蓄積します。
 - ・「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。
- 3 [印刷方法の詳細 ...] をクリックします。
「印刷方法の詳細」画面が表示されます。
- 4 [ユーザー ID] を半角英数字 8 文字以内で入力します。
- 5 [OK] をクリックします。
- 6 印刷の指示をします。
本機に文書が蓄積されます。

↓補足

- ・ここでは RPCS プリンタードライバーを使用した場合の説明をしています。PostScript 3
プリンタードライバーを使用した場合の説明については、『PostScript 3』使用説明書を参
照してください。

- ・主電源を「Off」にしても、蓄積された保存文書は消去されずに残りますが、[イチジオキゼンショウキョ] や [ホゾンゼンショウキョ] が優先されます。設定については、「調整 / 管理メニュー」の [イチジオキゼンショウキョ] や [ホゾンゼンショウキョ] を参照してください。
- ・保存文書には文書名とパスワードを設定できます。ただし、どちらも必須ではありません。

目 参照

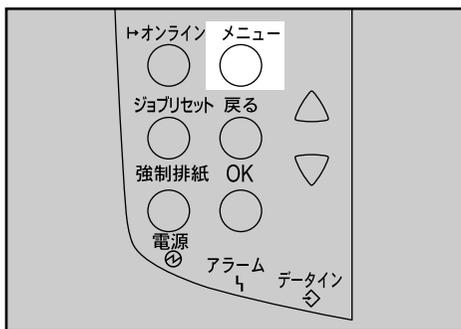
- ・P.13 「お使いになる前に」
- ・P.109 「保存文書を消去する」
- ・P.112 「エラー文書を確認する」
- ・P.153 「調整 / 管理メニューの項目」

3

操作部を使って保存文書を印刷する

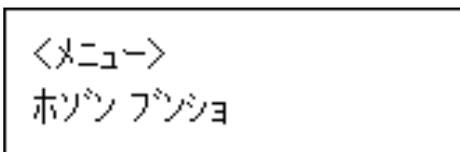
■ 選択した文書のみを印刷する

1 操作部の [メニュー] キーを押します。

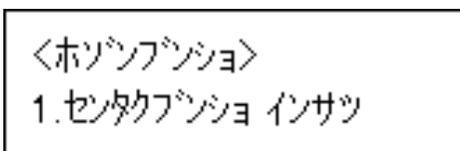


AUA047S

2 [▼] [▲] キーを押して「ホゾン ブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。

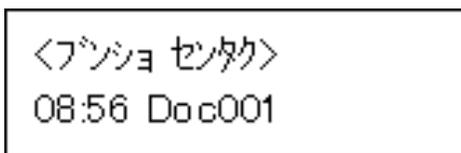


3 [▼] [▲] キーを押して「1. センタクブンショ インサツ」を表示させ、[OK] キーを押します。

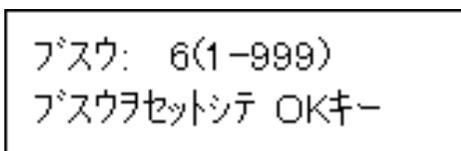


蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

- 4 [▼] [▲] キーを押して印刷する文書を表示させ、[OK] キーを押します。

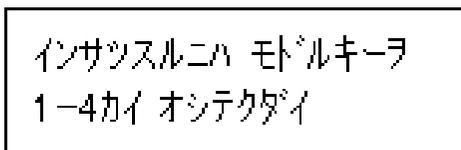


- 5 印刷部数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。



印刷部数を変更する場合は、[▼] [▲] キーを押して設定します。

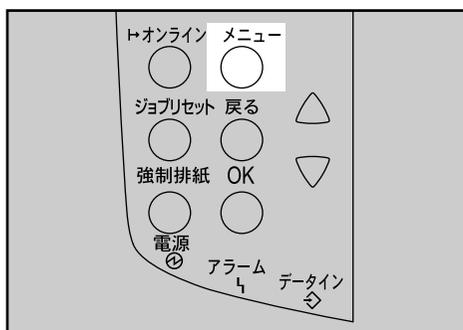
- 6 [戻る] キーを 1~4 回押します。



保存文書が印刷され、通常画面に戻ります。
印刷が終了しても、保存文書は消去されません。

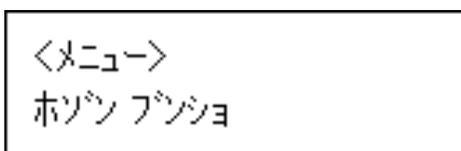
■すべての文書を印刷する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUA047S

- 2 [▼] [▲] キーを押して「ホソソ ンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▼] [▲] キーを押して「2. ゼンブンシヨ インサツ」を表示させ、[OK] キーを押します。

〈ホゾフンシヨ〉
2.ゼンフンシヨ インサツ

蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

- 4** 印刷するユーザー ID を選択し、[OK] キーを押します。

〈ユーザーID センタク〉
ZZZ1011

- 5** 対象となる文書数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。

タイショウフンシヨスウ:4
OKキーテ カクテイシマス

- 6** 印刷部数が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。

フスウ: 6(1-999)
フスウヲセツシテ OKキー

印刷部数を変更する場合は [▼] [▲] キーを押して印刷部数を設定します。
印刷部数を設定しなかった場合、過去に設定した中でもっとも少ない部数で、すべての文書が印刷されます。

- 7** [戻る] キーを 1~4 回押します。

インサツスルニハ モデルキーヲ
1-4カイ オシテクタイ

保存文書が印刷され、通常画面に戻ります。
印刷が終了しても、保存文書は消去されません。

↓ 補足

- ・文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力の画面が表示されます。パスワードを入力してください。
- ・蓄積されている保存文書の中で、パスワードが合致した文書、およびパスワードが設定されていない文書のみが印刷対象になります。
- ・パスワードが分からなくなった場合は、管理者にご相談ください。

- ・印刷を中止する場合は、[戻る] キーを押します。
- ・印刷開始後に [ジョブリセット] を押すと、印刷を中止することができます。[ジョブリセット] を押しても、保存文書は消去されません。
- ・蓄積した文書を印刷するのに必要な用紙サイズまたは用紙種類がトレイにセットされていない場合、操作部に警告画面が表示されます。トレイの設定を変更するか、強制印刷をしてください。画面の表示はオプションの装着状態などによって異なります。

目 参照

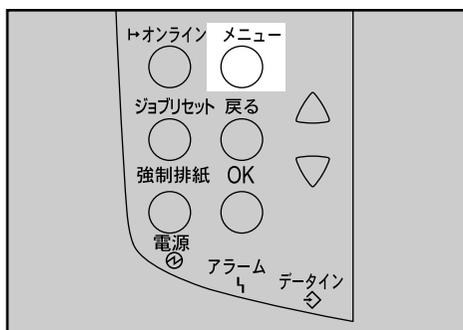
- ・P.13 「お使いになる前に」
- ・P.114 「強制印刷する」

3

保存文書を消去する

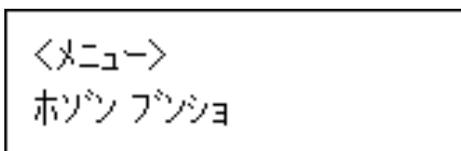
■ 選択した文書のみを消去する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

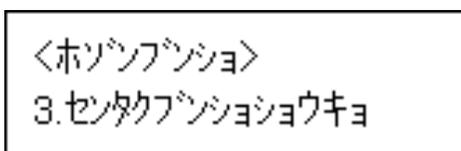


メニュー画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して「ホゾン ブンショ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3 [▼] [▲] キーを押して「3.センタクブンショ ショウキョ」を表示させ、[OK] キーを押します。

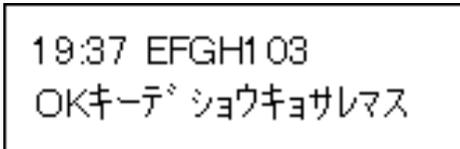


蓄積されている文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

- 4 [▼] [▲] キーを押し削除する文書を表示させ、[OK] キーを押します。



- 5 文書を確認し、[OK] キーを押します。

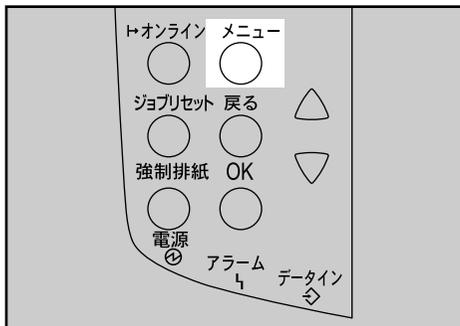


「ショウキョサレマシタ」というメッセージが表示され、保存文書印刷の選択画面に戻ります。

- 6 [オンライン] キーを押します。
通常の画面に戻ります。

■すべての文書を消去する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUA047S

メニュー画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して「ホソフンシヨ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▼] [▲] キーを押して「4. ゼンブンシヨ ショウキヨ」を表示させ、[OK] キーを押します。

〈ホゾフンシヨ〉
4.ゼンフンシヨ ショウキヨ

蓄積されている文書のユーザー ID が表示されます。

- 4** [▼] [▲] キーを押し削除するユーザー ID を表示させ、[OK] キーを押します。

〈ユーザーID センタク〉
ZZZ1011

消去の対象となる文書数が表示されます。

- 5** [OK] キーを押します。

タイショウフンシヨスウ:4
OKキーデ ショウキヨサレマス

「ショウキヨサレマシタ」というメッセージが表示され、保存文書印刷の選択画面に戻ります。

- 6** [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・ 文書にパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力してください。この場合は、パスワードに合致したものとパスワードが設定されていないものが消去対象となります。入力したものと違うパスワードの設定された文書を消去する場合は、同じ手順で操作してください。
- ・ パスワードが分からなくなった場合は、管理者にご相談ください。
- ・ 消去を取り消す場合は、[戻る] キーを押します。

エラー文書を確認する

エラーなどにより文書を印刷できなかった場合は、操作部で確認することができます。

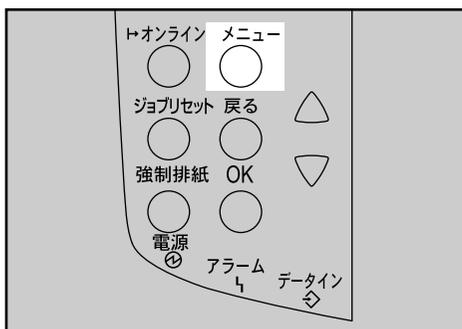
★重要

・エラー文書の表示は最新の 30 件が蓄積されます。すでに 30 件蓄積されているときに新たなエラーが加わると、最も古い履歴が消去されます。ただし、最も古い履歴が次の印刷の場合は消去されずに、蓄積エラーとして 30 件まで別に蓄積されます。エラー文書表示として、どちらも確認することができます。

- ・ 試し印刷文書
- ・ 機密印刷文書
- ・ 保留印刷文書
- ・ 保存文書

3

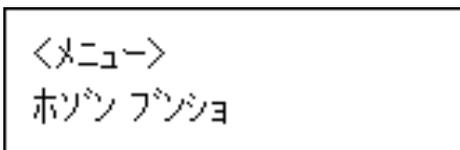
1 操作部の [メニュー] キーを押します。



AUA047S

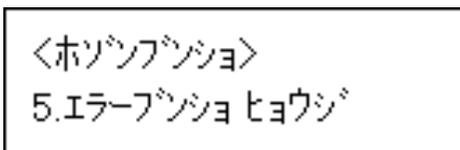
メニュー画面が表示されます。

2 [▼] [▲] キーを押してエラー文書の見たい文書種類を選択し、[OK] キーを押します。



ここでは保存文書を例にしています。

3 [▼] [▲] キーを押して「5. エラーソソシヨ ヒヨウジ」を表示させ、[OK] キーを押します。



蓄積されているエラー文書の印刷指示を出した時間とファイル名が表示されます。

4 [▼] [▲] キーを押して履歴を確認します。**5** 履歴を確認し終わったら、[戻る] キーを押します。
文書選択の画面に戻ります。**6** [オンライン] キーを押します。
通常の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・エラーになった文書を印刷するには、オプションのハードディスクに蓄積されている該当文書を印刷するか、または削除してから再度パソコンから印刷指示をしてください。

強制印刷する

印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に合致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときの操作について説明します。

★重要

・表紙、合紙が設定されている場合は、トレイの変更はできません。
印刷時に指定した用紙サイズ、用紙種類に合致するトレイがないときや、本機にセットした用紙がなくなったときは、操作部に警告画面が表示されます。
表示された画面の指示に従って、[強制排紙] キーを押し、トレイを選んで強制印刷をするか、[ジョブリセット] を押して印刷を中止してください。

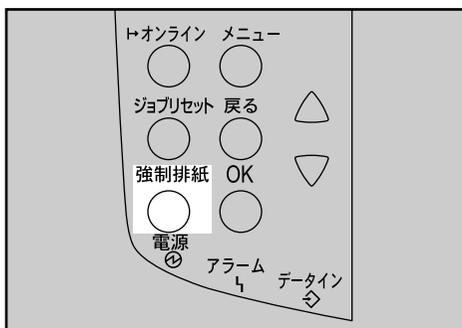
↓補足

・エラースキップの設定がされている場合は、設定時間経過後に、いずれかのトレイの用紙で印刷されます。

トレイを選んで印刷するとき

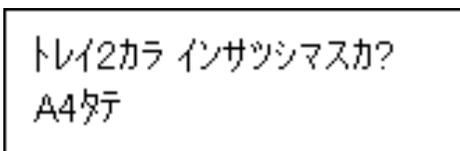
強制印刷で、トレイを選んで印刷する方法です。

1 警告画面で [強制排紙] キーを押します。



確認画面が表示されます。

2 さらに [強制排紙] キーを押してトレイを選択し、[OK] キーを押します。



選んだトレイで印刷されます。

用紙を補給して印刷したいときは、正しい用紙をセットしてからトレイを選んでください。

強制印刷を取り消す場合は、[戻る] キーを押します。

↓ 補足

- 用紙サイズが小さいトレイを選択すると、端が切れるなど正しく印刷されないことがあります。

印刷を中止する

印刷を中止する場合は、本機とパソコン両方から行います。中止する方法は印刷データの状態によって異なりますので、状況を確認し、以下の手順で操作してください。

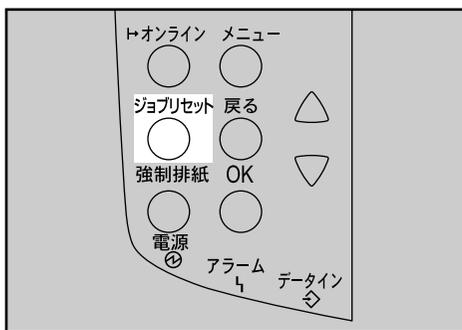
- 1 印刷を中止したいデータが、現在本機から印刷されているか確認します。
データが印刷されていなくてもデータインランプが点滅・点灯していれば、本機はデータを受信しています。
- 2 印刷を中止します。
データの印刷状況によって、次のいずれかの操作を行ってください。

3

中止したいデータが印刷されている場合

印刷を中止したいデータが印刷されている場合の、操作方法です。

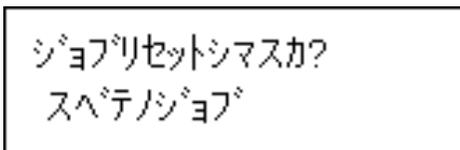
- 1 [ジョブリセット] キーを押します。



AUU007S

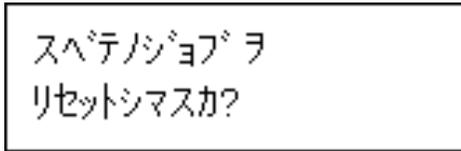
確認画面が表示されます。

- 2 [▼] [▲] キーを押して、印刷されていたジョブのみを消去したい場合は [カレントジョブ] を、すべてのジョブを消去したい場合は [スベテノジョブ] を表示させ、[OK] キーを押します。



印刷を継続したい場合は、[▼] [▲] キーを押して [インサツケイゾク] を表示させ、[OK] キーを押します。

3 確認画面が表示されます。確認して、[OK] キーを押します。



文書が消去されます。
消去を取り消すときは、[戻る] キーを押します。

↓ 補足

- 印刷を中止し、いったん印刷は中止されたにもかかわらず、データ途中から印刷が再び開始される場合は、「インターフェース設定」の [IF キリカエジカン] を長くしてください。
- 大容量データの印刷を中止したいときは、[ジョブリセット] キーを押した後、パソコン側からも印刷を中止することをお勧めします。

3

中止したいデータが印刷されていない場合

印刷を中止したいデータが、まだ印刷されていない場合の操作方法です。

- 1 Windows のタスクトレイのプリンターアイコンをダブルクリックします。
印刷中のプリンターのウィンドウが開くので、印刷を中止する文書の状態を確認します。
- 2 印刷を中止する文書のドキュメント名をクリックして反転表示させます。
- 3 [ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。
印刷が中止されます。

↓ 補足

- Windows 95/98/Me では [印刷中止]、Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 および Windows NT 4.0 では [キャンセル] をクリックします。
- Windows 95/98/Me では、[プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、ネットワークプリンターとしてご使用の場合、他のユーザーのドキュメントをローカルのパソコンから削除することはできません。
- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 では、[プリンタ] メニューの [すべてのドキュメントの取り消し] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[すべてのドキュメントの取り消し] を使って印刷を中止するには、「プリンタの管理」のアクセス権が必要です。
- Windows NT 4.0 では、[プリンタ] メニューの [印刷ドキュメントの削除] をクリックすると、印刷待ち状態のすべてのドキュメントが削除されます。ただし、[印刷ドキュメントの削除] を使って印刷を中止するには、「フルコントロール」のアクセス権が必要です。
- 印刷の中止を選択したドキュメントの印刷が開始している場合は、プリンターのウィンドウからドキュメント名が消えるまで、多少時間がかかります。

登録したフォームで印刷する（イメージオーバーレイ）

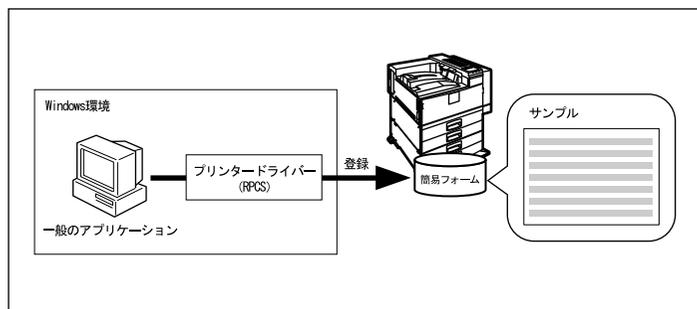
本機に登録したフォームデータと印刷する原稿を合成して、一枚の原稿として印刷することができます。

★重要

- ・この機能は、オプションのハードディスクが装着されている場合に使用できます。

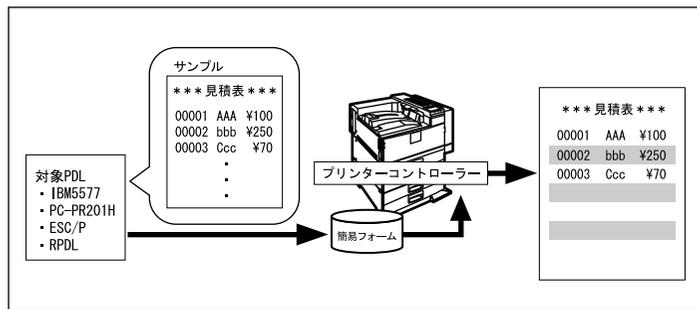
3

市販のWindows対応アプリケーションソフトを使用して作成したフォームデータを、RPCSプリンタードライバーを使って本機に登録します。



AQU704S

RPDL、またはオプションのエミュレーション R16、R55、R98 を使用してフォーム実行を行うと、印刷する原稿と登録しておいたフォームを合成して印刷を行います。



AQU710S

☰参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

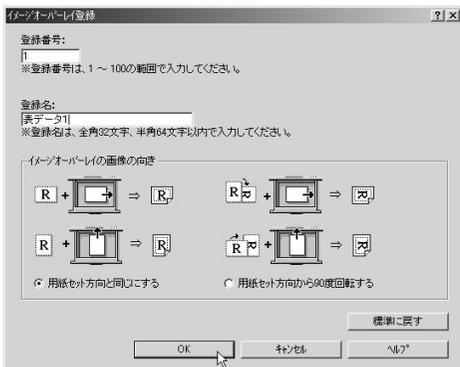
フォームデータの登録

ここでは作成したフォームデータを本機に登録する方法について説明します。

★重要

- RPCS プリンタードライバーがインストールされている必要があります。

- 1 市販の Windows 対応アプリケーションソフトで、フォームデータを作成します。
- 2 アプリケーションソフトの [ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。
- 3 本機の RPCS プリンタードライバーを選択し、[プロパティ] をクリックします。
プリンタードライバーのプロパティが表示されます。
- 4 [ユーティリティ] タブをクリックします。
- 5 [イメージオーバーレイ登録] のチェックボックスをチェックして、[詳細] をクリックします。
イメージオーバーレイ登録の画面が表示されます。
- 6 必要に応じて項目を設定し、[OK] をクリックします。



- 7 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。
- 8 [OK] をクリックし、本機へのフォーム登録を終了します。

↓補足

- 登録は 300 文書までできます。
- 登録したフォームを各給紙トレイに割り当てることができます。詳しくは、Web Image Monitorでイメージオーバーレイ用フォーム割り当てエリア内のヘルプを参照してください。

登録したフォームを使用して印刷する

基幹系業務アプリケーションやホスト端末エミュレーションの設定にコマンドを追加することによって、イメージオーバーレイ印刷を実現することができます。

★重要

- ・RPDL、またはオプションのエミュレーション R16、R55、R98 が必要です。
ここでは IBM AS/400® Pcomm の PDT ファイルの設定例をあげます。

```

EJC EQU 1B 7E 01 00 00
INZ EQU 1B 7E 0E 00 01 06
RJ1 EQU @ P J L 20 SET 20 FORM EXECUTE 20 = 20 ON
RJ2 EQU @ P J L 20 SET 20 FORM EXECUTE NUMBER 20 = 20 1
END_MACROS イメージオーバーレイ呼び出し
/***** Session Parameters *****/
MAXIMUM_PAGE_LENGTH=066
MAXIMUM_PRINT_POSITION=132
DEFAULT_CPI?=010
DEFAULT_LPI?=006
COMPRESS_LINE_SPACING?=NO
FORM_FEED_ANY_POSITION?=YES
HORIZONTAL_PEL=120
UNITS_OF_DRAW_LINE=
KANJI_CODE?=SHIFT_JIS
ZENKAKU_SPACE=
PAGE_LENGTH_TYPE?=6INCH
/***** Control Codes *****/
START JOB=RJ1 RJ2 INZ SEL LL6 P10
END JOB=INZ
BACKSPACE=BAK
BELL=BELL

```

AGZ024

ソートについて

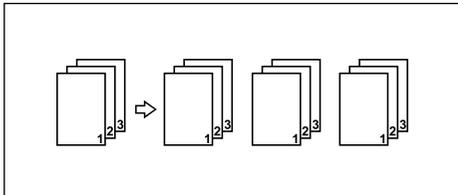
会議資料など複数部数の印刷をする場合、ページ順に仕分けして印刷できます。この機能を「ソート」といいます。ソートは、パソコンから送信されてきたデータをメモリーに読み込むことによって行います。

↓ 補足

- ・ソート可能なページ数は、RAM による場合は最大 100 ページ、ハードディスクを増設した場合は最大 1,000 ページです。

◆ ソート

1 部ずつそろえて印刷します。



↓ 補足

- ・一部目でエラースキップが発生した場合は、ソートは解除されます。
- ・一部目で強制印刷が発生した場合は、ソートは解除されます。
- ・印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

☰ 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

スプール印刷について

スプール印刷とは、パソコンから転送される印刷ジョブを一時的に本機に蓄積して印刷する機能です。スプール印刷をすると、大容量のデータのと看、パソコンが早く印刷処理から開放されます。

★重要

- ・この機能は、オプションのハードディスクが装着されている場合に使用できます。
- ・スプール印刷中は、ハードディスクへのアクセスが行われ、データインランプが点滅します。スプール印刷中に本機やパソコンの電源を切ると、ハードディスクが破損するおそれがあります。スプール印刷中は本機やパソコンの電源を切らないでください。
- ・「diprint」「ftp」「IPP」「LPR」「SMB (TCP/IP (IPv4))」「sftp」以外のプロトコルで受信したデータは、スプール印刷できません。
- ・本機の操作部の画面にはスプールジョブの一覧は表示されません。

◆スプール印刷を設定する

Web ブラウザと telnet で設定できます。

- ・Web ブラウザの場合
詳しくは「Web ブラウザを使う」を参照してください。
- ・telnet の場合
「spoolsw spool on」で設定します。詳しくは「UNIX を使う」を参照してください。

◆Web ブラウザからスプールジョブを閲覧・削除する

Web ブラウザを起動し、URL としてプリンターの IP アドレスを指定すると、Web Image Monitor のトップページが表示されます。

詳しくは「Web ブラウザを使う」を参照してください。

↓補足

- ・一度に最大 150 ジョブまでスプールできます。
- ・スプール印刷をすると、1 ページ目の印刷開始は遅くなります。
- ・プリンターに蓄積されたスプールジョブは、Web ブラウザから閲覧・削除することができます。

☰参照

- ・P.13 「お使いになる前に」
- ・P.175 「Web ブラウザを使う」
- ・P.209 「telnet を使う」

表紙について

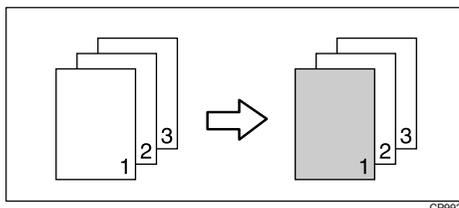
表紙用の用紙に印刷します。表紙には両面印刷することもできます。

★重要

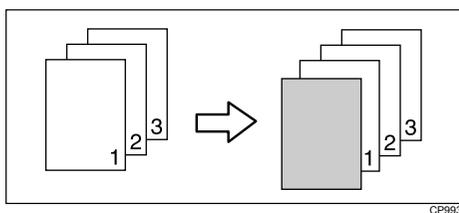
- ・ソートの設定が必要です。回転ソートの設定はできません。

◆片面印刷の場合

- ・表紙用の用紙に印刷するとき

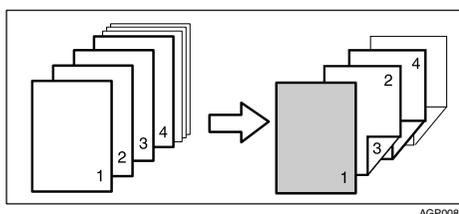


- ・表紙用の用紙に印刷しないとき

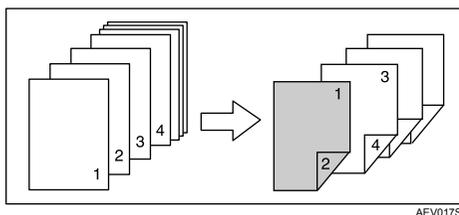


◆両面印刷の場合

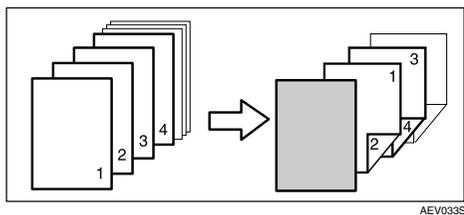
- ・表紙用の用紙に片面印刷するとき



- ・表紙用の用紙に両面印刷するとき



- 表紙用の用紙に印刷しないとき



↓ 補足

- 表紙用の用紙は印刷する用紙と同じサイズのものと同じ方向にセットします。
- 印刷方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

📖 参照

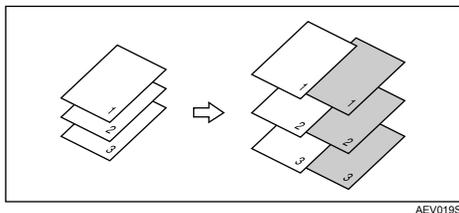
- P.13 「お使いになる前に」

合紙について

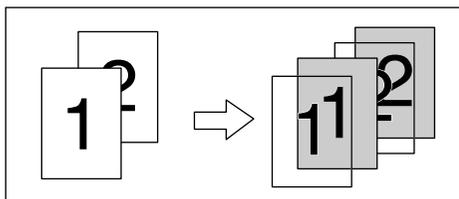
ページごとに合紙を挿入します。

★重要

- ・この機能は、給紙トレイが2つ以上装着されている場合に使用できます。
- ・両面印刷、表紙が指定されているときは、合紙の挿入はできません。
- ・合紙に印刷する

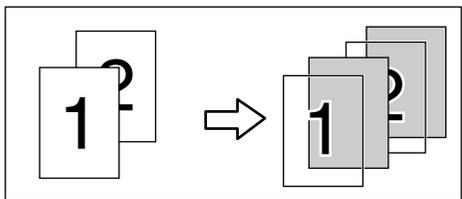
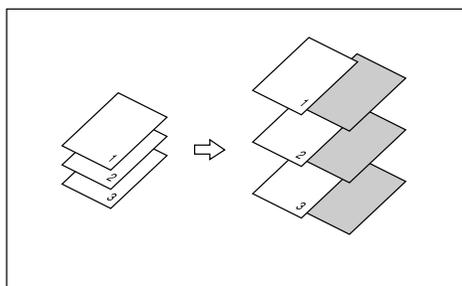


AEV019S



AEV020S

- ・合紙に印刷しない



CP997

↓補足

- ・ソートは設定できません。

☰参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

印刷終了後にプリンターのエミュレーションを切り替える

複数のパソコンでプリンターを共有している場合で、その中に DOS で印刷しているパソコンがあるときに使用する機能です。

通常、DOS から印刷するには、使用するアプリケーションに応じてプリンターのエミュレーションを設定しておく必要があります。印刷後のエミュレーションとして DOS から印刷するときのエミュレーション（または、プログラム）を選択しておくこと、次の印刷が DOS からの場合でもエミュレーションを切り替えずに印刷することができます。

3

- 1 アプリケーションで文書を作成し、プリンタードライバーの設定画面を表示します。
- 2 ウィンドウタイプとして「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブで [アイコンの変更/新規作成] をクリックし、[その他] タブをクリックします。
「機能別ウィンドウ」を選択しているときは、[その他] タブをクリックします。
- 3 [印刷後のエミュレーション] ボックスのドロップダウンメニューからエミュレーションを選択します。
Windows だけでお使いの場合は、[なし] または [直前のエミュレーション] を選択してください。[直前のエミュレーション] を選択すると、印刷前に設定されていたエミュレーションに戻ります。
- 4 「ワンクリック設定」選択時は [名前をつけて保存] または [上書き保存] をクリックし、設定を保存します。
- 5 その他の印刷条件を必要に応じて指定し、[OK] をクリックします。
プリンタードライバーの設定画面が閉じます。
- 6 印刷の指示をします。

4. 用紙に独自の名前をつけて使用する

用紙に独自の名前を付けて登録できます。

用紙種類の登録から使用するまでの流れ

用途にあった用紙種類を選び、ユーザー用紙種類として独自の名前を付けて登録し、印刷するまでの流れを説明します。

この章では、「用紙名称」を「ハガキ」と名前をつけて登録し、手差しトレイから印刷する例で説明します。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- 本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
- RPCS プリンタードライバーで使用できます。
- Windows 2000 以降の OS で使用できます。Windows 2000 より前の OS で使用した場合、ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバーの表示が「普通紙」に置き換わります。
- プリンタードライバーの「設定の保存／呼び出し」機能には対応していません。ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバーの表示が「普通紙」に置き換わります。
- ご使用になっているプリンタードライバーの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバーで文字が正しく表示されない場合があります。
- 英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。
- ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

◆「用紙名称」を「ハガキ」として手差しトレイから印刷する場合のステップ 1~4

- 1) Web Image Monitor で、用紙種類に名前をつけて登録します。印刷する際、登録したユーザー用紙種類の名称を、プリンタードライバーで選択すると、用紙種類が自動で選択されます。
「用紙名称」に「ハガキ」と名前をつけ、「用紙種類」は「厚紙2」を選びます。
設定について詳しくは、「用紙種類に名前をつけて登録する」を参照してください。
- 2) Web Image Monitor で、トレイにユーザー用紙種類を設定します
手差しトレイの用紙種類を、「+ハガキ (Custom 1)」に設定します。
設定について詳しくは、「4.3 トレイにユーザー用紙種類を設定する」を参照してください。
- 3) 本機の給紙トレイに使用したい用紙をセットします
手差しトレイに郵便はがきをセットします。
設定について詳しくは、『ハードウェアガイド』「用紙をセットする」を参照してください。

- 4) RPCS プリンタードライバーで、登録した用紙種類に印刷をします
「用紙種類」から「+ハガキ」を選び、印刷します。「用紙種類」として「+ハガキ」を選択することで、郵便はがきを印刷するときに適した厚紙2が自動で設定されることとなります。用途に合った名称をつけることができるので、用紙選択が容易になります。

設定について詳しくは、「登録した用紙種類に印刷をする」を参照してください。

↓ 補足

- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。
- 双方向通信の働く条件に関しては「双方向通信が働く条件」を参照してください。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.57 「双方向通信が働く条件」
- P.129 「用紙種類に名前をつけて登録する」
- P.131 「トレイにユーザー用紙種類を設定する」
- P.133 「登録した用紙種類に印刷をする」

用紙種類に名前をつけて登録する

Web Image Monitor の管理者モードで設定します。

★重要

- ・英数カタカナ半角文字以外の名称を登録すると、本機操作部の画面の文字が正しく表示されない場合があります。

1 Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://（本機のアドレスまたはホスト名）」と入力し、本機にアクセスします。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機のアドレスまたはホスト名）」と入力します。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

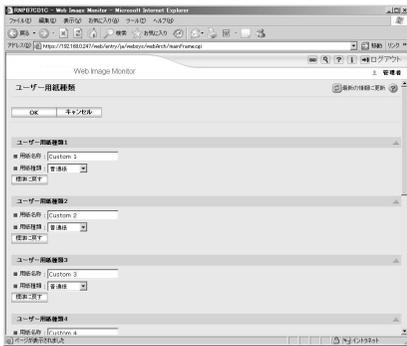
2 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

3 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

4 画面左のメニューから [設定] をクリックします。

5 [機器] エリアの [ユーザー用紙種類] をクリックします。



ユーザー用紙種類の設定画面が表示されます。

6 以下の項目を設定します。

郵便はがきに印刷する場合を例にして説明します。

- ・用紙名称：用紙の用途を判別できるような名称を入力します。
「ハガキ」と入力します。
- ・用紙種類：用途にあった用紙の種類をドロップダウンメニューから選びます。
「厚紙2」を選択します。郵便はがきを印刷する場合は、用紙種類として「厚紙2」を設定しておきます。設定が不適切な場合、紙づまりなどの原因になります。使用する用紙と用紙種類との関係については、『ハードウェアガイド』「用紙の種類ごとの注意」を参照してください。

7 [OK] をクリックします。

↓ 補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 最大 8 種類までユーザー用紙種類を登録できます。

📖 参照

- 『ハードウェアガイド』「用紙の種類ごとの注意」

トレイにユーザー用紙種類を設定する

給紙トレイと登録した用紙種類を関連付けます。

印刷する前に、給紙トレイに用紙をセットします。Web Image Monitor、または本機の操作部を使って、トレイにユーザー用紙種類を設定します。

↓ 補足

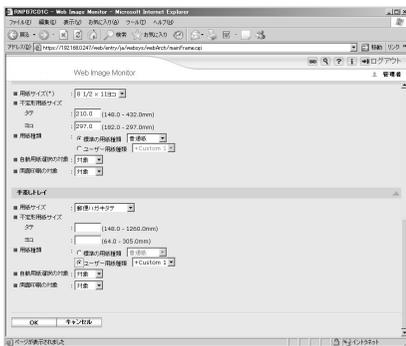
- ・給紙トレイに用紙をセットする方法については、『ハードウェアガイド』「用紙をセットする」を参照してください。
- ・用紙種類を本機の操作部から設定する方法については、『ハードウェアガイド』「給紙トレイの用紙種類を設定する」「手差しトレイ（マルチ）の用紙種類を設定する」を参照してください。

4

Web Image Monitor からトレイの設定をする

Web Image Monitor で給紙トレイへの用紙種類の設定をします。

- 1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。
- 2 画面左のメニューから [設定] をクリックします。
- 3 [機器] エリアの [用紙] をクリックします。
- 4 設定したいトレイの用紙種類：をユーザー用紙種類にして、登録しておいた用紙種類の名称を選びます。



先程登録した「ハガキ」は [+ハガキ (Custom 1)] と表示されています。ここでは例として、手差しトレイにユーザー用紙種類「ハガキ」を設定しました。必要に応じてその他の項目を設定します。

- 5 [OK] をクリックします。
- 6 [ログアウト] をクリックします。
- 7 Web ブラウザを閉じます。

☰ 参照

- 『ハードウェアガイド』 「用紙をセットする」
- 『ハードウェアガイド』 「給紙トレイの用紙種類を設定する」 「手差しトレイ（マルチ）の用紙種類を設定する」

登録した用紙種類に印刷をする

登録した用紙種類を選択して印刷します。

★重要

- ・RPCS プリンタードライバースで使用できます。
- ・本機とお使いのパソコンとの間で双方向通信が働いているときに使用できます。
- ・Windows 2000 以降の OS で使用できます。Windows 2000 より前の OS で使用した場合、ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバースの表示が「普通紙」に置き換わります。
- ・「設定の保存／呼び出し」機能には対応してません。ユーザー用紙種類として登録した用紙種類は、プリンタードライバースの表示が「普通紙」に置き換わります。
- ・ご使用になっているプリンタードライバースの各国言語以外で名称を登録すると、プリンタードライバースで文字が正しく表示されない場合があります。
- ・ユーザー用紙種類の名称はログ収集の対象にはなりません。

1 印刷する文書に印刷指示をします。

2 プリンタードライバースのプロパティの [基本] タブで、用紙種類：から登録しておいた用紙種類を選択します。

「ワンクリック設定」を選択しているときは、[印刷機能] タブをクリックします。

3 印刷の指示をします。

あらかじめ登録しておいた設定で印刷されます。

↓補足

- ・設定方法の詳細は、プリンタードライバースのヘルプを参照してください。

5. プリンター本体の設定

本機の操作部に表示されるメニューや、設定項目についての説明です。

[メニュー] キー機能一覧

操作部では、本機を使用するために必要な各種の基本的な設定や調整を行うことができます。ここでは設定可能なメニューと項目一覧を説明します。

- ◆ **メモリー内残存データ状態確認 (データジョウタイカクニン)**
メモリー内のデータ状況を確認します。

↓ 補足

- ・ オプションのセキュリティカード装着時に表示されます。

目 参照

- ・ P.142 「メモリー内残存データ状態確認メニュー」

- ◆ **試し印刷文書 (タメシインサツ ブンショ)**

設定項目
1. 選択文書印刷 (センタクブンショ インサツ)
2. 全文書印刷 (ゼンブンショ インサツ)
3. 選択文書消去 (センタクブンショ ショウキヨ)
4. 全文書消去 (ゼンブンショ ショウキヨ)
5. エラー文書表示 (エラーブンショ ヒョウジ)

↓ 補足

- ・ オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。

目 参照

- ・ P.81 「試し印刷」

- ◆ **機密印刷文書 (キミツインサツ ブンショ)**

設定項目
1. 選択文書印刷 (センタクブンショ インサツ)
2. 全文書印刷 (ゼンブンショ インサツ)
3. 選択文書消去 (センタクブンショ ショウキヨ)
4. 全文書消去 (ゼンブンショ ショウキヨ)
5. エラー文書表示 (エラーブンショ ヒョウジ)

↓ 補足

- ・ オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。

目 参照

- P.89 「機密印刷」

◆ 保留印刷文書（ホリユウインサツ プンショ）

設定項目
1. 選択文書印刷（センタクブンショ インサツ）
2. 全文書印刷（ゼンブンショ インサツ）
3. 選択文書消去（センタクブンショ ショウキョ）
4. 全文書消去（ゼンブンショ ショウキョ）
5. エラー文書表示（エラーブンショ ヒョウジ）

↓ 補足

- オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。

目 参照

- P.98 「保留文書印刷」

◆ 保存文書（ホゾン プンショ）

設定項目
1. 選択文書印刷（センタクブンショ インサツ）
2. 全文書印刷（ゼンブンショ インサツ）
3. 選択文書消去（センタクブンショ ショウキョ）
4. 全文書消去（ゼンブンショ ショウキョ）
5. エラー文書表示（エラーブンショ ヒョウジ）

↓ 補足

- オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。

目 参照

- P.105 「保存文書印刷」

◆ 用紙設定（ヨウシセツテイ）

設定項目
1. 手差し用紙サイズ（テサシ ヨウシサイズ）
2. トレイ用紙サイズ（トレイ ヨウシサイズ）
3. 用紙種類（ヨウシシュルイ）
4. 両面印刷トレイ（リョウメンインサツトレイ）*1
5. 自動トレイ選択（ジドウトレイセンタク）
6. 優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）

*1 両面印刷ユニットが装着されているときに表示されます。

目 参照

- ・ P.144 「用紙設定メニュー」

◆ テスト印刷 (テストインサツ)

設定項目
1. 一括リスト印刷 (イッカツリストインサツ)
2. システム設定リスト (システムセッテイリスト)
3. エラー履歴 (エラーリレキ)
4. ネットワークサマリー (ネットワークサマリー)
5. 印刷条件リスト (インサツジョウケンリスト)
6. メニューリスト (メニューリスト)
7. 登録フォームリスト (トウロクフォームリスト)
8. 全文字印刷 (ゼンモジインサツ)
9. フォントリスト (フォントリスト)
10. PS 情報リスト (PS ジョウホウリスト)
11. PDF 情報リスト (PDF ジョウホウリスト)
12. ヘキサダンプ (ヘキサダンプ)

↓ 補足

- ・ 使用するエミュレーションによって表示されないものがあります。

目 参照

- ・ P.148 「テスト印刷メニュー」

◆ 給紙トレイ選択 (キュウシトレイセンタク)

印刷する給紙トレイを切り替えます。

↓ 補足

- ・ RPD、R16、R55、R98、RTIFF、RP-GL/GL2 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。
- ・ 詳しくは各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

◆ エミュレーション呼び出し (エミュレーションヨビダシ)

エミュレーションやプログラムを切り替えるときに使用します。

↓ 補足

- ・ 詳しくは各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

◆ 印刷条件 (インサツジョウケン)

アプリケーションやパソコンに合わせて印刷条件を設定します。

↓ 補足

- ・ RPD、R16、R55、R98、RTIFF、RP-GL/GL2 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。
- ・ 詳しくは各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

◆ 印刷部数（インサツブスウ）

印刷部数を設定します。

↓ 補足

- RTIFF、RP-GL/GL2 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。
- 詳しくは各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

◆ プログラム登録（プログラム トウロク）

設定した印刷条件を登録します。

↓ 補足

- RPD、R16、R55、R98、RTIFF、RP-GL/GL2 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。
- 詳しくは各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

◆ 調整 / 管理（チョウセイ / カンリ）

設定項目
1. 濃度調整（ノウドチョウセイ）
2. 印刷位置調整（インサツイチ チョウセイ）
3. カール低減（カールテイゲン）
4. 一時置き文書全消去（イチジオキゼンショウキョ）
5. 保存文書全消去（ホゾン ゼンショウキョ）
6. HD フォーマット（HD フォーマット）
7. 封筒レバーメッセージ
8. 日付 / 時刻設定（ヒツケ / ジコクセツテイ）
9. 電波状態（デンパジョウタイ）
10. IEEE 802.11b 設定値初期化（ムセンセツテイチ ショキカ）
12. ブザー音（ブザーオン）
13. ウォームアップ通知音（ウォームアップツウチオン）

↓ 補足

- 装着されているオプションによって表示されないものがあります。

目 参照

- P.153 「調整 / 管理メニュー」

◆ システム設定 (システムセッテイ)

設定項目
1. エラーレポート印刷 (エラーレポート インサツ)
2. エラースキップ (エラースキップ)
3. 画像エラー処理 (ガゾウエラーショリ)
4. エラー表示設定 (エラーヒョウジセッテイ)
5. 180度回転 (180ドカイテン)
6. 省エネモード (ショウエネモード)
7. オートリセット設定 (オートリセットセッテイ)
8. 一時置き文書自動消去設定 (イチジオキ ショウキョ)
9. 保存文書自動消去設定 (ホゾン ショウキョ)
10. エミュレーション検知 (エミュレーション ケンチ)
11. 優先エミュレーション (ユウセン エミュレーション)
12. 優先メモリー (ユウセンメモリー)
13. スプール印刷 (スプールインサツ)
14. 補助用紙サイズ (ホジョヨウシサイズ)
15. レターヘッド紙設定 (レターヘッドシ セッテイ)
16. 手差し設定選択 (テサシセッテイセンタク)
17. RAM ディスク (RAM ディスク)
18. 自動メール通知 (ジドウメールツウチ)

↓ 補足

- スプール印刷 (スプールインサツ)、一時置き文書自動消去設定 (イチジオキ ショウキョ)、保存文書自動消去設定 (ホゾン ショウキョ) は、オプションのハードディスクを装着しているときに表示されます。
- RAM ディスク (RAM ディスク) は、オプションのハードディスクを装着していると表示されません。

目 参照

- P.156 「システム設定メニュー」

◆ システム設定 (EM)(システムセッテイ (EM))

設定項目
1. 白紙排紙 (ハクシ ハイシ)
2. 用紙なしエラー (ヨウシナシエラー)
3. 自動排紙時間 (ジドウハイシジカン)
4. マクロキャッシュ (マクロキャッシュ)
5. リミットレス給紙 (リミットレスキュウシ)

↓ 補足

- RPD、R16、R55、R98、RTIFF、RP-GL/GL2 のいずれかをエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。
- マクロキャッシュは RPD をエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

目 参照

- P.163 「システム設定 (EM) メニュー」

◆ PS 設定 (PS セッテイ)

設定項目
1. 両面設定 (リョウメンセッテイ)
2. 白紙排紙 (ハクシ ハイシ)
3. データ形式 (データケイシキ)
4. 解像度 (カイゾウド)
5. 最大領域印刷 (サイダイリョウイキ)

↓ 補足

- PostScript 3 をエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

目 参照

- P.166 「PS 設定メニュー」

◆ PDF 設定 (PDF セッテイ)

設定項目
1. パスワード変更 (パスワードヘンコウ)
2. グループパスワード (グループパスワード)
3. 両面設定 (リョウメンセッテイ)
4. 白紙排紙 (ハクシ ハイシ)
5. 解像度 (カイゾウド)
6. 最大領域印刷 (サイダイリョウイキ)

↓ 補足

- PDF をエミュレーション呼び出しで設定しているときに表示されます。

目 参照

- P.168 「PDF 設定メニュー」

◆ インターフェース設定（インターフェースセッテイ）

設定項目
1. 受信バッファ（ジュシンバッファ）
2. I/F 切替時間（I/F キリカエジカン）
3. ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）
4. パラレル I/F 設定（パラレル I/F セッテイ）
7. USB ポート固定（USB ポートコテイ）

目 参照

- ・ P.170 「インターフェース設定メニュー」

◆ 表示言語切替（ヒョウジゲンゴ）

設定項目
日本語（ニホンゴ）
English（English）

↓ 補足

- ・ オプションのエミュレーションは、英語表示には対応していません。

目 参照

- ・ P.174 「表示言語メニュー」

メモリー内残存データ状態確認メニュー

オプションのハードディスクが装着されている場合は、メモリー内のデータ状態を確認します。

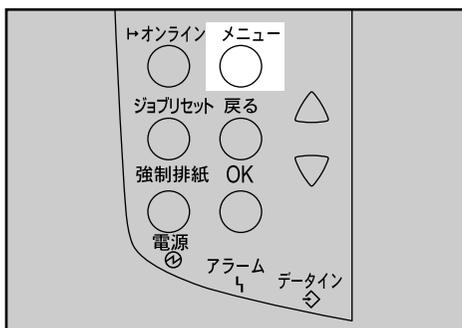
★重要

- ・この機能は、オプションのセキュリティカード装着時に表示されます。

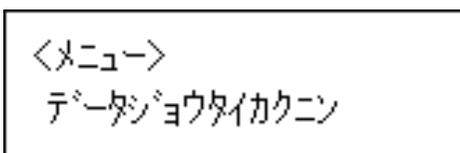
メモリー内のデータ状態を確認する

1 操作部の【メニュー】キーを押します。

5



2 [▲] [▼] キーを押して「データジョウタイカクニン」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** メモリー内にデータが残っている場合は「ショウキョタイショウデータ
アリ」、データが残っていない場合は「ショウキョタイショウデータ
ナシ」、データ消去実行中は「ショウキョチュウデス」と表示されます。

ショウキョタイショウデータ
アリ

ショウキョタイショウデータ
ナシ

ショウキョチュウデス

- 4** [OK] キーを押します。
メニュー画面に戻ります。

E 参照

- P.13 「お使いになる前に」

用紙設定メニュー

各トレイにセットする用紙のサイズや種類の設定など、用紙設定メニューで設定できる項目の説明です。

用紙設定メニューの設定項目

用紙設定メニューの設定項目の説明です。

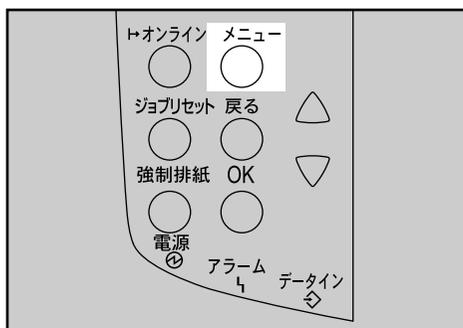
- ◆ **手差し用紙サイズ (テサシ ヨウシサイズ)**
手差しトレイにセットする用紙サイズを設定します。
設定できる用紙サイズについては、『ハードウェアガイド』「用紙のセット」を参照してください。
- ◆ **トレイ用紙サイズ (トレイ ヨウシサイズ)**
用紙サイズダイヤルが「*」に設定されている給紙トレイにセットする用紙サイズを設定します。
設定できる用紙サイズについては、『ハードウェアガイド』「用紙のセット」を参照してください。
- ◆ **用紙種類 (ヨウシシュルイ)**
セットする用紙の種類を設定します。
本機のパネルで必ず用紙種類を設定してください。設定していないと、期待した印刷結果が得られない場合があります。
設定できる用紙種類については、『ハードウェアガイド』「用紙のセット」を参照してください。
- ◆ **両面印刷トレイ (リョウメンインサツトレイ)**
オプションの両面印刷ユニットが装着されているときのメニュー項目です。
トレイごとに両面印刷をするかしないかを設定します。
工場出荷時は、すべてのトレイが「リョウメンインサツスル」に設定されています。
- ◆ **自動トレイ選択 (ジドウトレイセンタク)**
「自動トレイ選択」を設定すると、プリンタードライバーから指定された用紙サイズ、用紙種類に応じて、給紙トレイが自動的に選択されます。工場出荷時は、すべてのトレイが「タイショウニスル」になっています。
- ◆ **優先給紙トレイ (ユウセンキュウシトレイ)**
「優先給紙トレイ」とは、本機の電源を入れたときに選択される給紙トレイで、自動トレイ選択やリミットレス給紙のときに一番最初に対象となるトレイです。工場出荷時の設定は「トレイ 1」です。

用紙設定メニューの設定を変更する

特定のトレイを自動トレイ選択の対象から外す

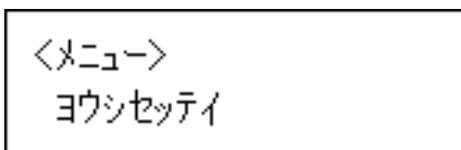
自動トレイ選択の対象としないトレイを設定します。

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

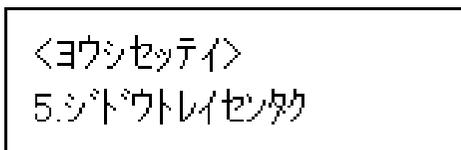


AUA047S

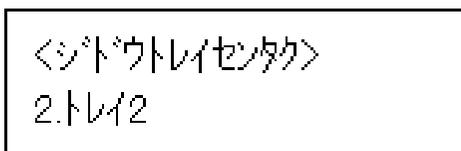
- 2 [▲] [▼] キーを押して、「ヨウシセツテイ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3 [▲] [▼] キーを押して、「5. ジドウトレイセンタク」を表示させ、[OK] キーを押します。

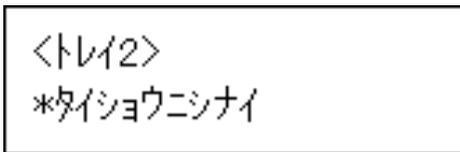


- 4 [▲] [▼] キーを押して、自動トレイ選択の対象としないトレイを表示させ、[OK] キーを押します。



対象にするかどうかの選択画面が表示されます。

- 5** [▲] [▼] キーを押して、「タイショウニシナイ」を表示させ、[OK] キーを押します。



設定が確定し、自動トレイ選択メニューに戻ります。

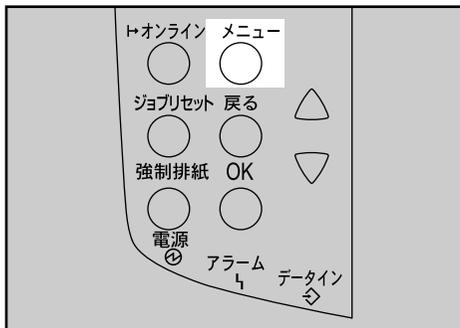
- 6** [オンライン] キーを押します。
通常の画面が表示されます。

優先給紙トレイを設定する

優先給紙トレイを設定します。

5

- 1** 操作部の [メニュー] キーを押します

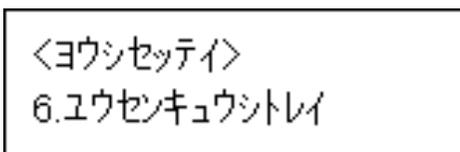


AUA047S

- 2** [▲] [▼] キーを押して、「ヨウシセツテイ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▲] [▼] キーを押して「6. ユウセンキュウシトレイ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 4** [▲] [▼] キーを押して目的のトレイを表示させ、[OK] キーを押します。

＜ユウセンキュウシトレイ＞
*トレイ1

設定が完了し、2 秒後に用紙設定メニューに戻ります。

- 5** [オンライン] キーを押します。
通常の画面が表示されます。

テスト印刷メニュー

テスト印刷メニューでは、本機の使用環境や印刷に関する条件の設定状況の一覧表を印刷することができます。

また、印字可能なすべての文字やフォントの種類も印刷して確認できます。

テスト印刷メニューの項目

テスト印刷メニューの設定項目です。

- ◆ **一括リスト印刷（イッカツリストインサツ）**
システム設定リスト、ネットワークサマリーとエラー履歴が印刷されます。
選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。
- ◆ **システム設定リスト（システムセッテイリスト）**
本機のシステム構成やシステム設定の設定内容などが印刷されます。
選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。
- ◆ **エラー履歴（エラーリレキ）**
エラーになったジョブの履歴が印刷されます。
選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。
- ◆ **ネットワークサマリー（ネットワークサマリー）**
ネットワークの設定内容が印刷されます。
- ◆ **印刷条件リスト（インサツジョウケンリスト）**
印刷条件の設定内容が印刷されます。
エミュレーションの RPD、R55、R98、R16、RTIFF、RP-GL/GL2 が対象となります。
- ◆ **メニューリスト（メニューリスト）**
[メニュー] キーを使って設定できる各項目と設定内容をツリー状に印刷します。
選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。
- ◆ **登録フォームリスト（トウロクフォームリスト）**
登録されているフォームの一覧が印刷されます。
エミュレーションの RPD、R55 が対象となります。
- ◆ **全文字印刷（ゼンモジインサツ）**
現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できる全ての文字が印刷されます。
エミュレーションの RPD、R55、R98、R16 が対象となります。
- ◆ **フォントリスト（フォントリスト）**
現在設定されているプリンター言語やエミュレーションで印刷できるフォントの一覧が印刷されます。
エミュレーションの RPD、R55、R98、R16 が対象となります。

◆ PS 情報リスト (PS ジョウハウリスト)

オプションの PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。PS3 のシステム情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。詳しくは、PostScript 3 使用説明書を参照してください。

◆ PDF 情報リスト (PDF ジョウハウリスト)

オプションの PS3 カードが装着されているときのメニュー項目です。PDF の情報と搭載されているフォントの一覧が印刷されます。
エミュレーションの PS3、PDF が対象となります。

◆ ヘキサダンプ (ヘキサダンプ)

印刷不良の原因を調べるために、パソコンから送られたデータを 16 進数で印刷するモードに移行します。
選択されている全てのプリンター言語とエミュレーションが対象となります。

テスト印刷をする

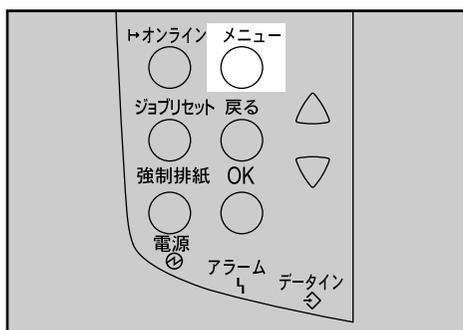
ここでは「システム設定リスト」の印刷手順を説明しますが、基本的な操作方法は他のリストを印刷する場合も同じです。

5

システム設定リストを印刷する

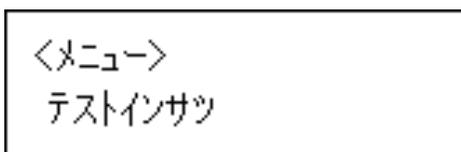
システム設定リストの印刷方法です。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。

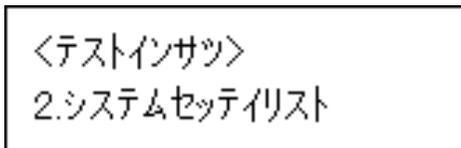


AUA047S

2 [▲] [▼] キーを押して「テストインサツ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▲] [▼] キーを押して印刷したいリスト名を表示させ、[OK] キーを押します。



印刷終了後、テスト印刷メニューに戻ります。

- 4** [オンライン] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

↓ 補足

- システム設定リストは A4 または Letter (8 1/2"×11") で印刷されます。給紙トレイや手差しトレイに A4 または Letter (8 1/2"×11") の用紙をセットしてください。

システム設定リストの見かた

システム設定リストの見かたの説明です。

システム設定リスト									
■システム構成情報									
1	機種	未設定	搭載メモリ	384 MB					
2	トータルカウンター	33	ファームウェアバージョン	プリンター[0.15 / 61725431]、エンジン[0.14.1:03 / 61706135], NCS[0.14 / 61715432]					
	搭載言語	ハードディスク: IEEE 802.11b							
	搭載言語/マクロ	空き容量 510116 KB、最大容量 510446 KB							
	搭載エミュレーション	RPCS [3.6.4]、RPLD [7.31d]、R98 [5.18b]、R16 [5.18b]、R95 [5.15b]、RPLD [0.1.1]、RP9.2 [0.1.1]、RTTFF [9.48F]、SML1mk5 [1.04]、Adobe PostScript 3 [0.04]、Adobe PDF [0.04]、MS15 [7.00.00]、KAM-G [1.01.00]							
	接続機器	両面ユニット、増設給紙トレイ3							
■用紙設定									
3	優先給紙トレイ	トレイ1							
4	手差しトレイ (マルチ)	A 4	297.0 x 210.0mm	厚紙1					
	トレイ1	不定形 (カスタム)	297.0 x 210.0mm	※(4)切替自動トレイ選択対象外	両面印刷禁止				
	トレイ2	A 4 R	210.0 x 297.0mm	普通紙					
	トレイ3	A 4 R	210.0 x 297.0mm	普通紙					
■調整/管理									
5	濃度調整	0	印刷位置調整-ヨコ: トレイ1	0.0					
	印刷位置調整-ヨコ: トレイ3	0.0	印刷位置調整-ヨコ: トレイ3	0.0					
	印刷位置調整-ヨコ: 手差しトレイ (マルチ)	0.0	印刷位置調整-ヨコ: 両面時表面	0.0					
	印刷位置調整-タテ: 両面時裏面	0.0	印刷位置調整-タテ: 増設トレイ	0.0					
	印刷位置調整-タテ: 手差しトレイ (マルチ)	0.0	印刷位置調整-タテ: 両面時表面	0.0					
	ブザー音	0n	ウォームアップ通知音	0n					
■システム設定									
6	エラーレポート印刷	しない	エラーメッセージ	しない	*マークは設定値が初期値と異なる項目です。				
	画像エラー処理	しない	ジョブリセット	しない					
	180度回転	※90°	省エネモード 移行設定	全て表示					
	オートリセット時間 (秒)	60	オートリセット設定	*移行しない					
	消去までの時間	8	一時書き込み自動消去	しない					
	消去までの自動	3	保存文書自動消去	する					
	優先エミュレーション	RPCS	エミュレーション検知	しない					
	スプール印刷	しない	優先メモリー	ページメモリー					
	レターヘッド紙使用設定	使用しない	補助用紙サイズ	しない					
	自動メール通知	する	手差しトレイ 設定選択	ドライバー/コマンド優先					
■システム設定 (EM)									
7	白紙検紙	しない	用紙なしエラー通知	印刷実行時					
	自動排紙時間	押紙しない	マクロキャンセル	マクロなし					
	リモットパス検紙	しない							
■登録プログラム一覧									
	プログラム番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	エミュレーション名	-	-	-	-	-	-	-	-
■PS設定									
8	両面設定	しない	白紙検紙	する					
	データ形式	TIFF	解像度	600dpi					
	最大領域印刷	通常で印刷する							
■PDF設定									
	両面設定	しない	白紙検紙	する					
	解像度	600dpi	最大領域印刷	通常で印刷する					
■インターフェース設定									
	受信バッファ	128 KB	1/8切り替え時間	15 秒					
	IPアドレス	0ff	IPv4アドレス	133.139.146.058					
	サブネットマスク	255.255.255.000	ゲートウェイアドレス	133.139.146.001					
	スタートレス設定	有効	IPv4	有効					
	IPv6	無効	SMB	有効					
	AppleTalk	有効	イーサネット速度	自動選択					
	1/8選択	イーサネット	パブリックタイムスリッ	ACS_outside					
	パラレル通信速度	高速	セレクトド受信	HIGH					
	インポートプライム	無効	双方向通信	する					
	通信モード	802.11 アドホック	チャンネル	11					
	通信速度	自動設定	SSID						
	セキュリティ方式	選択しない	暗号方式	*WEP (AES)					
	認証方式	WPA-PSK	USB *-I 設定	しない					
■インターフェース情報									
	物理アドレス	00.00.74.ac.83.3c	ホスト名	BNPAC8330					
	ワークグループ名 (SMB)	WORKGROUP	ネットワークパス名 (SMB)	\\\\BNPAC8330\PNP18_83P130					
	物理アドレス (IEEE 802.11b)	00.00.74.86.b5.68							
	無効インターフェース	なし							

5

1 システム構成情報

本機のバージョン情報やオプションの装着状況、カウンター情報、搭載エミュレーション、プリンター言語の名称などが印刷されます。

2 トータルカウンター

本機から出力した枚数が表示されます。

3 用紙設定

現在選択されている優先給紙トレイと各トレイにセットされている用紙のサイズと種類など用紙設定メニューの設定項目が印刷されます。

4 調整/管理

濃度調整や印刷位置設定など、調整/管理メニューの設定項目が印刷されます。

5 システム設定

システム設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

*印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

6 システム設定 (EM)

システム設定 (EM) メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。
*印がついている項目は工場出荷時の設定から変更されています。

7 登録プログラム一覧

登録されているプログラムのエミュレーション名が表示されます。

8 インターフェイス設定、インターフェイス情報

インターフェイス設定メニューで設定可能な項目と現在の設定値が印刷されます。

調整 / 管理メニュー

調整管理メニューでは、階調や濃度などの印刷条件の調整や、ハードディスクのフォーマットなど本機の管理についての設定ができます。

調整 / 管理メニューの項目

調整管理メニューの設定項目です。

◆ 濃度調整（ノウドチョウセイ）

印刷面にかすれや汚れが出たときなどに印刷濃度を調整します。

- ・ 濃度 1
-6~+3
- ・ 濃度 2
-6~+3

↓ 補足

- ・ 濃度 2 は PC-PL 3540 にのみ表示されます。
- ・ できるだけ工場出荷時の設定でお使いください。

目 参照

- ・ 『ハードウェアガイド』「印刷濃度を調整する」

◆ 印刷位置調整（インサツイチ チョウセイ）

トレイごとの印刷位置をあわせるために印刷位置を調整することができます。通常は特に設定する必要はありませんが、オプションの増設給紙トレイや、両面印刷ユニットを取り付けたときに調整します。

目 参照

- ・ 『ハードウェアガイド』「印刷位置を調整する」

◆ カール低減（カールテイゲン）

印刷後の用紙の反りを減らしたいときに設定します。

- ・ する
- ・ しない（工場出荷時の設定）

◆ 一時置き全消去（イチジオキ ゼンショウキヨ）

オプションのハードディスクが装着されているときのメニュー項目です。オプションのハードディスクに蓄積されている一時的な蓄積文書（試し印刷 / 機密印刷 / 保留印刷の文書）をすべて消去します。

◆ 保存文書全消去（ホゾン ゼンショウキヨ）

オプションのハードディスクが装着されているときのメニュー項目です。オプションのハードディスクに蓄積されている保存文書をすべて消去します。

◆ HD フォーマット（HD フォーマット）

オプションのハードディスクが装着されているときのメニュー項目です。初期の設置以降にオプションのハードディスクのフォーマットが必要になったときは、調整 / 管理メニューの [HD フォーマット] を実行します。

◆ 封筒レバーメッセージ（フウトウレバー メッセージ）

封筒レバーを下げた状態のときに、メッセージ「フウトウレバーカクニン」を表示するかしないかを設定します。

- ・ 表示する（工場出荷時の設定）
- ・ しない

◆ 日付 / 時刻設定（ヒツケ / ジコクセッテイ）

日付および時刻を設定します。

◆ ブザー音（ブザーオン）

パネルのキーを押したときに、音を出すか出さないかを選択します。

- ・ ON（工場出荷時の設定）
- ・ OFF

◆ ウォームアップ通知音（ウォームアップツウチオン）

ウォームアップを音で知らせるかどうかを選択します。

- ・ ON（工場出荷時の設定）
- ・ OFF

5

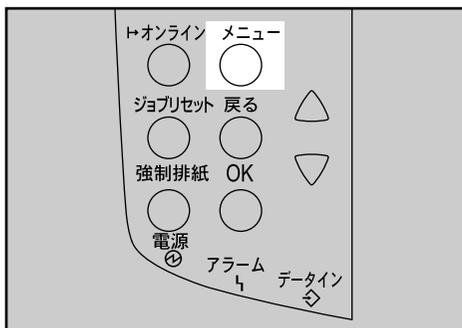
調整 / 管理メニューの設定を変更する

調整 / 管理メニューの変更方法を、例をあげて説明します。

オプションのハードディスクをフォーマットする（初期設置以降）

初期の設置以降にオプションのハードディスクのフォーマットが必要になったときのフォーマットの方法に関する説明です。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。



- 2** [▲] [▼] キーを押して「チョウセイ / カンリ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<メニュー>
チョウセイ / カンリ

- 3** [▲] [▼] キーを押して「5. HD フォーマット」を表示させ、[OK] キーを押します。

<チョウセイ / カンリ>
6.HDフォーマット

- 4** 確認のメッセージが表示されていることを確認し、[OK] キーを押します。

HDフォーマット
OKキーで ジョコウシマス

オプションのハードディスクがフォーマットされ、再起動のメッセージが表示されます。

- 5** 本機の電源を一度切り、再び電源を入れます。

オプションのハードディスクのフォーマットが終了し、使用できるようになります。

↓ 補足

- ・「HD フォーマット」が表示されない場合はオプションのハードディスクが正しく取り付けられていません。ハードウェアガイド「オプションを取り付ける」を参照して、オプションのハードディスクを取り付け直してください。それでも正しく取り付けられない場合は、保守会社に相談してください。

システム設定メニュー

システム設定メニューでは、本機を使用する上で基本的な動作に関する設定を行うことができます。通常は工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定の内容は電源を切っても保存されます。

システム設定メニューの設定項目

◆ エラーレポート印刷 (エラーレポート インサツ)

エミュレーションがRPCS、PS3 または PDF のとき、プリンター内部でのデータ処理中にエラーが発生した場合にエラーレポートを印刷するかしないかを設定します。

- ・ する
- ・ しない (工場出荷時の設定)

◆ エラースキップ (エラースキップ)

プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種が一致するトレイがなかった場合の本機の動作を設定します。

- ・ しない (工場出荷時の設定)

プリンタードライバーから指示された紙サイズ・紙種のトレイがセットまたは設定されるまで印刷されません。

- ・ 即時
用紙サイズ・用紙種類が一致しない場合でもすぐに印刷します。
- ・ 1分
用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 1 分間表示し、その後印刷を実行します。
- ・ 5分
用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 5 分間表示し、その後印刷を実行します。
- ・ 10分
用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 10 分間表示し、その後印刷を実行します。
- ・ 15分
用紙サイズ・用紙種類が一致しないことを示すメッセージを 15 分間表示し、その後印刷を実行します。

◆ 画像エラー処理（ガゾウエラーシヨリ）

送信されたデータサイズが大きく、プリンター内部で処理できない場合のプリンターの動作を設定します。

・ ジョブリセット（工場出荷時の設定）

エラーが発生したページでジョブをリセットします。リセットされたページ以降は印刷されません。

・ エラーシート印刷

エラーが発生したページはエラー発生直前の画像まで印刷します。エラーが発生したページ以降は印刷されますが、電子ソートの指示は解除されます。ジョブの終わりにエラーシートを印刷します。エラーコードと、エラーによって出力結果が不完全になったページを最大 16 ページ分印刷します。

◆ エラー表示設定（エラーヒョウジセツテイ）

プリンター内部でのデータ処理中に発生したエラーをディスプレイに表示するかしないかを設定します。

・ すべて表示（工場出荷時の設定）**・ 簡易表示****◆ 180 度回転（180 ドカイトン）**

画像の 180 度回転印刷をするかしないかを選択します。

・ する**・ しない（工場出荷時の設定）****◆ 省エネモード（ショウエネモード）**

省エネモードとは、本機の消費電力を節約する機能です。

・ 移行設定

省エネモードに移行するかしないかを選択します。

・ 移行する（工場出荷時の設定）**・ 移行しない****・ 移行時間**

省エネモードに移行する場合は、移行するまでの時間を設定します。ここで設定した時間の間本機を使用しないと、省エネモードに切り替わります。省エネモード中は本機の起動が遅くなり、印刷が始まるまで多少時間がかかります。

1 分

・ 5 分（工場出荷時の設定）

15 分

30 分

45 分

60 分

◆ オートリセット設定 (オートリセットセッテイ)

一定時間操作を行わなかったとき、設定内容を電源投入直後の状態に戻すかどうかを設定します。また、戻すまでの時間を設定します。

・リセット設定

オートリセットするかしないかを選択します。

工場出荷時の設定は「する」に設定されています。

・リセット時間

オートリセットを設定した場合は、オートリセットするまでの時間を設定します。

10～999 秒 (1 秒単位) の範囲で設定します。

工場出荷時の設定は「60 秒」に設定されています。

◆ 一時置き文書自動消去設定 (イチジオキ ショウキョ)

試し印刷文書、機密印刷文書、保留文書などの一時置き文書を、蓄積後に自動で消去するかしないかを設定します。また、消去までの時間を設定します。

・自動消去

文書を自動で消去するかしないかを選択します。

工場出荷時の設定は「しない」に設定されています。

・消去までの時間

「自動消去」を「する」に設定した場合、文書を自動で消去するまでの時間を設定します。

↓ 補足

・オプションのハードディスク装着時にのみ表示されます。

◆ 保存文書自動消去設定 (ホゾン ショウキョ)

保存文書を、蓄積後に自動で消去するかしないかを設定します。また、消去までの日数を設定します。

・自動消去

文書を自動で消去するかしないかを選択します。

工場出荷時の設定は「する」に設定されています。

・消去までの日数

「自動消去」を「する」に設定した場合、文書を自動で消去するまでの日数を設定します。

◆ エミュレーション検知 (エミュレーション ケンチ)

本機に送られたデータを自動的に判断して、エミュレーションを決定することができます。対象となるのは PS3 です。それ以外のエミュレーションは、優先エミュレーションで設定されているエミュレーションになります。

・する

・しない (工場出荷時の設定)

◆ 優先エミュレーション (ユウセン エミュレーション)

電源を入れたときに自動的に呼び出されるエミュレーションまたは登録されているプログラムを設定します。

- RPCS (工場出荷時の設定)
- RPDL
- R98
- R16
- R55
- RP-GL/GL2
- RTIFF
- PS3
- PDF
- BMLinkS
- プログラム 1~16

↓ 補足

- 「プログラム 1」~「プログラム 16」に設定すると、その数字と同じ登録番号のプログラムが呼び出されて本機が起動します。RPCS、PostScript 3 以外で有効です。

◆ 優先メモリー (ユウセンメモリー)

優先的に使用するメモリー内容を設定します。印刷する用紙サイズ、解像度、エミュレーションなどによって選択してください。

- ユーザーメモリー
外字やフォントなどのデータを登録するためにメモリーが優先的に使用されます。
- ページメモリー (工場出荷時の設定)
印刷の高速化のためにフレームメモリーとして使用されます。

◆ スプール印刷 (スプールインサツ)

スプール印刷をするかどうかを設定します。スプール印刷とは、パソコンから転送されるプリントジョブを一時的に本機に蓄積し、印刷する機能です。

オプションのハードディスクを装着時にのみ表示されます。

「スプールのスル」を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。

- する
- しない (工場出荷時の設定)

↓ 補足

- オプションのハードディスク装着時にのみ表示されます。
- [スプールのスル] を選択すると、最初の印刷に時間がかかります。

◆ 補助用紙サイズ (ホジヨウウシサイズ)

A4 と Letter (8¹/₂"×11") の切り替えをするかどうかを設定します。

- しない (工場出荷時の設定)
- 自動

↓ 補足

- 切替を行った場合、A4 と Letter (8¹/₂"×11") では最大印字領域が異なるので、それぞれの領域を越えた描画は、端部が切れるなど、正常に印刷されない場合があります。

◆ レターヘッド紙設定 (レターヘッドシ セッテイ)

レターヘッド紙印刷を行うかどうかを設定します。

レターヘッド紙印刷を行うと、両面印刷のとき、奇数ページジョブの最終ページが両面印刷されます。

- 使用しない (工場出荷時の設定)
レターヘッド紙印刷を行いません。
- 使用する (自動)
レターヘッド紙が指定されたときに行います。
- 使用する (常時)
常にレターヘッド紙印刷を行います。

↓ 補足

- 両面印刷ができない紙サイズの場合、両面印刷は解除されます。
- 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になった場合、ソートの 2 部目以降は全て両面印刷となります。2 部目以降も片面で印刷したいときは、両面印刷ができない紙サイズを給紙してください。
- レターヘッド紙を使用するときは用紙のセット方向に注意してください。

5

◆ 手差し設定選択 (テサシセッテイセンタク)

手差しの設定を機器側で行うか、プリンタードライバーやコマンドで行うかを設定します。

- 機器側
- ドライバー / コマンド (工場出荷時の設定)

◆ RAM ディスク (RAM ディスク)

PDF ダイレクトプリントをする場合は、2MB 以上の値を指定してください。

オプションのハードディスクを装着していないときに表示されます。

- 0MB
- 2MB
- 4MB (工場出荷時の設定)
- 8MB
256MB 以上のメモリを搭載しているときに表示されます。
- 16MB
256MB 以上のメモリを搭載しているときに表示されます。

◆ 自動メール通知 (ジドウメールツウチ)

本機でエラーが発生したときに、エラーの詳細情報を指定したメールアドレスに通知するかどうかをします。

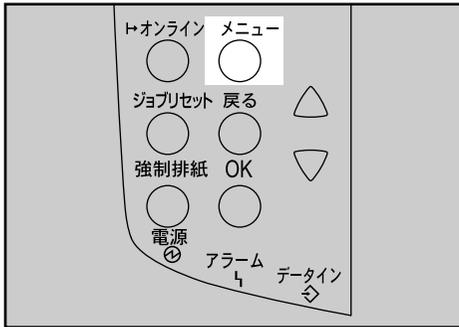
設定を変更したときは、いったん電源を OFF にし、あらためて電源を ON にしてください。

- する (工場出荷時の設定)
- しない

システム設定メニューの設定を変更する

システム設定メニュー「省エネモード」の変更方法を、例として説明します。

1 操作部の【メニュー】キーを押します



AUA047S

- 2** [▲] [▼] キーを押して、「システムセッテイ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<メニュー>
システムセッテイ

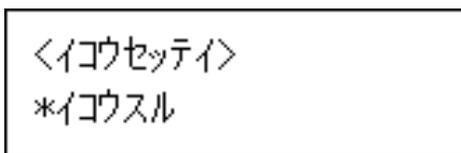
- 3** [▲] [▼] キーを押して、「6. ショウエネモード」を表示させ、[OK] キーを押します。

<システムセッテイ>
6. ショウエネモード

- 4** [▲] [▼] キーを押して設定を変更する項目を表示させ、[OK] キーを押します。

<ショウエネモード>
1. イコウセッテイ

5 [▲] [▼] キーを押して変更する設定値を表示させ、[OK] キーを押します。



設定が確定し、省エネモードメニューに戻ります。

6 [オンライン] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

システム設定 (EM) メニュー

システム設定 (EM) メニューでは、DOS で使用する上での基本的な動作に関わる設定を行うことができます。対象となるエミュレーションは、RPDL、R98、R16、R55、RP-GL/GL2、RTIFF です。通常は、工場出荷時の設定のままでご使用になれますが、お客様の環境に合わせて変更できます。変更したシステム設定 (EM) の内容は電源を切っても保存されます。

★重要

- ・エミュレーションが搭載されている場合に表示されます。

システム設定 (EM) メニューの設定項目

◆ 白紙排紙 (ハクシ ハイシ)

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

- ・ する
排紙します。
- ・ スペース
排紙コマンドの前にスペースコード (20H、A0H、8140H) があるときは排紙します。
- ・ しない (工場出荷時の設定)
排紙しません。

◆ 用紙なしエラー通知 (ヨウシナシエラー)

現在選択されているトレイに用紙がセットされていないときのデータ受信を停止するタイミングを設定します。「印刷時」に設定すると用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。「常時」に設定すると用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

- ・ 印刷実行時 (工場出荷時の設定)
用紙がセットされていなくても、データ受信は可能です。
- ・ 用紙なし時
用紙がセットされていないときはデータ受信できません。

◆ **自動排紙時間 (ジドウハイシジカン)**

一定時間パソコンからデータが送信されない場合に本機内にあるデータを強制的に印刷するかどうかを設定します。たとえば、改ページコードがなくて [強制排紙] キーを押さないと印刷できないようなデータでも自動的に印刷させることができます。「なし」に設定するとデータは自動的に印刷されません。自動的に印刷させる場合は、データが送信されなくなってから強制的に印刷するまでの時間を設定します。設定された時間が経過すると送信されてきたデータが 1 ページの途中までであっても強制的に印刷されるため、適切な時間を設定することが重要です。

・ 自動排紙しない (工場出荷時の設定)

- ・ 10 秒
- ・ 15 秒
- ・ 20 秒
- ・ 25 秒
- ・ 60 秒
- ・ 300 秒

5

◆ **マクロキャッシュ (マクロキャッシュ)**

プリンター言語モジュールがマクロキャッシュとして使用するメモリの上限を設定します。

・ マクロなし (工場出荷時の設定)

- ・ マクロ 2.1MB
- ・ マクロ 4.3MB
- ・ マクロ 8.4MB

◆ **拡張リミットレス給紙 (リミットレスキューシ)**

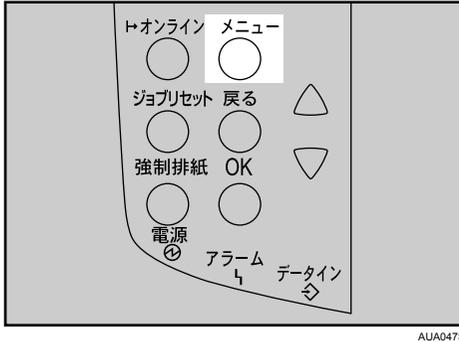
印刷中に用紙がなくなった場合に、同じサイズ of 用紙を他のトレイから給紙するかしないかを選択します。

- ・ する
- ・ しない (工場出荷時の設定)

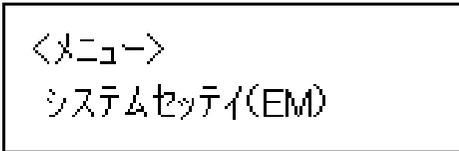
印刷設定メニューの設定を変更する

システム設定 (EM) メニューの変更方法を、例をあげて説明します。

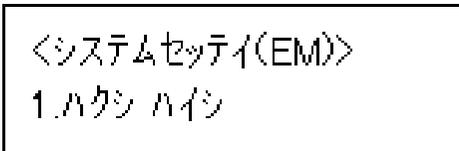
1 操作部の【メニュー】キーを押します



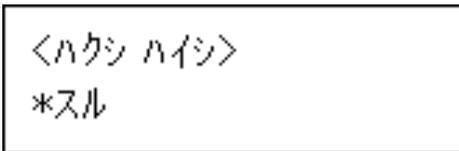
2 [▲] [▼] キーを押して、「システムセッテイ (EM)」を表示させ、[OK] キーを押します。



3 [▲] [▼] キーを押して、「1.ハクシ ハイシ」を表示させ、[OK] キーを押します。



4 [▲] [▼] キーを押して、「スル」を表示させ、[OK] キーを押します。



設定が確定し、システム設定 (EM) メニューに戻ります。

5 [オンライン] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

PS 設定メニュー

PS 設定メニューでは、PostScript 印刷を行うときの印刷条件を設定します。

★重要

- ・ オプションの PS3 カードが装着されているときに表示されます。
- ・ オプションのハードディスクが装着されているときに表示されます。

PS 設定メニューの設定項目

◆ 両面設定 (リヨウメンセツテイ)

両面印刷の実行の有無、または方向を設定します。

- ・ しない (工場出荷時の設定)
- ・ 長辺
- ・ 短辺

◆ 白紙排紙 (ハクシ ハイシ)

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

- ・ する (工場出荷時の設定)
- ・ しない

◆ データ形式 (データケイシキ)

データ形式を設定します。

- ・ バイナリーデータ
- ・ TBCP (工場出荷時の設定)

◆ 解像度 (カイゾウド)

解像度を設定します。

- ・ 600dpi (工場出荷時の設定)
- ・ 1200dpi

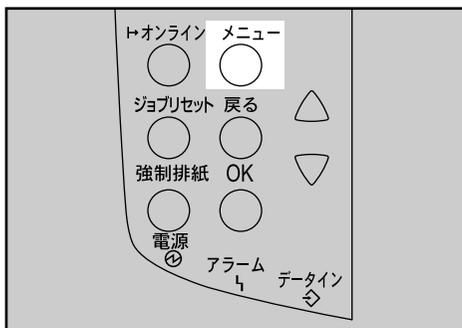
◆ 最大領域印刷 (サイダイリョウイキ)

用紙サイズいっぱい印刷するかしないかを選択します。

- ・ 通常で印刷する (工場出荷時の設定)
- ・ 最大で印刷する

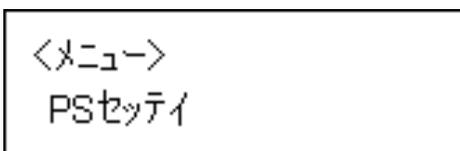
PS 設定メニューの設定を変更する

- 1** 操作部の [メニュー] キーを押します。



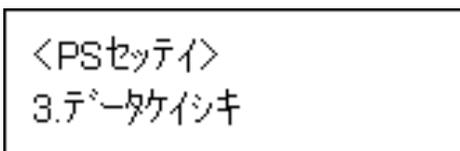
AUA047S

- 2** [▲] [▼] キーを押して、「PS セッテイ」を表示させ、[OK] キーを押します。

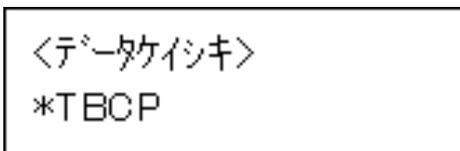


5

- 3** [▲] [▼] キーを押して、「3. データケイシキ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 4** [▲] [▼] キーを押して、「TBCP」を表示させ、[OK] キーを押します。



設定が確定し、PS 設定メニューに戻ります。

- 5** [オンライン] キーを押します。
通常画面に戻ります。

PDF 設定メニュー

PDF 設定メニューでは、PDF ダイレクトプリントを行うときの印刷条件を設定します。

★重要

- ・ オプションの PS3 カードが装着されているときに表示されます。
- ・ オプションのハードディスクが装着されているときに表示されます。

PDF 設定メニューの設定項目

◆ パスワード変更 (パスワードヘンコウ)

印刷する PDF ファイルに設定されたパスワードを本機に設定したり、変更したりします。

◆ 両面設定 (リョウメンセツテイ)

両面印刷をするかしないか、する場合はその方向を設定します。

- ・ しない (工場出荷時の設定)
- ・ 長辺
- ・ 短辺

◆ 白紙排紙 (ハクシ ハイシ)

白紙排紙コマンドを受信したときに印刷するデータがなく白紙の状態である場合に、排紙するかしないかを設定します。

- ・ する (工場出荷時の設定)
- ・ しない

◆ 解像度 (カイゾウド)

解像度を設定します。

- ・ 600dpi (工場出荷時の設定)
- ・ 1200dpi

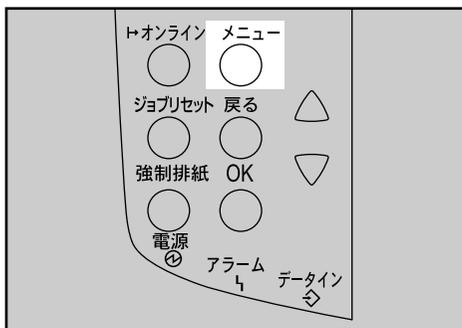
◆ 最大領域印刷 (サイダイリョウイキ)

用紙サイズいっぱい印刷するかしないかを選択します。

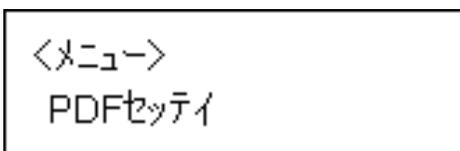
- ・ 通常でする (工場出荷時の設定)
- ・ 最大で印刷する

PDF 設定メニューの設定を変更する

- 1 操作部の [メニュー] キーを押します。

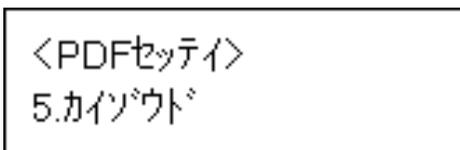


- 2 [▲][▼]キーを押して、「PDF セッテイ」を表示させ、[OK]キーを押します。

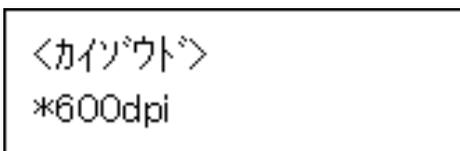


5

- 3 [▲][▼]キーを押して、「5. カイゾウド」を表示させ、[OK]キーを押します。



- 4 [▲][▼]キーを押して設定を変更し、[OK] キーを押します。



設定が確定し、PDF 設定メニューに戻ります。

- 5 [オンライン] キーを押します。

通常画面に戻ります。

インターフェース設定メニュー

インターフェース設定メニューでは、ネットワーク接続に関する設定とパソコンと本機をパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。変更したインターフェース設定の内容は電源を切っても保持されます。

インターフェース設定メニューの設定項目

◆ 受信バッファ（ジュシンバッファ）

受信バッファのメモリーサイズを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 128KB（工場出荷時の設定）
- 256KB

◆ インターフェース切り替え時間（I/F キリカエジカン）

現在のインターフェースからデータが送信されてこなくなってから、そのインターフェースを有効にしておく時間を設定します。ここで設定した時間を超えるとほかのインターフェースからのデータの受信が可能になります。

設定時間が短すぎると1つのデータを受信中にタイムアウトになってしまうことがあります。その結果、ほかのインターフェースからのデータが割り込んで印刷されたり、データの途中からエミュレーション検知が働いて、違うエミュレーションに切り替わったり、印刷を中止したデータが途中から印刷されたりします。

- 10 秒
- 15 秒（工場出荷時の設定）
- 20 秒
- 25 秒
- 60 秒

◆ ネットワーク設定（ネットワークセッテイ）

ネットワーク環境に本機を接続して印刷するために設定をします。

- IPv4 設定
 - DHCP
 - On
 - Off（工場出荷時の設定）
 - IPv4 アドレス
 - DHCP が「On」の場合はアドレスの表示のみ
 - DHCP が「Off」の場合はアドレスの設定
 - サブネットマスク
 - DHCP が「On」の場合はアドレスの表示のみ
 - DHCP が「Off」の場合はアドレスの設定
 - ゲートウェイアドレス
 - DHCP が「On」の場合はアドレスの表示のみ
 - DHCP が「Off」の場合はアドレスの設定

- IPv6 設定
 - ステートレス設定
 - 有効 (工場出荷時の設定)
 - 無効
- 有効プロトコル
 - IPv4
 - 有効 (工場出荷時の設定)
 - 無効
 - IPv6
 - 有効
 - 無効 (工場出荷時の設定)
 - Netware
 - 有効
 - 無効 (工場出荷時の設定)
 - SMB
 - 有効 (工場出荷時の設定)
 - 無効
 - AppleTalk
 - 有効 (工場出荷時の設定)
 - 無効
- イーサネット速度

イーサネットボードを使ってネットワーク通信するときの通信速度を選択することができます。

 - 自動選択 (工場出荷時の設定)
 - 10M 半二重
 - 10M 全二重
 - 100M 半二重
 - 100M 全二重

 参照

• 『ハードウェアガイド』「インターフェース設定」

◆ **パラレルインターフェース設定 (パラレル I/F セッテイ)**

パソコンと本機をパラレルで接続している場合の通信に関する設定を行います。

- パラレルタイミング

パラレルインターフェースのタイミングを設定します。

 - ACK inside
 - ACK outside (工場出荷時の設定)
 - STB down
- パラレル通信速度

パラレル通信で DMA 転送を使用して受信を行うかどうかを設定します。

 - 高速 (工場出荷時の設定)
 - 標準
- セレクト状態

パラレルインターフェースのセレクト信号のレベルを設定します。

 - High (工場出荷時の設定)
 - Low

- **インプットプライム**
インプットプライム信号が送られてきたとき、プライム信号を有効にするかどうかを設定します。通常は変更する必要はありません。

- 有効
- 無効 (工場出荷時の設定)

- **双方向通信**
パラレルインターフェースで使用しているとき、状態取得要求に対するプリンターの返答モードを設定します。市販のプリントボックスなどに接続して問題が発生したときは、「OFF」に設定します。

- する (工場出荷時の設定)
- しない

◆ SSID

SSID を設定します。設定した SSID を確認することもできます。
SSID で使用できる文字は半角英数字と表示可能な半角記号 < ASCII 0x20~0x7e > で 32 バイトまでです。大文字と小文字も区別されます。

SSID は、Web Image Monitor を使用して設定することもできます。

- 表示
- 入力

◆ USB ポート固定 (USB ポートコティ)

- する
- しない (工場出荷時の設定)

↓ 補足

- 本機能はサービスエンジニアが設定します。お客様は触れないでください。

↓ 補足

- Web Image Monitor からの設定方法について詳しくは「Web ブラウザを使う」、および Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

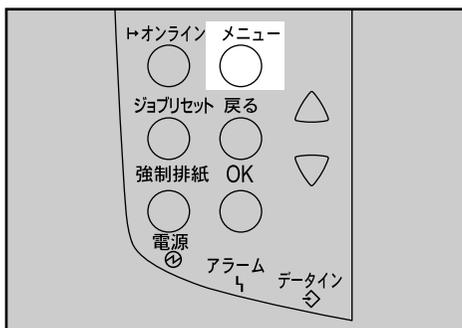
☰ 参照

- P.175 「Web ブラウザを使う」

インターフェース設定メニューの設定を変更する

インターフェース設定メニュー「受信バッファ」の変更方法を例として説明します。

1 操作部の【メニュー】キーを押します



AJUA047S

2 [▲] [▼] キーを押して、「インターフェースセッテイ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<メニュー>
インターフェースセッテイ

3 [▲] [▼] キーを押して、「1. ジュシンバッファ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<インターフェースセッテイ>
1. ジュシンバッファ

4 [▲] [▼] キーを押して「256KB」を表示させ、[OK] キーを押します。

<ジュシンバッファ>
*256 KB

設定が確定し、2秒後にインターフェース設定メニューに戻ります。

5 [オンライン] キーを押します。

通常の画面が表示されます。

表示言語メニュー

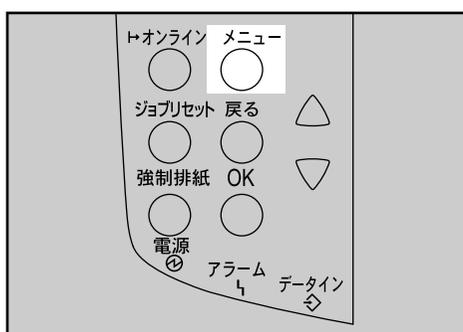
本機のパネル表示言語を選択します。

表示言語を変更する

★重要

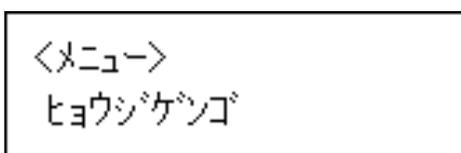
- ・オプションのエミュレーションでは、英語表示はできません。

1 操作部の [メニュー] キーを押します

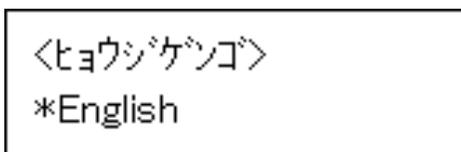


AUJA047S

- ### 2 [▲] [▼] キーを押して、「ヒョウジゲンゴ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- ### 3 [▲] [▼] キーを押して、「English」を表示させ、[OK] キーを押します。



設定が確定し、2 秒後に表示言語メニューに戻ります。

- ### 4 [オンライン] キーを押します。
- 通常の画面が表示されます。

6. 機器の監視

Web Image Monitor を使った設定について説明しています。

Web ブラウザを使う

Web ブラウザを使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。この機能を Web Image Monitor といいます。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

◆どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザ上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の表示
- ジョブの状態／履歴の確認
- 印刷中ジョブの中止
- 本機のリセット
- アドレス帳の管理
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定
- セキュリティの設定

◆本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

◆推奨ブラウザ

- Windows 環境：
Internet Explorer 6.0 以降
Firefox 1.0 以降
- Macintosh 環境：
Firefox 1.0 以降
Safari 1.0、1.2、2.0 (412.2) 以降

また、Web Image Monitor はスクリーンリーダーに対応しています。推奨するアプリケーションと動作環境は次のとおりです。

- 推奨するアプリケーション
95Reader Ver.6.0 (XPReader) 以降

・動作環境

Windows 環境：Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2 以降

↓ 補足

- ・使用するブラウザのバージョンが推奨ブラウザより低い場合や、使用するブラウザの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- ・プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- ・ブラウザの [戻る] で前のページに戻れないことがあります。そのときはブラウザの [更新] または [再読み込み] をクリックしてください。
- ・Web Image Monitor で取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web Image Monitor のワークエリアに表示された [最新の情報に更新] をクリックしてください。
- ・Mac OS 10.4.1 上の Safari はご使用になれません。
- ・Firefox をご使用の場合、テーブルがくずれる、フォントや色が異なるなどの可能性があります。
- ・IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。

目 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

トップページを表示する

Web Image Monitor の表示方法とトップページの説明です。

1 Web ブラウザを起動します。

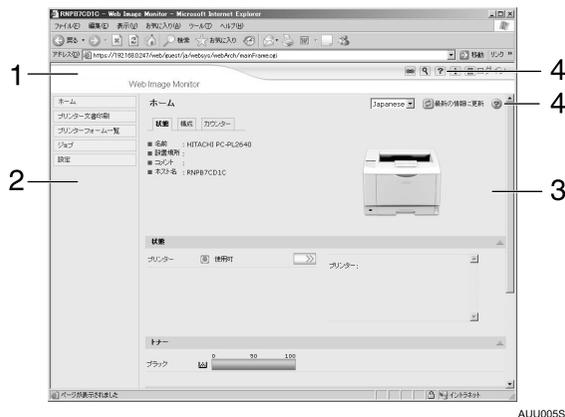
2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名) /」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

サーバー証明を発行し、SSL (暗号化通信) の設定をしている場合は、「https:// (本機のアドレスまたはホスト名) /」と入力します。

Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。



AUU006S

1 ヘッダーエリア

ヘルプ、HITACHI へのリンクや、キーワード検索用のダイアログが表示されます。

2 メニューエリア

それぞれのモードのメニュー項目が表示されます。

メニュー項目を選択すると、その内容をワークエリアに表示、またはサブメニューを表示します。

3 ワークエリア

トップページでは、現在の機器の状態を表示します。

また、メニューエリアで選択された項目の内容を表示します。

ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は、同エリア右上の [最新の情報に更新] をクリックしてください。なお、Web ブラウザ画面全体を更新したい場合は、ブラウザの [更新] をクリックしてください。

4 ヘルプ

ヘルプファイルを閲覧したり、ダウンロードしたりすることができます。

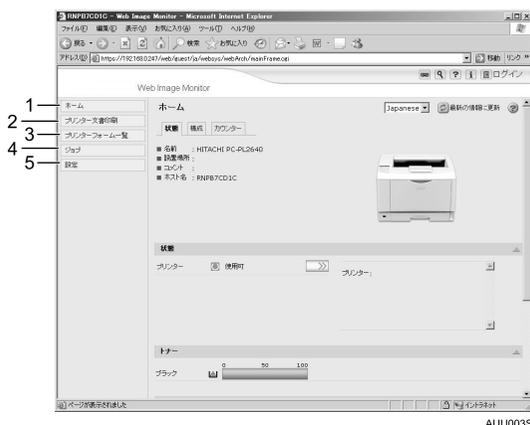
メニュー構成とモード

Web Image Monitor には、ゲストモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。

また、お使いの機種により表示される項目が異なります。

◆ ゲストモード

ゲストモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。



1 ホーム

給紙トレイ、排紙トレイとトナー残量の状態表示、本機の機能、システム情報とカウンターの表示、および搭載されているエミュレーションが表示されます。

2 プリンター文書印刷

試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書の一覧が表示されます。

3 プリンターフォーム一覧

イメージオーバーレイフォームの一覧が表示されます。

4 ジョブ

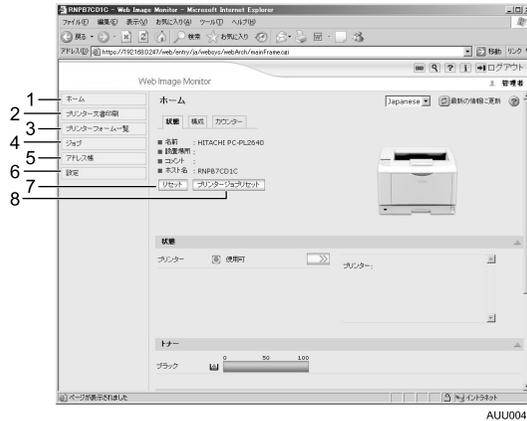
スプール印刷ジョブ、ジョブ履歴、エラー履歴の一覧表示、および試し印刷／機密印刷の一覧表示ができます。

5 設定

現在の本機の設定内容およびネットワーク設定の内容が表示されます。また、ヘルプファイルのダウンロードをすることができます。

◆ 管理者モード

管理者としてログインする管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。



1 ホーム

[状態] タブ、[消耗品] タブ、[構成] タブ、[カウンター] タブが表示され、ワークエリアに各タブの詳細情報が表示されます。

2 プリンター文書印刷

試し印刷文書／機密印刷文書／保留印刷文書／保存文書の一覧が表示されます。

3 プリンターフォーム一覧

イメージオーバーレイフォームの一覧が表示されます。

4 ジョブ

各ジョブの一覧を表示することができます。

5 アドレス帳

本機を利用するユーザー情報の一覧が表示されます。

6 設定

本機のシステム設定やインターフェースの設定、ネットワーク設定、およびセキュリティの設定ができます。

7 リセット

トップページの [リセット] ボタンをクリックすると、実行中のジョブが終了次第、本機のプリンター機能をリセットします。

8 プリンタージョブリセット

トップページの [プリンタージョブリセット] ボタンをクリックすると、実行中のジョブ、または、実行中および待機中のすべてのジョブをリセットすることができます。

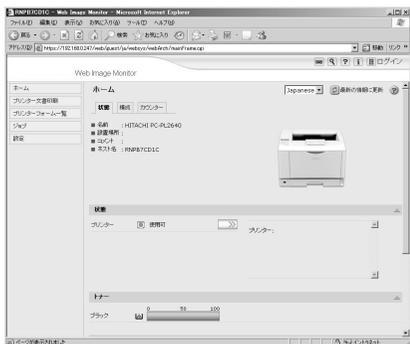
↓ 補足

- 表示や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

管理者モードでアクセスする

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスする方法です。

1 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。



ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

2 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

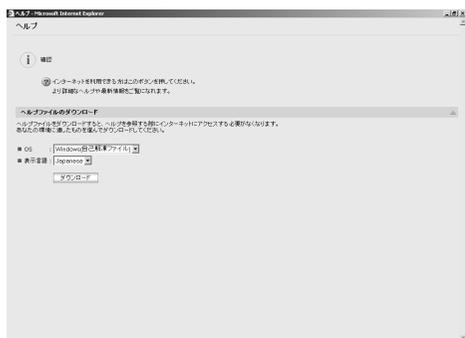
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

6

Web Image Monitor のヘルプについて

Web Image Monitor のヘルプを表示する方法です。

Web Image Monitor のヘルプをはじめてご使用になる場合、ヘッダーエリアに表示された [ヘルプ]、またはワークエリアに表示された ? マークのアイコンをクリックすると設定画面が表示され、2 種類の方法で Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。



◆ インターネットの Web Image Monitor のヘルプを見る
最新の Web Image Monitor のヘルプを見ることができます。

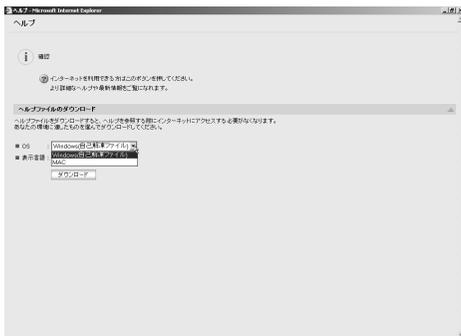
◆ Web Image Monitor のヘルプをダウンロードして見る
Web Image Monitor のヘルプをお使いのパソコンのローカルディスクへダウンロードして見ることができます。ヘルプの URL にローカルディスクのパスを指定すると、インターネットへ接続せずにヘルプを見ることができます。

↓ 補足

- ヘッダーエリアに表示された [ヘルプ] をクリックすると、通常は Web Image Monitor のヘルプの目次を表示します。
- ワークエリアに表示された ? マークのアイコンをクリックすると、通常はワークエリアに表示された内容についてのヘルプを表示します。

ヘルプのダウンロード

1 使用している OS をドロップダウンメニューから選択します。



2 使用している言語をドロップダウンメニューから選択します。

3 [ダウンロード] をクリックします。

4 表示されるメッセージに従って、ヘルプファイルをダウンロードします。

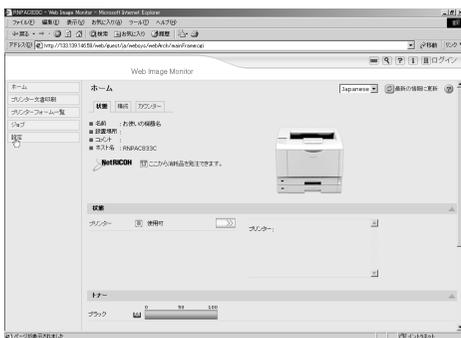
5 ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に保存し、解凍します。 ダウンロードした Web Image Monitor のヘルプを見る場合は、解凍した場所のパスを設定してください。

ヘルプへのアドレス (URL) リンク

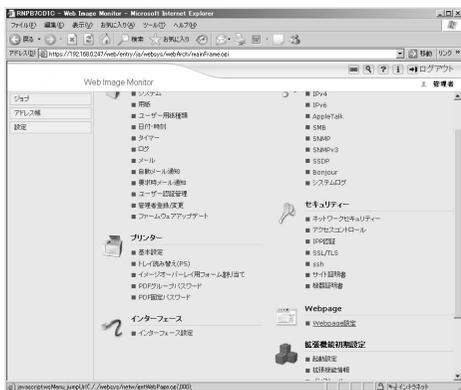
パソコンまたは Web サーバーのヘルプファイルに、ヘッダーエリアに表示された [ヘルプ] のアドレス (URL) を次の手順でリンクすることができます。

1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスします。

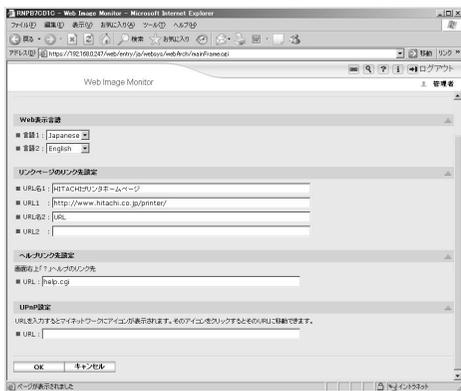
2 画面左のメニューから [設定] をクリックします。



3 [Webpage] メニューの [Webpage 設定] をクリックします。



4 「ヘルプリンク先設定」の [URL] にヘルプファイルへのパスを入力します。



例えば、C:\HELP\JA にヘルプファイルをコピーしていた場合、「file://C:/HELP/」と入力します。また、Web サーバー上にファイルをコピーしていて URL が http://a.b.c.d/HELP/JA/index.html の場合、「http://a.b.c.d/HELP/」と入力します。

5 [OK] をクリックします。

Network Monitor for Admin を使う

Network Monitor for Admin は TCP/IP プロトコル、IPX/SPX プロトコルを使ってネットワーク上の機器を監視するソフトウェアです。ネットワーク上の複数の機器の管理が可能です。ネットワーク管理者の方がお使いになることをお勧めします。

★重要

- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ・Windows 95/98/Me/NT 4.0 はサポート対象外となります。

◆ Windows の対象 OS とプロトコルスタック

- ・ Windows 95/98/Me 日本語版
Windows 95/98/Me に同梱の TCP/IP プロトコル
Windows 95/98/Me に同梱の IPX/SPX 互換プロトコル
Windows 95/98/Me に同梱の NetWare ネットワーククライアント
NetWare Client32 for Windows 95
IntraNetWare Client for Windows 95
Novell Client for Windows 95/98/Me
- ・ Windows 2000 日本語版
Windows 2000 に同梱の TCP/IP プロトコル
Windows 2000 に同梱の IPX/SPX トランスポート
Windows 2000 に同梱の NetWare 用クライアント
Novell Client for Windows NT/2000/XP
- ・ Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
Windows Server 2003/2003 R2 に同梱の TCP/IP プロトコル
Windows Server 2003/2003 R2 に同梱の IPX/SPX トランスポート
- ・ Windows XP 日本語版
Windows XP に同梱の TCP/IP プロトコル
Windows XP に同梱の IPX/SPX プロトコル
Novell Client for Windows NT/2000/XP
- ・ Windows Vista 日本語版
Windows Vista に同梱の TCP/IP プロトコル
Novell Client for Windows NT/2000/XP/Vista
- ・ Windows NT 4.0 日本語版
Windows NT 4.0 に同梱の TCP/IP プロトコル
Windows NT 4.0 に同梱の IPX/SPX 互換プロトコル
Windows NT 4.0 に同梱の Client Service for NetWare
NetWare Client32 for Windows NT
IntraNetWare Client for Windows NT
Novell Client for Windows NT/2000/XP

◆ どんなことができるのか？

Network Monitor for Admin では以下の操作ができます。

- ・機器の操作部からの設定を制限し、一部の項目を変更できないようにします。
- ・機器にセットされている用紙の種類を設定できます。
- ・省エネモードへの切り替え、復帰などを設定できます。

- ・印刷中、用紙切れなどの情報をパソコン上で確認できます。
- ・同時に複数の機器を監視できます。機器の台数が多いときはグループを作り、管理しやすいように機器を分類できます。
- ・機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- ・機器のネットワークに関する設定を変更できます。
- ・パソコンから行ったジョブの結果を確認できます。
- ・ユーザーコードごとのカウンター情報を確認できます。
- ・登録されたユーザーコードごとに、印刷の利用可・不可を管理できます。
- ・機器の状態変化をグループごとに設定し、通知することができます。
- ・メールの送信者名やフォルダの宛先を保護します。

目 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

Network Monitor for Admin のインストール

Network Monitor for Admin のインストールについての説明です。

★重要

- ・起動しているすべてのアプリケーションを終了し、パソコンが印刷中でないか確認してください。

1 本機に同梱の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。インストーラーが起動します。

2 セットアップ画面が表示されたら、[Network Monitor for Admin] をクリックします。



Network Monitor for Admin のセットアップ画面が表示されます。

3 [次へ] をクリックします。

4 [使用許諾契約] ダイアログにソフトウェア使用許諾契約書が表示されます。すべての項目をお読みください。同意する場合は、[はい] をクリックします。

5 表示されるメッセージに従って Network Monitor for Admin をインストールします。

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

6 [完了] をクリックします。

「Windows の再起動」ダイアログが表示される場合は、Windows を再起動してください。

補足

- ・システムの設定によってはインストーラーが自動的に起動しないことがあります。その場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「SETUPEXE」をダブルクリックして起動してください。

機器の状態を表示する

機器の状態を表示する方法の説明です。

1 Network Monitor for Admin を起動します。

2 [グループ] メニューをクリックします。

3 [機器検索] をポイントし、プロトコルを選びます。

選択できるプロトコルは以下のとおりです。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。

- ・TCP/IP
- ・IPX/SPX
- ・TCP/IP SNMPv3

TCP/IP SNMP v3のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。



一覧に機器の状態がアイコンで表示されます。

4 より詳しい状態を知りたい場合は、一覧で状態を知りたい機器をクリックして反転表示させ、[機器] メニューの [開く] をクリックします。

選択した機器の状態が、ダイアログに表示されます。

5 Network Monitor for Admin を終了します。

補足

- ・ダイアログの各項目の詳細については、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。

ユーザー情報を管理する

Network Monitor for Admin でユーザー情報を管理する方法の説明です。

ユーザー情報管理ツールを使用して、ユーザーコードごとの印刷枚数を管理したり、利用可能な機能を制限したりすることができます。

ユーザー情報管理ツールを起動する

ユーザー情報管理ツールを起動する方法の説明です。

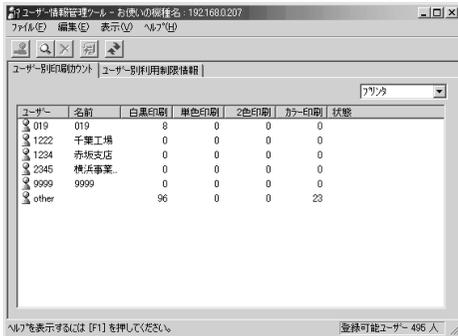
- 1 Network Monitor for Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP]、[IPX/SPX] または [TCP/IP SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
TCP/IP SNMP v3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3 一覧からユーザー情報を管理する機器をクリックして反転表示させます。
- 4 [ツール] メニューの [ユーザー情報管理ツール] を選択します。



ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

5 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して [ログイン] をクリックします。

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスするときと同じログインユーザー名とログインパスワードを入力してください。ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
ユーザー情報管理ツールが起動します。



↓ 補足

- ユーザー情報管理ツールについて詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。

6

印刷枚数を表示する

ユーザー別の印刷枚数情報を表示する方法の説明です。

- 1 Network Monitor for Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。



本機で印刷した枚数に関する情報が表示されます。

- 3 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

印刷枚数の情報を保存する

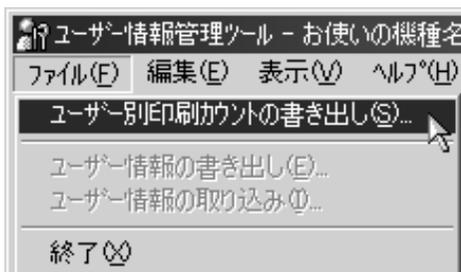
ユーザー別の印刷枚数情報を csv ファイルで保存する方法の説明です。

- 1 Network Monitor for Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 ユーザー情報管理ツールの [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。



6

- 3 [ファイル] メニューをクリックし、[ユーザー別印刷カウントの書き出し] をクリックします。

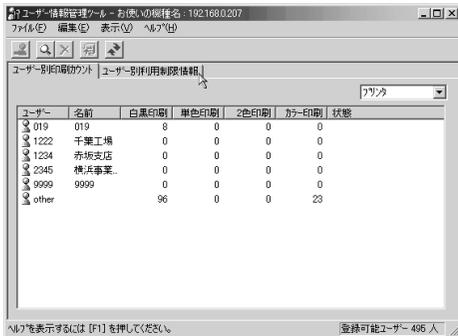


- 4 保存するフォルダとファイル名を指定し、[保存] をクリックします。
- 5 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

印刷枚数の情報をリセットする

ユーザーごとに、印刷枚数の情報をリセットし、表示を 0 に戻す方法の説明です。

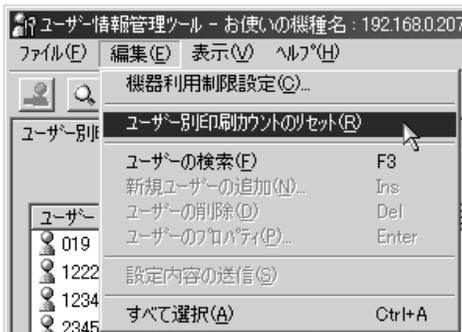
- 1 Network Monitor for Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 ユーザー情報管理ツールの [ユーザー別印刷カウント] タブをクリックします。



- 3 リセットするユーザーをクリックします。



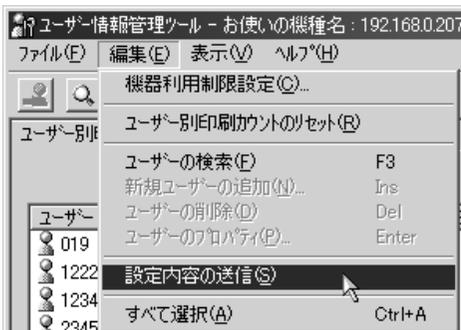
- 4 [編集] メニューをクリックし、[ユーザー別印刷カウントのリセット] をクリックします。



- 5 リセットする項目のチェックボックスにチェックを付け、[OK] をクリックします。

確認のメッセージが表示されます。

- 6 [OK] をクリックします。
- 7 [編集] メニューをクリックし、[設定内容の送信] をクリックします。



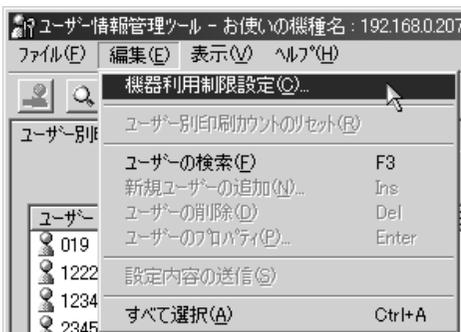
変更した情報が本機に反映されます。

- 8 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

6 利用制限を設定する

本機の機能について、機能ごとに利用制限を設定する方法の説明です。

- 1 Network Monitor for Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。
- 2 ユーザー情報管理ツールの [編集] メニューをクリックし、[機器利用制限設定] をクリックします。



3 利用制限を設定する機能のチェックボックスにチェックを付けます。



4 [OK] をクリックします。

設定内容が本機に反映されます。

5 [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

6

ユーザーごとに利用可能な機能を設定する

ユーザーごとに利用可能な機能を設定する方法の説明です。

ここでは、ユーザーを追加して利用可能な機能を設定する方法を説明します。

1 Network Monitor for Admin のユーザー情報管理ツールを起動します。

2 ユーザー情報管理ツールの [ユーザー別利用制限情報] タブをクリックします。



3 [編集]メニューをクリックし、[新規ユーザーの追加]をクリックします。



4 ユーザーコードと名前を入力します。

5 追加したユーザーに使用を許可する機能のチェックボックスにチェックを付けます。

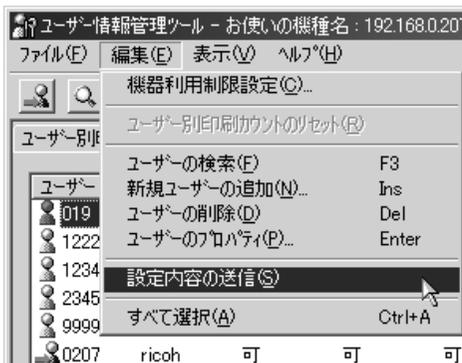


チェックボックスがグレーになっている機能は利用制限が設定されていません。

6 [OK] をクリックします。

ユーザーが追加されます。

7 [編集]メニューをクリックし、[設定内容の送信]をクリックします。



設定内容が本機に反映されます。

- 8** [ファイル] メニューの [終了] をクリックし、ユーザー情報管理ツールを終了します。

↓ 補足

- ・利用制限の設定方法について詳しくは、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。

スプール印刷ジョブの一覧を確認する

スプール印刷ジョブの一覧を確認する方法の説明です。

- 1** Network Monitor for Admin を起動します。
- 2** [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP]、[IPX/SPX] または [TCP/IP SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
TCP/IP SNMP v3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。
- 3** スプール印刷ジョブの一覧を確認したい機器をクリックして反転表示させ、[ツール] メニューの [スプール印刷ジョブ一覧 (プリンタ)] をクリックします。
Web ブラウザが起動して、ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。
- 4** ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。
ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。
Web Image Monitor にスプール印刷ジョブ一覧が表示されます。表示されたスプール印刷ジョブを削除することができます。

↓ 補足

- ・スプール印刷ジョブ一覧を表示するためには、あらかじめ本機のスプール印刷を [有効] に設定する必要があります。
- ・詳しくは、スプール印刷ジョブ一覧エリア内のヘルプを参照してください。

機器の設定を変更する

Web Image Monitor を使って機器の設定を変更する方法の説明です。Network Monitor for Admin から Web Image Monitor を起動させて設定することもできます。

ここでは以下の設定変更の方法を説明します。

- ・ 機器側操作部のメニューをロックする設定
- ・ 用紙種類の設定
- ・ 管理者用パスワードの設定
- ・ 本体機器名とコメントの設定

■ Web Image Monitor で設定画面を表示する

Web Image Monitor で、各項目の設定画面を表示させるまでの方法は共通となります。

1 Web ブラウザを起動します。

2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名) /」と入力し、本機にアクセスします。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

DNS サーバー、WINS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

サーバー証明を発行し、SSL（暗号化通信）の設定をしている場合は、「https://(本機のアドレスまたはホスト名) /」と入力します。

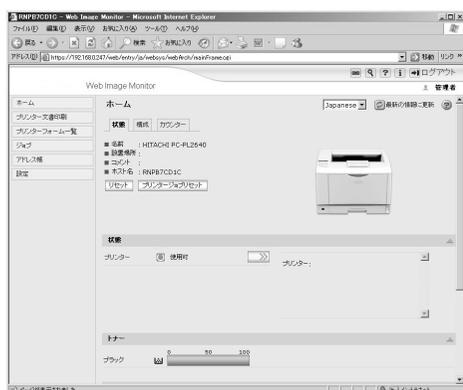
Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

3 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力して、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

5 画面左のメニューから [設定] をクリックします。



設定の画面が表示されますので、必要な項目をクリックします。

- 6 設定を変更し、[OK] をクリックします。
- 7 [ログアウト] をクリックします。
- 8 Web ブラウザを閉じます。

補足

- ・それぞれの設定方法については、各項目をご覧ください。

参照

- ・P.196 「機器側操作部のメニューをロックする」
- ・P.197 「用紙種類を設定する」
- ・P.197 「管理者用パスワードを設定する」
- ・P.198 「本体機器名とコメントを変更する」

■ Network Monitor for Admin から Web Image Monitor を起動する方法

- 1 Network Monitor for Admin を起動します。
- 2 [グループ] メニューをクリックし、[機器検索] をポイントし、[TCP/IP]、[IPX/SPX] または [TCP/IP SNMPv3] をクリックします。設定を変更する機器が使用しているプロトコルを選択してください。
機器の一覧が表示されます。
TCP/IP SNMP v3 のプロトコルをご使用の場合、認証情報の入力が必要となります。



- 3 一覧から設定を変更する機器をクリックして反転表示させます。
- 4 [ツール] メニューの [イーサネットボード設定] を選択します。
Web ブラウザが起動して、ユーザー名とパスワードを入力する画面が表示されます。
ネットワークインターフェースボードが初期設定の状態の場合、イーサネットボード設定ツールが起動します。表示スタイルから [Web ブラウザ] をチェックして、[OK] をクリックします。
Web Image Monitor に管理者モードでアクセスします。
- 5 「Web Image Monitor で設定画面を表示する」の手順5からと同様の手順で設定します。

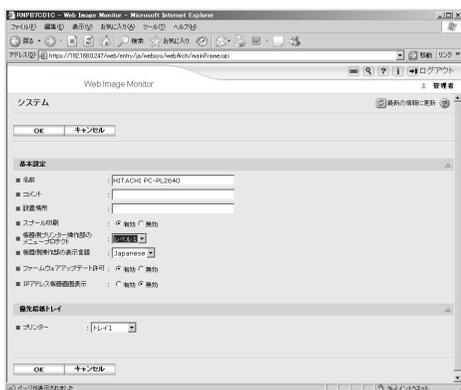
機器側操作部のメニューをロックする

機器側操作部のメニューをロックする方法の説明です。

- 1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、[設定] をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitor で設定画面を表示する」を参照してください。

- 2 [機器] の [システム] をクリックします。



Web Image Monitor にシステム設定画面が表示されます。

- 3 [機器側プリンター操作部のメニュープロテクト] で [レベル1]、または [レベル2] を選びます。

- 4 [OK] をクリックします。

- 5 Web Image Monitor を終了します。

補足

- ・設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- ・Network Monitor for Admin から Web Image Monitor の設定画面を表示する場合は、「Network Monitor for Admin から Web Image Monitor を起動する方法」の手順 4 で、[イーサネットボード設定] ではなく、[機器側操作部のメニューロック] を選択します。

用紙種類を設定する

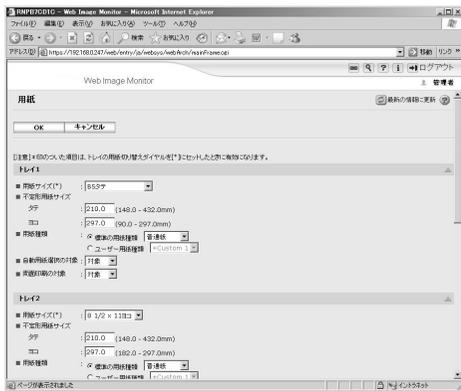
用紙種類を設定する方法の説明です。

- 1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、[設定] をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitor で設定画面を表示する」を参照してください。

- 2 [機器] の [用紙] をクリックします。

Web Image Monitor にシステム設定画面が表示されますので、設定を変更します。



- 3 Web Image Monitor を終了します。

補足

- 設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- Network Monitor for Admin から Web Image Monitor の設定画面を表示する場合は、「Network Monitor for Admin から Web Image Monitor を起動する方法」の手順 4 で、[イーサネットボード設定] ではなく、[用紙種類設定] を選択します。

管理者用パスワードを設定する

管理者用パスワードを設定する方法の説明です。

- 1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、[設定] をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitor で設定画面を表示する」を参照してください。

- 2 [機器] の [管理者登録 / 変更] をクリックし、設定を変更します。

- 3 Web Image Monitor を終了します。

本体機器名とコメントを変更する

本体機器名とコメントを変更する方法の説明です。

1 管理者モードで Web Image Monitor にアクセスし、[設定] をクリックします。

手順の詳細については「Web Image Monitor で設定画面を表示する」を参照してください。

2 [機器] の [システム] をクリックし、設定を変更します。

3 Web Image Monitor を終了します。

補足

- ・[名前] には、本体機器名を半角英数字 31 バイト以内で入力します。
- ・工場出荷時には RNP で始まる名前が設定されています。RNP で始まる名前は入力できません。
- ・[コメント] には、機器のコメントを半角英数字 31 バイト以内で入力します。

Network Monitor for Client を使う

Network Monitor for Client を使って機器を監視する方法の説明です。

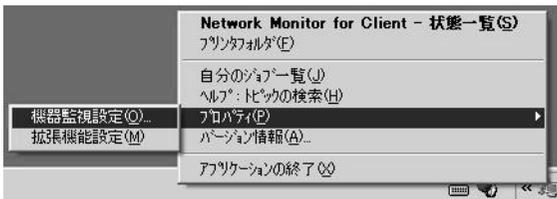
★重要

- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

監視する機器を設定する

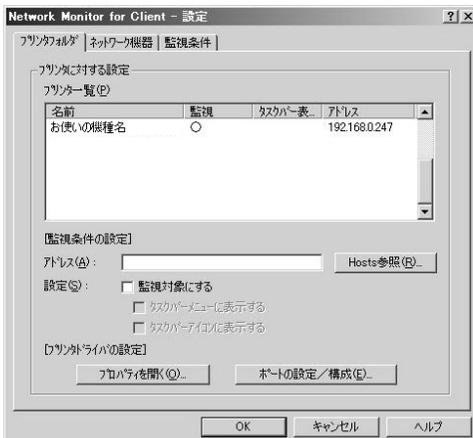
Network Monitor for Client で監視する機器を設定する方法の説明です。

- 1 タスクトレイの Network Monitor for Client アイコンを右クリックし、表示されたポップアップメニューの [プロパティ] - [機器監視設定] をクリックします。



- 2 [Network Monitor for Client- 設定] ダイアログが表示されます。

- 3 監視するプリンターをクリックして反転表示させ、[設定] の [監視対象にする] にチェックを付けます。



[タスクバーアイコンに表示する] にチェックを付けると、タスクトレイの Network Monitor for Client アイコンにプリンターの状態がアイコンで表示されるようになります。

- 4 [OK] をクリックします。

ダイアログが閉じ、設定したプリンターが監視の対象に含まれます。

↓ 補足

- ・状態アイコンの詳細についてはヘルプを参照してください。

📖 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

機器の状態を表示する

Network Monitor for Client で機器の状態を表示する方法の説明です。

- 1 タスクトレイの右端の Network Monitor for Client アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、状態を知りたい機器をクリックします。



機器の状態が、ダイアログに表示されます。



↓ 補足

- ・ダイアログの各項目の詳細についてはヘルプを参照してください。

📖 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

Network Monitor for Client で IPP を使用する場合

Network Monitor for Client で IPP を使用する際の注意事項です。

- 本機が受け付ける Network Monitor for Client からの印刷ジョブは、1 件のみです。本機が印刷中のとき、他のユーザーが Network Monitor for Client を使用して続けて接続しようとしても、先に行っている印刷が完了するまでは接続できません。この場合、後から接続しようとしたユーザーの Network Monitor for Client は、リトライ設定時間経過ごとに接続を試みます。
- Network Monitor for Client が本機に接続できずにタイムアウトになると、印刷ジョブが一時停止されます。この場合、プリンターウィンドウで一時停止を解除する必要があります。このとき、本機に接続し直されます。印刷ジョブは、プリンターウィンドウで取り消すことができますが、本機が印刷を開始してから印刷ジョブを取り消すと、この次にプリンターに接続したユーザーの印刷ジョブが正しく印刷できなくなる場合があります。
- Network Monitor for Client からの印刷ジョブが途切れて印刷できなくなって本機により印刷ジョブが取り消された場合は、印刷の操作をもう一度やり直す必要があります。
- 他のパソコンから出された印刷ジョブは、プロトコルにかかわらず、プリンターのアイコンをダブルクリックして開くウィンドウに表示されません。
- 複数のユーザーが Network Monitor for Client を使用して印刷しようとした場合、本機に接続しようとした順に印刷が始まらない場合があります。
- IPP の印刷ポート名に IP アドレスは使用できません。Network Monitor for Client がポート名として IP アドレスを使用するため、ポートの競合が発生します。
- SSL を使用する場合、本機にアクセスするときは、「https:// (本機のアドレスまたはホスト名) /printer」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer 6.0 以降を推奨します。
- 本機にアクセスするとき、[セキュリティの警告] が表示された場合、ご使用のパソコンに証明書をインストールする必要があります。この場合、[証明書のインポートウィザード] で証明書ストアの場所は、[証明書をすべて次のストアに配置する] を選択し、[信頼されたルート] の [ローカルコンピュータ] を選択します。

↓ 補足

- SSL (暗号化通信) について詳しくは、管理者にお問い合わせください。

機器の状態をメールで通知する

本機に用紙切れや紙づまりなどのアラートが発生したときに、メール通知機能を使用して機器の状態を通知することができます。

機器の状態を通知するメールは、あらかじめ設定した送信先メールアドレスに送信されません。

★重要

・メールソフトによっては、メールを受信したときに、フィッシングの警告が出る可能性があります。回避方法については、メールソフトのヘルプを参照の上、送信者を警告対象外に設定してください。

・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

アラートを通知するタイミングや状態なども設定することができます。

通知設定できるものは、以下の通りです。

- ・サービスコールが発生した場合
- ・トナーがなくなった場合
- ・トナーの残りがわずかになった場合
- ・メンテナンスキットの交換時期が近づいた場合
- ・紙づまりがおきた場合
- ・ドアオープンが検知された場合
- ・紙がなくなった場合
- ・紙の残りがわずかになって場合
- ・給紙トレイでエラーが発生した場合
- ・排紙トレイが満杯になった場合
- ・ユニットの接続にエラーが発生した場合
- ・ハードディスクの文書保存領域が満杯に近づいた場合
- ・ログエラーになった場合

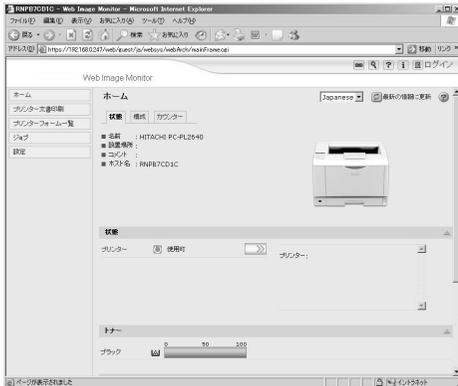
1 本機の操作部を使用して、[システム設定] メニューの [メール通知設定] を [する] に設定します（工場出荷時は [する] に設定されています）。

2 Web ブラウザを起動し、アドレスバーに「http://（本機のアドレスまたはホスト名）」と入力し、本機にアクセスします。

SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、「https://（本機のアドレスまたはホスト名）」と入力します。

Web Image Monitor のトップページが表示されます。

3 Web Image Monitor のトップページで、[ログイン] をクリックします。



ログインユーザー名とログインパスワードを入力する画面が表示されます。

4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。

ログインユーザー名とログインパスワードは管理者にお問い合わせください。

5 画面左のメニューから [設定] をクリックし、[機器] エリアの [メール] をクリックします。

6 設定画面に示された以下の項目のうち、必要なものを設定します。

- 管理者メールアドレス：機器に問題が発生した場合や消耗品の交換が必要な場合に、メール通知をする宛先の設定を行います。
- 受信欄の各項目：メール受信の際に必要なプロトコルの設定を行います。
- SMTP 欄の各項目：SMTP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
SMTP サーバーに対してメールの認証を行うこともできます。「SMTP 認証の場合」を参照してください。
- POP before SMTP 欄の各項目：POP サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
POP サーバーに対してメールの認証を行うこともできます。「POP before SMTP 認証の場合」を参照してください。
- POP3/IMAP4 欄の各項目：POP3 サーバーまたは IMAP4 サーバーに関する設定を行います。お使いのメール環境をご確認の上、必要項目を設定してください。
- メール受信ポート欄の各項目：メールサーバーにアクセスする際に使用するポートの設定を行います。
- メール通知アカウント欄の各項目：要求時メール通知を使用する場合は設定を行います。

7 [OK] をクリックします。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」

「自動メール通知」の設定

- 1 画面左のメニューから [設定] をクリックし、[機器] エリアの [自動メール通知] をクリックします。
通知項目に関する設定画面が表示されます。



6

- 2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- ・ 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- ・ 通知先グループ欄の各項目：通知先アドレスをグループ分けして設定できます。
- ・ 項目ごとの通知先欄の各項目：機器の状態やエラーなど、各通知項目ごとに、メールを送信するグループを設定できます。
項目の詳細を設定する場合は、[各項目の詳細設定:] の [編集] をクリックし、表示される設定画面で各項目を設定して [OK] をクリックします。

- 3 [OK] をクリックします。

- 4 [ログアウト] をクリックします。

- 5 Web ブラウザを閉じます。

「要求時メール通知」の設定

- 1 画面左のメニューから [設定] をクリックし、[機器] エリアの [要求時メール通知] をクリックします。



- 2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- ・ 共通件名：返信メールの件名に共通で付加する文字列を入力します。
- ・ 共通本文：機器の設置場所や、サービスコールが発生したときの連絡先など、任意の文字列を設定できます。
- ・ 要求時メール通知のアクセス制限の各項目：機器の設定内容や状態など、分類された情報ごとに、アクセスを制限するかどうかを選択します。
- ・ 受信可能メールアドレス / ドメイン設定の各項目：メールで情報を要求し、返信メールとして情報を受け取ることができるメールアドレスまたはドメイン名を入力します。

- 3 [OK] をクリックします。

- 4 [ログアウト] をクリックします。

- 5 Web ブラウザを閉じます。

メールの認証について

メールサーバーの不正利用を防止するために、メールの認証を設定できます。

■ SMTP 認証の場合

SMTP サーバーへのメール送信時に、SMTP AUTH プロトコルを使用してユーザー名とパスワードを入力し、認証を行うことで SMTP サーバーの不正利用を防止します。

- 1 画面左のメニューから [設定] をクリックし、[機器] メニューの [メール] をクリックします。

- 2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- SMTP サーバー名：SMTP サーバー名を半角の英数字で入力します。
- SMTP ポート番号：SMTP サーバーにメールを送信するときに使用するポートの番号を半角の数字で入力します。
- SMTP 認証：SMTP 認証の有効／無効を指定します。
- SMTP 認証メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- SMTP 認証ユーザー名：SMTP アカウント名を半角の英数字で入力します。realmID を指定する場合には、SMTP 認証ユーザー名の後に@ realmID の形式で追加してください。
- SMTP 認証パスワード：使用する SMTP アカウントのパスワードを設定します。
- SMTP 認証暗号化：SMTP 認証を有効にした場合に、パスワードの暗号化を行うかどうかを選択します。
[自動選択]：認証方式が PLAIN、LOGIN、CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。
[有効]：認証方式が CRAM-MD5、DIGEST-MD5 の場合に指定します。
[無効]：認証方式が PLAIN、LOGIN の場合に指定します。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

■ POP before SMTP 認証の場合

メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーに対してログインを行うかどうかを選択します。

1 画面左のメニューから [設定] をクリックし、[機器] メニューの [メール] をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- POP before SMTP：メールを送信するときに、あらかじめ POP3 サーバーに対してログインを行うかどうかを選択します。
- POP メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- POP ユーザー名：POP アカウント名を半角の英数字で入力します。
- POP パスワード：使用する POP アカウントのパスワードを設定します。
- POP 認証後待機時間：POP before SMTP を有効に設定した場合に、POP サーバーにログインしてから SMTP サーバーに接続を開始するまでの時間を入力します。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

要求時メールの送信

要求時メール機能を使用するためには、Web Image Monitor にて以下の設定をしてください。

1 [機器] エリアの [メール] をクリックします。

2 設定画面に示された以下の項目を設定します。

- ・メール通知用メールアドレス：使用するメールアドレスを、半角の英数字で入力します。
- ・メール通知の受信：要求時メール通知機能を使用するかどうかを選択します。
- ・メール通知ユーザー名：メールの送信者として管理者のユーザー名を入力します。
- ・メール通知パスワード：メール通知ユーザーのパスワードを設定します。

3 [OK] をクリックします。

4 [ログアウト] をクリックします。

5 Web ブラウザを閉じます。

◆ 要求時メールの形式

メール通知機能を使用するためには、設定した要求メールを本機に対して送信する必要があります。

お使いのメールソフトにて、以下の形式で記述してください。

項目	内容
Subject (メールソフトでは「件名」などと表示される部分)	機器に対する要求内容を記述します。詳細は Subject フィールドを参照してください。
From (メールソフトでは「送信者」、「差出人」などと表示される部分)	有効なメールアドレスを指定してください。機器の情報はここで指定されたアドレスに送信されます。

↓ 補足

- ・メールの大きさは最大 10KB です。

◆ Subject フィールド

書式: devicestatus?引数名 = パラメータ [&引数名 = パラメータ [&引数名 = パラメータ]]...

↓ 補足

- ・英字の大文字と小文字は区別されません。
- ・引数名の記述順序は任意です。

Subject フィールドの記述例

記述例	動作
devicestatus?request=sysconfig&format=text&lang=en	機器のシステムコンフィグレーション情報が、英語のテキストフォーマットで送信されてきます。
devicestatus?request=sysconfig	機器のシステムコンフィグレーション情報が、事前に設定されているメールフォーマットとメール言語で送信されてきます。

引数名一覧

引数名	意味	省略時の動作
request	取得したい情報	省略不可
format	メールフォーマット	メールアドレスごとに事前に、設定されているフォーマットでメールが送信されます。
lang	メール本文の言語	メールアドレスごとに事前に、設定されている言語でメールが送信されます。

取得情報指定時のパラメータ

取得情報	パラメータ
システム・コンフィグレーション情報	sysconfig
ネットワーク・コンフィグレーション情報	netconfig
プリンタ・コンフィグレーション情報	prtconfig
サプライ情報	supply
機器ステータス情報	status

メールフォーマット指定時のパラメータ

メールフォーマット	パラメータ
テキスト	text
HTML	html
XML	xml

Subject フィールドに HTML や XML なども記述できますが、出力方式はテキストのみとなります。

メール本文言語指定時のパラメータ

言語	パラメータ
日本語	ja
英語	en

telnet を使う

telnet を使ってプリンターの状態や設定内容の確認や、各種の設定を行うことができます。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- リモートメンテナンス (mshell) はネットワーク管理者だけが使用できるように、パスワードを設定して運用してください。
- パスワードは Web Image Monitor による設定で使用するパスワードと共通です。mshell 上でパスワードを変更すると、他のパスワードも変更されます。

操作の流れ

telnet を起動してから終了するまでの手順についての説明です。

★重要

- リモートメンテナンスを同時に複数のユーザが使用することはできません。

1 本機の IP アドレス (またはホスト名) を引数にして telnet を起動します。
% telnet 本機のアドレス (またはホスト名)

2 ログイン名とパスワードを入力します。
ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

3 コマンドを入力します。

4 telnet を終了します。
msh> logout
設定が変更されていると変更内容を保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

5 変更内容を保存するときは「yes」と入力し、Enter キーを押します。
変更内容を保存しないときは「no」と入力し、Enter キーを押します。コマンド入力
を続けるときは「return」と入力し、Enter キーを押します。

↓補足

- 「Can not write NVRAM information」とメッセージが表示されたとき、変更内容は保存されていません。もう一度操作し直してください。
- 変更内容を保存すると自動的にネットワークインターフェイスボードがリセットされます。
- リセットしても Active 状態である印刷中、または印刷処理待ちの印刷ジョブは印刷されますが、Waiting 状態であるプリンターへのファイル転送待ちのジョブは破棄されます。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」

access

アクセスコントロールの表示と設定は、access コマンドを使用します。また、アクセスレンジを複数設定することもできます。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> access
```

◆ IPv4 のアクセスレンジの設定

```
msh> access 対象 ID range 開始アドレス 終了アドレス
```

(例) アクセス可能な IPv4 のアドレスを 192.168.0.10 から 192.168.0.20 に設定する

```
msh> access 対象 ID range 192.168.0.10 192.168.0.20
```

◆ IPv6 のアクセスレンジの設定

```
msh> access 対象 ID range6 開始アドレス 終了アドレス
```

(例) アクセス可能な IPv6 のアドレスを 2001:DB8::100 から 2001:DB8::200 に設定する

```
msh> access 対象 ID range6 2001:DB8::100 2001:DB8::200
```

◆ IPv6 のアクセスマスクの設定

```
msh> access 対象 ID mask6 基準アドレス マスク長
```

(例) アクセス可能な IPv6 のアドレスを 2001:DB8::/32 に設定する

```
msh> access 1 mask6 2001:DB8:: 32
```

◆ アクセスコントロールの初期化

```
msh> access flush
```

- ・アクセスコントロールの初期化は、全てのアクセスレンジを工場出荷時の設定に戻し、IPv4 環境では「0.0.0.0」に、IPv6 環境では「::」となります。

↓ 補足

- ・アクセスレンジは、印刷できるワークステーションを IP アドレスを使って制限するためのものです。印刷を制限する必要がない場合は、IPv4 環境では「0.0.0.0」を、IPv6 環境では「::」を設定してください。
- ・アクセスレンジの設定で、開始アドレスが終了アドレスよりも大きい場合、設定は無効となります。
- ・IPv4 と IPv6 の対象 ID は、それぞれ 1~5 の 5 件が設定できます。
- ・IPv6 は 1 件ごとにレンジとマスクが選択できます。
- ・IPv6 のマスク長は 1~128 の範囲で指定できます。
- ・制限された IP アドレスからは、印刷の送信、および Web Image Monitor にアクセスすることはできません。

autonet

AutoNet 機能を使用するには、autonet コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> autonet
```

◆ AutoNet 機能の設定

```
msh> autonet {on|off}
```

- ・ AutoNet 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

◆ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> autonet priority
```

◆ インターフェースの優先設定

```
msh> autonet priority インターフェース
```

- ・ AutoNet パラメーターを取得するインターフェースの優先順位を設定することができます。
- ・ 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

↓ 補足

- ・ 現在のインターフェース優先順位の表示は、複数のインターフェース装着の有無に関わらず、現在の優先順位が表示されます。

☰ 参照

- ・ P343 「AutoNet 機能を使用する」

bmlinks

BMLinkS の表示や設定は、bmlinks コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> bmlinks
```

◆ BMLinkS の設定

```
msh> bmlinks パラメーター
```

パラメーター	設定される項目
devicename 文字列	BMLinkS プリンタサービス名を設定します。 デフォルトは、RNPxxxxx です。これは、システム設定リストの「インターフェース情報」に記載されている「プリンタ名」です。
country 文字列	国名情報を設定します。 デフォルトは JP です。

パラメーター	設定される項目
orgnz 文字列	会社／組織名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
branch 文字列	支店名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
building 文字列	ビル名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
floor 文字列	階数情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
block 文字列	ブロック名情報を設定します。 デフォルトでは何も設定されていません。
plainonly {on off}	平文による通信のみを行います。 デフォルトでは「off」に設定されています。
paused {always selectable none}	機密印刷の動作方式を設定します。 デフォルトでは「selectable」に設定されています。
timeout [30-65535]	印刷データの受信タイムアウト時間を設定します。 デフォルトでは 900 秒に設定されています。

◆ 設定のリセット

```
msh> bmlinks clear パラメーター
```

bonjour

Bonjour 関連の表示と設定は、bonjour コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> bonjour
```

◆ コンピューター名の設定

```
msh> bonjour cname 文字列
```

- ・文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

◆ 設置場所情報の設定

```
msh> bonjour location 文字列
```

- ・文字列を省略した場合は、現在の設定値を表示します。

◆ プロトコルごとの優先順位の設定

```
msh> bonjour diprint {0-99}
```

```
msh> bonjour lpr {0-99}
```

```
msh> bonjour ipp {0-99}
```

- ・diprint、lpr、ipp それぞれの優先度を設定します。数字が小さいほど優先度が高くなります。

◆ IP TTL 値の設定

```
msh> bonjour ipttl {1-255}
```

- ・ IP TTL 値（越えられるルータの数）を設定します。初期値は 255 です。

◆ コンピューター名と設置場所情報のリセット

```
msh> bonjour clear {cname | location}
```

- ・ cname を指定するとコンピューター名をリセットします。本機を再起動すると、コンピューター名の表示は初期値になります。
- ・ location を指定すると設置場所情報をリセットします。設置場所情報の表示は空欄になります。

◆ インターフェースの設定

```
msh> bonjour linklocal インターフェース名
```

- ・ インターフェース名を省略した場合は、現在の設定値を表示します。
- ・ 接続する PC の IP アドレスが、DHCP の Autonet に使用される linklocal アドレスになっており、本機に複数のインターフェースが装着されている場合に、インターフェースを指定することによって通信ができるようになります。
- ・ この設定をしない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ IPP のポート番号選択

```
msh> bonjour ippport [ipp | ssl]
```

- ・ SSL が有効になっているときに表示されます。
- ・ ipp を選ぶとポート番号は 631 に、ssl を選ぶとポート番号は 443 に設定されます。

devicename

本体機器名の表示や設定は、devicename コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> devicename
```

◆ 本体機器名の設定

```
msh> devicename name 文字列
```

- ・ 本体機器名は 31 バイト以下で指定します。
- ・ 1 台の機器に複数の本体機器名を設定することはできません。

◆ 本体機器名の初期化

```
msh> devicename clear name
```

- ・ 本体機器名を工場出荷時の設定に戻します。

dhcp

DHCP の設定は、dhcp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> dhcp
```

◆ DHCP 機能の設定

```
msh> dhcp インターフェース {on|off}
```

- DHCP 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- DNS サーバーアドレスやドメイン名を DHCP から取得する場合、必ず「on」に設定してください。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ 現在のインターフェース優先順位の表示

```
msh> dhcp priority
```

◆ インターフェースの優先設定

```
msh> dhcp priority インターフェース
```

- DNS サーバーアドレスやゲートウェイアドレスが、どのインターフェースの DHCP サーバーのものを優先して利用するかを設定します。
- 優先順位の設定は、複数のインターフェース装着時に有効です。

◆ DNS サーバーアドレスの選択

```
msh> dhcp dnsaddr {dhcp|static}
```

- DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
- DNS サーバーのアドレスを DHCP サーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

◆ ドメイン名の選択

```
msh> dhcp domainname {dhcp|static}
```

- ドメイン名を DHCP サーバーから取得するか、ユーザーの設定値にするかを選択します。
- ドメイン名を DHCP サーバーから取得する場合は「dhcp」、ユーザー設定値の場合は「static」を指定します。

☰ 参照

- P.342 「DHCP を使用する」
- P.215 「dns」
- P.216 「domainname」

diprint

コンピュータから直接印刷を行うことができるダイレクトプリントポートの表示と設定は、diprint コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> diprint
```

次の設定値が表示されます。

```
port 9100
```

```
timeout = 300(sec)
```

```
bidirect on
```

```
con multi
```

```
apl async
```

- ・「port」使用するポート番号が表示されます。
- ・「bidirect」ダイレクトプリントポートが双方向通信に対応しているか表示されます。

◆ タイムアウトの設定

```
msh> diprint timeout [30~65535]
```

- ・ネットワークからデータを受信する際のタイムアウト時間を設定できます。
- ・工場出荷時の設定値は 300（秒）です。

◆ 同時接続数の設定

```
msh> diprint conn {multi|single}
```

- ・diprint の同時接続数を multi（複数）か single（1）か設定します。

dns

DNS（Domain Name System）の表示や設定は、dns コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> dns
```

◆ IPv4 による DNS サーバーの設定

```
msh> dns 対象 ID server アドレス
```

- ・IPv4 による DNS サーバーアドレスを設定します。
- ・対象 ID は 1~3 までです。3 件まで登録できます。
- ・「255.255.255.255」は設定できません。

◆ IPv6 による DNS サーバーの設定

```
msh> dns 対象 ID server6 アドレス
```

- ・IPv6 による DNS サーバーアドレスを設定します。
- ・対象 ID は 1~3 までです。3 件まで登録できます。

◆ ダイナミック DNS 機能の設定

```
msh> dns インターフェース ddns {on|off}
```

- ・ダイナミック DNS 機能の有効/無効を指定します。
- ・ダイナミック DNS 機能を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ レコード重複時の動作指定

```
msh> dns overlap {update|add}
```

- レコードが重複したときの動作を指定します。
- update は古いレコードを削除し、新しくレコードを登録するときに指定します。
- add は古いレコードを残し、新しいレコードを追加登録するときに指定します。
- CNAME の重複の場合は、設定にかかわらず更新を行います。

◆ CNAME の登録

```
msh> dns cname {on|off}
```

- CNAME を登録するかどうかを指定します。
- CNAME の登録を有効にするには「on」を、無効にするには「off」を指定します。
- 登録される CNAME は RNP からはじまるデフォルトの名前です。CNAME は変更できません。

◆ A レコードの登録

```
msh> dns arecord {dhcp|own}
```

- dhcp は本機を代行して、DHCP サーバが DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。
- own は本機が DNS クライアントとして A レコードの登録を行う場合に指定します。登録には、「DHCP」で指定した「DNS サーバアドレスの選択」および「ドメイン名の選択」の値が使用されます。

◆ レコードの更新間隔の設定

```
msh> dns interval 更新間隔時間
```

- ダイナミック DNS 機能を使用しているときに、レコードを更新する間隔を指定します。
- 更新間隔を 1 時間単位で指定します。1~255 の間で指定します。
- 初期値は「24」です。

domainname

ドメイン名の表示や設定は、domainname コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> domainname
```

◆ 現在の各インターフェースのドメイン名表示

```
msh> domainname インターフェース
```

◆ 各インターフェースのドメイン名設定

```
msh> domainname インターフェース name ドメイン名
```

- ドメイン名は半角英数字 63 文字以下で指定します。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ 各インターフェースのドメイン名削除

```
msh> domainname インターフェース clear name
```

help

使用できるコマンドの一覧および使用方法の表示は、help コマンドを使用します。

◆ コマンド一覧の表示

```
msh> help
```

◆ コマンド使用方法の表示

```
msh> help コマンド名
```

hostname

ホスト名を変更するには、hostname コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> hostname
```

◆ 現在の各インターフェースのホスト名表示

```
msh> hostname インターフェース
```

◆ 各インターフェースのホスト名の設定

```
msh> hostname インターフェース name ホスト名
```

- ・ホスト名は半角英数字 63 文字以下で指定します。
- ・RNP ではじまる名前は、大文字、小文字が混ざった場合でも設定できません。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ 各インターフェースのホスト名の初期化

```
msh> hostname インターフェース clear name
```

ifconfig

TCP/IP の、IP アドレス、サブネットマスク、ブロードキャストアドレス、デフォルトゲートウェイアドレスの表示や設定は、ifconfig コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> ifconfig
```

◆ IPv4 アドレスの設定

```
msh> ifconfig インターフェース アドレス
```

- ・この設定しない場合は、自動的にイーサネットインターフェースが設定されます。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

(例) イーサネットインターフェースの IP アドレスを 192.168.15.16 に設定する

```
msh> ifconfig ether 192.168.15.16
```

◆ IPv6 アドレスの設定

```
msh> ifconfig インターフェース名 inet6 アドレス プレフィックス長
```

(例) イーサネットインターフェースの IPv6 アドレスを 2001:DB8::100、プレフィックス長を 64 に設定する

```
msh> ifconfig ether inet6 2001:DB8::100 64
```

◆ ネットマスクの設定

```
msh> ifconfig インターフェース名 netmask アドレス
```

(例) イーサネットインターフェースのサブネットマスクを 255.255.255.0 に設定する

```
msh> ifconfig ether netmask 255.255.255.0
```

◆ ブロードキャストアドレスの設定

```
msh> ifconfig インターフェース broadcast アドレス
```

◆ インターフェース切り替え

```
msh> ifconfig インターフェース名 up
```

(例) 接続時にイーサネットを使用する

↓ 補足

- ・設定するアドレスはネットワーク管理者に確認してください。
- ・アドレスを 16 進形式で設定する場合は先頭に「0x」を付けてください。

info

給紙トレイ、排紙トレイ、およびエミュレーションなどの機器情報の表示は、info コマンドを使用します。

◆ 機器情報の表示

```
msh> info
```

☰ 参照

- ・P235 「ネットワーク経由で確認できる情報」

ipp

IPP の使用環境の設定は、IPP コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> ipp
```

◆ タイムアウトの設定

```
msh> ipp timeout {30 - 65535}
```

- ・印刷データが途切れた場合に、印刷ジョブを取り消すまでの時間を指定します。設定範囲は 30~65535 秒です。

◆ IPP ユーザー認証方式の設定

```
msh> ipp auth {basic|digest|off}
```

- ・IPP ユーザー認証を行って、IPP を使って印刷できるユーザーを制限することができます。工場出荷時はユーザー設定を行わない設定になっています。
- ・basic または digest で、認証を行います。
- ・ユーザー認証を行うように指定した場合、ユーザー名の登録を行ってください。ユーザーは 10 組まで登録できます。

◆ IPP ユーザー名の登録

```
msh> ipp user
```

次のメッセージが表示されます。

```
msh> Input user number (1 to 10):
```

設定するユーザー番号を入力し、ユーザー名とパスワードを指定します。

```
msh> IPP user name:user1
```

```
msh> IPP password:*****
```

ユーザー名とパスワードが設定されると次のメッセージが表示されます。

```
User configuration changed
```

6

ipv6

IPv6 の使用環境の表示、設定は、ipv6 コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> ipv6
```

◆ ステートレスアドレスの有効/無効設定

```
msh> ipv6 stateless {on|off}
```

- ・「on」に設定すると、本体の電源を ON にした時にルータに対してステートレスアドレス生成に必要な情報を要求します。また、その後もルータから送信させる定期的な情報を取得し、本体のステートレスアドレスの有効期間を更新します。

lpr

LPR の使用環境の表示、設定は、lpr コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> lpr
```

◆ ジョブ削除時におけるホストの同一性チェックの有効/無効設定

```
msh> lpr chkhost {on|off}
```

- ・「on」に設定すると、ジョブを送信したホストの IP アドレスからのみジョブを削除することができます。無効の場合には、ジョブを送信したホストの IP アドレス以外からもジョブの削除が可能となります。

netware

プリントサーバ名、ファイルサーバ名などの Netware 関連の設定は、netware コマンドを使用します。

◆ Netware プリントサーバ名の設定

```
msh> netware pname 文字列
```

- ・ Netware プリントサーバ名を 47 文字以下で指定します。

◆ Netware ファイルサーバ名の設定

```
msh> netware fname 文字列
```

- ・ Netware ファイルサーバ名を 47 文字以下で指定します。

◆ encaps タイプの設定

```
msh> netware encaps {802.3|802.2|snap|ethernet2|auto}
```

◆ リモートプリンタ番号の設定

```
msh> netware rnum {0 - 254}
```

◆ タイムアウト値の設定

```
msh> netware timeout {3 - 255}
```

◆ プリントサーバーモードへの設定

```
msh> netware mode pserver
```

```
msh> netware mode ps
```

◆ リモートプリンタモードへの設定

```
msh> netware mode rprinter
```

```
msh> netware mode rp
```

◆ NDS コンテキスト名の設定

```
msh> netware context 文字列
```

◆ SAP インターバル値の設定

```
msh> netware sap_interval {0-3600}
```

◆ ログインモードをファイルサーバ指定に設定

```
msh> netware login server
```

◆ ログインモードを NDS ツリー指定に設定

```
msh> netware login tree
```

◆ ログインする NDS ツリー名の設定

```
msh> netware tree NDS ツリー名
```

passwd

リモートメンテナンスのパスワードの変更は、passwd コマンドを使用します。

◆ パスワードの変更

```
msh> passwd
```

- [Old password:] が表示されるので、現在のパスワードを入力します。
- [New password:] が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
- [Retype new password:] が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

◆ スーパーバイザーによる管理者のパスワード変更

```
msh> passwd 管理者 ID
```

- 管理者のパスワードを削除、または新規設定することができます。
- [New password:] が表示されるので、新しいパスワードを入力します。
- [Retype new password:] が表示されるので、もう一度新しいパスワードを入力します。

↓ 補足

- パスワードは控えを取るなどして忘れないようにしてください。
- 入力できるのは半角英数字と表示可能な半角記号で 3~8 バイトの範囲です。大文字と小文字も区別されます。

pathmtu

PathMTU Discovery サービス機能の表示、設定は、pathmtu コマンドを使用します。

◆ 現在の設定表示

```
msh> pathmtu
```

◆ PathMTU Discovery サービス有効 / 無効の切替設定

```
msh> pathmtu {on|off}
```

- 工場出荷時は「ON」になっています。
- 送信データの MTU サイズが、ルータの MTU より大きいと、ルータから通過不可と通知され、送信に失敗することがあります。「ON」に設定をしていると、MTU サイズを最適化してデータ送信の失敗を避けることができます。
- 環境によってはルータからの通知が得られず、データ送信に失敗することがあります。その場合は「OFF」に設定してください。

prnlog

プリントログ情報の表示は、prnlog コマンドを使用します。

◆ プリントログ情報の表示

```
msh> prnlog
```

- これまでに印刷したプリントログ情報が表示されます。

```
msh> prnlog {ID 番号}
```

- 表示されたプリントログ情報の ID 番号を指定すると、印刷ジョブのさらに詳しい情報が表示されます。

目 参照

- P.235 「ネットワーク経由で確認できる情報」

route

TCP/IP ルーティングテーブルの表示、設定は、route コマンドを使用します。

◆ IPv4 の該当 route 情報の表示

```
msh> route get {destination}
```

- destination は IPv4 のアドレスを指定します。destination が 0.0.0.0 のアドレスは指定できません。
- destination を指定しない場合は、すべての route 情報を表示します。

◆ 指定された IPv4 の destination の有効/無効の切り替え設定

```
msh> route active {host|net} {destination} {on|off}
```

- {host | net} 省略時は host 設定となります。

◆ IPv4 のルーティングテーブルへの追加設定

```
msh> route add {host|net} {destination} {gateway}
```

- destination で表される host (または network) ルートおよび gateway で表されるゲートウェイアドレスをテーブルに追加します。
- destination および gateway は IPv4 のアドレスを指定します。
- {host | net} 省略時は host 設定となります。

◆ IPv4 のデフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add default {gateway}
```

◆ IPv4 のルーティングテーブルからの削除設定

```
msh> route delete {host|net} {destination}
```

- {host | net} 省略時は host 設定となります。
- destination は IPv4 のアドレスを指定します。

◆ IPv6 のデフォルトゲートウェイアドレスの設定

```
msh> route add6 default {gateway}
```

◆ 指定された IPv6 の destination のルーティングテーブルへの追加設定

```
msh> route add6 {destination} prefixlen {gateway}
```

- destination および gateway は IPv6 のアドレスを指定します。

◆ 指定された IPv6 の destination のルーティングテーブルからの削除設定

```
msh> route delete6 {destination} prefixlen
```

- ・ destination および gateway は IPv6 のアドレスを指定します。

◆ IPv6 の該当 route 情報の表示

```
msh> route get6 {destination}
```

- ・ destination は IPv6 のアドレスを指定します。

◆ 指定された IPv6 の destination の有効/無効の切り替え設定

```
msh> route active6 {destination} prefixlen {on|off}
```

◆ 全 route 情報の削除設定

```
msh> route flush
```

↓ 補足

- ・ IPv4 のルーティングテーブルの最大値は 16 です。
- ・ IPv6 のルーティングテーブルの最大値は 2 です。
- ・ ルーターを越えて別のネットワークのネットワーク機器とやりとりするときは、ゲートウェイアドレスを設定してください。
- ・ ゲートウェイアドレスはすべてのインターフェース共通になります。
- ・ Prefixlen は 1~128 の 10 進数です。

set

プロトコルの情報の表示、有効/無効の設定は、set コマンドを使用します。

◆ プロトコルの情報（有効/無効）の表示

```
msh> set ipv4
```

```
msh> set ipv6
```

```
msh> set appletalk
```

```
msh> set netware
```

```
msh> set smb
```

```
msh> set protocol
```

- ・ protocol を指定すると、ipv4、ipv6、appletalk、netware、smb、pictbridge の情報を表示します。

```
msh> set lpr
```

```
msh> set lpr6
```

```
msh> set ftp
```

```
msh> set ftp6
```

```
msh> set rsh
```

```
msh> set rsh6
```

```
msh> set diprint
```

```
msh> set diprint6
```

```
msh> set web
```

```
msh> set snmp
```

```
msh> set ssl
```

```
msh> set ssl6
```

```
msh> set nrs
```

```
msh> set rfu
msh> set rfu6
msh> set ipp
msh> set ipp6
msh> set http
msh> set http6
msh> set bonjour
msh> set nbt
msh> set ssdp
msh> set bmlinks
msh> set ssh
msh> set sftp
msh> set sftp6
```

◆ プロトコルの有効/無効の設定

- ・プロトコルを有効にするには up を、無効にするには down を指定します。

```
msh> set ipv4 {up|down}
```

- ・IPv4 でのみ通信可能の状態では IPv4 を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。
- ・IPv4 を無効にすると、lpr、ftp、sftp、rsh、diprint、web、snmp、ssl、ipp、http、bonjour、wsdev も使用できなくなります。

```
msh> set ipv6 {up|down}
```

- ・IPv6 でのみ通信可能の状態では IPv6 を無効に設定してログアウトすると、このリモートメンテナンスそのものが使用できなくなります。誤って「無効」に設定したときは、機器の操作部を使って設定し直してください。
- ・IPv6 を無効にした場合、lpr6、ftp6、rsh6、diprint6、ssl6、rfu6、ipp6、http6、sftp6、bonjour6、wsdev も使用できなくなります。

```
msh> set appletalk {up|down}
```

```
msh> set netware {up|down}
```

```
msh> set smb {up|down}
```

```
msh> set lpr {up|down}
```

```
msh> set lpr6 {up|down}
```

```
msh> set ftp {up|down}
```

```
msh> set ftp6 {up|down}
```

```
msh> set rsh {up|down}
```

```
msh> set rsh6 {up|down}
```

```
msh> set diprint {up|down}
```

```
msh> set diprint6 {up|down}
```

```
msh> set web {up|down}
```

```
msh> set snmp {up|down}
```

```
msh> set ssl {up|down}
```

```
msh> set ssl6 {up|down}
```

```
msh> set nrs {up|down}
```

```
msh> set rfu {up|down}
```

```
msh> set rfu6 {up|down}
```

```
msh> set ipp {up|down}
msh> set ipp6 {up|down}
msh> set http {up|down}
msh> set http6 {up|down}
msh> set bonjour {up|down}
msh> set ssh {up|down}
msh> set sstp {up|down}
msh> set bmlinks {up|down}
msh> set nbt {up|down}
msh> set sftp {up|down}
msh> set sftp6 {up|down}
```

show

ネットワークインターフェースボードの設定状況の表示は、show コマンドを使用します。

◆ 現在の設定値の表示

```
msh> show
```

- -p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- SMB プロトコルでコンピュータ名、ワークグループ、コメントを日本語で入力したデータを正しく表示するためには、シフト JIS が表示できる環境で使用してください。

📖 参照

- P240 「ネットワークインターフェースボードの情報」

slp

SLP の設定を変更するには、slp コマンドを使用します

```
msh> slp ttl ttl_val
```

- NetWare 5/5.1 の PureIP 環境でご使用の場合、SLP を用いて NetWare サーバを検索します。slp コマンドを使うと、SLP マルチキャストパケットが使用する TTL 値 (通過できるルーターの数+1) を指定できます。
- 工場出荷時の設定は 1 です。ローカルセグメント内のみで検索します。ただしこの TTL 値を増やした場合でもネットワーク環境で使用のルーター装置がマルチキャスト対応していなければ有効ではありません。
- 設定できる SLP パケットの TTL 値は 1~255 です。

smb

コンピュータ名やワークグループ名など SMB 関連の項目の設定、削除は、smb コマンドを使用します。

◆ コンピュータ名の設定

```
msh> smb comp コンピュータ名
```

- ・「コンピュータ名」を英数半角 15 文字以下で設定します。RNP または rnp ではじまる名前は設定できません。

◆ ワークグループ名の設定

```
msh> smb group ワークグループ名
```

- ・「ワークグループ名」を英数半角 15 文字以下で設定します。

◆ コメントの設定

```
msh> smb comment コメント
```

- ・「コメント」を英数半角 31 文字以下で設定します。

◆ 印刷完了通知の設定

```
msh> smb notif {on | off}
```

- ・印刷完了通知をする場合は「on」、通知をしない場合は「off」を指定します。

◆ コンピュータ名の削除

```
msh> smb clear comp
```

◆ グループ名の削除

```
msh> smb clear group
```

◆ コメントの削除

```
msh> smb clear comment
```

◆ プロトコルの表示

```
msh> smb protocol [netbeui {up | down} | tcpip {up | down}]
```

- ・NetBEUI、および TCP/IP プロトコルの有効/無効を指定します。有効にする場合は「up」、無効にする場合は「down」を指定します。

snmp

コミュニティ名など SNMP に関する表示、設定は、snmp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> snmp
```

- ・登録番号 1 の工場出荷時の設定は次のとおりです。
 - コミュニティ名：public
 - IPv4 アドレス：0.0.0.0
 - IPv6 アドレス：::
 - IPX アドレス：00000000:000000000000
 - アクセスタイプ：read-only
 - 有効プロトコル：IPv4/IPv6/IPX

- 登録番号 2 の工場出荷時の設定は次のとおりです。
 - コミュニティ名：admin
 - IPv4 アドレス：0.0.0.0
 - IPv6 アドレス：::
 - IPX アドレス：00000000:000000000000
 - アクセスタイプ：read-write
 - 有効プロトコル：IPv4/IPv6/IPX
- p オプションを付けると 1 画面ずつ表示されます。
- 登録番号を指定すると、その番号の現在のコミュニティ設定内容を表示します。

◆ SNMP 情報と使用可能なプロトコルの表示

```
msh> snmp ?
```

◆ コミュニティ名の設定

```
msh> snmp 登録番号 name コミュニティ名
```

- 設定できる登録番号は 1~10 です。
- 登録番号の 1~10 に public が存在しない場合、Network Monitor for Admin や Network Monitor for Client から機器を参照することはできません。コミュニティ名を変更した場合、Network Monitor for Admin とともにインストールされる「SNMP コミュニティ名設定ツール」で、機器側の設定に合わせてパソコンのコミュニティ名を変更してください。
- コミュニティ名は英数半角 15 文字以下で設定します。

◆ コミュニティ名の削除

```
msh> snmp 登録番号 clear name
```

◆ アクセスタイプの設定

```
msh> snmp 登録番号 type アクセスタイプ
```

アクセスタイプ	設定される内容
no	アクセスできません (not accessible)
read	情報の読み出しのみ可能 (read-only)
write	情報の読み出しと書き込みが可能 (read-write)
trap	エラー情報を通知 (trap)

◆ プロトコルの設定

```
msh> snmp {ipv4|ipv6|ipx} {on|off}
```

- 使用可能なプロトコルを選択します。
- プロトコルを有効にするには on を、無効にするには off を指定します。
- すべてのプロトコルを同時に Off にすることはできません。

◆ 登録番号ごとのプロトコルの設定

```
msh> snmp 登録番号 active {ipv4|ipv6|ipx} {on|off}
```

- 登録番号ごとにプロトコルの設定を変更します。ただし、プロトコル設定で無効にしたプロトコルは、このコマンドで有効にしても使用できません。

◆ アクセス設定

```
msh> snmp 登録番号 {ipv4|ipv6|ipx} アドレス
```

- 使用するプロトコルに応じたホストのアドレスを設定します。

- ・「アクセスタイプ」を「read-only」または「read-write」に設定したときは、IPv4、IPv6、IPX の場合、ここに入力したアドレスのホストからの要求だけを受け付けます。どのホストからの要求でも受け付けるようにするには、「0」を入力します。
- ・「アクセスタイプ」を「trap」に設定したときは、IPv4、IPv6、IPX の場合、情報を通知するホストのアドレスを入力します。
- ・IPv4 を使用するときにはアドレスとして IPv4 アドレスを、IPv6 を使用するときには IPv6 アドレスを、IPX/SPX を使用するときには IPX アドレスを入力します。
- ・IPX アドレスはホストが接続されているネットワークの番号とホストに取り付けられているネットワークインターフェースボードの MAC アドレス（物理アドレス）をコロン（:）で区切って入力します。

◆ sysLocation の設定

```
msh> snmp location 文字列
```

◆ sysLocation の削除

```
msh> snmp clear location
```

◆ sysContact の設定

```
msh> snmp contact 文字列
```

◆ sysContact の削除

```
msh> snmp clear contact
```

◆ SNMP V1V2 機能の設定

```
msh> snmp v1v2 {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆ SNMP V3 機能の設定

```
msh> snmp v3 {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆ SNMP TRAP の設定

```
msh> snmp trap {v1 | v2 | v3} {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆ リモート設定許可の設定

```
msh> snmp remote {on | off}
```

- ・有効にする場合は on、無効にする場合は off を指定します。

◆ SNMP V3 TRAP の設定値の表示

```
msh> snmp v3trap
```

```
msh> snmp v3trap {1- 5}
```

- ・1~5 までの数字を設定すると、その番号の設定値のみ表示します。

◆ SNMP V3 TRAP 送信先アドレスの設定

```
msh> snmp v3trap {1-5} {ipv4|ipv6|ipx} アドレス
```

◆ SNMP V3 TRAP 送信プロトコルの設定

```
msh> snmp v3trap {1-5} active {ipv4|ipv6|ipx} {on|off}
```

◆ SNMP V3 TRAP ユーザーアカウントの設定

```
msh> snmp v3trap {1- 5} account アカウント名
```

- ・アカウント名は英数半角 32 文字以下で設定します。

◆ SNMP V3 TRAP ユーザーアカウントの削除

```
msh> snmp v3trap {1- 5} clear account
```

◆ SNMP V3 暗号アルゴリズムの設定

```
msh> snmp v3auth {md5 | sha1}
```

◆ SNMP V3 暗号化の設定

```
msh> snmp v3priv {auto | on}
```

- auto を設定すると、暗号化可能な場合に暗号化されます。
- on を設定すると、平文通信は不可能となり、暗号化可能な場合のみ通信ができます。

↓ 補足

- 暗号化可能な場合とは、暗号パスワードが設定されていることです。

sntp

SNTP の設定は、sntp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> sntp
```

◆ NTP サーバーアドレスの設定

```
msh> sntp server アドレス
```

◆ インターバルの設定

```
msh> sntp interval インターバル値
```

- 設定した NTP サーバーと同期を取る間隔を指定します。工場出荷時の設定値は 60 (分) です。
- 設定できる値は 0、15~10080 (分) です。
- 0 を設定した場合には、本機の電源を入れたときに一度だけ NTP サーバーと同期を取ります。そのあとは同期を取りません。

◆ タイムゾーンの設定

```
msh> sntp timezone +/-時間
```

- NTP サーバーから取得した時刻情報との時間差を設定します。設定値は **-12:00~+13:00** です。

spoolsw

スプール印刷の設定は、spoolsw コマンドを使用します。スプール印刷設定は diprint、lpr、ipp、SMB (TCP/IP (IPv4))、BMLinkS、WS-Printer、ftp および sftp プロトコルに対応しています。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> spoolsw
```

◆ スプール印刷機能の設定

```
msh> spoolsw spool {on | off}
```

- スプール印刷機能を有効にするには on を、無効にするには off を指定します。

◆ ジョブの初期化の設定

```
msh> spoolsw clear job {on | off}
```

- ・本機の電源がスプールされたジョブの印刷中に切られた場合、本機の電源再投入時に、それまでスプールしていたジョブを印刷しなおすかどうか指定します。

◆ プロトコルの設定

```
msh> spoolsw diprint {on | off}
```

```
msh> spoolsw lpr {on | off}
```

```
msh> spoolsw ipp {on | off}
```

```
msh> spoolsw smb {on | off}
```

```
msh> spoolsw bmlinks {on | off}
```

```
msh> spoolsw ftp {on | off}
```

```
msh> spoolsw sftp {on|off}
```

- ・プロトコルごとにスプール印刷機能の有効、無効を設定します。

↓ 補足

- ・スプール印刷設定の spoolsw コマンドは、本機にハードディスクが装着されている場合に有効になります。

6

ssdp

SSDP 関連パラメータの表示、設定は、ssdp コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> ssdp
```

◆ 有効時間の設定

```
msh> ssdp profile {1801-86400}
```

- ・工場出荷時の設定値は 10800（秒）です。

◆ Advertise パケットの TTL の設定

```
msh> ssdp ttl {1-255}
```

- ・工場出荷時の設定値は 4 です。

ssh

SSH および SFTP 関連パラメータの表示と設定は、ssh コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の一覧表示

```
msh> ssh
```

◆ データ圧縮通信の設定

```
msh> ssh compression {on|off}
```

- ・工場出荷時の設定値は on です。

◆ ssh / sftp で通信するポートの設定

```
msh> ssh port {22, 1024-65535}
```

- ・工場出荷時の設定値は 22 です。

◆ ssh / sftp で通信する際のタイムアウト確認 (生存確認) の時間設定

```
msh> ssh timeout {0-65535}
```

- ・工場出荷時の設定値は 300 です。

◆ ssh / sftp で通信する際のログインタイムアウトの時間設定

```
msh> ssh logintimeout {0-65535}
```

- ・工場出荷時の設定値は 300 です。

◆ ssh / sftp で通信する際の公開鍵、公開鍵鍵長 (Keylength) の作成

```
msh> ssh genkey {512|768|1024} 複雑化文字列
```

- ・工場出荷時の設定値は公開鍵鍵長 (Keylength) が 1024、複雑化文字列 (Salt) は NULL (無) です。

◆ ssh / sftp で通信する際の公開鍵の削除

```
msh> ssh delkey
```

↓ 補足

- ・設定値を省略した場合は、現在の設定を表示します。

status

本機の状態 (ステータス) と印刷ジョブの情報 (プリントジョブ情報) の表示は、status コマンドを使用します。

◆ 表示

```
msh> status
```

📖 参照

- ・P235 「ネットワーク経由で確認できる情報」

syslog

本機のシステムログ情報として記録されたメッセージの表示は、syslog コマンドを使用します。

◆ メッセージの表示

```
msh> syslog
```

📖 参照

- ・P247 「システムログ情報」

upnp

ユニバーサル プラグ アンド プレイに関する表示、設定は、upnp コマンドを使用します。

◆ 公開 URL の表示

```
msh> upnp
```

◆ 公開 URL の設定

```
msh> upnp url 文字列
```

- ・「文字列」には URL 文字列を入力します。

web

Web Image Monitor 関連の表示、設定は、web コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> web
```

◆ リンク先として登録する URL の設定

```
msh> web x url http:// リンク先の URL または IP アドレス /
```

- ・ x は対象番号の 1~2 を指定します。2 件まで登録できます。

◆ リンク先として登録されている URL の削除

```
msh> web x clear url
```

- ・ x は対象 ID の 1~2 を指定します。

◆ リンク先として登録する URL のリンク名の設定

```
msh> web x name リンク名
```

- ・ x は対象 ID の 1~2 を指定します。

◆ リンク先として登録されている URL のリンク名の削除

```
msh> web x clear name
```

- ・ x は対象 ID の 1~2 を指定します。

◆ ヘルプの参照先 URL の設定

```
msh> web help http:// ヘルプの URL または IP アドレス
```

◆ ヘルプの参照先 URL の削除

```
msh> web clear help
```

wins

WINS サーバーの設定は、wins コマンドを使用します。

◆ 現在の設定の表示

```
msh> wins
```

- ・ DHCP から取得した IPv4 アドレスと WINS の IPv4 アドレスが異なった場合、DHCP から取得した IPv4 アドレスが有効です。
- ・ DHCP から取得した IP アドレスと WINS の IP アドレスが異なった場合、DHCP から取得した IP アドレスが有効です。

◆ WINS 機能の設定

```
msh> wins インターフェース {on|off}
```

- ・ WINS 機能を有効するには on を、無効にするときは off を指定します。
- ・ インターフェースを必ず指定してください。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

◆ WINS サーバーのアドレス設定

```
msh> wins インターフェース {primary|secondary} IP アドレス
```

- ・ primary でプライマリ WINS サーバのアドレスを設定できます。
- ・ secondary でセカンダリ WINS サーバのアドレスを設定できます。
- ・ IP アドレスに、255.255.255.255 は指定できません。

◆ NBT (NetBIOS over TCP/IP) スコープ ID の設定

```
msh> wins インターフェース scope スコープ ID
```

- ・ スコープ ID は半角英数字 31 文字以内で指定します。
- ・ インターフェースを必ず指定してください。

インターフェース	設定されるインターフェース
ether	イーサネットインターフェース

SNMP

SNMP を使って本機の情報を取得する方法の説明です。

本機内蔵のイーサネットインターフェースでは UDP と IPX 上で動作する SNMP (Simple Network Management Protocol) エージェントが組み込まれています。

また、本機はユーザー認証、データの暗号化、アクセス制御のセキュリティ面が強化されている SNMPv3 にも対応しています。

SNMPv3 の暗号化通信を使用するためには、本機に暗号パスワードが設定されていることが必要です。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できません。
- 本機のコミュニティ名を工場出荷時から変更した場合、Network Monitor for Admin に同梱されている SNMP コミュニティ名設定ツールを使用して接続するパソコンの設定を変更してください。詳しくは SNMP コミュニティ名設定ツールのヘルプを参照してください。工場出荷時のコミュニティ名には「public」と「admin」が設定されています。このコミュニティ名で MIB 情報を取得することができます。

◆ SNMP コミュニティ名設定ツールの起動

- Windows 95/98/Me, Windows 2000, Windows NT 4.0 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし [プログラム] から [Network Monitor for Admin] をポイントして [SNMP コミュニティ名設定ツール] を起動します。
- Windows XP/Vista, Windows Server 2000 の場合は、[スタート] ボタンをクリックし [すべてのプログラム] から [Network Monitor for Admin] をポイントして [SNMP コミュニティ名設定ツール] を起動します。

E 参照

- P.13 「お使いになる前に」

ネットワーク経由で確認できる情報

機器の状態や情報を表示したときの各項目の詳細です。

★重要

- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

機器の状態

機器のステータスの確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されないステータスがあります。

- ・UNIX の場合
lpq コマンド、rsh、rcp、ftp の stat パラメータを使います。
- ・mshell の場合
status コマンドを使います。

ステータス	意味
Call Service Center	エンジン部、またはコントローラー部に以上が発生しました。
Canceling Job...	ジョブリセット中です。
Cannot multi-install: SD Card	SD カードが、他の機器にインストール済みです。2重にインストールすることはできません。
Configuring...	設定変更中です。
Cover Open: Duplex Unit	両面ユニットのカバーが開いています。
Cover Open: Front Cover	本体前カバーが開いています。
Cover Open: Paper Exit	本体排紙口カバーが開いています。
Cover Open: Rear Cover	本体後ろカバーが開いています。
Empty: Black Toner	ブラックトナーがなくなりました。
Energy Saver Mode	省エネモード中です。
Envelope Lever: At Env./Thick	封筒レバーの位置が封筒位置にあります。
Error: Ethernet Board	イーサネットボードに異常が発生しました。
Error: Board	ハードディスクエラーが発生しました。
Error: Optional Font	プリンターのフォントファイルにエラーが発生しました。
Error: Optional RAM	オプションのメモリモジュールにエラーが発生しました。
Error: Parallel I/F Board	パラレルインターフェースにエラーが発生しました。
Error: PDL	ページ記述言語にエラーが発生しました。
Error: Rem. Certificate Renewal	証明書の自動更新中にエラーが発生しました。

ステータス	意味
Error: USB Board	オプションの USB ホストボードにエラーが発生しました。
Error: USB Interface	USB インターフェースにエラーが発生しました。
Full: Standard Tray	本体排紙トレイが満杯です。
Full: Waste Toner	廃トナーが満杯です。
Hex Dump Mode	ヘキサダンプモード中です。
Independent-supplier Toner	純正でないトナーがセットされています。
In Use: Input Tray	給紙トレイが使用中です。
Job Suspended	一時停止中です。
Low: Toner	ブラックトナーが残り少なくなりました。
Mismatch: Paper Size	選択された給紙トレイのサイズが、指定されたものと異なります。
Mismatch: Paper Size and Type	選択された給紙トレイの用紙種類とサイズが、指定されたものと異なります。 または、自動トレイ選択を指定しているとき、指定の用紙種類とサイズがありません。
Mismatch: Paper Type	選択された給紙トレイの用紙種類が、指定されたものと異なります。
Nearly Full: Waste Toner	廃トナーがもうすぐ満杯です。
No Paper: Selected Tray	指定されたトレイに用紙がありません。
No Paper: Tray 1	トレイ 1 に用紙がありません。
No Paper: Tray 2	トレイ 2 に用紙がありません。
No Paper: Tray 3	トレイ 3 に用紙がありません。
No Paper: Tray 4	トレイ 4 に用紙がありません。
Not Detected: Fusing Unit	定着ユニットが正しくセットされていません。
Not Detected: Input Tray	給紙トレイが正しくセットされていません。
Not Detected: PCU (K)	感光体ユニット (ブラック) が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 1	トレイ 1 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 2	トレイ 2 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 3	トレイ 3 が正しくセットされていません。
Not Detected: Tray 4	トレイ 4 が正しくセットされていません。
Offline	プリンターがオフライン状態です。
Paper Misfeed: Duplex Unit	両面ユニットで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Input Tray	給紙トレイで紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Internal/Output	本体内部で紙づまりが発生しました。
Paper Misfeed: Output Tray	本体排紙部で紙づまりが発生しました。

ステータス	意味
Printing	印刷中またはデータ受信中です。
Processing	データ処理中です。
Proxy User/Password Incorrect	プロキシユーザー名またはパスワードが不正です。
Proxy Address/Port Incorrect	プロキシアドレス、またはポート番号が不正です。
RC Gate Connection Error	RC Gate との接続に失敗しました。
Ready	使用可能です。
Renewing Remote Certificate	リモートビス証明書を更新中です。
Replace Maintenance Kit	メンテナンスキットの交換時期です。
SD Card Authentication failed	SD カードからの認証に失敗しました。
SD Card not inserted	SD カードがセットされていません。
Tray Error: Duplex Printing	両面禁止トレイに両面印刷を指定したため、両面印刷設定トレイエラーが発生しました。
Warming Up...	準備中です。

↓ 補足

- エラーの内容は、システム設定リストや印刷条件一覧に印刷される場合があります。あわせてご確認ください。印刷方法については、「テスト印刷メニュー」を参照してください。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.282 「本機の状態表示」
- P.231 「status」
- P.148 「テスト印刷メニュー」

機器情報

機器の給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション、および登録しているプログラムの情報の確認方法と、項目の説明です。

- UNIX の場合
rsh、rcp、ftp、sftp の info パラメータを使います。
- mshell の場合
info コマンドを使います。

Input Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている給紙トレイ名称が表示されます。
PageSize	ご使用の機器に装着されている給紙トレイに設定されている用紙サイズが表示されます。
Status	給紙トレイの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal : 正常 • NoInputTray : トレイなし • PaperEnd : 用紙なし

Output Tray

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装着されている排紙トレイ名称が表示されます。
Status	排紙トレイの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Normal : 正常 • PaperExist : 用紙あり • OverFlow : 用紙が満杯 • Error : その他エラー

Emulation

項目名	内容
No.	ご使用の機器に装備されているエミュレーション番号が表示されます。
Name	ご使用の機器に装備されているエミュレーション名が表示されます。
Version	ご使用の機器に装備されている、各エミュレーションのバージョンが表示されます。

E 参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.218 「info」
- P.282 「本機の状態表示」

取得情報の内容

ネットワークインターフェースボードから取得することができる情報の詳細です。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

プリントジョブ情報

印刷待ちジョブの情報の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
lpq コマンド、rsh、rcp、ftp、sftp の stat パラメーターを使います。
- mshell の場合
status コマンドを使います。

項目名	意味
Rank	印刷ジョブの状態が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Active 印刷中、または印刷処理待ち状態 • 1st、2nd、3rd、4th... プリンターへのファイル転送待ち状態
Owner	印刷要求元のログインユーザー名が表示されます。
Job	印刷要求番号が表示されます。
Files	ファイル名が表示されます。
Total Size	印刷ジョブのデータサイズが表示されます。 ^{*1}

^{*1} 複数のファイルを 1 ジョブとして投入した場合は、先頭ファイルのサイズが表示されます。

📖参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.231 「status」
- P.282 「本機の状態表示」

プリントログ情報

これまでに印刷した過去20件分のジョブの記録の確認方法と、表示される項目の説明です。

- UNIX の場合
rsh、rcp、ftp、sftp の prnlog パラメーターを使います。
- mshell の場合
prnlog コマンドを使います。

項目名	意味
ID	印刷要求番号が表示されます。
User	印刷要求元のユーザー名、ワークステーション名、またはアドレスが表示されます。
Page	印刷したページ数が表示されます。
Result	<p>通信結果が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Finished 通信上、印刷要求は正常に終了しました。ただしプリンター側の問題で印刷が正常に終了していない場合があります。 • Failed 印刷が正常に終了しませんでした。 • Canceled rcp、rsh、lpr コマンドの印刷要求が中止されました。印刷アプリケーションにより発生する場合があります。ftp、sftp、rprinter では発生しません。
Time	印刷要求受け付け時間が表示されます。

目 参照

- P.222 「prnlog」
- P.282 「本機の状態表示」

ネットワークインターフェースボードの情報

ネットワークインターフェースボードの設定内容の確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては、表示されない項目があります。

- mshell の場合
show コマンドを使います。

項目名	意味
Common	プロトコル利用設定
Mode	
Protocol Up/Down	
AppleTalk	

項目名	意味
IPv4 IPv6 NetWare SMB PictBridge Device Up/Down Parallel USB Ethernet interface Syslog priority NVRAM version Device name Comment Location Contact Soft switch	デバイス利用設定
AppleTalk Mode Net Object Type Zone	AppleTalk 関連設定
TCP/IP Mode(IPv4) Mode(IPv6) ftp lpr rsh telnet diprint web http ftpc snmp	TCP/IP のポートアドレスなどの設定

項目名	意味
ipp	
autonet	
bonjour	
ssl	
nrs	
rfu	
nbt	
ssdp	
bmlinks	
ssh	
sftp	
IPv4	
DHCP	
Address	
Netmask	
Broadcast	
Gateway	
IPv6	
Stateless	
Manual	
Gateway	
EncapType	
Host name	
DNS Domain	
Access Control	アクセス制限設定
IPv4	
AccessEntry [X]	X は 1~5 まで設定できます。
IPv6	
AccessEntry [X]	X は 1~5 まで設定できます。
Time server	時刻関連設定
Time Zone	
Time server polling time	
SYSLOG server	
Home page URL1	WebSys 関連の設定

項目名	意味
Home page link name1 Home page URL2 Home page link name2 Help page URL	
NetWare EncapType RPRINTER number Print server name File server name Context name Switch Mode NDS/Bindery Packet negotiation Login Mode Print job timeout Protocol SAP interval time NDS Tree Name Transfer Protocol	Netware 設定
SMB Switch Mode Direct print Notification Workgroup name Computer name Comment Share name[1] Protocol	SMB 動作/設定
SCSI print Bidi	
IEEE 802.11b Host Name	IEEE 802.11b インターフェース動作/設定

項目名	意味
Communication Mode SSID Channel range Channel Tx Rate Security WEP Authentication WEP Encryption key number WEP encryption WEP Encryption keys [X] WPA Encryption WPA Authentication Pre-Shared Key User name Domain name EAP Type Password Phase 2 user name Phase 2 Method TTLS Phase 2 Method PEAP Server cert. Intermediate CA Server ID	X は 1～5 まで設定できます。
DNS IPv4 Server[X] Selected IPv4 DNS Server IPv6 Server[X]	DNS 動作 / 設定 X は 1～3 まで設定できます。 X は 1～3 まで設定できます。
Domain Name ether wlan	
DDNS ether	

項目名	意味
wlan	
WINS ether Primary WINS Secondary WINS wlan Primary WINS Secondary WINS	WINS 動作/設定
SSDP UUID Profile TTL	SSDP 動作/設定
BMLinkS Plain Only Paused Print Timeout Device Name Country Organization Branch Building Floor Block	BMLinkS 動作/設定
UPnP URL	UPnP 動作/設定
Bonjour Computer Name(cname) Local Hostname (ether) Local Hostname (wlan) Location Priority (diprint) Priority (lpr) Priority (ipp) IP TTL	Bonjour (Rendezvous) 動作/設定

項目名	意味
LinkLocal Route for Multi I/F IPP Port	
SNMP SNMPv1v2 SNMPv3 protocol v1Trap v2Trap v3Trap SNMPv1v2 Remote Setting SNMPv3 Privacy	SNMP 動作／設定
ssh Compression Port TimeOut LoginTimeOut	ssh 動作／設定
AuthFree IPv4 AuthFreeEntry[X] IPv6 AuthFreeEntry[X] Parallel USB	認証除外動作／設定 X は 1～5 まで設定できます。 X は 1～5 まで設定できます。
LPR lprm check host lpr prnerrchk	
Certificate Verification	
Shell mode	リモートメンテナンスツールのモード

メッセージ一覧

プリンターのシステムログ情報として記録されるメッセージと、ユーティリティやコマンドの使用時に表示されるメッセージの一覧です。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

システムログ情報

システムログ情報の確認方法と、表示される項目の説明です。お使いの機種によっては表示されない項目があります。

- UNIX の場合
rsh、rcp、ftp、sftp の syslog パラメーターを使います。
- mshell の場合
syslog コマンドを使います。

Access to NetWare server < ファイルサーバ名 > denied. Either there is no account for this print server on the NetWare server or the password was incorrect.

(プリントサーバ動作時) ファイルサーバにログインできません。ファイルサーバ上にプリントサーバが登録されているか確認してください。プリントサーバにパスワードを設定している場合はパスワードを削除してください。

account is unavailable: same account name be used.

一般ユーザーアカウント名と管理者アカウント名が重複しているため、一般ユーザーアカウント名が無効になりました。どちらかのアカウント名を別のものにしてください

account is unavailable: The authentication password is not set up.

認証パスワードが設定されてなく、暗号パスワードのみ設定されているため、アカウントが無効になりました。暗号パスワードを削除するか、認証パスワードを入力してください。

account is unavailable: encryption is impossible.

暗号化できないため、アカウントが無効になりました。

add_sess_IPv4:bad trap addr:<IPv4 アドレス>, community:<コミュニティ名>

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPv4 のアドレス 0.0.0.0 は無効です。Trap 送信先ホストの IPv4 アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPv6:bad trap addr:<IPv6 アドレス>, community:<コミュニティ名>

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPv6 のアドレス [::] は無効です。Trap 送信先ホストの IPv6 アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPv4: community <コミュニティ名> already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。

add_sess_IPv6: community < コミュニティ名 > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しない名前を設定して下さい。

add_sess_IPX: bad trap addr: <IPX アドレス>, community:< コミュニティ名 >

コミュニティのアクセスタイプが Trap の場合、IPX アドレス 00:00:00:00:00:00 は無効です。Trap 送信先ホストの IPX アドレスを指定して下さい。

add_sess_IPX: community < コミュニティ名 > already defined.

コミュニティ名が重複しています。他のコミュニティ名と重複しないコミュニティ名を設定して下さい。

Attach FileServer=< ファイルサーバ名 >

ニアレストサーバとしてファイルサーバに接続しました。

Attach to print queue < プリントキュー名 >

プリントサーバ動作時にプリントキューに接続しました。

authenticated

認証に成功しました。

authenticating

アクセスポイントとの認証処理 (EAP もしくは WPA) を行っているところです。

Authentication mode mismatch

アクセスポイントの認証モードが、利用したいものと違います。設定を確認してください。

btd is disabled.

セキュリティモード設定で btd が無効です。セキュリティモード設定の btd を使用可にしてください。

centrod is disabled.

セキュリティモード設定で centrod (パラレル) が無効です。セキュリティモード設定の centrod (パラレル) を使用可にしてください。

client EAP method rejected

RADIUS サーバが、本機によって選択された EAP メソッドを拒絶しました。

Client password rejected

パスワードが拒否されました。パスワードを確認してください。

Client TLS certificate rejected

TLS において、証明書が拒否されました。証明書を確認してください。

Cannot create service connection

(リモートプリンター起動時) ファイルサーバとコネクションを確立できません。ファイルサーバのユーザ制限を越えている場合があります。

Cannot find rprinter (< プリントサーバ名 >/< プリンタ番号 >)

(リモートプリンター起動時) プリントサーバ上にプリンター番号のプリンターがありません。プリントサーバに登録されているプリンターのプリンタ番号を確認してください。

Change IP address from DHCP Server.

DHCP サーバからの IPv4 アドレスのリース更新時に、本機が使用していた IPv4 アドレスが変更されました。DHCPD を終了します。毎回同じ IPv4 アドレスが割り当てられるように、DHCP サーバを設定してください。

child process exec error! (プロセス名)

ネットワーク関連の起動に失敗しました。電源再投入しても回復しない場合は、保守会社に連絡してください。

Connected DHCP Server (<DHCP サーバアドレス>).

DHCP サーバからの IPv4 アドレス取得に成功しました。

connecting

アクセスポイントとの無線接続をしようとしているところです。

Could not attach to FileServer <エラー番号>

(リモートプリンタ起動時) ファイルサーバに接続できません。ファイルサーバの設定を確認してください。

Could not attach to PServer <プリントサーバ名>

(リモートプリンタ起動時) プrintサーバに接続できません。Printサーバの設定を確認してください。

Current Interface Speed : < EthernetI/F 速度 >

現在の Ethernet I/F の速度です。(10Mbps、100Mbps、または 1Gbps)。

Current IP address <IP アドレス>.

現在の IPv4 アドレスです。

Current IPX address <IPX アドレス>

現在の IPX アドレスです。

DHCP lease time expired.

DHCP リース切れになりました。DHCP Discover を再び行います。なお、使用していた IPv4 アドレスが使用できなくなります。

DHCP server not found.

DHCP サーバが見つかりませんでした。ネットワーク上に DHCP サーバが起動していることを確認してください。

dhcpcd start.

dhcpcd (DHCP クライアントサーバ) を起動しました。

disconnected

接続されていない状態です。

dpsd is disabled.

セキュリティモード設定で PictBridge が無効です。PictBridge は使用できません。セキュリティモード設定の PictBridge を使用可にしてください。

Duplicate IP=< IP アドレス > (from < MAC アドレス >).

本機に設定された IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが重複しています。IP アドレスはそれぞれ固有でなければなりません。表示された MAC アドレスの機器をチェックしてください。IPv6 では、重複した Mac アドレスは表示されません。

Established SPX Connection with PServer, (RPSocket=< ソケット番号 >, connID=< コネクション ID>)

(リモートプリンタ起動時) プリントサーバと接続しました。

exiting

lpd のサービスを終了しています。

Exit pserver

(プリントサーバ動作時) 必要な設定がされていないため、プリントサーバを終了しました。

Frametype=< フレームタイプ名 >

NetWare で使用するフレームタイプ名を設定しました。

httpd start.

httpd が起動しました。

IEEE 802.11b card removed

無線カードが取り除かれました。

IEEE 802.11b interface down

IEEE 802.11b のインターフェースが無効です。

IEEE 802.11b interface up

IEEE 802.11b のインターフェースが有効になっているか、アクセスポイントに接続されたところです。

IEEE 802.11b < 通信モード > mode

IEEE 802.11b の通信モードを表示します。

inetd start.

inetd を開始します。

Interface(インターフェース名): Duplicate IP Address(< IP アドレス >).

本体に指定された IP アドレス (IPv4、または IPv6 アドレス) が重複して使用されています。IP アドレスはそれぞれ固有のものでなければなりません。表示された IP アドレスの機器をチェックしてください。

< Interface > started with IP: < IP アドレス >

インターフェースに IP アドレス (IPv4 アドレス、または IPv6 アドレス) が設定されて、動作を開始しました。

< Interface >: Subnet overlap.

< Interface > に設定しようとした IPv4 アドレスと Netmask から導かれる Subnet 範囲が、ほかのインターフェースの Subnet 範囲と重なっています。各インターフェースの Subnet 範囲が重ならないように設定してください。

IPP cancel-job: permission denied.

ジョブのキャンセル時にユーザ名による認証に失敗しました。

IPP job canceled. jobid=%d.

エラーあるいはユーザ要求により、スプールされたジョブがキャンセルされました。

LEAP challenge to access point failed

アクセスポイントへの LEAP 方式を使った認証に失敗しました。

LeaseTime=<リース時間>(sec), RenewTime=<更新間隔>(sec).

DHCP サーバから取得した IPv4 アドレスのリース時間は <リース時間> 秒、更新時間は <更新間隔> 秒で表示されます。

Login to fileserver <ファイルサーバ名> (<IPX|IPv4|IPv6>,<NDS|BINDERY>)

(プリントサーバ動作時) ファイルサーバに NDS または BINDERY モードでログインしました。使用しているトランスポートプロトコルも表示されます。

Memory allocate error.

メモリ取得に失敗しました。ケーブルの抜き差しを行ってください。

MIC failure TKIP counter measures started

TKIP を用いているサブリカントが、60 秒以内に 2 箇所のデータ改ざんを見つけ、その対策を開始しました。

MIC failure TKIP counter measures stopped

TKIP を用いているサブリカントが、データ改ざんが見つかり対策を開始して 60 秒経ち、その対策を止めました。

Name registration success. WINS Server = <WINS サーバアドレス> NetBIOS Name = <NetBIOS 名>

WINS サーバアドレスへの NetBIOS 名の登録が成功しました。

Name registration success in Broadcast name= <NetBIOS 名>

ブロードキャストによる NetBIOS 名の登録が成功しました。

Name registration failed. name= <NetBIOS 名>

NetBIOS 名の登録に失敗しました。NetBIOS 名を別の名前に変更してください。

nbtd start.

nbtd(NetBIOS over TCP/IP Daemon) を起動しました。

no RADIUS/authentication server

利用可能な RADIUS サーバがないというメッセージを受信しました。

no smart card detected on device

PEAP/GTC が選択されましたが、GTC (Generic Token Card) 認証の間、スマートカードが見つかりませんでした。

nprinter start. (NetWare)

(リモートプリンタ動作時) NetWare サービスをリモートプリンタモードで起動しました。

nwstart start. (NetWare)

NetWare プロトコルスタック設定サーバが起動しました。

Open log file <ファイル名>

(プリントサーバ動作時) 監視ログファイルを開きました。

phy release file open failed.

ネットワークボードに異常が発生している可能性があります。

Print queue < プリントキュー名 > cannot be serviced by printer 0, < プリントサーバ名 >
(プリントサーバ動作時) プリントキューを確認できません。プリントキューのボリュームが設定したファイルサーバ上に存在するか確認してください。

Print server < プリントサーバ名 > has no printer
(プリントサーバ動作時) プリントサーバにプリンターが割り当てられていません。NetWare アドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。

print sessions full
印刷要求が最大セッション数に達しています。しばらくしてから再接続してください。

Printer < プリンター名 > has no queue
(プリントサーバ動作時) プリンターにプリントキューが割り当てられていません。NetWare アドミニストレータで割り当て後、プリンターを再起動してください。

pserver start. (NetWare)
(プリントサーバ動作時) NetWare サービスをプリントサーバモードで起動しました。

6

Required file server (< ファイルサーバ名 >) not found
設定されたファイルサーバが見つかりませんでした。

restarted.
lpd のサービスを開始しました。

sap enable, saptype=< SAP タイプ >, sapname=<SAP 名 >
SAP 機能が起動しました。SAP (SAP タイプ、SAP 名) パケットを発行し、NetWare サーバ上の SAP テーブルにサービスの存在を登録します。

server certificate invalid
サーバ証明書が無効であることを検知しました。

server identity invalid
サーバ ID が無効です。サーバ認証設定を確認してください。

server not trusted
RADIUS サーバーは信用できないので、接続しませんでした。

session_IPv4 < コミュニティ名 > not defined.
認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

session_IPv6 < コミュニティ名 > not defined.
認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

session_IPX < コミュニティ名 > not defined.
認証不可のコミュニティ名で、設定要求を受けました。

Set context to <NDS コンテキスト名 >
NDS コンテキストを設定しました。

smbd start. (NetBIOS)
smbd(Sever Message Block Daemon) が起動しました。

SMTPC: failed to get smtp server ip-address.

SMTP サーバーの IP アドレスを取得できません。DNS サーバーを探せないか、DNS サーバに指定した SMTP サーバの IP アドレスがありません。DNS サーバーの IP アドレスを確認してください。または SMTP サーバの IP アドレスを確認してください。

SMTPC: failed to connect smtp server. timeout.

応答待ちでタイムアウトしたため、SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバー名が間違っている、ネットワークに接続されていない、またはネットワークの設定が間違っており、SMTP サーバーからの応答を取得できません。SMTP サーバ名を確認してください。またはネットワークの接続と設定を確認してください。

SMTPC: refused connect by smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバーではないサーバーを指定したか、SMTP サーバーのポート番号が間違っています。SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または SMTP サーバの SMTP ポート番号を確認してください。

SMTPC: no smtp server. connection close.

SMTP プロトコルの応答が返ってこないため、SMTP サーバーに接続できません。SMTP サーバーではないサーバーを指定したか、SMTP サーバーのポート番号が間違っています。SMTP サーバ名、SMTP ポート番号、または SMTP サーバの SMTP ポート番号を確認してください。

SMTPC: failed to connect smtp server.

SMTP サーバーに接続できません。ネットワークに接続されていない、ネットワークの設定が間違っている、SMTP サーバーからの応答を取得できない、SMTP サーバー名が間違っている、DNS サーバーの指定が間違っている、DNS サーバーに指定された SMTP サーバーの IP アドレスがない、SMTP サーバーではないサーバーを指定した、または SMTP サーバーのポート番号が間違っています。DNS サーバーの IP アドレスと SMTP サーバの IP アドレス、SMTP サーバ名と SMTP ポート番号、SMTP サーバの SMTP ポート番号、ネットワークの接続と設定を確認してください。

SMTPC: username or password wasn't correct. [応答コード] (インフォメーション)

SMTP サーバーに認証接続できません。SMTP ユーザー名の指定が間違っているか、SMTP パスワードの指定が間違っています。SMTP ユーザー名、SMTP パスワードを確認してください。

Snmp over IPv4 is ready.

IPv4 上での SNMP 通信が可能です。

Snmp over IPv6 is ready.

IPv6 上での SNMP 通信が可能です。

Snmp over IPX is ready.

IPX 上での SNMP 通信が可能です。

trap account is unavailable.

Trap 送信先アカウント名が、機器が管理するアカウント名とは別のものが指定されているため、そのアカウントでは v3Trap は送信されません。送信先アカウント名を機器が管理するアカウント名に変更してください。

snmpd start.

Snmpd を開始しました (電源 ON / OFF のみ表示します)。

started.

ダイレクトプリントサービスを開始しました。

started.

BMLinkS が起動しました。

Started.

Bonjour (Rendezvous) 機能が起動しました。

stopped

無線 LAN が起動できません。

success but invalid key

EAP が成功したというメッセージを受け取ったが、EAPOL キーが無効です。

success key received

EAP-Success キーを受け取りました。

terminate.

BMLinks 無効のため終了しました。

Terminated.

Bonjour (Rendezvous) 機能が終了しました。

The print server received error < エラー番号 > during attempt to log in to the network. Access to the network was denied. Verify that the print server name and password are correct.

(プリントサーバ動作時) ファイルサーバへのログインに失敗しました。プリントサーバが登録されていないか、パスワードが与えられています。プリントサーバをパスワードなしで登録してください。

too many pictures.

1 回の印刷で指定する画像が多すぎるため、正常に印刷できませんでした。指定画像数を減らして印刷してください。

unauthenticated

本機がアクセスポイントから拒絶されたか、認証されていません。

usbld is disable

セキュリティモードの設定で usbld が使用不可です。セキュリティモード設定の usbld を使用可にしてください。

waiting for keys

セッションキーを待っています。

WINS name registration: No response to server(WINS サーバアドレス)

登録処理に対する応答がサーバからありません。WINS サーバアドレスを確認してください。または、WINS サーバが正常に作動しているか確認してください。

WINS wrong scopeID=< スコープ ID>

不正なスコープ ID が使用されています。正常なスコープ ID を設定して下さい。

WPA supplicant started

WPA で接続したところです。

WPA supplicant unbound

WPA で接続しようとしたますが、アクセスポイントには接続していません。

参照

- P.13 「お使いになる前に」
- P.282 「本機の状態表示」

7. プリントサーバーの準備

ネットワークプリンターの設定についての説明です。

Windows ネットワークプリンターを設定する

Windows でネットワークプリンターを設定する方法の説明です。

クライアントからネットワークプリンターを使用するために共有設定をします。ネットワークプリンターを Network Monitor for Client 経由で接続している場合、印刷通知設定をすることができ、印刷結果をクライアントに通知することができます。

★重要

- この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- [プリンタ] フォルダでプリンタープロパティを変更するには、Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。
- Windows 95/98/Me/NT 4.0 はサポート対象外となります。

1 [プリンタ] ウィンドウを開きます。

Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2 の場合は、[プリンタと FAX] ウィンドウを開きます。

Windows Vista の場合は、[ハードウェアとサウンド] から [プリンタ] ウィンドウを開きます。

2 追加したプリンターのアイコンをクリックして反転表示させ、[ファイル] メニューの [プロパティ] をクリックします。

プリンターのプロパティが表示されます。

3 [共有] タブをクリックし、[共有する] にチェックを付けます。

4 プリンターをほかのバージョンの Windows を使っているユーザーと共有する場合は、[追加ドライバ] をクリックします。

プリンタードライバをインストールしたときに、「共有」にチェックを付けて代替ドライバをインストールした場合、この操作は必要ありません。

5 [OK] をクリックし、プリンターのプロパティを閉じます。

目 参照

- P.13 「お使いになる前に」

Network Monitor for Client 経由で印刷通知をする

Network Monitor for Client の印刷通知機能を設定する方法の説明です。

プリントサーバーの設定をする

★重要

- プリントサーバーの設定を変更するには、Windows 2000、Windows XP Professional、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 をご使用の場合は「プリンタの管理」、Windows NT 4.0 をご使用の場合は「フルコントロール」のアクセス権が必要です。Administrators または PowerUsers グループのメンバーとしてログオンしてください。

1 タスクバーの [スタート] ボタンから、[プログラム] - [Network Monitor for Client] - [Network Monitor for Client] の順にポイントして、[プリントサーバー設定] をクリックします。

プリントサーバー設定ダイアログが表示されます。

2 「クライアントに印刷通知をする」をチェックして、[OK] をクリックします。

プリントサーバーの設定によって、ダイアログが表示されます。記載内容を確認して [OK] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、処理を中断します。

3 各クライアントへの設定についてダイアログが表示されます。[OK] をクリックします。

これでプリントサーバーの設定は終了です。各クライアントで、印刷通知の設定が必要です。

↓補足

- 印刷中のジョブはスプーラー一時停止後に最初から再印刷されます。
- 拡張機能を使用していない場合、自動的に拡張機能を有効に設定します。
- Administrators アカウント以外でログインした場合、クライアントに通知できない場合があります。

クライアントの設定をする

1 タスクトレイの [スタート] ボタンから、[プログラム] - [Network Monitor for Client] - [Network Monitor for Client] の順にポイントして、[拡張機能設定] をクリックします。

拡張機能設定ダイアログが表示されます。

2 「拡張機能を使用する」にチェックを付けます。

3 「印刷通知」の「プリントサーバーを利用する場合に通知します。」にチェックを付けます。

4 [OK] をクリックします。

印刷通知設定ダイアログが閉じます。

↓ 補足

- ・プリンタードライバーでも印刷通知の設定をしてください。

8. Windows の補足情報

コマンドの使用についての説明です。

Windows からのファイル直接印刷

Windows でコマンドを使用したファイル直接印刷の方法についての説明です。

★重要

- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ・この方法で印刷できるファイルは、本機が搭載しているエミュレーション用に作られたファイルです。エミュレーション用に作られたファイルとは、たとえば PostScript 3 用のポストスクリプトファイルなどです。
- ・搭載していないエミュレーションのファイルは印刷できません。
- ・Windows 95/98/Me/NT 4.0 はサポート対象外となります。

◆ Windows 95/98/Me

ftp を使って印刷できます。

◆ Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2、Windows NT 4.0

lpr、rcp、ftp を使って印刷できます。

↓補足

- ・sftp コマンドをご使用の場合は、クライアントソフトが必要です。クライアントソフトは、ssh ver2 に準拠した物をご使用ください。

📖参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

セットアップ

Windows からファイル直接印刷するための、環境設定の方法の説明です。

- 1** 本機の操作部でTCP/IPプロトコルを有効にし、IPアドレスなどTCP/IPに関するネットワーク環境を設定します。
本機のTCP/IPプロトコルは、工場出荷時は有効に設定されています。
- 2** Windows にTCP/IPプロトコルを組み込み、ネットワーク環境を設定します。
ネットワークに関する設定内容はネットワーク管理者の方に確認してください。

- 3** Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 で lpr を使って印刷する場合は、ネットワークソフトウェアとして「UNIX 用印刷サービス」を組み込みます。Windows NT 4.0 の場合は「Microsoft TCP/IP 印刷」を組み込みます。

補足

- DHCP を使用して本機の IP アドレスを設定するときは、「DHCP を使用する」を参照してください。
- 本機の指定にホスト名を使用するときは、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

参照

- P.342 「DHCP を使用する」
- P.262 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

IP アドレスの代わりにホスト名を使用する

ホスト名が定義されていると、IP アドレスの代わりにホスト名を使ってプリンターを指定することができます。使用するホスト名はネットワーク環境により異なります。

DNS を使用している場合

DNS サーバ上のデータファイルに設定したホスト名を使用します。

8

DHCP を使用してプリンターの IPv4 アドレスを設定している場合

システム設定リストの「プリンター名」に印刷された名前をホスト名として使用します。

参照

- P.149 「システム設定リストを印刷する」

その他の場合

印刷を行うコンピュータの hosts ファイルに、ネットワークプリンターの IP アドレスとホスト名を追加します。追加のしかたは OS により異なります。

■ Windows 95/98/Me の場合

1 ¥WINDOWS¥HOSTS.SAM を同じディレクトリにコピーし、名前を HOSTS（拡張子を付けません）にします。

2 作成した ¥WINDOWS¥HOSTS ファイルをメモ帳などで開きます。

3 hosts ファイルに IP アドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

```
192.168.15.16 host # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

4 ファイルを上書き保存します。

■ Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2、Windows NT 4.0 の場合

1 メモ帳などで hosts ファイルを開きます。

hosts ファイルは以下の場所にあります。

```
¥WINNT¥SYSTEM32¥DRIVERS¥ETC¥HOSTS
```

¥WINNT は Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2、Windows NT 4.0 のインストール先のディレクトリです。

2 hosts ファイルに IPv4 と IPv6 のアドレスとホスト名を以下の形式で追加します。

IPv4 の場合

```
192.168.15.16 host # NP
```

192.168.15.16 は IPv4 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

IPv6 の場合

```
2001:DB:::100 host # NP
```

2001:DB:::100 は IPv6 アドレス、host はプリンターのホスト名、# から行末まではコメントです。それぞれの項目をスペースかタブで区切り、1 行で入力します。

3 ファイルを上書き保存します。

↓ 補足

- IPv6 環境下の Windows Server 2003/2003 R2 でホスト名をご使用の場合は、外部の DNS サーバでホスト名の解決を行ってください。hosts ファイルはご使用になれません。
- IPv6 対応の OS は、Windows XP SP2 と Windows Vista、または Windows Server 2003/2003 R2 です。

印刷方法

lpr、rcp、ftp を使った印刷方法の説明です。

コマンドはコマンドプロンプト ウィンドウで入力します。各 Windows でのコマンドプロンプトの場所は次のとおりです。

- ◆ Windows 95/98 の場合：
[スタート] - [プログラム] - [MS-DOS プロンプト]
- ◆ Windows Me の場合：
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [MS-DOS プロンプト]
- ◆ Windows 2000 の場合：
[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- ◆ Windows XP、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 の場合：
[スタート] - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト]
- ◆ Windows NT 4.0 の場合：
[スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト]

↓ 補足

- ・印刷するファイルのデータ形式とプリンターのエミュレーションモードを合わせてください。
- ・「print requests full」のメッセージが表示されたときは、印刷要求がフルの状態です。印刷要求が少なくなってから印刷し直してください。各コマンドを使用したときの最大セッション数は次の通りです。
 - ・ lpr : 10
 - ・ rcp : 5
 - ・ ftp : 3
- ・ファイル名はコマンドを実行するディレクトリからのパスを含めた形で入力してください。
- ・コマンドの中で指定する「オプション」はプリンター固有のオプションで、内容は UNIX から印刷する場合と同様です。
- ・エミュレーションによってはエミュレーション固有のオプションも用意されています。それらのオプションについては各エミュレーションの使用説明書を参照してください。

📖 参照

- ・P.267 「セットアップ」

lpr

◆ IP アドレスを使ってプリンターを指定する場合

```
c:> lpr -S プリンターの IP アドレス [-P オプション] [-o1] ¥パス名¥ファイル名
```

◆ IP アドレスの代わりにホスト名を使用する場合

```
c:> lpr -S プリンターのホスト名 [-P オプション] [-o1] ¥パス名¥ファイル名
```

バイナリーファイルを印刷する場合は -o1 (小文字の O と、小文字の L) オプションを付けてください。

ホスト名が host のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> lpr -Shost -Pfiletype=RPS -o1 C:¥PRINT¥file1
```

rcp

あらかじめ hosts ファイルにプリンターのホスト名を登録しておきます。

```
c:> rcp [-b] ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名...] プリンターのホスト名: [オプション]
```

- ファイル名には「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
 - バイナリーファイルを印刷する場合は -b オプションを付けてください。
- ホスト名が host のプリンターに、C:¥PRINT ディレクトリにある、名前が file1 と file2 の PostScript ファイルを印刷する場合のコマンド例は次のとおりです。

```
c:> rcp -b C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2 host:filetype=RPS
```

↓ 補足

- hosts ファイルに本機のホスト名を登録する方法については、「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」を参照してください。

E 参照

- P262 「IP アドレスの代わりにホスト名を使用する」

ftp

印刷するファイル数に応じて put または mput コマンドを使います。

◆ 印刷するファイルが1つの場合

```
ftp> put ¥パス名¥ファイル名 [オプション]
```

◆ 印刷するファイルが複数の場合

```
ftp> mput ¥パス名¥ファイル名 [¥パス名¥ファイル名 ...]
```

ftp を起動してから印刷するまでの手順は次のようになります。

1 本機の IP アドレス (または hosts ファイルに設定したプリンターのホスト名) を引数にして ftp コマンドを起動します。

```
% ftp 本機のアドレス (またはホスト名)
```

2 ユーザー名とパスワードを入力し、[Enter] キーを押します。

```
User:
```

```
Password:
```

ユーザー名とパスワードは管理者にお問い合わせください。

3 バイナリーファイルを印刷するときは、ファイルのモードをバイナリーモードにします。

```
ftp> bin
```

4 印刷するファイルを指定します。

以下は C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前の PostScript ファイルを印刷する例と、file1 と file2 を印刷する例です。

```
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=RPS
```

```
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 C:¥PRINT¥file2
```

5 ftp を終了します。

```
ftp> bye
```

↓ 補足

- ・ファイル名に「=」、「|」、「_」および「;」は使用できません。ファイル名をオプション文字列と判断してしまいます。
- ・mput コマンドではオプションを指定できません。
- ・pwd コマンドではオプションを指定できません。
- ・mput コマンドではファイル名に「*」や「?」のワイルドカードを使用できます。
- ・バイナリーファイルをアスキーモードで印刷すると、印刷データが変更され正しく印刷されないことがあります。
- ・C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 という名前のファイルを RPDLE で印刷する例
ftp> put C:¥PRINT¥file1 filetype=R00
- ・C:¥PRINT ディレクトリにある、file1 と file2 という名前のファイルを印刷する例
ftp> mput C:¥PRINT¥file1 file2

9. UNIX で使う

UNIX の使用についての説明です。

セットアップ

UNIX でネットワークプリンターとして使用する場合の、セットアップ方法の説明です。セットアップの作業を簡単に行えるようにインストールシェルが用意されています。インストールシェルは通常のリモートプリンターのセットアップ作業 (/etc/hosts の設定、/etc/printcap の設定、スプールディレクトリの作成) をシェルスクリプトにより自動化して行います。

◆ セットアップの流れ

- インストールシェルに対応したワークステーションの場合、本機への IP アドレスを設定してからインストールシェルを実行します。
- インストールシェルに対応しないワークステーションの場合、本機への IP アドレスを設定してから /etc/hosts を設定します。
- lpr コマンドを使うインストールシェルに対応しないワークステーションの場合、本機の IP アドレスを設定し /etc/hosts および /etc/printcap の設定をしてからスプールディレクトリを作成します。

◆ 対応ワークステーション

インストールシェルは次の 6 種類のワークステーションに対応しています。これ以外のワークステーションの場合はインストールシェルを使わないでセットアップしてください。

- SunOS 4.x.x
- Solaris 2.x (SunOS 5.x)、Solaris7、Solaris8
- HP-UX
- RedHat Linux
- UnixWare
- OpenServer

↓ 補足

- インストールシェルは、CUPS をサポートしていません。CUPS の設定については、各ワークステーションおよび CUPS のマニュアルを参照してください。
- RedHat7.1 以降では、インストール時のセキュリティ設定により rsh/telnet が使用できないことがあります。セキュリティレベルを rsh/telnet で使用できるレベルに変更しておいてください。変更方法については RedHat の使用説明書を参照してください。
- Solaris および HP-UX をご使用の場合、付属の admintool でも設定することができます。設定方法については admintool のマニュアルを参照してください。
- NIS(Network Information Service) や DNS を使用している場合は、あらかじめサーバ側の設定をしてからインストールシェルを実行してください。

IP アドレスの設定

あらかじめ本機のネットワーク環境を設定しておきます。

IP アドレスを設定したら正しく設定されたかどうかワークステーション側から確認してください。

- TCP/IP プロトコルを有効にする（工場出荷時は有効です）。
- IP アドレスなど TCP/IP に関する項目を設定する。

1 次のように入力して確認します。（IP アドレスが 192.168.15.16 の場合）

```
# ping 192.168.15.16
正しく設定されていると次のように表示されます。
192.168.15.16 is alive
間違って設定されていると次のように表示されます。
no answer from 192.168.15.16
```

補足

- NIS を使用している場合はマスターサーバー上の /etc/hosts に、DNS を使用している場合はネームサーバー上のデータファイルに IP アドレスとホスト名を追加します。追加後、ホスト名を使って正しく設定されたか確認してください。サーバーに登録したホスト名は IP アドレスの代わりに使用できます。

```
# ping ホスト名
```

参照

- IP アドレスの設定方法については、本機に同梱の使用説明書を参照してください。

インストールシエルの実行

プリンターに IP アドレスを設定したら、インストールシエルを使ってワークステーションの印刷環境をセットアップします。

インストールシエルは ftp を使ってプリンターから取り出します。

1 プリンターを使用するワークステーションに root でログインします。

2 インストールシエルをプリンターから取り出します。

3 インストールシエルをコピーするディレクトリに移動します。

4 ftp コマンドで、設定した IP アドレスに接続します。

```
# ftp 192.168.15.16
Connected to 192.168.15.16
220 printer FTP server ready.
Name (192.168.15.16:root:)
```

- 5** ユーザー名の入力待ち画面では何も入力しないで [Return] キーを押します。

```
331 Password required for root.  
Password:
```

- 6** パスワードの入力待ち画面では何も入力しないで [Return] キーを押します。

```
230 User root logged in.  
ftp>
```

- 7** インストールシェルを取り出します。

```
ftp> get install
```

- 8** ftp を終了します。

```
ftp> bye  
221 Goodbye.  
#
```

- 9** インストールシェルを起動します。

```
# sh ./install  
カレントディレクトリであることを示すピリオド (.) を付けてください。
```

- 10** 使用しているワークステーションを数字で指定します。

```
Network printer install shell  
Select your workstation OS type.  
1. SunOS 4.x.x  
2. Solaris 2.x, Solaris 7-9(SunOS5.x)  
3. HP-UX  
4. UnixWare  
5. Linux  
6. OpenServer  
7. Quit
```

```
Enter <1-7>:
```

```
1
```

「7」を指定するとインストールシェルは終了します。

- 11** プリンターの IP アドレスを入力します。

```
Enter Printer host IP address <xxx.xxx.xxx.xxx> [return=skip]:  
192.168.15.16
```

ここで入力した IP アドレスが /etc/hosts に設定されます。

すでにプリンターのホスト名が登録されているときは、何も入力しないで [Return] キーを押します。このとき /etc/hosts には何も追加されません。

12 プリンターのホスト名を入力します。

Enter Printer host name :

rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁)

ここで入力した名前が /etc/hosts と /etc/printcap に設定されます。ただし、前の手順で IP アドレスを入力しなかったとき、/etc/hosts には何も追加されません。

13 プリンターの名前を設定します。

Enter logical printer name [default rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prn]:

そのまま [Return] キーを押すと「default」に表示されている名前に設定されます。

この名前を変更したいときは新しい名前を入力します。

ここで入力した名前が /etc/printcap に設定されます。

「default」には前の手順で入力したホスト名に _prn を付けた名前が表示されます。前の手順でホスト名を入力しなかったときは rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prn と表示されます。

14 印刷時のオプションを指定します。

オプションを指定しないときはそのまま [Return] キーを押します。

Enter remote printer name [default lp]:

filetype=RPS

hosts file is modified

#

インストールシェルによるセットアップが終了します。

ここでオプションを指定すると、入力した文字列が /etc/printcap の rp ケーパビリティに設定されます。lpr で印刷すると、このオプションを使って印刷されます。

同じプリンターに対して異なるオプションを指定して印刷するときは、インストールシェルをもう一度実行し、オプションごとにエントリーを作成してください。

15 テスト印刷します。

lpr -Prnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prn ファイル名

参照

- /etc/printcap について詳しくは、P.271 「/etc/printcap へのエントリーの追加」を参照してください。
- /etc/hosts について詳しくは、P.271 「/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加」を参照してください。
- 指定できるオプションについて詳しくは、P.274 「オプション指定 (UNIX)」を参照してください。

インストールシェルの実行結果

インストールシェルを実行すると印刷環境が自動的にセットアップされます。

ここでは、SunOS 4.x でインストールシェルを実行した場合にセットアップされる内容について説明します。

インストールシェルを使わないでセットアップする場合は、ここでの説明を参考に各ワークステーションのマニュアルを参照してください。

/etc/hosts への IP アドレスとホスト名の追加

/etc/hosts に次の行が追加されます。

```
192.168.15.16 rnp xxxxxx(xx は MAC アドレスの下 6 桁) # Network Printer
192.168.15.16 は IP アドレス、rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) はプリンターの
ホスト名、# から行末まではコメントです。
```

↓ 補足

- /etc/hosts はネットワーク内で通信するすべてのホストの IP アドレスとホスト名を登録するファイルです。それぞれの項目はスペースかタブで区切られ、1 行で入力されます。
- NIS や DNS を使用していない場合は、ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上の /etc/hosts に追加が必要です。

/etc/printcap へのエントリーの追加

/etc/printcap に次のエントリーが追加されます。

これは lpr コマンドを使って印刷するための設定です。lpr コマンドを使って印刷するには、/etc/hosts ファイルの設定に加え、/etc/printcap にネットワークプリンターのためのエントリーを追加し、スプールディレクトリを作成する必要があります。

```
rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prn|HITACHI Network Printer:/
:rm=hitachi:/
:rp=filetype=RPS:/
:sd=/usr/spool/rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd:/
:lf=/usr/adm/rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd-errs:/
:mx#0:
```

↓ 補足

- /etc/printcap はプリンターの名前や属性を登録するファイルです。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーションの /etc/printcap に、ネットワークプリンターのためのエントリーが必要です。
- 同じプリンターに対し異なるオプションを指定して印刷するときは、オプションごとにエントリーを作成してください。
- 1 つのエントリーはコロン (:) で複数のフィールドに区切られています。読みやすくするために途中に改行を入れることができ、その場合は改行の前にバックスラッシュ (\) を入力します。
- 1 行目のフィールドはプリンターの名前です。ワークステーションからネットワークプリンターを指定するときに、この名前を使います。名前を「|」で区切ることで複数の名前を定義できます。

- 2 行目以降のフィールドはプリンターの属性です。プリンターの属性はケーパビリティと呼ばれる 2 文字の名前で表されます。ケーパビリティについて詳しくは次の表を参照してください。

ケーパビリティ	説明
lp	本機のデバイス名です。 通常何も指定しません。
rm	/etc/hosts に登録した本機のホスト名です。
rp	印刷時のオプションを指定します。
sd	作成するスプールディレクトリのパス名です。
lf	ログを格納するファイルのパス名を設定します。 たとえば /usr/adm/lpd-errs
mx	スプールディレクトリにコピー可能なファイルの最大サイズを設定します。通常何も指定しないか、適当な値を設定します。 0 を指定すると無制限、指定しないと 1024k バイトに設定されます。

スプールディレクトリの作成

/usr/spool/ ディレクトリにスプールディレクトリが作成されます。名前はプリンターの名前の最後に d を付けた名前です。

補足

- スプールディレクトリは、印刷を行うデータファイルの一時的なコピーが作成されるなど、印刷ジョブを制御するために使われます。ネットワークプリンターを使用するすべてのワークステーション上に、ネットワークプリンターのためのスプールディレクトリが必要です。
- スプールディレクトリは /etc/printcap に書き込まれたネットワークプリンターのエントリーごとに作成します。
- スプールディレクトリは通常 /usr/spool の下に作成します。スプールディレクトリは、/etc/printcap 中の sd ケーパビリティで指定したパス名と一致させ、オーナーとグループを daemon、許可モードを 775 に設定します。以下はスプールディレクトリとして /usr/spool/rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd を作成するときのコマンド入力例です。

```
# cd /usr/spool
# mkdir rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd
# chown daemon rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd
# chgrp daemon rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd
# chmod 775 rnp xxxxxx (xx は MAC アドレスの下 6 桁) _prnd
```

ログファイルの作成

/usr/adm ディレクトリにエラーのログファイルが作成されます。名前はプリンターの名前の最後に d-errs を付けた名前です。

オプション指定 (UNIX)

オプションを使うことにより、本機固有のプリンター機能を使った印刷ができます。指定可能なオプションの種類と動作は、エミュレーションにより異なります。

◆ Solaris 2.6 以上でオプションを指定する場合

- Solaris 2.6 以上で複数のオプションを指定するときは、セミコロン (;) で区切ります。また、オプションにイコール (=) やカンマ (,) を含めることはできません。filetype をオプションに指定するときは、イコールの代わりにアンダーライン (_) を使ってください。filetype_RPS 省略形は fil_RPS のように入力してください。
- Solaris 2.6 以上でオプションを指定するときは、各コマンドで指定できるオプション数が異なります。
 - rsh/rcp 1
 - lpr/ftp 文字列制限の範囲内で複数指定可能

◆ オプションに入力できる文字列について

- 本機が認識できるオプション文字列は最大 512 バイトです。
- PostScript 3 をご使用の場合、本機が認識できるオプション文字列は最大 256 バイトです。
- OS によってはオプションとして入力できる文字数に制限があります。オプションの省略形を使っても文字数の制限を超えてしまう場合は、本機のプログラム登録を使ってください。

◆ オプションを指定するコマンドを入力する場合

- 複数のオプションを指定するときはカンマ (,) で区切って入力します。
- 印刷するファイルの中にオプション指定を制御するコマンドが含まれている場合は、その内容が優先します。
- イコール (=) を含まないオプションを単独で指定するときは、オプションの先頭にカンマ (,) を追加します。

エミュレーションとプログラム

印刷時に使用するエミュレーションまたはプログラムを指定します。お使いの機種によっては、設定できるエミュレーションの指定値が異なります。

★重要

• RPDL はサポート対象外となります。

◆ filetype (または fil) = エミュレーションの指定値 (またはプログラム登録番号の指定値)

• エミュレーション：指定値

RPCS：RCS

RPDL：R00

R98：R98

R16：R16

R55：R55

RP-GL/2：RGL

PostScript3：RPS

RTIFF：RTF

PDF：PDF

BMLinkS：BMLINKS

• プログラム登録番号：指定値

プログラム 1：P01

プログラム 2：P02

プログラム 3：P03

プログラム 4：P04

プログラム 5：P05

プログラム 6：P06

プログラム 7：P07

プログラム 8：P08

プログラム 9：P09

プログラム 10：P10

プログラム 11：P11

プログラム 12：P12

プログラム 13：P13

プログラム 14：P14

プログラム 15：P15

プログラム 16：P16

◆ PostScript 3 で印刷場合のコマンド例 (本機のホスト名 hostname ファイル名 file1)

• <rsh> % rsh hostname print filetype=RPS < file1

• <rcp> % rcp file1 hostname:filetype=RPS

• <ftp> ftp> put file1 filetype=RPS

◆ ftp の cd コマンドの利用

ftp で印刷する場合は、cd コマンドでオプションを指定しておけば、put または mput コマンド使用時にそのオプションが有効になります。

ftp> cd オプション

↓ 補足

- ・搭載していないエミュレーションは指定しても無効です。
- ・現在設定されているオプションを表示するには `pwd` コマンドを使います。
ftp> pwd

漢字フィルター

漢字フィルターを使用すると、作成したテキストファイルと同じ漢字コードで印刷できます。

★ 重要

- ・エミュレーションが RPD L のときに有効です。漢字フィルターを指定するときはエミュレーションとして RPD L (filetype=R00) を指定します。
- ◆ filter (または fit) = 漢字コード指定値
 - ・漢字コード：指定値 (省略値)
EUC : EUC(E)
JIS : JIS(J)
シフト JIS : SJIS(S)
- ◆ EUC 漢字コードのテキストファイルを印刷する場合のコマンド例 (本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1)


```
<rsh> % rsh hostname print filetype=R00,filter=EUC < file1
<rcp> % rcp file1hostname:filetype=R00,filter=EUC
<ftp> ftp> put file1 filetype=R00,filter=EUC
```

給紙トレイ

給紙トレイを指定します。お使いの機種によっては、設定できる給紙トレイの指定値が異なります。

★ 重要

- ・エミュレーションが RPD L、PostScript 3、または PDF のときに有効です。
- ・増設していないトレイを指定しても無効です。
- ◆ RPD L
 - ・tray= 給紙トレイの指定値 (給紙トレイ：指定値)
給紙トレイ 1 : 1
給紙トレイ 2 : 2
.
.
.
手差しトレイ : T
 - ・給紙トレイの指定値は機器情報で得られる給紙トレイ番号に対応しています。

- 給紙トレイ 2 の用紙に印刷する場合のコマンド例 (本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1)
 - <rsh> % rsh hostname print tray=2 < file1
 - <rcp> % rcp file1 hostname:tray=2
 - <ftp> ftp> put file1 tray=2

◆ PostScript 3

- tray= 給紙トレイの指定値 (給紙トレイ : 指定値)
 - 給紙トレイ 1 : tray1
 - 給紙トレイ 2 : tray2
 - 給紙トレイ 3 : tray3
 - 給紙トレイ 4 : tray4
 - LCT : lct
 - 手差しトレイ : bypass
 - 自動トレイ選択 : all
- トレイ 2 の用紙に印刷する場合のコマンド例 (プリンターのホスト名 hostname ファイル名 file1)
 - <rsh> % rsh hostname print tray=tray2 < file1
 - <rcp> % rcp file1 hostname:tray=tray2
 - <ftp> ftp> put file1 tray=tray2

用紙サイズ

用紙サイズを指定します。お使いの機種によっては、設定できる用紙サイズの指定値が異なります。

★重要

- エミュレーションが RPD L または PostScript 3 のときだけ有効です。
- 存在しない用紙サイズは指定しても無効です。
- RPDL はサポート対象外となります。

◆ PostScript 3

- paper= 用紙サイズの指定値
 - 指定値 : a3 (A3) , a4 (A4) , a5 (A5) , a6 (A6) , jisb4 (B4) , jisb5 (B5) , jisb6 (B6) , letter (8¹/₂"×11") , halfletter (5¹/₂"×8¹/₂") , legal (8¹/₂"×14") , jpost (はがき) , jpostd (往復はがき) , custom (不定形サイズ)
- A4 の用紙に印刷する場合のコマンド例 (本機のホスト名 hostname ファイル名 file1)
 - <rsh> % rsh hostname print paper=a4 < file1
 - <rcp> % rcp file1 hostname:paper=a4
 - <ftp> ftp> put file1 paper=a4

◆ RPD

- paper= 用紙サイズの指定値 (指定値: 用紙サイズ)
 - A3R: A3 (ヨコ)
 - B4R: B4 (ヨコ)
 - A4X: A4 (タテ / ヨコ)
 - B5X: B5 (タテ / ヨコ)
 - A5X: A5 (タテ / ヨコ)
 - B6R: B6 (ヨコ)
 - A6R: A6 (ヨコ)
 - PCR: ハガキ (ヨコ)
 - DLR: 11"×17" (ヨコ)
 - LGR: 8¹/₂"×14" (ヨコ)
 - LTX: 8¹/₂"×11" (タテ / ヨコ)
 - HLR: 5¹/₂"×8¹/₂" (ヨコ)
 - WPCR: 往復ハガキ (ヨコ)

↓ 補足

- 用紙サイズ (ヨコ) の指定値は、機器の給紙方向に対して用紙の短辺から給紙するときに指定します。
- 用紙サイズ (タテ) の指定値は、機器の給紙方向に対して用紙の長辺から給紙するときに指定します。
- A4 の用紙に印刷する場合のコマンド例 (本機のホスト名 hostname ファイル名 file1)


```
<rsh> % rsh hostname print paper=A4R < file1
<rcp> % rcp file1 hostname:paper=A4R
<ftp> ftp> put file1 paper=A4R
```

用紙種類

用紙の種類を指定します。お使いの機種によっては、設定できる用紙種類の指定値が異なります。

★ 重要

- エミュレーションが PostScript 3 または PDF のときに有効です。
- 存在しない用紙種類は指定しても無効です。

◆ mediatype= 用紙種類の指定値

- 指定値: plain (普通紙)、letterhead (レターヘッド付き用紙)、transparency (OHP フィルム)、recycled (再生紙)、color (色紙)、special (特殊紙)、thick1、2 (厚紙 1、2)、labels (ラベル紙)、plainorrecycled (普通紙 / 再生紙)、auto (自動選択)、Envelope (封筒)、custom1~8 (カスタム 1~8)
- ◆ 再生紙の用紙に印刷する場合のコマンド例 (本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1)


```
<rsh> % rsh hostname print mediatype=recycled < file1
<rcp> % rcp file1 hostname:mediatype=recycled
<ftp> ftp> put file1 mediatype=recycled
```

排紙トレイ

排紙トレイを指定します。お使いの機種によっては、設定できる排紙トレイの指定値が異なります。

★重要

- ・エミュレーションが RPD L または PostScript 3 のときだけ有効です。
- ・存在しないトレイを指定しても無効です。

◆RPDL

- ・bin= 排紙トレイの指定値
排紙トレイの指定値は機器情報で得られる排紙トレイ番号に対応しています。
本体排紙トレイ：ST
- ・排紙トレイ番号 2 のトレイに排紙する場合のコマンド例（本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1）
<rsh> % rsh hostname print bin=2 < file1
<rcp> % rcp file1 hostname:bin=2
<ftp> ftp> put file1 bin=2

◆PostScript 3

- ・outbin= 排紙トレイの指定値（排紙トレイ：指定値）
本体排紙トレイ：upper、manual

印刷部数

印刷部数を指定します。

★重要

- ・エミュレーションが RPD L、PostScript 3、または PDF のときに有効です。
- ・漢字フィルターを指定すると、印刷部数の指定は無効になります。
- ・PostScript 3 の場合、「qty」と同時に指定しないでください。

◆copies= 印刷部数 (1 ~ 999)

- 10 部印刷する場合のコマンド例（本機のホスト名 hostname ファイル名 file1）
- ```
<rsh> % rsh hostname print copies=10 < file1
<rcp> % rcp file1 hostname:copies=10
<ftp> ftp> put file1 copies=10
```

## ソート部数

ソートする印刷部数を指定します。

### ★重要

- ・エミュレーションが PostScript 3 または PDF のときに有効です。
- ・「copies」と同時に指定しないでください。
- ・メモリモジュールの増設、またはオプションのハードディスクが必要です。どちらもない場合にソート部数を指定したときは、1部だけ出力されます。

### ◆ qty= ソート部数 (1~999)

10部ソートして印刷する場合のコマンド例(本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1)

```
<rsh> % rsh hostname print qty=10 < file1
```

```
<rcp> % rcp file1 hostname:qty=10
```

```
<ftp> ftp> put file1 qty=10
```

## 両面印刷

用紙の両面に印刷できます。

### ★重要

- ・エミュレーションが RPD、PostScript 3、または PDF のときに有効です。
- ・プリンター側に両面印刷ユニットが必要です。

### ◆ RPD

- ・ bothside または bothleft (左とじ)

bothright (右とじ)

flip (上とじ)

singleside (両面印刷の解除：片面印刷)

- ・ 左とじで両面印刷する場合のコマンド例(本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1)

```
<rsh> % rsh hostname print bothside < file1
```

```
<rcp> % rcp file1 hostname:bothside
```

```
<ftp> ftp> put file1 bothside
```

### ◆ PostScript 3

duplex=on (両面印刷する)

duplex=off (両面印刷しない)

- ・ 両面印刷で綴じ位置を長辺にする場合のコマンド例(本機のホスト名 hostname、ファイル名 file1)

```
<rsh> % rsh hostname print duplex on < file1
```

```
<rcp> % rcp file1 hostname:duplex on
```

```
<ftp> ftp> put file1 duplex on
```

### ↓ 補足

- RPD L で印刷オプションに漢字フィルターを指定している場合、両面印刷されないことがあります。このようなときは、漢字フィルターの指定をしないでください。
- 印刷データによって印刷したあと両面印刷が解除されないことがあります。次の印刷時にも両面印刷されるときは `singleside` を指定してください。

## 解像度

印刷する解像度を指定します。

### ★ 重要

- エミュレーションが PostScript 3 または PDF のときに有効です。

#### ◆ resolution= 解像度 (400,600,1200)

600dpi で印刷する場合のコマンド例 (本機のホスト名 `hostname`、ファイル名 `file1`)

```
<rsh> % rsh hostname print resolution=600 < file1
```

```
<rcp> % rcp file1 hostname:resolution=600
```

```
<ftp> ftp> put file1 resolution=600
```

## オプション指定の変更方法

`lpr` で印刷するときにはインストールシェル実行時に指定したオプションが使われます。一度設定したオプションを変更したい場合は、使用しているワークステーションに応じて次のように操作します。

#### ◆ BSD 系 UNIX ワークステーション

`/etc/printcap` から変更するプリンターのエントリを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。または、`/etc/printcap` から変更するプリンターのエントリを探し、その `rp` ケーパビリティを新しいオプション指定に変更します。

#### ◆ Solaris、HP-UX

変更するプリンターのエントリを削除し、インストールシェルを使ってもう一度セットアップします。セットアップの際に、新しいオプションを指定します。プリンターのエントリを削除するには、以下のように操作します。(例 プリント名: `printer`)

- 1) スケジューラを停止します。  
# `/usr/sbin/lpshut`
- 2) プリンターを削除します。  
# `/usr/sbin/lpadmin -x printer`
- 3) スケジューラを再起動します。  
# `/usr/lib/lp/lpsched`

### 📖 参照

- P271 「`/etc/printcap` へのエントリの追加」
- P268 「インストールシェルの実行」

# 本機の状態表示

BSD 系 UNIX ワークステーションの場合、以下のコマンドを使ってプリンターの状態や情報を表示したりファイルにコピーすることができます。

## 表示する場合

本機の状態を表示するためのコマンドの説明です。(例 プリンタ名：printer、ホスト名：hostname)

- lpq コマンドを使って本機の状態（ステータス）と印刷ジョブ情報を表示できます。  
% lpq -P printer
- rsh、ftp または sftp コマンドを使って、指定したパラメーターに応じた内容を表示できます。  
% rsh hostname パラメーター  
% ftp hostname  
User: ユーザー名  
password: パスワード  
ftp> get パラメーター
- rsh、rcp、ftp で指定できるパラメーターには次の種類があります。  
stat: 機器の状態（ステータス）  
stat: 印刷ジョブの情報（印刷ジョブ情報）  
info: 給紙トレイ、排紙トレイ、搭載しているエミュレーション（機器情報）  
prnlog: これまでに印刷した記録（プリントログ情報）  
syslog: ネットワークインターフェースボードに関して発生したメッセージの記録（システムログ情報）

## ファイルにコピーする場合

rcp、ftp コマンドまたは sftp を使って、指定したパラメータに応じた内容をファイルにコピーできます。(例 ホスト名：hostname、ファイル名：file1)

```
% rcp hostname:パラメータ file1
% ftp hostname
User: ユーザー名
password:
ftp> get パラメータ file1
```

↓ 補足

- パラメータの種類は、表示する場合と同じです。

# 10. 付録

同梱の CD-ROM や、その他の注意事項等についての説明です。

## 注意と制限

### プリンターおよびシステムについて

#### 最新情報の入手

- 最新情報の入手については、(株) 日立製作所のホームページ <http://www.hitachi.co.jp/prINTER/> をご覧ください。

#### 接続について

- インタフェースが複数あるプリンターの場合、複数のインタフェースへ同時に印刷した場合、最初にジョブを受け付けられたジョブが印刷され、二番目のジョブはデータ送信が行えず、メッセージやエラーが表示されたり、データ転送状態や印刷データによってはジョブが混在する場合があります。同じインタフェースからの 1 つのジョブが継続して送信されている間は、他のインタフェースからのジョブは保留されます。
- ローカルポート接続時、大量のデータを印刷した場合、LPT1 エラーが発生することがあります。このような場合には、Windows のスタートメニューから、[設定] - [プリンター] を開き、プリンタプロパティの詳細タブにあるタイムアウトの設定時間を長くしてください。
- ネットワークの設定等によっては、プリンターの機能を十分にお使いいただけない場合があります。
- プリンターとパソコンの距離が離れている場合は、ネットワーク経由にてご使用願います。長いプリンターケーブルや長い USB ケーブル、中継器などを使用すると、ノイズなどによる文字化けの発生やプリンター情報が取り込めないなどが発生することがあります。中継器、切替器は使用しないでください。
- パラレルポートで印刷する場合、パソコンによっては、パラレルポートのモード (ECP/Bi-directional/Standard) によって正常に印刷が行えないことがあります。この場合はパソコンのパラレルポートのモードを Bi-directional もしくは Standard に変更します。詳しくはパソコンのハードウェアマニュアルを参照してください。
- パラレル接続時、通常は上位装置の電源を入れてからプリンターの電源を入れてください。ただし、上位装置によっては上位装置の電源を先に入れると、誤動作によりプリンターに対してゴミデータを送信してしまい用紙が排出されることがあります。このような場合は、プリンター→上位装置の順に電源を入れてください。

- ・ パラレル/USB ポート接続していたプリンターをネットワーク接続する場合は、CD-ROM から「Network Monitor for Client」をインストール願います。Network Monitor for Client ポート（TCP/IP ポート）が使用できます。
- ・ すべての USB 機器との接続を保証するものではありません。
- ・ プリンターケーブルは PC-PC1025H をご使用願います。プリンターのパラレルポートのコネクタ形状は一般的なプリンタコネクタと異なるタイプ C（ハーフピッチ）です。

## 仕様（プリントタイム、本体・消耗品寿命）

- ・ ウォームアップタイム（PC-PL3540：12 秒 / PC-PL3530：10 秒）、ファーストプリントタイム（6.5 秒）、印刷速度（PC-PL3540：A4 横 35PPM / PC-PL3530：A4 横 28PPM）、製品寿命（PC-PL3540：120 万 / PC-PL3530：60 万ページ）は仕様値であり最良値です。印刷データや用紙、環境、使用状況により低下する場合があります。印刷を開始するまでには、PC での印刷データ生成、データ転送、プリンター内でのデータ処理の時間が必要なため、複雑な印刷データや大量の印刷データなどの場合は、ウォームアップタイムは PC-PL3540：12 秒 / PC-PL3530：10 秒以上かかったり、ファーストプリントタイムが 6.5 秒以上かかったり、印刷速度が PC-PL3540：A4 横 35PPM / PC-PL3530：A4 横 28PPM 以下になったりする場合があります。また、1 ページごとの断続的な印刷や長時間の連続印刷などではプリンターに負荷がかかるため、製品寿命が PC-PL3540：120 万ページ / PC-PL3530：60 万ページ以下になる場合があります。
- ・ 本製品は A4 サイズ用紙を横置きにセットした場合のマルチコピーモードで 1 分間に PC-PL3540 は 35 ページ、PC-PL3530 は 28 ページを印刷する性能がありますが、印刷データや用紙、環境により変わります。特に、幅が A4 横以下の幅狭用紙や厚紙を印刷する場合は、用紙の通らない両端部分が異常に高温になり故障の原因となるので、定着器保護のため、印刷速度が遅くなる事があります。

| 用紙サイズ |   | 印刷速度      |           |
|-------|---|-----------|-----------|
|       |   | PC-PL3540 | PC-PL3530 |
| A3 縦  | : | 19.5PPM   | 15PPM     |
| B4 縦  | : | 22.5PPM   | 16.5PPM   |
| A4 横  | : | 35PPM     | 28PPM     |
| A4 縦  | : | 21PPM     | 16PPM     |
| B5 横  | : | 40PPM     | 30PPM     |
| A5 横  | : | 31PPM     | 24PPM     |

印刷速度はトレイ 1 から印刷時のものとなります。また、印刷データや用紙、環境により変わります。

- ・ 本製品には、有寿命有償部品が使用されています。交換目安の印刷枚数は用紙サイズ A4 の横送り連続印刷時の目安となります。ただし、お客様の使用条件、使用環境によって半分以下になる場合があります。また、寿命を超えた使用は、ジャムなどの印刷不良や用紙搬送不良につながります。定期的な保守による部品交換（定着ユニットや給紙ローラー、分離パッド等）が必要ですので、交換時期が近づきましたら、保守会社へ連絡をお願いします。

| 品名        | 交換目安           |
|-----------|----------------|
| フリクションパッド | 印刷枚数 約 9 万 ページ |
| 給紙コ口      | 印刷枚数 約 9 万 ページ |
| 転写ローラー    | 印刷枚数 約 9 万 ページ |
| 定着ユニット    | 印刷枚数 約 9 万 ページ |

- ・本製品は、下記の使用条件下で、パソコンに接続して使用されることを想定して設計・評価した製品です。異なる条件下でご使用になる場合は、独自にその条件下での性能をご確認のうえ、本製品をご採用ください。

- ・設置環境：一般オフィス（動作環境：温度 10～32.5℃、湿度 20～80%RH）
- ・平均稼働時間：一日あたり平均 8 時間 / 1ヶ月当り 20 日間
- ・月間平均印刷枚数：PC-PL3540：20,000 ページ / PC-PL3530：10,000 ページ
- ・装置寿命：使用期間あるいは総印刷ページ数のいずれか早い方
  - ・使用期間：5 年
  - ・通電時間：9,600 時間（8 時間 / 日 × 20 日 / 月 × 12 月 / 年 × 5 年）
  - ・総印刷ページ：PC-PL3540：120 万ページ（A4 横）  
PC-PL3530：60 万ページ（A4 横）

月間印刷ページ数が：PC-PL3540：20,000 ページ / PC-PL3530：10,000 ページを超えていたり、1 日に合計 8 時間以上電源が入っていたり、総印刷ページ数が PC-PL3540：120 万ページ / PC-PL3530：60 万ページ（A4 横）を超えたりすると、想定された年数より使用年数が短くなる場合があります。

## PDL について

- ・本製品の印刷制御言語は RPCS、あるいは PostScript3（オプション）です。RPCS、あるいは PostScript3 以外の印刷データを生成するアプリケーションをご使用の場合、意味不明の文字が印刷されるなど正常に印刷されない場合があります。印刷制御言語を RPCS、あるいは PostScript3 に変更する必要があります。
- ・RPCS、あるいは PostScript3 以外の印刷データを生成するアプリケーションからの印刷には、ご使用頂けません。
- ・LIPS、ESC/P、ESC/Page データを生成するユーザプログラムはご使用いただけません。ユーザプログラムの変更やシステム構成の見直しをお願い致します。
- ・CommuniNet の 560 プラス（パススルー印刷、ページモード印刷）は、ご使用いただけません。GDI モード（プリンタードライバー経由）にてご使用願います。
- ・3050RX や 3500 などの HI-UX/WE2 のプリンター API 印刷機能を使用する PP（OFIS-EX2 シリーズ、UIBT、XP/W、PANEL-EX2 など）はご使用いただけません。
- ・印刷データを PostScript 言語に変更することで HI-UX/WE2 のラインモード出力や HP-UX の lp 出力のリプレースについては、対応可能な場合があります。事前に動作確認を行った上で導入願います。PostScript を印刷するためには PS3 カード（PC-PA26402、オプション）が必要になりますので、ご用意願います。プリンターは貸出センターに配備しておりますので、借用をお願い致します。

## 電源について

- ・プリンターの電源をシステム装置のサービスコンセントから取ることはできません。必ず接地端子のある AC コンセント（AC100V、50/60Hz、15A）を 1 口準備し、プリンター専用で使用してください。プリンターのアースは必ず接地してください。アースが無いとノイズにより文字化けや動作不良を起こすことがあります。また、パソコンのアースも接地することを推奨致します。

## 使用環境

### ◆ メモリー増設の推奨

- 標準メモリー容量で速度低下、エラー発生、印刷不良等の問題がある場合、メモリー増設で回避できることがあります。
- PostScript をご使用の場合はメモリー増設を推奨します。

## 使用上の注意と制限事項

- 印刷に関するトラブルは Microsoft のサポート技術情報も併せてご確認ください。
- CD-ROM 内の「Readme」には、プリンタードライバーや印刷に関する注意事項や制限事項などが書かれています。必ずお読みください。
- 用紙に「厚紙」を使うと条件により、印刷物に連続（通紙方向側）した黒点が写る可能性があります。
- 日立カット紙プリンターシリーズにおきましては、ハードウェア、ソフトウェア共に新旧完全互換機種ではありません。ドライバー機能、パネル設定機能、ハードウェア構成、インタフェース構成、デフォルト動作設定、動作環境等において異なる場合があります。十分にご検証を実施頂きますようお願いいたします。
- 幅の狭い用紙はプリンターに負荷がかかります。大量にまたは連続して印刷すると寿命が短くなる場合があります。また、幅の狭い用紙は印刷速度が遅くなる場合があります。
- 不定形サイズの印刷は、定形サイズに比べ用紙送り性能や印刷品質が低下することがあります。事前に十分評価の上、ご使用ください。
- 用紙カセットに A3/B4 をセットするときは、カセットを伸ばす必要があります。カセットを伸ばした場合、プリンターの背面から 165mm 飛び出します。また、両面印刷ユニットを搭載した場合、プリンターの背面から 115mm 飛び出します。
- 次の機能は、サポート対象外となっております。印刷および動作等の保証はしておりません。また、質問などにもお答えできかねますのでよろしくご理解願います。この機能をご使用になる場合には、お客様ご自身で十分に動作確認をしていただき、お客様の責任においてご利用いただくようお願いいたします。
  - 次の用紙サイズ以外への印刷：A3、B4、A4、B5、A5、A6、はがき
  - UNIX・MAC 環境での印刷
  - PostScript English 版ドライバーでの印刷
  - 提供しているプリンタードライバー以外を使用しての印刷
  - 日本語以外の OS からの印刷
- ただし、個別にサポートしている機能・アプリケーションは除きます。
- 本製品は前面を通して用紙搬送していますので、給紙しているトレイ以外のトレイも引き抜かないようにしてください。紙づまりや故障の原因となります。

## OS のサポートについて

- DOSV 機上で動作する Windows 2000/XP/Server 2003/Vista 環境でご使用いただけます。ただし、OS に関するサポートは Microsoft の OS サポート期間内のみとなります。
- プリンター添付の CD-ROM にプリンタードライバーを格納していますので、プリンタードライバーをインストールしてからご使用願います。
- MS-DOS、Windows 上の DOS プロンプト及び DOS アプリケーション、Windows 95/98/Me/NT4.0 については、Microsoft の OS サポートが終了しているためサポートいたしません。印刷した場合、不正な印刷結果や不正動作になる場合があります。

- ・プリンタードライバーは従来機とは異なります。従来機のプリンタードライバーを使用して印刷すると意味不明の文字が印刷されるなど正常に印刷されない場合があります。各プリンター専用のプリンタードライバーをインストールして印刷願います。
- ・Windows のネットワークポートについて
  - ・UNIX 互換 (LPR) ポートは、プリンターの準備ができていない場合、5 分でデータが再送される場合があります。
  - ・Standard TCP/IP ポートは、プリンターの準備ができていない場合 90 秒でデータが再送される場合があります。

---

## ソフトウェアに関して

---

### ドライバーインストール・アンインストール

---

- ・Windows 2000 以降の OS では、プラグアンドプレイの機能がサポートされているため、パラレルポート接続でプリンタードライバーをインストールすると、この機能が働き、OS にバンドルされているミニドライバーがインストールされます。本製品をインストールする際は、下記いずれかにより、プラグアンドプレイ機能が働かない状態で行ってください。
  - ・プリンターが起動していない状態。
  - ・プリンターケーブルを本体に接続していない状態。
  - ・プリンター追加ウィザード中の「プラグアンドプレイプリンターを自動的に検出してインストールする」のチェックを外す。
  - ・インストール時のみプリンターポートとしてパラレルインターフェース以外のポートを選択し、インストール後に切り換える。
- ・インストールする際はすべてのアプリケーションを終了してからインストールを始めてください。
- ・インストール作業時、インストールが完了するまでは、CD-ROM を抜かないでください。システムエラーが発生することがあります。
- ・インストール作業終了後、プリンタードライバー設定画面が正常と思われない場合は、一度インストールされたドライバーをプリンターフォルダ上にて削除し、再度ドライバーのインストール作業を行ってください。
- ・プリンタードライバーのインストール中は、インターフェースケーブルを接続したり抜いたりしないでください。
- ・プリンタードライバーを共有設定で使用する場合には、プリンター同梱 CD-ROM のオートランプログラムまたは、SETUPEXE によるインストールは使用できません。その場合、プリンターフォルダの「プリンタの追加」を用いてプリンタードライバーをインストールしてください。
- ・本製品ドライバーをインストールする際、デジタル署名の確認画面が表示される場合がありますが機能上問題はありません。[ はい ] を選択してインストールを継続してください。

## ドライバーに関する注意と制限事項

- ・プリンター本体の設定項目の「白紙排紙（ハクシハイシ）」を、「しない」に設定すると、アプリケーションによっては、途中の白紙ページも排出しない場合があります。
- ・異なる Windows OS（クロスプラットフォーム）のプリンタードライバーを使用する場合は、クライアントマシンがプリンタードライバーをロードする前に、必ずサーバーに代替ドライバーをセットアップしてください。
- ・複数のプリンターまたはプリンタードライバーを使用する場合は、プリンターまたはプリンタードライバー毎にプリンターアイコンを作成して、それを切り換えてご使用ください。
- ・印刷に関する制限／注意事項  
ご使用のパソコンで、Windows システム上における仮想メモリーの設定が小さいとメモリー不足が発生し、アプリケーションやプリンタードライバーでの描画処理を正常に行うことができず、以下のような現象が発生し、正常に印刷されない場合があります。このような場合には Windows システム上の仮想メモリーの設定を大きくして印刷してください。仮想メモリーの設定を大きくしても効果がない場合には、パソコン上のメモリーを増設してください。
  - ・メモリー不足メッセージの表示
  - ・アプリケーションエラーの発生
  - ・警告なしの印刷中断
  - ・プリンター側の表示パネルにエラーメッセージの表示がなされ、印刷が途中で終了する。
- ・ご使用のパソコンの搭載しているメモリーの量によってはアプリケーションからの印刷処理に時間がかかる場合があります。また、メモリーの制限などで OS やアプリケーション側で印刷処理が継続できなくなった場合はアプリケーション側で印刷処理を中断してしまう場合があります。
- ・使用環境や印刷されるデータにより、一般保護違反エラーが発生する場合があります。
- ・使用するディスプレイドライバーにより、一部正常に印刷されない場合があります。
- ・アプリケーションによってはプリンタードライバーの縮小指定を行うと一部正常に印刷されない場合があります。
- ・アプリケーションによっては、画面上の網掛けパターンと印刷結果が異なる場合があります。
- ・アプリケーションによっては、画面上のイメージデータが一部印刷されない場合があります。
- ・アプリケーションからプリンタードライバーの設定画面を開いて印刷設定をおこなう場合、その設定内容（例：両面印刷の指定など）がアプリケーションによっては、印刷後に保持されない場合があります。これらの設定値を保持する・しないはアプリケーション側に依存しているため、繰り返し印刷をおこなう場合や、次のアプリケーション起動時に、前回の設定値が必ずしも正確に反映されない場合があります。アプリケーションから印刷をおこなう場合には、そのつど必ず印刷画面からプロパティを開き、印刷条件を再度設定したうえで印刷を実行するようにしてください。
- ・用紙方向が混在する文書の印刷において、[ファイル] - [印刷] のプロパティにて選択する「原稿方向」が、先頭ページの原稿方向と一致していない場合、各ページの用紙方向が適正に設定されているにもかかわらず正しい印刷結果が得られない場合があります。この場合、[ファイル] - [印刷] のプロパティにて設定する「原稿方向」を先頭ページの原稿方向と合わせてください。

- ・コンピューターのパラレルポートのモードが ECP に設定されている場合、システムに組み込まれているデバイスドライバー `lpt.vxd` のバージョンが「4.00.953」の時には正常に印刷できない場合があります。このときには、パラレルポートのモードを ECP 以外に設定するか、バージョン「4.00.955」の `lpt.vxd` を使ってください。
- ・スタンプ文字を印字する際に、大きな文字を印字すると印刷が異常に遅くなる場合があります。このような場合には、スタンプ文字のサイズを小さくして印刷してください。
- ・「不正コピー抑止」機能は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。
- ・不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件等によっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しない場合もあります。この点をご理解の上、ご使用ください。
- ・不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害については、一切その責任をおい兼ねますので、あらかじめご了承ください。
- ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の Active Directory Service において、機能や属性（例：両面印刷、印刷速度、用紙サイズ）でプリンターを検索する手段が提供されていますが、本製品ドライバーはこの機能に未対応です。本ドライバーの導入時その他で、この検索機能を利用しないでください。
- ・Adobe Acrobat において、文字化けする場合があります。この場合は、印刷ダイアログのプリンタプロパティを開き、「印刷品質」タブの「ユーザー設定の変更」で、「イメージデータに変換して印刷する」に変更するか、「[TrueType フォントの置換編集] においてフォントの変更を行うと、解決できる場合があります。
- ・機密印刷機能により拡張 HDD（オプション）に蓄積された文書は、プリンターの電源を切っても消去されずに残ります。機密印刷を実行すると蓄積された機密印刷ジョブは自動的に削除されます。以下の場合、文書は拡張 HDD に蓄積されません。文書が蓄積されなかったことが分かるように通知させるには、「Network Monitor for Client」の印刷ポートを使用し、「印刷通知」の「印刷処理中にエラーが発生した場合に通知する」を有効（チェックあり）にしてください。また、蓄積されなかった文書はエラー履歴で確認できますが、古くなった履歴は削除されます。
  - ・機密印刷と試し印刷の文書が、拡張 HDD に合計して 100 ジョブ蓄積されているときに送信された 101 番目の文書（印刷データによっては、この文書数よりも少なくなることがあります）
  - ・1 文書あたり 1,000 ページを超える文書を送信した場合
  - ・送信した文書が、拡張 HDD に蓄積されている文書の総ページ数と合わせて、9,000 ページを超える場合（印刷データに）よっては、この文書数よりも少なくなることがあります
- ・SSL（暗号化通信）印刷のサポート OS は、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista、プロトコルは IPP です。IPP ポートの接続ポート数は 1 つです。なお、IPP プロトコルでは、データの再送が考慮されていません。IPP ポートを使用する場合は、プリンタービジーやエラーなどによる再送を考慮した運用が必要です。IPP ポートの作成は Network Monitor for Client から行ってください。SSL（暗号化通信）は「Network Monitor for Client」の IPP ポートのご使用を推奨します。プリンターの URL は、「https://（本製品のアドレス）/ipp」と入力します。この場合、ご使用のパソコンに Internet Explorer がインストールされている必要があります。最新のバージョンをお使いください。Internet Explorer 6.0 以降を推奨します。

- ・省エネモードの移行設定を「移行しない」に選択して使用された場合、寿命が短くなることがあります。
- ・双方向通信がうまくいかない場合は印刷速度が遅くなることがあります。RPCS プリンタードライバの印刷処理の配分でコンピューター優先を選択してください。
- ・Windows Server 2003 ではログイン権限によって双方向通信できない場合がありますのでご注意ください。
- ・高解像度モード（1200dpi 相当）では高精細な印刷が行えますが、印刷データのサイズが増加したり、モアレが強調される場合があります。また、極細線や極小網点は、印刷されない場合があります。

## RPCS プリンタードライバーに関する注意と制限事項

### ◆ Windows Server 2003 動作時の制限事項

- ・Windows Server 2003 環境では一般ユーザー権限では以下の機能が使用できなくなります。使用できない機能は半輝度としています。印刷方法、合成の追加、設定内容の保存 / 呼び出しは、Administrator 権限でも使用することができません。
  - ・印刷方法
  - ・合成の追加
  - ・ワンクリックアイコンの登録
  - ・印刷品質ユーザー設定の登録
  - ・不定形サイズの登録
  - ・合成・スタンプの登録
  - ・設定内容の保存 / 呼び出し

### ◆ Windows Terminal Service 動作時の制限事項

- ・Windows Terminal Service 及び Meta Frame 環境では一部の機能が使用できなくなります。使用できない機能は半輝度としています。
- ・サイズの大きい画像データなどのデータを印刷した際に、データ抜けが発生する場合があります。
- ・アンインストールを行う場合、Network Monitor for Client のポートの追加、設定を行っていないことを確認してください。Network Monitor for Client のポートの追加、設定を行っている場合はエラーメッセージが表示されます。ポートの追加、設定を終了してから再度アンインストールを行ってください。
- ・「自動作成されるクライアントプリンタ」について
  - ・正しくプリンタードライバの情報が複製されない場合があります。
  - ・クライアント側にて設定したオプション構成などの一部設定を引き継ぐことができません。
  - ・サイズの大きい画像データなどのデータを印刷した際に、通信回線の帯域制限により印刷されない場合があります。
- ・プリンタードライバの複製機能について
  - ・Meta Frame の仕様により正しくプリンタードライバが複製されない場合があります。ご使用になる前にご確認の上、運用していただきますようお願いいたします。正しく複製がされない場合には、各サーバーにプリンタードライバをインストールして運用していただくことを推奨いたします。

### ◆ 印刷に関する制限 / 注意事項

- ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista 環境では、Windows ディレクトリがあるドライブ

- の直下に、"\_rpcs" ディレクトリが生成されます（例えば、Windows ディレクトリが C:\Windows の場合には、C:\\_rpcs が生成されます）。通常このディレクトリは、隠しフォルダで生成されます。
- ・集約印刷・変倍機能を使用して印刷される場合、描画位置によって罫線の太さが違って印刷されることがあります。
  - ・スタンプ印字にて文字スタンプの中抜き指定と太字指定を同時指定した場合、ご使用の OS により太字印字が効かない場合があります。
  - ・Windows の区切りページを使用すると正常に印刷されない場合があります。
  - ・Windows XP の Fast User Switching モードで複数ユーザーからご利用なる場合、以下の機能は、あるユーザーで設定した値が他のユーザーにも反映されるので注意してください。必ず、プリンタードライバーの画面で正しい設定になっているかを確認してから印刷してください。
    - ・ワンクリック設定アイコン
    - ・印刷品質ユーザー設定アイコン
    - ・印刷方法
    - ・スタンプ
    - ・合成
    - ・不定形サイズの登録
    - ・章区切り
  - ・複数部数をソート機能を使用しないで 1 → 1 → 2 → 2 のようにページ単位で印刷する場合には、[プリンタ] ウィンドウからプリンタードライバーの設定画面を開き、仕上げタブの [ソート (一部ごと)] のチェックをはずしてください。
  - ・封筒やパンチ済み紙のように方向を持つ用紙の場合、180 度回転した印刷結果になることがあります。この場合、[その他タブ] の [180 度回転] を指定してご使用ください。この場合には、[初期設定画面] の [原稿方向混在設定] を指定してご使用ください。
  - ・OS の言語と異なる言語のプリンタードライバーを使用すると、文字が正常に印刷されなかったり、プリンタードライバーの画面上の文字が正常に表示されなかったりすることがあります。
  - ・プリンターフォント使用時半角アップバー (～) は上付き直線になります。
  - ・Microsoft Office バインダーからの印刷はできません。
  - ・プリンタードライバーのプリンター名、ポート名が 32 文字以上の場合、アプリケーションからそのプリンターを選択したり、印刷開始するとアプリケーションが強制終了する場合があります。このような場合は、プリンタードライバーのプリンター名やポート名を短くしてください。
  - ・「不正コピー抑止」機能で [繰り返し印字] を指定すると、フォントの種類によっては印刷ができなくなることがあります。このような場合は、[行間] を広げてご使用ください。
  - ・「不正コピー抑止」機能で [文字列のみ] を指定すると、マスクパターンは印刷されません。マスクパターンを印刷する場合はこのチェックをはずしてください。
  - ・「不正コピー抑止」機能で [中抜き] を指定する場合は [文字列地紋・背景地紋入れ替え] も指定してご使用ください。
  - ・大きなサイズや高解像度のイメージデータを印刷する場合、メモリーの不足により印刷されない場合があります。解像度を 1200dpi で印刷している場合は 600dpi に設定して、改善を試みてください。
  - ・変倍機能で、独立変倍を指定した場合、文字データが正常に印刷されない場合があります。

- ・合紙指定をすると部数指定が無効となります。このとき、[ユーティリティー] タブの「印刷プレビュー画面を表示」をチェックして印刷を行った場合も印刷プレビュー画面の部数指定は無効になります。
- ・アプリケーションによっては、1 つの印刷ジョブを複数に分割してプリンタードライバーに送信して来るために、[印刷方法] が印刷ジョブの途中で解除されてしまう事があります。このような場合は、[初期設定] - [印刷後の設定] で、通常印刷に戻す設定をオフに変更してください。
- ・プリンター名を変更すると、ワンクリックアイコンの登録情報は初期化されます。
- ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista 環境では、アプリケーションからプリンタードライバーの [初期設定] タブを開いた場合に、[不定形サイズの登録] / [印刷後の設定] ボタンが半輝度表示されません。変更は可能ですが、複数のアプリケーションを開いている場合に、あるアプリケーションで設定した値が他のアプリケーションにも反映されるので注意してください。
- ・Network Monitor for Client のポートを使用しているとき、以下の画面からは正しくヘルプの印刷がおこなえないことがあります。[プリンタ] ウィンドウ [プリンタプロパティーポート-ポートの構成] ダイアログで [ヘルプ] をクリック。
- ・「写真・イメージ画像を補正する」機能で、露出オーバー、露出アンダー気味の画像データ以外に補正処理を適用させると補正が正しく行われなことがあります。

#### ◆ EMF での印刷について (Windows Server 2003/XP/Vista)

- ・《EMF モードで印刷する設定方法》
  - ・64bit 対応版の初期設定は EMF モードです。
  - ・32bit 対応版と 64bit 対応版で、設定方法が異なります。
    - ・32bit 対応版…以下の①②のチェックを常に ON にしてください。
    - ・64bit 対応版…以下の①のチェックを常に ON にしてください。
      - ①「プリンタープロパティー詳細設定-詳細な印刷機能を有効にする」(初期値はチェック ON です)
      - ②「ドキュメントプロパティーその他-EMF スプールする」
- ・《Point&Print 時の印刷について》
  - ・「スタンプ印字 / 合成」が正しく印刷されない場合があります。
  - ・「不定形」が正しく指定されない場合があります。
  - ・「章分け / 章区切り」機能が正しく動作しない場合があります。
  - ・「印刷後の設定」機能が正しく動作しない場合があります。
  - ・「ユーザー認証」機能を利用できません。
  - ・「試し印刷」「機密印刷」「保留印刷」「プリンターに保存する」「プリンターに保存して印刷」「ドキュメントボックスに蓄積する」機能は利用できません。なお、64bit 対応版を利用している場合は、EMF での印刷になるため、上記機能は利用できません。

#### ◆ 64bit 対応版について (Windows Server 2003/XP/Vista)

- ・《印刷について》
  - ・32bit アプリケーションから RAW スプールでの印刷を行うと、印刷結果が期待通りにならない場合があります。EMF モードで印刷してください。(設定方法は、EMF での印刷についてを参照してください)
  - ・出力先指定でファイルは使用しないでください。
  - ・プリンターフォント (ゴシック・明朝) は、アプリケーション上から指定できません。
  - ・プリンターフォント (ゴシック・明朝) をアプリケーション上から指定していた文書をフォントを変更せずに印刷すると、指定と異なるフォントで印刷されます。

- ・《バージョンアップを行う方へ》
  - ・ドライバ暗号鍵を設定されている場合、保存形式の変更のため、Ver7.5x 以下のバージョンからドライバをバージョンアップした際は、ドライバ暗号鍵の再設定を行ってください。

#### ◆ ヘルプについて

- ・Windows Vista では、Windows XP/Windows Server 2003 で使用している、Winhelp 形式と呼ばれる古いヘルプ モデルが未サポートとなりました。機種によっては、Winhelp 形式のヘルプファイルを使用しているためデフォルトでは表示できません。詳細は、マイクロソフト社ホームページをご覧ください。なお、該当機種においては Windows Vista 形式のヘルプファイルに対応する予定はございません。

## PostScript ドライバについて

- ・アプリケーションの「部単位で印刷」の設定は "OFF" にして印刷を行ってください。ソートの設定はドライバ上の「ソート」の項目で行ってください。
- ・(フル) 付きの用紙サイズを指定して印刷を行った場合、アプリケーションや OS によっては、画像が欠けてしまい正常に印刷できない場合があります。
- ・プリンタードライバ上ではプリンタの HDD の有無に関わらず、「試し印刷」「機密印刷」が常に設定可能ですが、HDD 未装着の状態ではプリンタが「試し印刷」「機密印刷」に非対応のため、自動的に「通常印刷」となります。
- ・PageMaker から「試し印刷」「機密印刷」「保留印刷」「プリンタに保存」「ユーザーコード」機能は使用できません。また印刷開始時刻の情報も印刷データに反映されません。
- ・網掛けなど画像のパターンによっては色味が異なって印刷される場合があります。この場合、印刷品質のユーザー設定にて、ディザリングの設定を印刷する画像(色味)に合ったディザパターンに変更してください。
- ・OS またはアプリケーションによって、印刷部数に 1000 部以上の部数が設定できますが、1000 部以上の部数は全て 999 部に統一されます。
- ・カスタム用紙サイズを設定する際、ダイアログに表示している値の範囲内であっても「カスタムページサイズのパラメータに矛盾があります。」の警告ダイアログが表示される場合があります。
- ・カスタム用紙サイズ印刷時、用紙サイズの計算誤差により、サイズのミスマッチが発生する場合があります。
- ・Windows の区切りページを使用すると正常に印刷されない場合があります。その場合には区切りページを使用しないでください。
- ・白黒反転印刷の機能は、「画像モード」または「カラープロファイル」を「ユーザー設定」にしたときに有効になります。
- ・ドライバ上の給紙段指定箇所「自動選択トレイ」を指定している場合、全ての用紙の種類が選択できてしまいます。「手差しトレイ (マルチ)」からしか給紙できない用紙の種類 (OHP、厚紙など) を使用する際は、給紙段を「手差しトレイ (マルチ)」に設定して印刷を行ってください。
- ・奇数ページで終わる印刷データで両面印刷を指定した場合、PostScript ドライバとアプリケーションとの組み合わせによっては、自動的に白紙ページが追加される場合があります。自動的に追加される白紙ページは、モノクロ 1 ページとしてカウントされます。自動的に追加される白紙ページをカウントさせない場合には、プリンタ本体側の PS パ

ネルメニューより「白紙排紙」の設定を「しない」に設定することにより白紙ページはカウントされなくなります。

- ・詳細オプションダイアログ内で「部数」の項目を複数部数に選択すると「部単位」のチェックボックスが表示されますが、この箇所は OFF の設定にして印刷してください。ソート機能の設定は、詳細オプションダイアログの「ドキュメントのオプション」－「プリンタの機能」－「ソート」の箇所で行ってください。
- ・印刷中に本体パネルに表示されるファイル名が文字化けする場合があります。例えば、表、能、貼の文字を含むファイル名の文書を印刷した場合、文字化けする場合があります。
- ・N-up 印刷時に（フル）付きの用紙サイズを指定して印刷を行った場合、アプリケーションや OS によっては、通常用の紙サイズで印刷を行った時に比べ若干大きく印刷される場合があります。
- ・バイナリデータを使用した EPS ファイルを含む文書を印刷する場合、文字化けしたデータが大量に印刷される恐れがあるため、以下のように設定してください。  
プリンター本体の設定（Windows, Macintosh）：「データ形式」を「バイナリ」に設定してください。ドライバーの設定（Windows）：データ形式（Windows 9x）、あるいは、出力プロトコル（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003/Vista）を、「ASCII」あるいは「バイナリ」に設定してください。
- ・カスタム用紙サイズを設定する際、ドライバー内部での計算上の丸め誤差の影響により次のような現象が発生する場合があります。
  - ・ドライバーUI上に表示される設定可能な範囲内にカスタム用紙サイズを設定しても警告ダイアログが表示される場合があります。
  - ・ドライバーUI上で設定できる最大サイズまたは最小サイズを入力しても印刷できない場合があります。
  - ・ドライバーUI上に表示されている設定可能な範囲外にカスタム用紙サイズを設定しても警告ダイアログが表示されない場合があります。
  - ・カスタム用紙サイズ印刷時、用紙サイズの計算誤差により、サイズのミスマッチが発生する場合があります。
- ・PageMaker よりカスタム用紙サイズ印刷時、アプリケーションでトレイの指定を行っても正しくコマンドが出力されないため「自動選択トレイ」の動作となります。「手差しトレイ」などに設定したカスタム用紙サイズは給紙されません。その場合、プリンターの本体パネルより給紙するトレイを選択し強制印刷を行ってください。
- ・PageMaker よりカスタム用紙サイズ印刷時、アプリケーションでトレイの指定を行っても正しくコマンドが出力されないため「自動選択トレイ」の動作となります。「手差しトレイ」などに設定したカスタム用紙サイズは給紙されません。その場合、プリンターの本体パネルより給紙するトレイを選択し強制印刷を行ってください。
- ・PageMaker からの印刷では「自動トレイ選択」の選択肢が表示されません。必ずトレイ指定の動作になります。（デフォルトは「トレイ1」）。
- ・「Microsoft Office XP」文書のオートシェイプの塗りつぶしでテクスチャを指定した場合、印刷結果に透過性は反映されません。
- ・データ形式（Windows 9x）、出力プロトコル（Windows NT4.0/2000/XP/Server 2003/Vista）を「TBCP」に設定した場合、PS エラーが発生したり、部数設定が不正になる場合があります。その場合、データ形式、出力プロトコルは「ASCII」の設定でご使用ください。
- ・「Microsoft Word」のカスタム用紙サイズの文書は正常に印刷されないことがあります。

## Network Monitor for Admin に関する注意と制限事項

### ◆ アンインストール時の制限

- Network Monitor for Admin が起動している場合は、終了させてからアンインストールを行ってください。
- インストールしたユーザーと違うユーザーがアンインストールすると、データが完全に削除されず正しくアンインストールされません。インストール時と同じユーザーでログオンしてアンインストールを行ってください。
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista でアンインストールする場合はユーザーに Administrator の権限が必要です。

### ◆ インストール時の制限

- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista でインストールする場合はユーザーに Administrator の権限が必要です。
- バージョンアップを行う場合は、起動している Network Monitor for Client を終了させてから行ってください。
- インストールしたユーザーと違うユーザーがバージョンアップすると、正しくバージョンアップされません。インストール時と同じユーザーでログオンして行うか、アンインストールしてからインストールを行ってください。
- インストール先のフォルダは Windows ディレクトリを指定しないでください。また、Network Monitor for Client がインストールされている場合は Network Monitor for Client と異なるフォルダを指定してください。
- インストール時にインストール完了画面が背面に表示されることがあります。この場合タスクバー上の該当部分を開いてください。
- ネットワークドライブからインストールするとき、クライアントとサーバーの双方がロングファイルネームをサポートしていない場合、インストールできないことがあります。ロングファイルネームをサポートしていない場合は、インストール元のネットワークドライブのディレクトリ名を DOS8.3 形式で作成してください。
- Windows NT Server4.0、TerminalServerEdition または Windows 2000Server ファミリでターミナルサービスを実行している環境で Network Monitor for Admin をインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。
- インストールモードでインストールを行うには、以下の 2 通りの方法があります
  - [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を使用して Network Monitor for Admin をインストールします。
  - MS-DOS コマンド プロンプトで次のコマンドを入力します。  
CHANGE USER /INSTALL  
インストール モードを終了するには、MS-DOS コマンド プロンプトで次のコマンドを入力します。  
CHANGE USER /EXECUTE  
詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。
- Windows 95/98/Me のネットワークドライブから Windows Server 2003 へのインストールは行う事が出来ません。
- インストールを行う際は、Windows Server 2003 のローカルドライブにコピーし実行してください。

## ◆ 注意 / 制限事項

- ネットワークの負荷が高い場合、機器が応答しなかったり一部の情報が取得できないことがあります。例えば複数のコンピューターから同じ機器を同時に監視した場合（コンピューターの台数は環境によって異なります）です。  
この現象が発生するときは、機器情報画面で [設定] をクリックし、[応答待ち時間] を長めに設定してください。
- TCP/IP の機器検索で指定サブネットを用いて機器検索を行った場合、ルータ機器におけるブロードキャストの設定、機器側のサブネットアドレスの設定によっては、機器検索ができないことがあります。  
この場合、ネットワーク管理者にご相談ください。
- イーサネットボード設定ツールのイーサネットボードリスト画面において TCP/IP プロトコルにてプリンターをブラウズした場合、一部の機種で MAC アドレスが "未取得" と表示される場合があります。このような機種の MAC アドレスを確認する場合は、機種を選択して "次へ" をクリックしてください。
- ネットワークにダイヤルアップ回線を接続しているお客様は、適切な対応を行わない場合、多大な通信料がかかることがあります。本ユーティリティは周期的に機器と通信を行いますので、設定したアドレスの値によっては回線が接続されたままの状態になることがあります。アドレスを指定するときは回線の接続が発生しない値に設定してください。また、本ユーティリティをインストールしたコンピューターを移設する場合など、登録済みの機器のアドレスによっては回線の接続が発生する場合がありますので、必ず利用しない機器は監視を止めるか、登録を削除してください。
- 次の環境に該当する場合、Network Monitor for Admin を一度削除し、アップグレード後に再インストールする必要があります。
  - OS を Windows 2000/XP/Server 2003/Vista にアップグレードした環境
  - Windows 2000/XP/Server 2003/Vista において、Network Monitor for Admin をインストールしたドライブのフォーマットを FAT から NTFS にコンバートした環境
- Windows XP Home Edition においては、IPX/SPX プロトコルによる機器検索はおこなえません。
- 同じパソコンにウィルス対策ソフトが導入されている場合、その設定によっては正しく機器検索を行えない場合があります。  
詳しくは、ウィルス対策ソフトのマニュアルを参照してください。
- 次の条件に該当する場合、グループメニューの [機器検索] - [IPX/SPX] がグレーアウトし選択できないことがあります。
  - Windows 2000/XP に Novell 社提供の Client をインストールされている環境で、Windows 2000/XP にログインする際に、NetWare へのログインを行っていない。  
Windows 2000/XP へログインする時は NetWare へのログインも同時に行うようお願いします。
- 検索・監視条件設定の範囲指定で指定した範囲が広い場合、検索に時間がかかります。  
[グループ] メニューの [閉じる] をクリックするか、機器検索ウィンドウの右端の X をクリックして中止することが出来ます。
- TCP/IP の機器検索で指定サブネットを用いて機器検索を行った場合、ルータ機器におけるブロードキャストの設定、機器側のサブネットアドレスの設定によっては、機器検索ができないことがあります。この場合、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 「拡張 IEEE 1394 ボード」に接続された機器の詳細情報は、ネットワーク I/F のノードアドレスが "00-00-00-00-00-00" と表示されます。

- ・「拡張 IEEE 1394 ボード」に接続された機器ではイーサネットボード設定ツールは使用出来ません。
- ・SNMPv3 での情報取得時、入力した暗号パスワードと、機器に設定された暗号パスワードが一致しない場合、状態が「応答なし」と表示されます。
- ・機器にサーバー証明書をインストールし、暗号化通信 (SSL 通信) を行う場合、証明書を発行したサーバーにアクセスできない環境では暗号化通信が使用できないことがあります。このとき、機器の通信許可設定が「暗号化通信のみ」だと、アドレス情報管理ツール、ユーザー情報管理ツール、イーサネットボード設定ツール、機器の詳細画面でのリセット機能が使用できなくなります。暗号化通信を可能にするには、証明書を発行したサーバーにアクセスできるよう通信環境を整えるか、インターネットエクスプローラーのインターネットオプションで、サーバー証明書の取り消し確認を無効にしてください。

## Network Monitor for Client に関する注意と制限事項

### ◆ アンインストール時の制限

- ・Network Monitor for Client が起動している場合は、終了させてからアンインストールを行ってください。
- ・アンインストールを行う場合、全ての印刷が終了していることを確認してください。Network Monitor for Client のポートを使用して印刷している場合はエラーメッセージが表示されます。印刷が終了してから再度アンインストールを行ってください。
- ・アンインストールを行う場合、Network Monitor for Client のポートの追加、設定を行っていないことを確認してください。Network Monitor for Client のポートの追加、設定を行っている場合はエラーメッセージが表示されます。ポートの追加、設定を終了してから再度アンインストールを行ってください。
- ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista でアンインストールする場合はユーザーに Administrator の権限が必要です。
- ・アンインストール終了時に再起動を推奨する画面が表示されたら、必ず再起動してください。

### ◆ 印刷時の制限

- ・代行印刷・並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション (両面ユニットなど) が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ・代行印刷・並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズ of 用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズ of 用紙をセットしてください。RPCS ドライバーを使用しての印刷時に、給紙トレイを指定すると、代行印刷・並行印刷は動作しません。
- ・並行印刷する場合、アプリケーションの印刷ダイアログに「部単位で印刷」という項目があるときは、そのチェックを外してください。
- ・代行印刷、並行印刷した場合、実際に印刷したプリンターがアプリケーションから選択したプリンターと異なる場合があります。このため、機器の詳細情報画面のジョブ履歴には、印刷したジョブが反映されないケースがあります。
- ・Windows 2000/XP/Server 2003/Vista では、印刷通知のダイアログボックスがアプリケーション画面の背面に表示されます。(Windows の仕様) 印刷通知は、タスクバーの表示でご確認ください。



- WindowsNT Server4.0,TerminalServerEditionまたはWindows 2000Server ファミリでターミナルサービスを実行している環境でNetwork Monitor for Clientをインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。インストールモードでインストールを行うには、以下の2通りの方法があります。
  - 1) [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を使用して Network Monitor for Client をインストールします。
  - 2) MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。  
CHANGE USER /INSTALL  
インストール モードを終了するには、MS-DOS コマンド プロンプトで次のコマンドを入力します。  
CHANGE USER /EXECUTE  
詳しくは Windows のヘルプをご覧ください。
- Windows95/98/Me のネットワークドライブから Windows XP (x64) /Server 2003 (x64) /Vista (x64) の PC へのインストールは行いう事が出来ません。インストールを行う際は、Windows Server 2003 のローカルドライブにコピーし実行してください。
- インストール終了時に再起動を推奨する画面が表示されたら、必ず再起動してください。再起動する際、Windows 2000/XP/Server 2003/Vista の環境では Administrator の権限でログインしてください。

#### ◆ ポートの追加/設定時の注意事項

- プリンターのプロパティ画面における [ポートの構成] ボタン (Windows によっては [ポートの設定] ボタン) を押した際、機器の応答が無い場合 (電源断など)、ポートの設定 (ポートの構成) ダイアログはしばらく待ち状態になる場合があります。そのままお待ちいただくか、機器の電源が入っていない場合は電源を入れてください。
- ポートの追加をするときに、機器のアドレスをホスト名で指定するには、該当する機器のホスト名が、hosts ファイルに記述されているか、DNS サーバーに登録されているか、WINS サーバーに登録されている必要があります。ホスト名の文字数には、それぞれ制限がありますので詳しくはネットワーク管理者にご相談ください。なお、ホスト名が正しく設定されていないと、ポートの追加や機器監視が行えません。
- 同じパソコンにウィルス対策ソフトが導入されている場合、その設定によっては正しく機器検索を行えない場合があります。詳しくは、ウィルス対策ソフトのマニュアルを参照してください。

#### ◆ 監視時の注意 / 制限事項

- ネットワークの負荷が高い場合、機器が応答しなかったり一部の情報が取得できないことがあります。例えば複数のコンピューターから同じ機器を同時に監視した場合 (コンピューターの台数は環境によって異なります) です。この現象が発生するときは、機器情報画面で [設定] を選択し [応答待ち時間] を長めに設定してください。
- ネットワークにダイヤルアップ回線を接続している場合、適切な対応を行わなければ、多大な通信料がかかることがあります。本ユーティリティは周期的に機器と通信を行いますので、設定したアドレスの値によっては回線が接続されたままの状態になることがあります。アドレスを指定するときは回線の接続が発生しない値に設定してください。また、本ユーティリティをインストールしたコンピューターを移設する場合など、登録済みの機器のアドレスによっては回線の接続が発生する場合がありますので、必ず利用しない機器は監視を止めるか、登録を削除してください。

## ◆ 印刷時の制限

- ・ 代行印刷、並行印刷のプリンターの選択画面で、機器検索に時間がかかる場合に、プリンターの選択画面を操作を行うと、プログラムの終了のメッセージが表示される場合があります。プログラムの終了のメッセージで [すぐに終了] ボタンを押下すると、プリンターの選択画面が終了してしまい、ジョブが印刷されません。
- ・ Windows XP (x64) / Vista (x64) において、1人目にログインしたユーザーがログオフした場合、次にログインしたユーザーで印刷通知、代行印刷・並行印刷を行います。
- ・ 以下のような場合、機器からジョブ情報が取得できず、自分のジョブ一覧や印刷完了通知でジョブの状態が "データ転送完了" と表示される場合があります。
  - ・ 機器のジョブスプール機能が有効に設定されている場合
  - ・ PS での印刷など、機器で高負荷な印刷処理を行っている場合
- ・ 代行印刷、並行印刷した場合、印刷元 / 代行（並行）先の機器利用可否チェックは行いません。

## ◆ ジョブ操作時の注意事項

- ・ ジョブのキャンセル機能はデータ転送完了前のジョブのみジョブ操作を行えます。
- ・ ジョブの一時停止 / 再開機能は行うことはできません。

## ◆ プリンタードライバー連携機能に関する制限事項

- ・ プリンタードライバーが対応していない場合、以下の制限事項があります。
  - ・ プリンターのプロパティでオプション構成や給紙トレイ用紙の自動設定のための双方向通信が出来ません。(RPCS ドライバー、PS ドライバー)
  - ・ 印刷通知 (完了通知 / エラー通知 / 自分のジョブ一覧) が使用できません。(RPCS ドライバー) (データ転送完了までの状態を通知します)
  - ・ ジョブごとの印刷通知設定が出来ません。
  - ・ 64bit 対応ドライバーがリリースされていない機器への印刷は行えません。

## 印刷ポートについての注意と制限事項

- ・ IPP ポートはプリンターの準備ができていない場合や、印刷中の場合、印刷されない場合があります。その場合は再度印刷を行ってください。

## TCP/IP 使用時の注意と制限

## ◆ 印刷時

- ・ 印刷データの受信を始めた時点で、印刷データのサイズがハードディスクまたはメモリーの残り容量よりも大きい場合、その印刷データは受信することができません。印刷データが受信容量を超えた場合、クライアントによっては即時再送信をするものがあります。このとき、クライアントがハングアップしたように見えます。対処として、クライアント側でその印刷データの送信を中止する必要があります。
- ・ コンピューター側で IP アドレスやコンピューター名を変更した場合、プリンター側での問い合わせ処理や取り消し処理が正常に行われなくなります。プリンター側でスプールに印刷データがない状態にして、電源を切 / 入してください。

#### ◆ 設定時

- ・プリンター側の設定
  - ・IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスは、システム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
  - ・使用するネットワーク環境においては、サブネットマスクやゲートウェイの設定が必要になります。ネットワーク管理者に相談のうえ、必要項目を設定してください。
- ・パソコン側の設定
  - ・IPアドレスの設定には十分注意してください。IPアドレスは、システム全体で管理されているアドレスです。ネットワーク管理者と十分相談のうえ、設定してください。
  - ・NIS (Network Information Service) の管理下で使用されている上位装置で、ネットワーク (IP アドレスなど) の設定をする場合は、NIS の管理者に相談してください。

#### ◆ 電源切時

- ・本製品の電源を切るときは、以下の点に注意してください。
- ・印刷出力中の印刷データを含め、プリンターのメモリーにスプールされた印刷データは、すべて削除されます。再び電源を入れたときは、印刷指示された印刷データは存在しません。ただし、印刷指示をした直後に電源を切った場合、印刷データはコンピュータ上に保存されることがあります。この場合、再び電源を入れたときは、新しく印刷指示された場合でも、保存されている印刷データから順に出力されます。

## ハードウェアに関して

### 使用上の条件

- ・用紙の詳細な内容については、取扱説明書の「印刷用紙について」を参照してください。
- ・カード紙の印刷にはいろいろな制約があります。十分な評価を行った上でご使用願います。
- ・給紙トレイに用紙を補給するときは、前の用紙が完全になくなってからにしてください。用紙をつぎたすと、紙づまりの原因になります。
- ・使用する用紙によっては、給紙時に用紙をさばく音（分離音）が発生する場合がありますが、異常ではありません。
- ・推奨紙をご使用の場合でもプリンターの設置環境や推奨紙の保管方法や取り扱い方法が悪い場合は、トラブルの原因となることがあります。また、普通紙・再生紙以外の用紙では、寿命・ジャム等の仕様を満足できないことがあります。
- ・推奨紙以外の紙をご使用の場合、以下のトラブルの原因になるおそれがあります。
  - ・用紙のカール、紙づまり、重送、紙シワ、斜行等
  - ・印刷品質の劣化等
  - ・プリンターの故障
- ・他のプリンターで使用できていた用紙が必ずしも使用できるとは限りません。プリンターをリプレースする場合は、実用紙によりご確認ください。
- ・両面印刷ユニットを装着している場合でも、普通紙、再生紙、およびレターヘッド付き用紙以外の用紙は両面印刷できません。

## 用紙の保管について

- ・本装置に適切な用紙でも、取り扱いや保管状態が悪いと用紙が変質し、用紙づまりや故障の原因となります。用紙は以下のことに注意して取り扱い、保管してください。
  - ・給紙トレイに合ったサイズの内紙を用意してください。
  - ・バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
  - ・複数枚重なって排出された場合など、装置を一度通った用紙は再利用しないでください。
  - ・直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
  - ・開封後用紙トレイにセットせずに残った用紙または、長時間使用しない用紙は、包装されていた紙に包み、湿気の少ない場所に保管してください。
  - ・用紙は立てかけず、平らな場所に保管してください。
  - ・シワ、折れ、カール等がつかないように保管してください。

## 再生紙について

- ・推奨紙以外の再生紙は、一般の普通紙に比べ以下のような不具合を発生させやすいので、使用できる用紙の注意事項に加えて以下の事項をご留意の上、使用してください。
  - ・吸湿しやすいため、紙カール量、シワ、折れが増大する場合があります、にじみ、重送、給紙ミスや紙づまりの原因となることがあります。
  - ・紙粉、抜きカスなどによる印字品質への影響、給紙ミスや各種センサ系の誤検出の原因となることがあります。
  - ・用紙強度、剛度が弱いため、スタック性、折りたたみ性が劣る場合があります。
  - ・普通紙に比べて長期保存性に劣るため、保存文書等へのご使用は避けてください。
  - ・比較的可変色しやすいので、直射日光は避けてください。
  - ・紙厚が若干厚いため、用紙トレイや多重手差しトレイの内紙セット枚数は普通紙に比べて少なくなります。
  - ・紙粉が多いため、清掃、点検を確実に実施してください。
  - ・用紙を装置にセットしたまま長期間放置しないでください。印刷しない場合は、用紙を取り外し包装紙に包んで保管してください。

## 再生紙の購入、保管

- ・再生紙は、原料として使用される古紙によって品質が大きく変化します。このため、再生紙を大量に購入される場合は、事前に本装置で印刷の確認を行うことをお勧めします。
- ・再生紙は空調された室内に保管し、包装を開封した用紙は速やかに使用してください。

## 用紙がつまったとき

- ・プリンターの電源を入れたままで紙づまりの処置を行ってください。電源を切ると、プリンター内のメモリーに保持されているデータが消えてしまいます。
- ・つまった用紙にはトナーが付着しています。手や衣服などに触れると汚れますのでご注意ください。
- ・つまった用紙はプリンター内部に残らないようすべて取り除いてください。用紙は複数箇所、つまっていることがあります。用紙を取り除くときは、表示以外の箇所に用紙があるか確認しプリンター内でつまっている用紙全てを取り除いてください。

- つまった用紙を勢いよく引っばると用紙が破れ、機器の内部に紙片が残る可能性があります。
- つまっている用紙を取り除く前にカバーを閉じたり電源を入れなおさないでください。プリンター内に残っている用紙が移動して取り除くのが困難になることがあります。用紙が取り除けない場合は、プリンターの電源を切り、保守会社に相談してください。
- 紙づまり処置後に印刷された用紙は、表面や裏面に汚れが付着することがあります。数枚印刷すると汚れは消えます。特に定着ユニットにつまった用紙を引き抜くと、汚れがひどくなりますのでご注意ください。

## 注意と制限事項

- 感光体カバーは、中の感光体（ドラム）に光が当たらないように保護しています。感光体カバーをむやみに開けないでください。
- 感光体ユニット・現像ユニット・定着ユニットは、連続印刷に対してドラムの回転数が増える間欠印刷を行うと、寿命が最大半分程度に低下することがあります。
- トナーが手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- 感光体の交換などを行う際は直射日光や強い光の当たる場所を避け、室内の明かりの下でも、速やかに作業してください。
- 感光体をプリンターから取り外した場合は、強い光に当てないように、厚い布などに包んでください。
- トナーカートリッジを立てて置いたり、振ったりする事は行わないでください。トナー漏れや印刷不良の原因となります。
- 各消耗品の「印刷可能ページ数」は同梱品のトナーカートリッジも含め、A4 横 5% のデータを連続印刷をした場合の目安です。実際の印刷可能ページ数は印刷する用紙の種類・サイズ、印刷内容、1 ジョブあたりの連続印刷ページ数、環境条件によって異なります。またトナーカートリッジは使用期間によっても劣化するため、上記目安より早く交換が必要になる場合があります。
- 寒い所から暖かい所に移動した場合は、1 時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 現像ユニットは立てたり、逆さまにしないでください。トナーカートリッジを立てて置いたり、振ったりする事は行わないでください。トナー漏れや印刷不良の原因となります。
- 前カバーを開けたまま長時間放置しないでください。感光体は、長時間光に当てると性能が低下します。感光体の交換はすみやかに行ってください。
- ドラム表面には手を触れないでください。ドラムを汚したり、傷つけることがあります。
- トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、弊社指定の製品により、プリント品質を評価しています。品質維持のため、弊社指定のトナーカートリッジ、消耗品または交換部品をご使用ください。
- 本製品のトナーカートリッジは、2 成分です。交換時にはトナーシールを 2 本引き抜いてください。
- PC-PL2660 用トナーカートリッジはご使用できません。
- 本製品用のオプションや弊社製消耗品（純正トナーカートリッジ）をご使用願います。また、純正以外のオプションやトナーまたはトナーカートリッジなどの消耗品を使用すると、性能や寿命に重大な損傷をもたらす可能性があります。この場合に発生した故障は保証の対象とはなりません。  
共用オプション・消耗品

- ・オプション・消耗品：PC-PL2640 と共用
- ・PC-PW2660/PM26601：PC-PL2640/ PC-PL2660 と共用
- ・PC-PA26405/PA26406：PC-PL2640、PC-PK4510 と共用

## トナー寿命について

- ・プリンター購入時に添付されているトナーカートリッジはスタータートナーカートリッジです。印刷可能ページ数は約 3,000 ページ（A4、黒比率 5%）です。早めにトナーカートリッジをお求めくださることをお勧めします。
- ・本製品には、消耗品が使用されています。寿命（枚数、時間）は A4 横送り、5% のデータを連続印刷した場合の値です。用紙サイズや用紙方向、連続印刷ページ数、使用環境などによって異なります。また、連続印刷に対してドラムの回転数が増える間欠印刷では、寿命が最大半分程度に低下することがあります。

寿命になった消耗品（トナーカートリッジ）は交換してください。

| 消耗品名         | 寿命目安         |
|--------------|--------------|
| トナーカートリッジ    |              |
| スタータートナー：    | 約 3,000 ページ  |
| PC-PZ26401A： | 約 6,000 ページ  |
| PC-PZ26401B： | 約 15,000 ページ |

## 保守・運用

### 運用上の注意事項

- ・本製品の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本製品の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。
- ・装置や部品の寿命値の算出は A4 換算で行っています。印刷用紙サイズや印刷デュティによっては印刷枚数より早く寿命となることがあります。

### 保守・運用について

- ・本製品に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作を誤ったり本製品に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- ・本製品は日本国内向けに製造されており、電源仕様の異なる諸外国では使用できません。本製品を日本国外に移動させた場合は、保守サービスの責任は負いかねます。また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は各国異なります。これらの規則に違反して、本製品および消耗品等を諸外国に持ち込むと罰せられることがあります。本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。この装置に付属する周辺機器やソフトウェアも同じ扱いになります。なお、ご不明な場合は弊社担当営業にお問い合わせください。
- ・本製品またはリサイクル対象外の消耗品は不燃物として、または法令、条例に従って産業廃棄物として、お客さまにて処分、処理をお願いします。
- ・本製品を設置時、プリンターが入っていた箱は保管しておいてください。

- ・本製品には、有寿命有償部品が使用されています。寿命（枚数、時間）は A 4 推奨紙を常温常湿環境にて連続印刷した場合の値です。再生紙や幅狭用紙、厚紙、穴あき用紙などを使用した場合は寿命が低下します。また、寿命を超えた使用は、ジャムなどの印刷不良や用紙搬送不良につながります。定期的な保守による部品交換（定着器や給紙ローラー、分離パッド等）が必要ですので、保守契約を行うようお願いいたします。

## 性能低下の条件

下記条件において、印刷速度が低下することがあります。

- ・画像が入ったデータを印刷する場合
- ・画質優先設定実行時
- ・大量印刷実行時
- ・小サイズ用紙印刷時
- ・用紙種類を「普通紙」以外にした場合
- ・印刷位置変更時
- ・トナーセーブ使用時
- ・手差しトレイから印刷時

## その他

### 形名の読み替え

本製品の形名は PC-PL3540/3530 となりますが、プリンタードライバー、PostScript ドライバーのインストール時の表示やReadmeなど、提供している資料やソフトウェア上で異なった形名で表示や説明している部分があります。下記に従い読み替えるようお願い致します。

- ・ IPSiO SP 6220 → PC-PL3540
- ・ IPSiO SP 6210 → PC-PL3530

### USB について

- ・ USB ポート接続していたプリンターをネットワーク接続する場合は、CD-ROM から「Network Monitor for Client」をインストール願います。Network Monitor for Client ポート（TCP/IP ポート）が使用できます。
- ・ USB インタフェース（USB2.0）を装備していますが、Hi-Speed USB2.0 での最大転送速度に対応する為には、パソコン本体のインタフェース及び接続ケーブルが Hi-Speed USB2.0 に対応している必要があります。また、Hi-Speed USB2.0 は USB1.1 と互換性がありますので、パソコン側が Hi-Speed USB2.0 に未対応でも、USB1.1 での転送速度にて動作可能です。
- ・ USB は機器の組み合わせにより、動作が保証されない場合があります。USB 接続で印刷される場合は、次の条件を満たすパソコンをご使用ください。
- ・ 条件を満たしていないパソコンでは誤動作を起こすことがあります。
  - ・ USB 接続で使用する場合のパソコンの条件
    - ・ 対応オペレーティングシステムは Windows 2000/XP/Server 2003/Vista です。

- ・プリンターとパソコンを接続するケーブル長は 2.0m 以内としてください。
- ・プリンターとパソコンは直接接続してください。(HUB は使用しないでください。)
- ・パソコンのチップセットが、インテル製であることを確認してください。

## 560 について

- ・PC-PL3540/3530 ではオプションの C/S560 用 LAN アダプタ (PC-PB20211) を使用すると、日立 C/S560 プロトコルを用いたメインフレーム印刷がご使用できます。PC-PL 3550/3540/3530/2660 を除く他の機種ではご使用できません。
- ・プリンターが標準装備している LAN ボードでは、日立 C/S560 プロトコルを用いたメインフレーム印刷は、ご使用いただけません。プリンターが標準装備している LAN ボードと、オプションの C/S560 用 LAN アダプタ (PC-PB20211) は IP アドレス設定などの操作画面や方法が異なります。
- ・CommuniNet の 560 プラス (パススルー印刷、ページ印刷) は、ご使用いただけません。

## 印刷結果の相違について注意事項

- ・ご使用の環境や用紙・プリンターの状態により色味が異なることがあります。
- ・ご使用になるドライバーの種類や OS の種類によって、ドライバーのサポートしている機能および印刷結果に相違がでることがあります。
- ・他のプリンターと印刷結果が必ずしも同じにはなりません。プリンターをリプレースする場合は実データによりご確認ください (線の太さ、網掛け、印刷領域等)。

## 印字品質について

- ・印刷結果は、同一機種内でのバラツキが存在します。厳密な印刷の必要がある場合は、バラツキを考慮した帳票設計と運用をお願いします。
- ・バーコード・QR コードの印刷について  
下記項目等により、読み取り可否が変動する場合がありますので、事前に十分ご確認ください。また、使用開始後にも確認してください。
  - ・帳票デザイン
  - ・印刷の向き
  - ・用紙のアプリケーション (コードのデザイン、補正有無等)
  - ・環境
  - ・プリンターの状態・設定
  - ・純正トナーカートリッジの使用
  - ・リーダの読み取り性能
- ・料金代理収納用バーコード「EAN128 コンビニバーコード」(以降 EAN128 コンビニバーコード) の印刷が可能です。読み取りに関しては、帳票デザイン、バーコードの配置 (向き)、アプリケーション、用紙、プリンター、環境、印刷結果の取り扱い、バーコードリーダなどの要因により影響され、読取れない場合があります。実環境で実際に印刷したバーコードの読み取りを事前に確認して頂く必要があります。バーコードは黒一色のみで作成してください。黒とカラーを重ねて印刷するブラックオーバープリントなどは使わないでください。
- ・EAN128 コンビニバーコードの事前注意点
  - ・純正トナーカートリッジの使用

- ・バーコードデザインの補正が可能なアプリケーションの使用
- ・紙送り方向とバーコードのバー方向が平行になるバーコードの配置  
また、プリンターの設定やアプリケーションの設定は機種により異なり、印刷位置はプリンターごとに異なる場合がありますので、パソコンやプリンター毎の調整が必要な場合があります。なお、印刷は、用紙や環境、プリンターの状態により変化する場合がありますので、定期的なバーコードの読み取り確認を推奨致します。

## 移行に関する注意事項

- ・ PC-PL2650 等の LIPS や、PC-PK4720 等の ESC/Page を PDL（プリンター制御言語）とするプリンターからのリプレース時の、PDL に関する問題点は下記になります。
  - 1) OS にインストールされたプリンタードライバーを使用していない場合。  
例. アプリケーションにて直接 LIPS コマンドを生成している  
(Communitnet 560+ ページモード等)  
この場合、アプリケーションで本製品に対応した PDL を生成できるようにするか、アプリケーションの出力を OS にインストールされたプリンタードライバーにする必要があります。
  - 2) プリンタードライバーの DevMode 構造体を、アプリケーションが UI を用いないで直接制御している場合。  
例. アプリケーションが印刷を実行するとき、プリンタードライバーを使用しているが、UI（Word 等で "印刷" を実行すると出てくるプリンターの設定画面。通常給紙部や、両面印刷等の指定が出来る）を経由しないで直接 DevMode 構造体の値を取得している（PC-PDE 等）。  
この場合、上記 PDL だけの問題では無く、プリンタードライバーが変更されると DevMode の値が変わることがあり、思った通りの印刷結果が得られない場合があります。  
但し、アプリケーションを作成したときのドライバーと変更後のドライバーで使用している DevMode の値が同じであれば問題は発生しません。
  - 3) 現在 LIPS、または ESC/Page をドライバー経由で通常の使用方法で使用しており、他 PDL での評価をしていない場合。  
通常のプリンタードライバー経由の印刷の場合、PDL が切り替わることによる問題はありません。  
但し、機種により固有値や機能がありますので、厳密な印刷を求める場合は確認が必要です。

## 清掃について

プリンターを良好な状態に保ち、きれいに印刷するために、以下の部分を定期的に清掃してください。（プリンター内部に、ほこりや汚れがあるときは、乾いた清潔な布で拭いてください。）専用器具があるものは専用器具を使って清掃してください。専用器具を使用するよう指示があるものの場合、専用器具以外のものを使用して清掃すると、キズや故障が発生することがあります。

- ・防塵ガラス
- ・レジストローラー周辺

## サポート対象外機能一覧

次の機能は、サポート対象外となっております。

印刷および動作等の保証はしていません。

また、質問などにもお答え出来かねますのでよろしくご理解願います。

この機能をご利用になる場合には、お客様ご自身で十分に動作確認をしていただき、お客様の責任においてご利用いただくようお願いいたします。

(弊社では、この機能に関してのテスト、評価等の確認は行っておりません。)

- NEC PC98 環境での印刷
- EtherTalk
- エミュレーションモード (201H、ESC/P、HP-GL/2、TIFF、RPDL)
- 次の用紙サイズへの印刷レジャー (ダブルレター)、リーガル 14 インチ (リーガル)、リーガル 13 インチ (ガバメントリーガル)、レター、八開
- Salutation6.SunOS 環境での印刷
- PostScript English 版ドライバーでの印刷
- PC-PL2640 用プリンタードライバー以外を使用しての印刷 (PDF ダイレクトプリントは除く)
- Win9x、WinMe、Win NT、MAC OS
- 日本語以外の Windows
- NetWare
- DEVmode 構造体を制御した印刷
- Web Image Monitor、NetWork Monitor for Client/Admin 以外の機器の監視
- 下記に示すオプションおよび機能はサポートしません
  - 拡張無線 LAN ボード
  - 1Giga イーサネットボード
  - 拡張 USB ホスト I/F ボード
  - IEEE1284 変換コネクタ
  - エミュレーションカード
  - PDF ダイレクトカード
  - R98/R16 カード
  - BMLinkS カード
  - 保存用カード
  - Netware 対応カード

---

## 最新ソフトウェアのダウンロード

---

最新版ソフトウェアは、インターネットのホームページで提供しております。  
なお、通信費用はお客様の負担となりますのでご了承ください。  
弊社のホームページのアドレス（URL）は以下のとおりです。

<http://www.hitachi.co.jp/printer/>

---

## 最新の OS について

---

最新の OS についての情報は、インターネットのホームページで提供しております。  
なお、通信費用はお客様の負担となりますのでご了承ください。  
弊社のホームページのアドレス（URL）は以下のとおりです。

<http://www.hitachi.co.jp/printer/>

# CD-ROM 収録ソフトウェア

ここでは、本機に同梱されている CD-ROM 「ドライバー&ユーティリティー/使用説明書」について説明しています。

## ファイル一覧

CD-ROM 「ドライバー&ユーティリティー/使用説明書」に入っているファイルの一覧です。

| ファイル名                                                         | 参照                                 |
|---------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| SETUPEXE                                                      | P.17 「おすすめインストール」                  |
| Windows 95/98/Me 用プリンタードライバー                                  | P.310 「RPCS プリンタードライバー」            |
| Windows NT 4.0 用プリンタードライバー                                    | P.310 「RPCS プリンタードライバー」            |
| Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用プリンタードライバー | P.310 「RPCS プリンタードライバー」            |
| Network Monitor for Admin                                     | P.311 「Network Monitor for Admin」  |
| Network Monitor for Client                                    | P.311 「Network Monitor for Client」 |
| True Type World Windows 版                                     | P.313 「TrueTypeWorld」              |
| 各種マニュアル (PDF ファイル)                                            | P.316 「各種マニュアル (PDF ファイル)」         |

## ドライバー (RPCS)

Windows から印刷するために必要なソフトウェアです。RPCSが入っています。

### RPCS プリンタードライバー

RPCS プリンタードライバーのファイル格納場所と動作環境についての説明です。

#### ◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

- Windows 95/98/Me 用プリンタードライバー  
DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN9X\_ME¥DISK1
- Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 用プリンタードライバー  
DRIVERS¥x86¥RPCS¥WIN2K\_XP¥DISK1  
DRIVERS¥x64¥RPCS¥XP\_VISTA¥DISK1
- Windows NT 4.0 用プリンタードライバー  
DRIVERS¥x86¥RPCS¥NT4¥DISK1

#### ◆ プリンタードライバーの動作環境

- パソコン  
対象 OS が問題なく動作する、PC/AT 互換機、NEC PC-9821 シリーズ
- Windows NT 4.0 で使用する場合、RISC ベースのプロセッサ (MIPS R シリーズ、Alpha AXP、Power PC) 環境では動作しません。

- ・対象 OS  
Windows 95/98/Me 日本語版  
Windows 2000/XP/Vista、Windows Server 2003/2003 R2 日本語版  
Windows NT 4.0 日本語版
- ・ディスプレイ解像度  
SVGA 800×600 ドット以上

↓ 補足

- ・詳しい使い方については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

目 参照

- ・P.17 「おすすめインストール」

## Network Monitor for Admin

Network Monitor for Admin の機能とファイル格納場所の説明です。

Network Monitor for Admin は TCP/IP プロトコル、IPX/SPX プロトコルを使ってネットワーク上のプリンターを監視するソフトウェアです。IP アドレスを持つ複数のネットワークプリンターの管理が可能です。管理者の方がお使いになることをお勧めします。

### ◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK¥x86¥NETMON¥ADMIN¥DISK1

NETWORK¥x64¥NETMON¥ADMIN¥DISK1

目 参照

- ・P.183 「Network Monitor for Admin を使う」

## Network Monitor for Client

### ◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。

NETWORK¥x86¥NETMON¥CLIENT¥DISK1

NETWORK¥x64¥NETMON¥CLIENT¥DISK1

### ◆ Network Monitor for Client の動作環境

- ・パソコン  
対象 OS が問題なく動作する PC/AT 互換機
- ・対象 OS  
Microsoft Windows 98 SE 日本語版  
Windows Me 日本語版  
Windows 2000 Professional 日本語版 (Service Pack 1 以上)  
Windows 2000 Server 日本語版 (Service Pack 1 以上)  
Windows 2000 AdvancedServer 日本語版  
Windows XP Home Edition 日本語版  
Windows XP Professional 日本語版

- Windows Vista 日本語版
- Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
- Windows NT 4.0 日本語版
- ・ディスプレイ解像度
  - SVGA 800×600 ドット以上

↓ 補足

- ・ NEC PC-9800 シリーズ、PC-9821 シリーズ、PC98-NX シリーズでは動作しません。

## Network Monitor for Client

Network Monitor for Client は以下のような機能を備えたソフトウェアです。

- ・ Windows XP、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2 から TCP/IP プロトコル、IPP を使用して、Peer-to-Peer ネットワークで印刷する機能を提供します。
- ・ TCP/IP プロトコル、IPX/SPX プロトコルを使用してネットワークにある機器の状態を常に監視できる機能を提供します。

### ◆ どんなことができるのか？

Network Monitor for Client では以下の操作ができます。

- ・ Peer-to-Peer プリント機能
  - ・ プリントサーバが無くても、直接ネットワークプリンターに印刷できます。
  - ・ 指定したプリンターにジョブがたまっていたり、エラーが発生して印刷できないとき、代替りのプリンターに印刷できます（代行印刷）。
  - ・ 複数部数の印刷を複数のプリンターに割り振って印刷できます（並行印刷）。
  - ・ 並行 / 代行印刷に指定するプリンターをあらかじめグループ登録できます。
- ・ プリンター本体のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
- ・ 印刷データを転送中または印刷中に指定したプリンターにエラーが発生した場合、エラーメッセージを通知させることができます。
- ・ 機器監視機能
  - ・ 印刷中、用紙切れなど機器の情報をパソコン上で確認できます。
  - ・ 複数台の機器を使い分けるときは、それらを同時に監視できます。
  - ・ 機器のネットワークに関する設定や、装備に関する詳しい情報を確認できます。
  - ・ ユーザー ID を使ったジョブの履歴を確認できます。
- ・ 印刷が完了したときに、[印刷通知] ウィンドウを表示して、印刷の完了を通知することができます。また代行印刷したときだけ表示させるなど、印刷条件により通知するかどうかを設定することができます。
- ・ 自分が印刷した文書の履歴、印刷中のジョブ状態を一覧で確認できます。
- ・ 印刷ページを、「プレビュー表示」と「ページ一覧表示」の2種類の方法で表示することができます。

↓ 補足

- ・ 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターのオプション構成を一致させてください。印刷に必要なオプション（例えばオプションの給紙テーブルなど）が代行プリンターに装着されていない場合、オプションを使用する機能は無効になります。
- ・ 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターに同じサイズ of 用紙をセットしてください。特定の給紙トレイを指定して印刷するときは、同じトレイに同じサイズの用紙をセットしてください。

- ・ 代行印刷 / 並行印刷するプリンターと印刷指示をするプリンターの機種や装備が違う場合、印刷結果が同じにならないことがあります。
- ・ 試し印刷や機密印刷をする場合、代行印刷 / 並行印刷はできません。
- ・ Network Monitor for Client の使いかたについては、同梱のマニュアルとヘルプを参照してください。

## TrueTypeWorld

TrueTypeWorld のファイル格納場所と書体見本についての説明です。

### ◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。  
 FONTS¥WIN95NT

### ◆ 書体見本

以下の TrueType フォント 20 書体が収録されています。

羽衣 L

愛の広がる美しいフォント

羽衣 E

愛の広がる美しいフォント

高橋隷書体

愛の広がる美しいフォント

江戸文字勘亭流

愛の広がる美しいフォント

行刻

愛の広がる美しいフォント

半古印体

愛の広がる美しいフォント

行書体

愛の広がる美しいフォント

祥南行書体

愛の広がる美しいフォント

正楷書体

愛の広がる美しいフォント

創英角ポップ体

愛の広がる美しいフォント

創英丸ポップ体

愛の広がる美しいフォント

白洲ペン楷書体

愛の広がる美しいフォント

白洲行草書体

愛の広がる美しいフォント

白洲太楷書体

愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W3

愛の広がる美しいフォント

平成角ゴシック体™ W9

愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W4

愛の広がる美しいフォント

平成丸ゴシック体™ W8

愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W3

愛の広がる美しいフォント

平成明朝体™ W9

愛の広がる美しいフォント

各書体のフォント名、字母メーカーは以下のとおりです。

| フォント名          | 書体名          | 字母メーカー名       |
|----------------|--------------|---------------|
| HG～(注)         | 羽衣 L         | 株式会社大谷デザイン研究所 |
| HG～(注)         | 羽衣 E         | 株式会社大谷デザイン研究所 |
| HG～(注)         | 高橋隸書体        | 株式会社ブリッジ      |
| HG～&HGP～& HGS～ | 江戸文字勘亭流      | 株式会社晁文堂       |
| HG～&HGP～& HGS～ | 行刻           | 株式会社シイアンドジィ   |
| HG～&HGP～& HGS～ | 半古印体         | 株式会社シイアンドジィ   |
| HG～&HGP～& HGS～ | 行書体          | 株式会社リコー       |
| HG～&HGP～& HGS～ | 祥南行書体        | 有澤祥南          |
| HG～&HGP～& HGS～ | 正楷書体         | 日本活字工業株式会社    |
| HG～&HGP～& HGS～ | 創英角ポップ体      | 株式会社創英企画      |
| HG～&HGP～& HGS～ | 創英丸ポップ体      | 株式会社創英企画      |
| HG～&HGP～& HGS～ | 白洲ペン楷書体      | 日本書技研究所       |
| HG～&HGP～& HGS～ | 白洲行草書体       | 日本書技研究所       |
| HG～&HGP～& HGS～ | 白洲太楷書体       | 日本書技研究所       |
| HG～&HGP～& HGS～ | 平成角ゴシック体™ W3 | (財) 日本規格協会    |
| HG～&HGP～& HGS～ | 平成角ゴシック体™ W9 | (財) 日本規格協会    |
| HG～&HGP～& HGS～ | 平成丸ゴシック体™ W4 | (財) 日本規格協会    |
| HG～&HGP～& HGS～ | 平成丸ゴシック体™ W8 | (財) 日本規格協会    |
| HG～&HGP～& HGS～ | 平成明朝体 W3     | (財) 日本規格協会    |
| HG～&HGP～& HGS～ | 平成明朝体 W9     | (財) 日本規格協会    |

※フォント名の『～』の個所には書体名が入ります。『HG～』のみの場合は和文プロポーショナルに対応していません。

(注) Windows3.1 のフォーマットで収録しています。

## 基本仕様

True Type World の基本仕様に関する説明です。

### ◆ 文字について

7,602 文字 (MS 標準キャラクタセットに準拠、JIS 漢字第一水準、第二水準を含む) フォーマット /Windows 95 日本語版準拠の TrueType Collection 形式 (拡張子: ttc)

#### ↓ 補足

- Windows 95 以降で和文プロポーショナルフォントを使用できるようになります。
- フォントファイルに組み込まれたフォント情報によって書体表示名が異なります。

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 「HGP～」 | 半角文字・非漢字についてプロポーショナルピッチの情報を格納 |
| 「HGS～」 | 半角文字についてプロポーショナルピッチの情報を格納     |
| 「HG～」  | 固定ピッチ情報のみ格納                   |

- 和文プロポーショナル機能を使用するには、TrueType Collection に対応しているアプリケーションが必要です。
- 平成書体は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。他のフォントと同様、フォントとして無断複製することは禁止されています。

### ◆ 対象 OS

TrueType フォントの対象 OS は、下記の通りです。

- Microsoft Windows 95/98/Me 日本語版
- Microsoft Windows NT 4.0 日本語版
- Microsoft Windows 2000/XP 日本語版
- Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 日本語版
- Microsoft Windows Vista 日本語版

## Windows へのインストール

True Type World の Windows へのインストール方法の説明です。

ここでは、操作例として Windows 95/98/Me へのインストール方法を説明しています。

#### ★ 重要

- ご使用の際には、同梱されている CD 内の Font ディレクトリにある Readme の使用許諾を参照してください。
- すでに Windows 3.1 版の TrueTypeWorld がインストールされているパソコンには、同梱の CD-ROM 内の TrueTypeWorld をインストールしないでください。
- インストールされているフォント数が多いとシステムが不安定になる恐れがあります。
- リモートドライブ (ネットワーク上のドライブ) にインストールしないでください。アプリケーションからフォントを選択するとき他のフォントが見えなくなるなどの障害が発生する恐れがあります。

**1** [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントし、[コントロールパネル] をクリックします。

- 2 [コントロールパネル] の [フォント] をダブルクリックします。
- 3 [ファイル] メニューの [新しいフォントのインストール] をクリックします。
- 4 CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
- 5 [ドライブ] ボックスのドロップダウンメニューから CD-ROM ドライブを選択します。
- 6 [フォルダ] ボックスで、[fonts] から [win95nt] の順にフォルダを開きます。
- 7 [フォントの一覧] ボックスにフォント名が表示されるので、インストールするフォントをクリックして反転表示させます。
- 8 [[FONTS] フォルダにフォントをコピーする] にチェックが付いていることを確認し、[OK] をクリックします。  
これでインストールは終了です。

#### ↓ 補足

- Windows をインストールしたハードディスクに、1 書体当たり約 2~7MB (書体によって異なります) の空き容量が必要です。
- インストール後、フォント名は 3 つの書体名「HG~」、「HGP~」、「HGS~」で表示されます。たとえば「行書体」の場合、[コントロールパネル] の [フォント] フォルダの中では、フォント名が「HG 行書体 & HGP 行書体 & HGS 行書体」と表示されます。
- その他の OS へのインストール方法については、OS に同梱の説明書を参照してください。

---

## 各種マニュアル (PDF ファイル)

---

各種マニュアル (PDF ファイル) のファイル格納場所についての説明です。

### ◆ ファイル格納場所

同梱の CD-ROM 内の次のフォルダに格納されています。  
MANUAL¥PL3540\_PL3530

# 印刷条件を設定する

ここでは、MS-DOS アプリケーションから印刷する場合に必要な印刷条件の設定方法について説明します。

## ★重要

- ・エミュレーションが搭載されている場合に設定できます。

印刷データを正しく印刷するには、アプリケーションやパソコンに合わせた印刷条件を設定する必要があります。正しい印刷条件を設定しないと、思いどおりの印刷結果が得られません。

印刷条件の設定は、本機の操作部を使用して行います。

なお Windows でプリンタードライバーを使用して印刷する場合は、プリンタードライバーで印刷条件を設定するため、本機で設定する必要はありません。

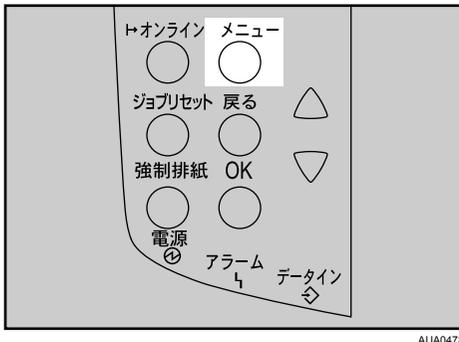
ここでは RPD L を例で説明します。

- ・RPDL はサポート対象外となります。

## エミュレーションを切り替える

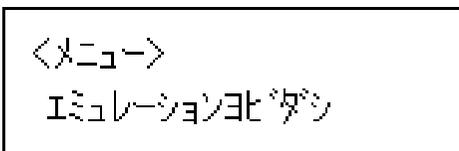
エミュレーションを切り替える方法を説明します。

- 1 [メニュー] キーを押します。

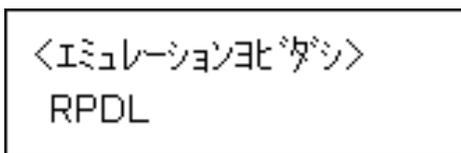


AUA047S

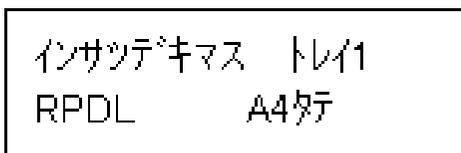
- 2 [▲] または [▼] キーを押して「エミュレーションヨビダシ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3 [▲] または [▼] キーを押して「RPDL」を表示させ、[OK] キーを押します。



エミュレーションが切り替わり、次の画面が表示されます。



参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

## 印刷条件を設定する

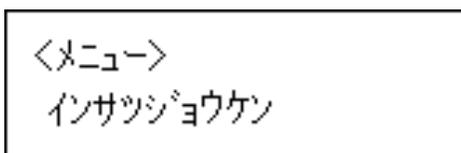
印刷するデータに応じた印刷条件をプリンターの操作パネルで設定できます。

重要

- ・この操作で設定した「印刷条件」は、次の条件で初期値に戻ります。
  - ・プリンターの電源を切ったとき
  - ・ほかのエミュレーションに切り替わったとき

- 1 [メニュー] キーを押します。

- 2 [▲] または [▼] キーを押して「インサツジョウケン」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3 [▲] または [▼] キーを押して項目を選び、[OK] キーを押して印刷条件を設定します。

- 4 [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

参照

- ・P.13 「お使いになる前に」
- ・使用頻度が高いアプリケーションの環境は、プログラム登録しておくことをお勧めします。プログラムを登録しておくこと、エミュレーションが切り替わったり、プリンターの電源を切っても、プログラムを呼び出せば、同じ条件で印刷することができます。プログラムを登録する方法については、P.332 「プログラムを登録する」を参照してください。

- ・印刷条件の設定項目については、P.321 「PRDL の印刷条件の設定項目」を参照してください。
- ・設定した印刷条件は、印刷条件リストで内容を確認できます。P.330 「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

## RPDL の印刷条件設定項目一覧表

印刷条件の設定項目と設定値の一覧を示します。

| 項目                     | 設定値                 |                         |                       |                     |                        |                        |
|------------------------|---------------------|-------------------------|-----------------------|---------------------|------------------------|------------------------|
|                        | 1                   | 2                       | 3                     | 4                   | 5                      | 6                      |
|                        | 7                   | 8                       | 9                     | 10                  | 11                     | 12                     |
| 1.給紙トレイ<br>*1          | トレイ 2/<br>手差し *2    | トレイ 1                   | システムデ<br>フォルト         | トレイ 2               | トレイ 3                  | マルチトレイ                 |
|                        | 手差し                 | トレイ 4                   |                       |                     |                        |                        |
| 2.印刷方向                 | 単票・縦                | 単票・横                    | 帳票・縦                  | 帳票・横                |                        |                        |
| 3.CR,LF,FF<br>機能       | CR,LF,FF            | CR+LF,LF,FF             | CR,LF・<br>FF+CR       | CR+LF,LF・<br>FF+CR  |                        |                        |
| 4.自動改行                 | する                  | しない                     |                       |                     |                        |                        |
| 5.行ピッチ                 | 6LPI                | 3LPI                    | 8LPI                  | フォントサ<br>イズ         |                        |                        |
| 6.文字ピッチ                | 10CPI               | 12CPI                   | 15CPI                 | フォントサ<br>イズ         |                        |                        |
| 7.ANK フォ<br>ント         | クーリエ 10             | プレステージ<br>エリート 12       | レターゴ<br>シック 15        | ポールド<br>フェイス PS     | ラインプリ<br>ンタ            | 明朝半角                   |
| 89.国別指定                | アメリカ                | イギリス                    | ドイツ 1                 | ドイツ 2               | フランス                   | スウェーデン                 |
|                        | フィンランド              | スイス                     | 日本 1                  | 日本 2                | 日本 3                   |                        |
| A.キャンセ<br>ルコード         | CR                  | クリア                     |                       |                     |                        |                        |
| B.印刷領域                 | 標準                  | 最大                      | センタリング                |                     |                        |                        |
| D.リミット<br>レス給紙         | しない                 | する                      |                       |                     |                        |                        |
| I.スペーシン<br>グユニット<br>*1 | H=1/120,<br>V=1/48  | H=1/180,<br>V=1/120     | H=1/160,<br>V=1/120   | H=1/160,<br>V=1/160 | H=1/240,<br>V=1/120    | H=1/240,<br>V=1/240    |
|                        | H=1/400,<br>V=1/400 | H=1/600,<br>V=1/600     | H=1/1200,<br>V=1/1200 |                     |                        |                        |
| J.漢字コード                | 新 JIS /<br>JIS コード  | 旧 JIS /<br>JIS コード      | 新 JIS /<br>シフト JIS    | 旧 JIS /<br>シフト JIS  | JIS X0213 /<br>JIS コード | JIS X0213 /<br>シフト JIS |
| K.左余白                  | 00mm                | (範囲 0~50mm、1mm 単位で設定可能) |                       |                     |                        |                        |
| L.上余白                  | 00mm                | (範囲 0~50mm、1mm 単位で設定可能) |                       |                     |                        |                        |

| 項目               | 設定値             |                     |                                         |                 |                     |             |
|------------------|-----------------|---------------------|-----------------------------------------|-----------------|---------------------|-------------|
|                  | 1               | 2                   | 3                                       | 4               | 5                   | 6           |
|                  | 7               | 8                   | 9                                       | 10              | 11                  | 12          |
| M. 変倍率           | 100% (等倍)       | 88% 11"×14"<br>→ B4 | 80% B4 → A4                             | 75% B4 → A4     | 70% 11"×14"<br>→ A4 | 67% A3 → A4 |
|                  | 115% B4 →<br>A3 |                     | 122% A4 →<br>B4                         | 141% A4 →<br>A3 | 200% A5 →<br>A3     | 50% A3→A5   |
| O. 半角ピッチ         | 1/2             | 2/3                 |                                         |                 |                     |             |
| Q. ページ長          | 11 インチ          | 最大長                 |                                         |                 |                     |             |
| R. イメージ濃度        | うすく             | 中間                  | こく                                      |                 |                     |             |
| T. 漢字フォント        | 明朝              | ゴシック                |                                         |                 |                     |             |
| U.ANK サイズ        | 1200 センチポイント    |                     | (範囲 600~2100 センチポイント、10 センチポイント単位で設定可能) |                 |                     |             |
| V. 漢字サイズ         | 960 センチポイント     |                     | (範囲 600~1800 センチポイント、10 センチポイント単位で設定可能) |                 |                     |             |
| W. グラフィックスユニット*1 | 1/400 インチ       | 1/240 インチ           | 1/600 インチ                               | 1/1200 インチ      |                     |             |
| Y. 文字ストリング       | する              | しない                 |                                         |                 |                     |             |
| Z. 外字文字数         | 256 字           | 512 字               | 768 字                                   | 1034 字          |                     |             |
| A2. 印字モード        | トナーセーブモード 2     | スモーキング オン           | トナーセーブモード 1                             | スモーキング オン       |                     |             |
| A3. 両面とじ方向*3     | 上とじ             | 左とじ                 | 右とじ                                     |                 |                     |             |
| A4. エンジン解像度*1    | 400dpi          |                     | 600dpi                                  | 1200dpi         |                     |             |
| A6. 両面印刷*3       | しない             | する                  |                                         |                 |                     |             |

\*1 ご使用の機種によって、設定できる値が異なります。

\*2 オプションのトレイが装着されているときはオプショントレイを、装着されていないときは手差しトレイを選択します。

\*3 両面印刷ユニットが装着されているときに表示されます。

## PRDL の印刷条件の設定項目

印刷条件のそれぞれの設定項目について説明します。

### ◆ 給紙トレイ

使用する給紙トレイを選択します。

「システムデフォルト」に設定すると、現在の給紙トレイを選択します。

給紙トレイが「システムデフォルト」に設定されているプログラムやエミュレーションに切り替わった場合、用紙設定の「優先給紙トレイ」またはシステム初期設定「給紙トレイ優先設定：プリンター」で設定されている給紙トレイが選択されます。

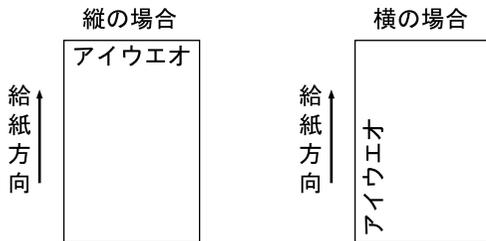
### ◆ 印刷方向

印刷方向（縦または横）と、印刷する用紙（単票または帳票）を設定します。

- ・ 単票・縦（工場出荷時の設定）
- ・ 単票・横
- ・ 帳票・縦
- ・ 帳票・横

「縦」に設定すると、給紙方向に対して垂直に文字が印刷されます。

「横」に設定すると、給紙方向に対して平行に文字が印刷されます。



#### ↓ 補足

- ・ 実際に印刷できる用紙は単票だけです。「帳票」に設定すると、複数分のデータを1枚の用紙に印刷することができます。

### ◆ CR、LF、FF 機能

CR（復帰）、LF（改行）、FF（改ページ）コードを受信したときの本機の動作を設定します。

- ・ CR,LF,FF
- ・ CR+LF,LF,FF
- ・ CR,LF・FF+CR（工場出荷時の設定）
- ・ CR+LF,LF・FF+CR

「CR,LF・FF+CR」は「CR,LF+CR,FF+CR」を表します。

「CR+LF,LF・FF+CR」は「CR+LF,LF+CR,FF+CR」を表します。

CR、LF、FF に対してそれぞれ「CR」、「LF」、「FF」を設定した場合は、コードの意味のままの動作となります。その他の動作は次のとおりです。組み合わせを考えて設定してください。

CR+LF に設定したときは、復帰の後に改行が行われます。

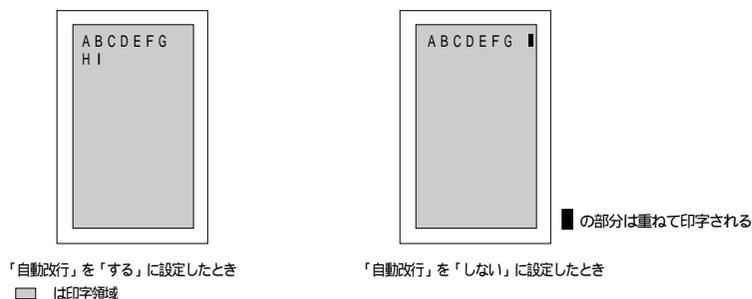
LF+CR に設定したときは、改行の後に復帰が行われます。

FF+CR に設定したときは、改ページの後に復帰が行われます。

## ◆ 自動改行

データが用紙の幅を超える場合に、自動的に改行するかどうかを選択します。

- する  
印刷領域の幅で自動的に改行されます。
- しない (工場出荷時の設定)  
印刷領域から超えたデータは、右端に重なって印刷されます。



## ↓ 補足

- 実際に印刷した場合、「ページ幅」での設定値と実際の用紙サイズによって印刷結果が異なります。

## ◆ 行ピッチ

1 インチ (約 25.4mm) あたりに印刷する行数を選択します。

- 6LPI (工場出荷時の設定)
- 3LPI
- 8LPI
- フォントサイズ

## ↓ 補足

- 「LPI」は Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表します。たとえば、「8LPI」に設定すると、1 インチ (約 25.4mm) あたり 8 行印刷することになります。

## ◆ 文字ピッチ

1 インチ (約 25.4mm) あたりに印刷する ANK フォント (英数カナ文字) の文字数を選択します。

- 10CPI (工場出荷時の設定)
- 12CPI
- 15CPI
- フォントサイズ

## ↓ 補足

- 「CPI」は Character Per Inch の略で、1 インチあたりの文字数を表します。たとえば、「10CPI」に設定すると、1 インチ (約 25.4mm) あたり 10 文字になります。
- 「フォントサイズ」に設定すると、文字ピッチはフォントの文字幅になります。アプリケーションで文字幅を設定できる場合は、アプリケーションの設定が優先されます。

**◆ ANK フォント**

ANK フォントを設定します。

- ・ クーリエ 10 (工場出荷時の設定)
- ・ プレステージエリート 12
- ・ レターゴシック 15
- ・ ボールドフェイス PS
- ・ ラインプリンタ
- ・ 明朝半角

↓ 補足

- ・ 「明朝半角」は、全角文字の中の半角文字を使って ANK 文字（アルファベット、数字、カナ）を印刷します。書体は、「明朝」と同じです。

**◆ 国別指定**

ANK フォントの一部は、国によって異なります。どの国のフォントにするかを選択します。

- ・ アメリカ
- ・ イギリス
- ・ ドイツ 1
- ・ ドイツ 2
- ・ フランス
- ・ スウェーデン
- ・ フィンランド
- ・ スイス
- ・ 日本 1 (工場出荷時の設定)
- ・ 日本 2
- ・ 日本 3

↓ 補足

- ・ ANK フォントで「明朝半角」を設定すると「日本 1」固定となります。

**◆ キャンセルコード**

キャンセルコード (CAN 18h) を受信したときの動作を選択します。

- ・ CR (工場出荷時の設定)  
「CR 機能」「CR,LF,FF 機能」で設定した動作になります。
- ・ クリア  
データがクリアされ、印刷位置がホームポジションに戻ります。

## ◆ 印刷領域

用紙上の印刷領域を選択します。

- ・ 標準 (工場出荷時の設定)

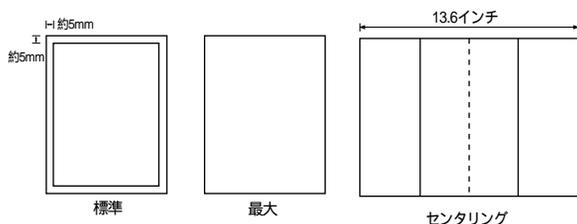
印刷領域の上下左右に約 5mm ずつの余白ができます。

- ・ 最大

用紙サイズいっぱい印刷できますが、上下左右 5mm の領域は正常に印刷できない場合があります。

- ・ センタリング

用紙の中央に印刷領域を配置します。



## ◆ リミットレス給紙

印刷中に給紙トレイの用紙がなくなった場合、他の給紙トレイに自動的に切り替えて印刷するかどうかを設定します。

- ・ しない

トレイは切り替わりません。用紙がなくなったら停止しますので、トレイに用紙を補給してください。

- ・ する (工場出荷時の設定)

自動的に同じ条件のトレイに切り替わり、印刷を継続します。ただし、手差しへは切り替わりません。

↓ 補足

- ・ 切り替え対象の給紙トレイは、用紙のなくなった給紙トレイと同サイズ、同紙種、同方向の用紙がセットされている場合に有効です。
- ・ リミットレス給紙の対象となるトレイは、普通紙または再生紙が設定されているトレイです。

## ◆ スペーシングユニット

1 ドットの仮想の大きさを選択します。

- ・ H=1/120, V=1/48 (工場出荷時の設定)

- ・ H=1/180, V=1/120
- ・ H=1/160, V=1/120
- ・ H=1/160, V=1/160
- ・ H=1/240, V=1/120
- ・ H=1/240, V=1/240
- ・ H=1/400, V=1/400
- ・ H=1/600, V=1/600
- ・ H=1/1200, V=1/1200

### ↓ 補足

- ・「H」は横方向、「V」は縦方向です。単位は dpi です。たとえば、「H=1/180,V=1/120」に設定した場合は、横方向が 180dpi、縦方向が 120dpi になります。
- ・実際の印刷では、「エンジン解像度」の設定値に合った値に換算されて印刷されます。

### ◆ 漢字コード

漢字コード「新 JIS」「旧 JIS」「JIS X0213」と「JIS コード」「シフト JIS コード」の組み合わせを設定します。

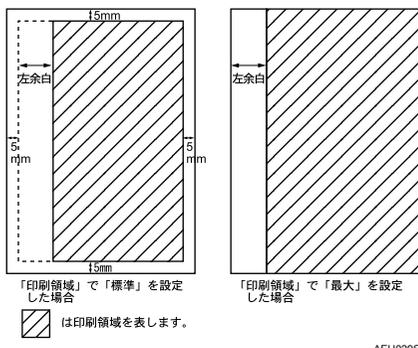
- ・ 新 JIS/JIS コード（工場出荷時の設定）
- ・ 旧 JIS/JIS コード
- ・ 新 JIS/ シフト JIS コード
- ・ 旧 JIS/ シフト JIS コード
- ・ JIS X0213/JIS コード
- ・ JIS X0213/ シフト JIS コード

### ◆ 左余白

用紙の左余白を 0~50mm の範囲で、1mm 単位で設定できます（工場出荷時は 00mm）。

### ↓ 補足

- ・余白は、「印刷領域」で設定されている印字領域の内側に設定されます。したがって、設定した余白の分だけ印字開始位置が右にずれます。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。



### ◆ 上余白

用紙の上余白を 0~50mm の範囲で、1mm 単位で設定できます（工場出荷時は 00mm）。

### ↓ 補足

- ・余白は、「印刷領域」で設定されている印字領域の内側に設定されます。したがって、設定した余白の分だけ印字開始位置が下がります。ただし、実際の印刷では多少の誤差が生じることがあります。

**◆ 変倍率**

変倍率を設定して、拡大または縮小して印刷できます。

• 100% (等倍) (工場出荷時の設定)

- 88% (11×14 → B4)
- 80% (B4 → A4)
- 75% (B4 → A4')
- 70% (11×14 → A4)
- 67% (A3 → A4)
- 115% (B4 → A3)
- 122% (A4 → B4)
- 141% (A4 → A3)
- 200% (A5 → A3)
- 50% (A3 → A5)

設定した変倍率により、文字ピッチと行ピッチが変更されます。このとき、文字は変倍率に応じた適当なサイズが選択されます。イメージデータは変倍率に応じて変倍されます。したがって、イメージデータと文字データが混在する場合、変倍率を設定するとイメージが多少ずれることがあります。このときに使用されるフォントは、エンジン解像度、フォントサイズ、変倍率によって異なります。

↓ 補足

- アプリケーションで縮小印刷を指定できる場合、この設定が無効になることがあります。
- アプリケーションで縮小が行われている場合、この変倍率の設定によりさらに拡大、縮小されることがあります。アプリケーションで縮小が行われている場合は、本機は等倍で印刷して、印刷結果を確認してください。

**◆ 半角ピッチ**

全角文字に対する半角文字のピッチを設定します。半角文字ピッチの初期値が変わるだけで、全角文字のピッチは変わりません。

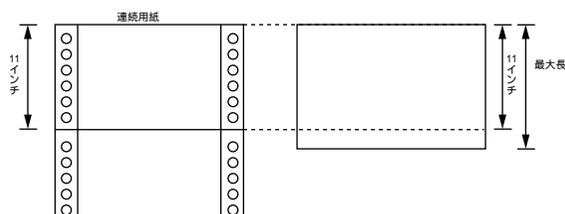
• 1/2 (工場出荷時の設定)

- 全角 1 文字分が半角 2 文字分になります。
- 2/3  
全角 2 文字分が半角 3 文字分になります。

## ◆ ページ長

ページの長さを設定します。ページ長は、実際用の紙の 1 ページの長さではなく、用紙の印刷可能領域に印刷するデータの長さです。設定したページ長まで印刷されると、排紙されます。

- 11 インチ（工場出荷時の設定）  
連続用紙（帳票）に印刷する場合と同じ形式で印刷できます。
- 最大長  
印刷可能領域とページ長が同じになります。



## ↓ 補足

- 「11 インチ」の設定は、次の用紙サイズ、印刷方向、変倍率の場合だけに有効です。この条件に合わない場合は、「最大長」に設定したときと同じ動作をします。

| 用紙サイズ | 印刷方向 | 変倍率  |
|-------|------|------|
| A3    | ヨコ   | 100% |
| A4    | タテ   | 100% |
| B4    | ヨコ   | 88%  |
| B5    | タテ   | 88%  |
| A4    | ヨコ   | 70%  |
| A5    | タテ   | 70%  |

## ◆ イメージ濃度

イメージデータの印刷濃度を設定します。変倍して印刷したときに、ここでの設定が有効になります。

- うすく（工場出荷時の設定）
- 中間
- こく

## ↓ 補足

- 中間に設定した場合は、イメージデータの横方向が濃いめに、縦方向が薄めに印刷されます。
- 簡易グラフィックスの 1 ドットラインは、「こく」「中間」に設定すると太めに印刷されます。

## ◆ 漢字フォント

漢字の書体が設定できます。

- ・ 明朝（工場出荷時の設定）
- ・ ゴシック

## ◆ ANK サイズ

ANK フォントの縦方向のサイズを 600~2100 センチポイントの範囲で、10 センチポイント単位で設定できます（工場出荷時は 1200 センチポイント）。

## ◆ 漢字サイズ

漢字フォントの縦方向のサイズを 600~1800 センチポイントの範囲で、10 センチポイント単位で設定できます（工場出荷時は 960 センチポイント）。

↓ 補足

- ・ 1 センチポイントは 1/7,200 インチです。

## ◆ グラフィックスユニット

イメージ印刷のドットの単位、および簡易グラフィックスの単位を設定します。たとえば、「1/240 インチ」に設定すると、簡易グラフィックスの 1 ドットは 1/240 インチ（1 インチ=約 25.4mm）になります。

- ・ 1/400 インチ
- ・ 1/240 インチ（工場出荷時の設定）
- ・ 1/600 インチ
- ・ 1/1200 インチ

## ◆ 文字ストリング

文字ストリングコマンドを受信した後に受信する文字コードを 16 進コードとして解釈するかどうかを設定します。16 進コードを送信できないときに有効な手段となります。

- ・ する  
文字形式の制御コマンドが有効になります。
- ・ しない（工場出荷時の設定）  
通常の文字列として扱われます。

## ◆ 外字文字数

本機に登録できる外字フォントの文字数を設定します。外字は、外字フォントの登録コマンドで登録可能です。

- ・ 256 文字（工場出荷時の設定）
- ・ 512 文字
- ・ 768 文字
- ・ 1,034 文字

## ◆ 印字モード

印字モードでは、スムージング機能を使用するかどうか、また、トナーをセーブして印刷するかどうかの設定を行います。

スムージング機能とは、文字や図形の輪郭のギザギザを自動的になめらかにして印刷する機能です。本機にはスムージング機能が内蔵されていますので、本機の解像度を越えた高品質な印刷ができます。

- ・トナーセービングモード2

トナーを節約するときに選択します。薄めに印刷されます。

- ・スムージング オン (工場出荷時の設定)

文字や図形の輪郭のギザギザが自動的になめらかになって印刷されます。

- ・トナーセービングモード1

トナーを節約するときに選択します。薄めに印刷されます。

- ・スムージング オフ

写真やハーフトーンのデータを印刷するときに選択します。

↓ 補足

- ・トナーセーブモード1とトナーセーブモード2は、どちらを選択しても同じ動作になります。
- ・トナーセーブモード1またはトナーセーブモード2を選択した場合、細い線が消える、網掛けパターンが出ない、網掛けパターンの濃淡の差がはっきりしなくなるなどの現象が起こることがあります。

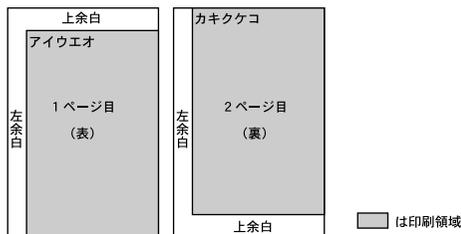
## ◆ 両面とじ方向

オプションの両面ユニットが装着されているときのメニュー項目です。

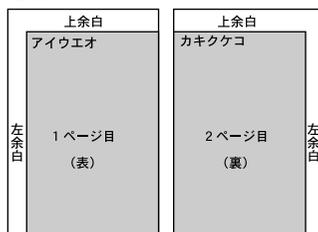
両面印刷時のとじ代の位置を選択します。「上とじ」は「上余白」、「左とじ」と「右とじ」は「左余白」で設定した値が、とじ代の幅になります。

- ・上とじ
- ・左とじ (工場出荷時の設定)
- ・右とじ

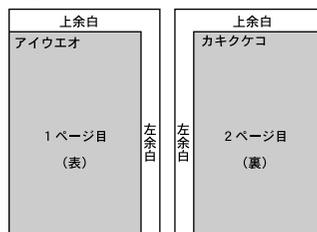
上とじ



左とじ



右とじ



**◆ エンジン解像度**

本機内部での実際の解像度を設定します。

↓ 補足

- ・「dpi」は Dot Per Inch の略で、1 インチあたりの描画ドット数を表します。たとえば、「600dpi」の設定では、1 インチ（約 25.4mm）あたり 600 個の点で描画することになります。

**◆ 両面印刷**

オプションの両面ユニットが装着されているときのメニュー項目です。

両面印刷するかどうかを設定します。

- ・ しない（工場出荷時の設定）
- ・ する

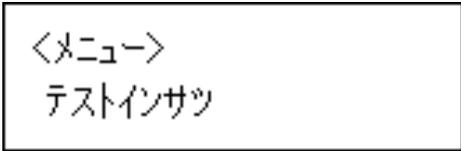
## 印刷条件リストを印刷する

現在設定されている印刷条件の一覧を印刷して確認できます。

エミュレーションが RPD L になっていることを確認してから、操作してください。

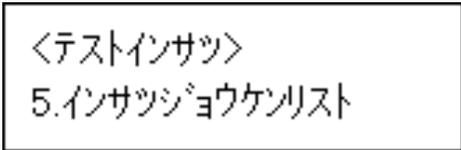
**1** [メニュー] キーを押します。

**2** [▲] または [▼] キーを押して「テストインサツ」を表示させ、[OK] キーを押します。



<メニュー>  
テストインサツ

**3** [▲] または [▼] キーを押して「2. インサツジョウケンリスト」を表示させ、[OK] キーを押します。



<テストインサツ>  
5.インサツジョウケンリスト

印刷条件リストが印刷されます。

**4** [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

↓ 補足

- ・印刷条件リストを印刷するときは、A4 サイズの用紙を選択することをお勧めします。

## 印刷条件リストの見方

RPDL の印刷条件リストの印刷例を示します。

ご使用のプリンターの設定や状態により、ここに示す例と異なる結果が出る場合があります。

| RPDL印刷条件一覧            |                 |                   |                    |              |                      |     |
|-----------------------|-----------------|-------------------|--------------------|--------------|----------------------|-----|
| システム構成                |                 |                   |                    |              |                      |     |
| 1                     | バージョン           | RPDLIV            | 7.31d              | システム         | 17143 80 8100 0.15   |     |
|                       | メモリ             | トータル              | 393216KB           | フリー          | 63040KB 受信バッファ 128KB |     |
|                       | 特殊印刷            | しない               |                    |              |                      |     |
|                       | 紙サイズ            | トレイ 1             | FREE               | トレイ 2        | A4R                  |     |
|                       |                 | 手差し               | A4                 | トレイ 3        | A4R                  |     |
| 印刷条件                  |                 |                   |                    |              |                      |     |
| 2                     | 1. 給紙トレイ        | ★トレイ 2            | M. 変倍率             | 100%         |                      |     |
|                       | 2. 印刷方向         | 単票 縦              | O. 半角ピッチ           | 1/2          |                      |     |
|                       | 3. CR, LF, FF機能 | CR,LF+FF+CR       | Q. ページ長            | 11インチ        |                      |     |
|                       | 4. 自動改行         | しない               | R. イメージ濃度          | うすく          |                      |     |
|                       | 5. 行ピッチ         | 6LPI              | T. 漢字フォント          | 明碓           |                      |     |
|                       | 6. 文字ピッチ        | 10CPI             | U. ANKサイズ          | 1200 センチポイント |                      |     |
|                       | 7. ANKフォント      | クーリエ 10           | V. 漢字サイズ           | 960 センチポイント  |                      |     |
|                       | 89. 国別指定        | 日本1               | W. グラフィックユニット      | 1/240インチ     |                      |     |
|                       | A. キャンセルコード     | CR                | Y. 文字ストリング         | しない          |                      |     |
|                       | B. 印刷領域         | 標準                | Z. 外字文字数           | 256文字        |                      |     |
|                       | D. リミットレス給紙     | する                | A02. 印字モード         | スムージング オン    |                      |     |
|                       | I. スペーシングユニット   | 1/120, 1/48       | A03. 両面とじ方向        | 両面左とじ        |                      |     |
|                       | J. 漢字コード        | 新JIS/JISコード       | A04. エンジン解像度       | 400dpi       |                      |     |
|                       | K. 左余白          | 0 mm              | A06. 両面印刷          | しない          |                      |     |
|                       | L. 上余白          | 0 mm              |                    |              |                      |     |
| ★マークは設定値が初期値と異なる項目です。 |                 |                   |                    |              |                      |     |
| プログラムキー登録状況           |                 |                   |                    |              |                      |     |
| 3                     | NO. 1           | 未登録               | NO. 5              | 未登録          | NO. 9                | 未登録 |
|                       | NO. 2           | 未登録               | NO. 6              | 未登録          | NO. 10               | 未登録 |
|                       | NO. 3           | 未登録               | NO. 7              | 未登録          | NO. 11               | 未登録 |
|                       | NO. 4           | 未登録               | NO. 8              | 未登録          | NO. 12               | 未登録 |
|                       |                 |                   |                    |              | NO. 13               | 未登録 |
|                       |                 |                   |                    |              | NO. 14               | 未登録 |
|                       |                 |                   |                    |              | NO. 15               | 未登録 |
|                       |                 |                   |                    |              | NO. 16               | 未登録 |
| アサイン フォント             |                 |                   |                    |              |                      |     |
| 4                     | (0)             | COURIER 10        | ABCDEFGHIJKLMNQRST |              |                      |     |
|                       | (1)             | COURIER 10        | ABCDEFGHIJKLMNQRST |              |                      |     |
|                       | (2)             | PRESTIGE ELITE 12 | ABCDEFGHIJKLMNQRST |              |                      |     |
|                       | (3)             | LETTER GOTHIC 15  | ABCDEFGHIJKLMNQRST |              |                      |     |
|                       | (4)             | BOLD FACE PS      | ABCDEFGHIJKLMNQRST |              |                      |     |
|                       | (5)             | CHUMINGYO         | ABCDEFGHIJKLMNQRST |              |                      |     |
| エラー履歴                 |                 |                   |                    |              |                      |     |
| 5                     | エラーなし。          |                   |                    |              |                      |     |

### 1 システム構成

プリンター内部の情報です。バージョン、メモリー、システム、受信バッファ、特殊印刷、給紙トレイにセットされている用紙サイズが印刷されます。

### 2 印刷条件

印刷条件の各設定項目に設定されている値が印刷されます。

### 3 プログラムキー登録状況

プログラムの登録状況が印刷されます。

#### 4 アサインフォント

使用できるフォントの一覧です。

#### 5 エラー履歴

エラーの有無が表示されます。

---

## よく使う印刷条件を登録する

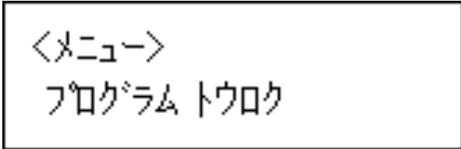
---

### プログラムを登録する

---

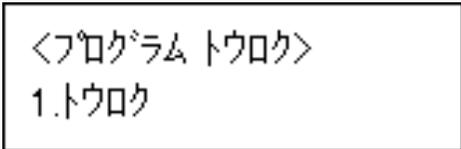
設定した印刷条件は、プログラムとしてプリンターに登録できます。プリンターで設定したエミュレーションモードや印刷条件は、電源を切ったり、エミュレーションを切り替えるとすべて工場出荷時の設定に戻ります。毎回設定し直さなくてもよいように、印刷条件をプログラムとしてプリンターに記憶させることができます。これをプログラム登録といいます。プログラムは 16 個まで登録でき、電源を切っても保存されます。

- 1 必要な印刷条件を設定します。
- 2 [メニュー] キーを押します。
- 3 [▲] または [▼] キーを押して「プログラムトウロク」を表示させ、[OK] キーを押します。



<メニュー>  
プログラム トウロク

- 4 「1. トウロク」と表示されているのを確認し、[OK] キーを押します。

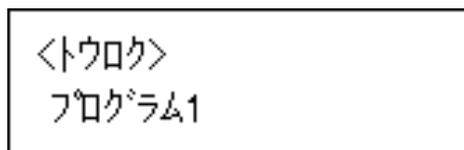


<プログラム トウロク>  
1. トウロク

## 5 [▲] または [▼] キーを押して登録先のプログラム番号を表示させ、[OK] キーを押します。

登録済みのプログラム番号には、登録時のエミュレーションが表示されます。

登録済みのプログラム番号を指定して [OK] キーを押すと、「ウワガキトウロクスルバイハ OK キーヲオシテクダサイ」と表示されます。上書きするときは、[OK] キーを押します。新たな登録内容に書き換えられます。



プログラムが登録されたことを示すメッセージが表示されます。

## 6 [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

### 参照

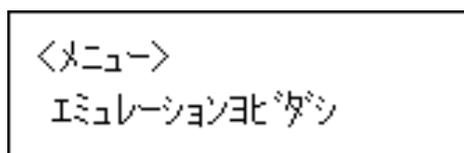
- すでに登録してあるプログラムを利用して、少し異なるプログラムを登録することもできます。元になるプログラムを呼び出し、印刷条件を設定し直してプログラムを登録します。プログラムを呼び出す方法については、P.333 「プログラムを呼び出す」を参照してください。
- 印刷条件の設定方法については、P.317 「印刷条件を設定する」を参照してください。
- 印刷条件の設定項目については、P.330 「印刷条件リストを印刷する」を参照してください。

## プログラムを呼び出す

あらかじめプログラムに登録しておいた印刷条件で印刷するために、プログラムを呼び出します。

### 1 [メニュー] キーを押します。

### 2 [▲] または [▼] キーを押して「エミュレーションヨビダシ」を表示させ、[OK] キーを押します。



- 3** [▲] または [▼] キーを押して目的のプログラムを選択し、[OK] キーを押します。

〈エミュレーション0ビット〉  
\*プログラム1 RPDL

プログラムが呼び出され、プログラム番号が画面に表示されます。

インサツテキマス トレイ1  
RPDL 1 A4タテ

選択したプログラム番号が画面に表示されていることを確認してください。

## プログラムを削除する

登録されているプログラムを削除することができます。

- 1** [メニュー] キーを押します。
- 2** [▲] または [▼] キーを押して「プログラムトウロク」を表示させ、[OK] キーを押します。

〈メニュー〉  
プログラム トウロク

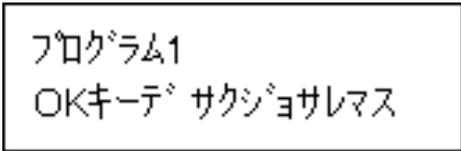
- 3** [▲] または [▼] キーを押して「2. サクジヨ」を表示させ、[OK] キーを押します。

〈プログラム トウロク〉  
2.サクジヨ

- 4** [▲] または [▼] キーを押して削除するプログラムを表示させ、[OK] キーを押します。

〈サクジヨ〉  
プログラム1 RPDL

確認のメッセージが表示されます。

**5** [OK] キーを押します。

プログラム1  
OKキーでサクショサレマス

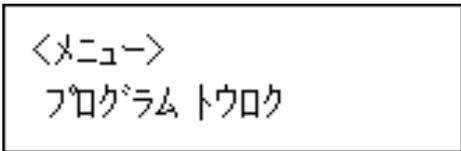
選択したプログラムが削除されます。

**6** [オンライン] キーを押します。

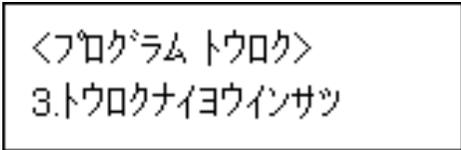
通常の画面に戻ります。

## プログラム内容を印刷する

プリンターに登録したプログラムの一覧を印刷できます。

**1** [メニュー] キーを押します。**2** [▲] または [▼] キーを押して「プログラムトウロク」を表示させ、[OK] キーを押します。

<メニュー>  
プログラムトウロク

**3** [▲] または [▼] キーを押して「3.プログラムトウロクナイヨウ」を表示させ、[OK] キーを押します。

<プログラムトウロク>  
3.トウロクナイヨウインサツ

登録されているプログラム内容が印刷されます。

**4** [オンライン] キーを押します。

通常の画面に戻ります。

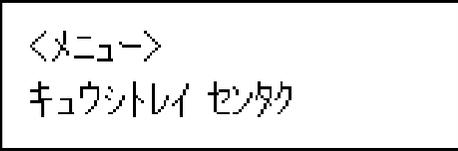
**補足**

- ・プログラムが1つも登録されていない場合は、印刷されません。

## 給紙トレイを選択する

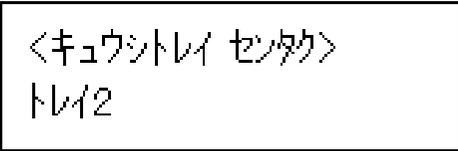
操作部を使い、給紙トレイを選択することができます。

- 1 【メニュー】 キーを押します。
- 2 【▲】 または 【▼】 キーを押して「キューシトレイ センタク」を表示させ、【OK】 キーを押します。



<メニュー>  
キューシトレイ センタク

- 3 【▲】 または 【▼】 キーを押して選択するトレイを表示させ、【OK】 キーを押します。



<キューシトレイ センタク>  
トレイ2

給紙トレイが選択されます。

- 4 【オンライン】 キーを押します。  
通常の画面に戻ります。

# 文書の複製を抑止する

本機では、不正コピー抑止用の地紋と文字列を埋め込んで印刷することができます。不正コピー抑止印刷は、「不正コピーガード機能」と「マスクパターン」により構成されています。

## ★重要

- ・不正コピー抑止印刷は、必ずしも情報漏洩を防止するものではありません。
- ・この機能は、RPCS プリンタードライバーで使用できます。

## 不正コピーガード機能

プリンタードライバーで不正コピーガード用の地紋を埋め込んで、印刷することができます。

### ■不正コピー抑止の詳細ウィンドウを表示する

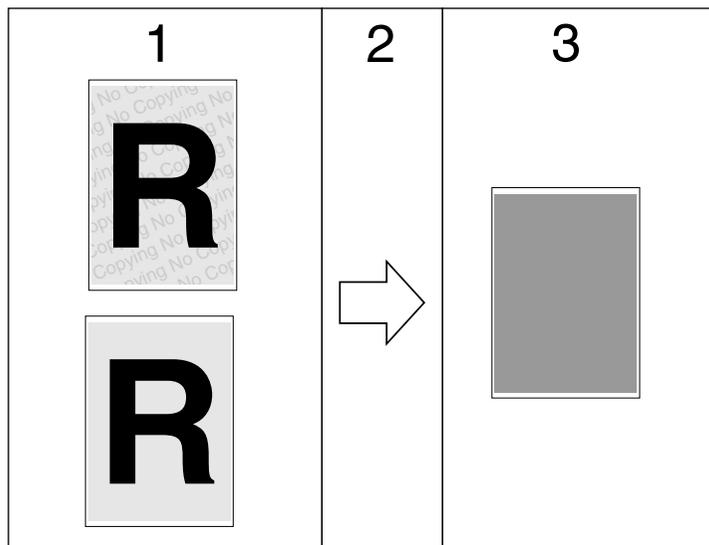
- 1 RPCS ドライバーの印刷設定で編集タブを表示させます。
- 2 [不正コピー抑止] にチェックをし、[詳細 ...] をクリックします。  
ダイアログが表示された場合は、[OK] をクリックします。

#### ◆必要な設定項目



- ・[不正コピーガード] のチェックボックスにチェックを入れます。[文字列:] に、不正コピー抑止文字列を入力することもできます。
- ・[マスクパターン] を選択することはできません。

## ◆ 不正コピーガードを設定した文書を印刷すると



AJ0041

- 1 不正コピーガードを設定した文書を印刷すると、不正コピーガード用の地紋および不正コピー抑止文字列が表示されます。
- 2 当社の不正コピーガードモジュールが搭載された複写機／複合機を使って、コピーを行います。
- 3 文書内の文字や画像が、グレー地に変換されます。

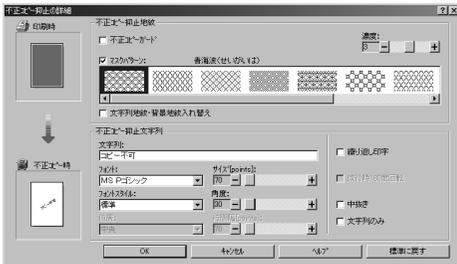
↓ 補足

- 印刷するデータに対して、部分的に地紋を埋め込むことはできません。
- 用紙サイズは B5 以上をご使用ください。
- 用紙種類は普通紙、または白色度 70% 以上の再生紙をご使用ください。
- 両面印刷は可能ですが、裏面の文字や模様が透けることにより、機能が正常に動作しないことがあります。
- 地紋と文字列を埋め込んで印刷すると、通常の印刷時よりも出力に時間がかかります。
- 「不正コピー抑止の詳細」画面での詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- 不正コピーガードモジュールは当社の複合機／複写機用のオプションです。本機には装着できません。

# マスクパターン

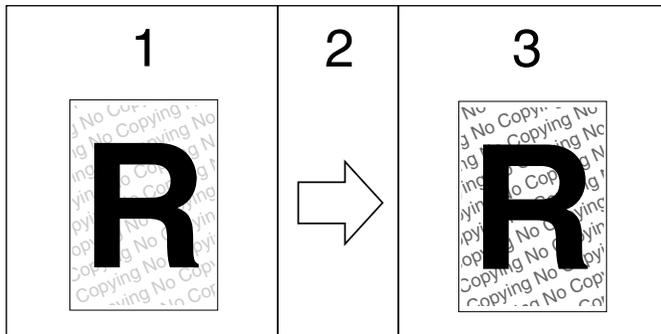
プリンタードライバーで不正コピー抑止地紋と不正コピー抑止文字列を設定し、文書に埋め込んで印刷することができます。

## ◆ 必要な設定項目



- ・ [マスクパターン:] で不正コピー抑止地紋を選択し、[文字列] で不正コピー抑止文字列を設定します。
- ・ [文字列:] だけを設定することはできますが、[マスクパターン:] だけを設定することはできません。

## ◆ 「不正コピー抑止印刷」を設定した文書を印刷すると



AJ0040

- 1 不正コピー抑止印刷を設定した文書を印刷すると、設定した不正コピー抑止地紋および不正コピー抑止文字列が表示されます。
- 2 複写機/複合機を使って、コピーを行います。
- 3 不正コピー抑止文字列が浮き上がります。

### ↓ 補足

- ・RPCS プリンタードライバーにのみ対応しています。
- ・印刷するデータに対して、部分的に地紋と文字列を埋め込むことはできません。
- ・地紋効果は、コピー結果をすべて保証しているものではありません。またコピー結果は、使用する機種とその設定条件により異なります。
- ・地紋と文字列を埋め込んで印刷すると、通常の印刷時よりも出力に時間がかかります。
- ・「不正コピー抑止の詳細」画面での詳しい設定方法は、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。

---

## おことわり

---

- 1) 当社は、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が、常時有効に機能することを保証するものではありません。使用する用紙ならびにコピー機の機種および設定条件等によっては、不正コピー抑止地紋による不正コピー抑止効果および不正コピーガード機能が有効に機能しない場合もあります。この点をご理解の上、ご使用ください。
- 2) 不正コピー抑止地紋および不正コピーガード機能を使用または使用できなかったことにより生じた損害については、当社は一切その責任をおい兼ねますので、あらかじめご了承ください。

# ネットワークで運用する場合の注意事項

ネットワークインターフェースボードを使用する場合は、次の事項に注意してください。設定が必要な場合は、正しく設定してからお使いください。

## ネットワークに ISDN 回線を接続している場合

日立のネットワークユーティリティには周期的に装置と通信を行うものがあり、設定したアドレスの値によっては ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。装置のネットワークアドレスを設定するとき、及びネットワークユーティリティの通信先のアドレスを指定するときは、回線の接続が発生しない値に設定してください。

リモート側のネットワーク上に NetWare のファイルサーバーが存在している場合、プリンターから送られるパケットにより ISDN 回線が接続されたままの状態になり、多大な通信料がかかることがあります。これは NetWare の仕様によるものなので、この問題を回避するには次に示すネットワーク管理上での対応が必要です。ネットワーク管理上対応できない場合は、プリンターの設定で対応してください。

## ネットワーク管理上の対応方法

ISDN ルータでプリンターのパケットをフィルタリングし、プリンターのパケットが ISDN 回線に流れないように設定してください。

フィルタリングするプリンターの MAC アドレス（物理アドレス）は、プリンターから印刷するシステム設定リストの「イーサネットアドレス」に記載されています。

ルータの設定を変更できない場合は、次に示すプリンターの設定による方法で対応してください。

### ■ プリンターの設定による対応方法（NetWare を使用する場合）

#### 1 本書のセットアップ方法に従い、必ずファイルサーバーを指定します。

Network Monitor for Admin では、イーサネットボード設定ツールのプロパティシートを開き、[NetWare] タブの [ファイルサーバ名] ボックスにファイルサーバー名を入力します。

#### 2 NetWare の使用環境に合わせてフレームタイプを固定します。

##### ↓ 補足

- ・使用するフレームタイプを選択する方法については、本機に同梱の使用説明書を参照してください。

##### 📖 参照

- ・P149 「システム設定リストを印刷する」

## ■ プリンターの設定による対応方法 (NetWare を使用しない場合)

**1** イーサネットボードは印刷していない間もネットワーク上にパケットを発行します。プロトコルの選択で NetWare を無効にします。

プロトコルを無効にする方法については、『ハードウェアガイド』「インターフェース設定」を参照してください。

## DHCP を使用する

本機を DHCP 環境で使用することができます。WINS サーバー稼働している環境では、同時にプリンター名を WINS サーバーに登録することができます。

- 動作対象の DHCP サーバーは、Windows Vista、Windows Server 2003/2003 R2、Windows 2000 Server、Windows NT 4.0 Server、NetWare、および UNIX に標準添付されている DHCP サーバーです。
- 本機が DHCP から取得した IP アドレスは、システム設定リストで確認できます。
- WINS サーバーを使用する場合は、「WINS サーバーを使用する場合」を参照して WINS サーバーを設定してください。
- WINS サーバーを使用することで、リモートネットワークのプリンターポートでホスト名を使用できます。
- WINS サーバーを使用しない場合は、毎回同じ IP アドレスが割り当てられるように、本機に割り当てる IP アドレスを DHCP サーバーで予約してください。
- 複数の DHCP サーバーが存在する場合は、すべての DHCP サーバーに同じ予約をしてください。本機は最初に応答した DHCP サーバーからの情報で動作します。
- ネットワークに ISDN 回線を接続している環境で DHCP リレーエージェントを使用した場合、本機からパケットが送出されるたびに ISDN 回線が接続され、多大な通信料がかかることがあります。

### ↓ 補足

- IPv6 環境では DHCP サーバーは使用可能ですが、IPv6 アドレスの割り当てを受けたり、ホスト名を取得することはできません。

### E 参照

- P.149 「システム設定リストを印刷する」
- P.343 「WINS サーバーを使用する場合」

## AutoNet 機能を使用する

DHCP サーバーから IPv4 アドレスが割り当てられなかった場合、本機は、臨時に 169.254.xxx.xxx ではじまるネットワーク上で使用されていない IPv4 アドレスを自動選択して使用できます。

AutoNet 機能を使用するために、telnet で AutoNet の設定を「on」にしてください。

### ↓ 補足

- AutoNet 機能で自動選択された IPv4 アドレスは、DHCP サーバーが IP アドレスの割り当てを再開すると、DHCP サーバーから割り当てられた IPv4 アドレスを優先的に使用します。このとき、本機が再起動するため、一時的に印刷ができなくなります。
- 本機が使用している IPv4 アドレスはシステム設定リストで確認できます。システム設定リストの印刷方法は、「システム設定リストを印刷する」を参照してください。
- AutoNet モードで動作中の場合、WINS サーバーへのプリンター名の登録は行われません。
- AutoNet 機能で起動している機器以外とは通信できません。ただし、Mac OS X 10.2.3 以降が稼働している Macintosh とは通信できます。

### ☰ 参照

- P.149 「システム設定リストを印刷する」
- P.211 「autonet」

## WINS サーバーを使用する場合

プリンターの起動時に、プリンターのプリンター名を WINS (Windows Internet Name Service) サーバーに登録することができます。WINS サーバーにプリンター名を登録すると、DHCP 環境で使用している場合、Network Monitor for Client のポート名にプリンターのプリンター名を使用して印刷できます。

ここでは、プリンターが WINS サーバーを使用できるようにする設定について説明します。サポートする WINS サーバーは、Windows NT 4.0 Server Service Pack 4 以降または Windows 2000 Server の WINS マネージャーです。

WINS サーバーの設定については、Windows のヘルプを参照してください。

WINS サーバーが応答しない場合、ブロードキャストによるプリンター名の登録が行われません。

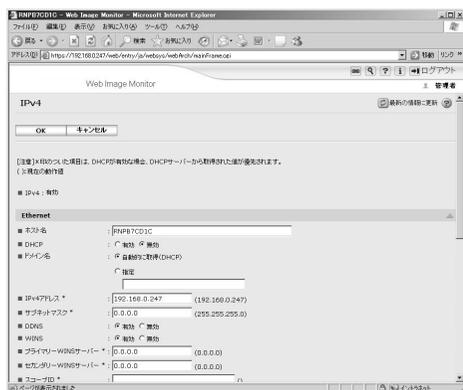
登録できるプリンター名は、半角英数字で 15 バイト以内です。

10

## Web ブラウザを使用する方法

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力し、本機にアクセスします。  
Web Image Monitor のトップページが表示されます。
- 3 [ログイン] をクリックします。  
ログインユーザー名とログインパスワードを入力するダイアログが表示されます。

- 4 ログインユーザー名とログインパスワードを入力し、[ログイン] をクリックします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては管理者にお尋ねください。
- 5 メニューエリアの [設定] をクリックし、[ネットワーク] エリアの [IPv4] をクリックします。
- 6 [Ethernet+IEEE802.11b] 欄の [WINS] が「有効」になっていることを確認し、[プライマリ WINS サーバー] と [セカンダリ WINS サーバー] にそれぞれ WINS サーバーの IP アドレスを入力します。



- 7 [OK] をクリックします。
- 8 Web ブラウザを終了します。

## telnet を使用する方法

### 参照

- P.209 「telnet を使う」

## ダイナミック DNS 機能を使用する

ダイナミック DNS とは、DNS サーバが管理しているレコード（A レコードおよび PTR レコード）を動的に更新（登録・削除）する機能です。本機が接続されているネットワーク環境に DNS サーバがあり、本機が DNS クライアントである場合、ダイナミック DNS 機能によって動的にレコードを更新することができます。

### 更新処理について

本機の IP アドレスが静的か DHCP から取得しているかによって、更新処理の動作が異なります。

ダイナミック DNS 機能を使用しない場合、本機の IP アドレスが変更されると、DNS サーバで管理しているレコードを手動で更新する必要があります。

本機でレコードの更新を実行する場合、DNS サーバの設定が次のどちらかになっている必要があります。

- ・セキュリティ設定がされていない
- ・セキュリティ設定で、更新を許可するクライアント（本機）を IP で指定している

#### ◆ 静的 IP 設定の場合

IP アドレス、ホスト名が変更された場合、本機が A レコード、および PTR レコードを更新します。

また、A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- ・イーサネット、IEEE802.11b の場合  
RNPPRNXX（PRNXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

#### ◆ DHCP 設定の場合

DHCP サーバが本機の代理でレコードを更新します。次のどちらかになります。

- ・本機が DHCP サーバから IP アドレスを取得する際、DHCP サーバが A レコードと PTR レコードを更新
- ・本機が DHCP サーバから IP アドレスを取得する際、本機が A レコードを更新し、DHCP サーバが PTR レコードを更新

A レコードを登録する際に、CNAME も登録します。登録できる CNAME は次のとおりです。

- ・イーサネット、IEEE802.11b の場合  
RNPPRNXX（PRNXX は MAC アドレスの下位 3 バイトの 16 進数）

#### ↓ 補足

- ・メッセージ認証を用いた動的更新（TSIG、SIG(0)）はサポートしていません。

## 動作対象の DNS サーバー

---

### ◆ 静的 IP 設定の場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

### ◆ DHCP 設定の場合で本機が A レコードを更新する場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降

### ◆ DHCP 設定の場合で、DHCP サーバーがレコードを更新する場合

- Windows 2000 Server に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND8.2.3 以降
- NetWare 5J 以降に標準添付の DNS サーバー

### ◆ IP v6 設定の場合

- Windows Server 2003/2003 R2 に標準添付の Microsoft DNS サーバー
- BIND9.2.3 以降

## 動作対象の DHCP サーバー

---

本機の代理で A レコード、および PTR レコードを更新することができる DHCP サーバーは次のとおりです。

- Windows 2000 Server (Service Pack 3 以降) に標準添付の Microsoft DHCP サーバー
- ISC DHCP 3.0 以降
- NetWare 5J 以降に標準添付の DHCP サーバー

## ダイナミック DNS 機能の設定方法

---

telnet で dns コマンドを使用して設定します。

### ☰ 参照

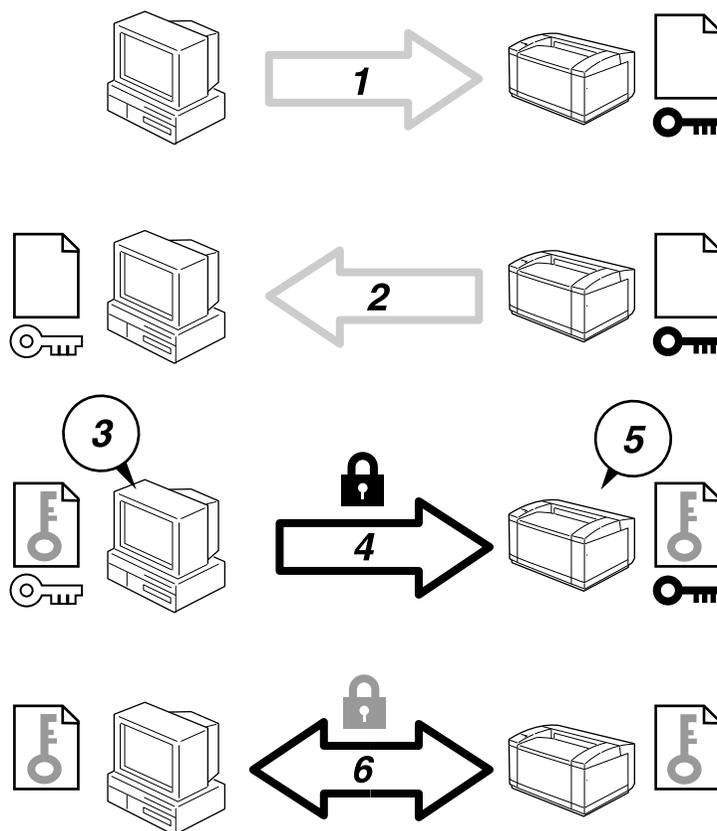
- P215 「dns」

# SSL (暗号化通信) の設定

通信経路の保護と暗号化通信ができるように、サーバー証明書を作成、導入します。サーバー証明書は、機器自身で作成、導入する自己証明書と、任意の認証局に証明書を申請し機器に導入する2つの運用形態があります。

## ★重要

- ・暗号化モジュールが搭載されている機種で使用できます。
- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。
- ・オプションのハードディスクの装着が必要です。



AQC899S

- 1) ユーザーのパソコンから本機へアクセスするとき、SSL のサーバー証明書と公開鍵を要求します。
- 2) 本機からユーザーのパソコンへサーバー証明書と公開鍵が送られます。
- 3) PC で共通鍵を生成し、公開鍵を使用して暗号化します。
- 4) 暗号化された共通鍵が本機に送られます。
- 5) 本機で秘密鍵を使用し、暗号化された共通鍵が復号化されます。
- 6) 共通鍵を使用してデータを暗号化し、相手側で復号する安全な通信を実現します。

## ◆ 設定の流れ（自己証明書）

- 1) サーバー証明書の作成と導入  
Web Image Monitor を使用してサーバー証明書を作成、導入します。
- 2) SSL を有効にする  
Web Image Monitor を使用し、[SSL/TLS] の設定を有効にします。

## ◆ 設定の流れ（認証局証明書）

- 1) サーバー証明書の要請  
Web Image Monitor を使用し、サーバー証明書を要請します。  
証明書の作成後の申請や内容は認証局によって異なるため、認証局の要求する申請方法にしたがって手続きします。
- 2) サーバー証明書の導入  
Web Image Monitor を使用し、サーバー証明書を導入します。
- 3) SSL を有効にする  
Web Image Monitor を使用し、[SSL/TLS] の設定を有効にします。

## ↓ 補足

- ・SSL が有効になっているかを確認するには、Web ブラウザのアドレスバーに「https://（本機のアドレスまたはホスト名）」と入力し本機へのアクセスを行ってください。「ページを表示できません」と表示された場合は、SSL の設定が無効となっているもしくは証明書が未導入ですので、設定の内容を確認してください。

## 目 参照

- ・P.13 「お使いになる前に」

## サーバー証明書の作成と導入（自己証明書）

Web Image Monitor を使用し、サーバー証明書を作成、導入します。  
サーバー証明書に、自己証明書を利用する場合の説明です。

- 1** Web ブラウザを起動します。
- 2** Web ブラウザのアドレスバーに「http://（本機のアドレスまたはホスト名）/」と入力し、本機にアクセスします。
- 3** Web Image Monitor の管理者モードにログインします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問合せください。
- 4** [設定] を押します。
- 5** 「セキュリティ」の [機器証明書] を押します。  
[機器証明書] エリアが表示されます。
- 6** [作成] を押します。
- 7** 必要な設定項目を入力します。  
表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

- 8 [OK] を押します。  
設定が書き換えられます。
- 9 [OK] を押します。
- 10 内容を確認して [はい] を押します。  
「証明書状態」に「導入済」が表示され、本機にサーバー証明書が導入されます。
- 11 管理者モードからログアウトします。
- 12 Web Image Monitor を終了します。

↓ 補足

- ・ オプションのハードディスクかメモリのいずれかが装着されていないと、証明書の作成は行えません。その場合は「予期しないエラーが発生しました」とエラーメッセージが表示されます。

---

## サーバー証明書の作成 (認証局証明書)

---

ネットワーク管理者が Web Image Monitor を使用し、サーバー証明書を作成します。  
サーバー証明書に、認証局証明書を利用する場合の説明です。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力し、本機にアクセスします。
- 3 Web Image Monitor の管理者モードにログインします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問合せください。
- 4 [設定] を押します。
- 5 「セキュリティ」の [機器証明書] を押します。  
「機器証明書」エリアが表示されます。
- 6 [要求] を押します。
- 7 必要な設定項目を入力します。  
表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 8 [OK] を押します。  
「機器証明書」エリアの「証明書状態」に「要求中」が表示されます。
- 9 管理者モードからログアウトします。
- 10 証明書を認証局に申請します。

申請方法は認証局によって異なります。申請先の認証局に確認してください。  
また、申請に必要な情報は、Web Image Monitor の詳細アイコンをクリックして表示される「証明書詳細」の内容を利用してください。

## // Web Image Monitor を終了します。

### ↓ 補足

- 二つの証明書の申請を同時に行うと証明書の発行先が表示されない場合があります。導入する際に証明書の目的と導入順についてご確認ください。
- Web Image Monitor を使用してサーバー証明書を作成することができますが、申請の提出ができるものではありません。
- サーバー証明書の要求を取りやめる場合は、[取りやめ要求] をクリックします。
- オプションのハードディスクかメモリのいずれかが装着されていないと、証明書の作成は行えません。その場合は「予期しないエラーが発生しました」とエラーメッセージが表示されます。

## サーバー証明書の導入（認証局証明書）

ネットワーク管理者が Web Image Monitor を使用し、サーバー証明書を導入します。  
サーバー証明書に、認証局証明書を利用する場合の説明です。認証局から送られてきたサーバー証明書の内容を導入します。

- 1 Web ブラウザを起動します。
- 2 Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力し、本機にアクセスします。
- 3 Web Image Monitor の管理者モードにログインします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問合せください。
- 4 [設定] を押します。
- 5 「セキュリティ」の [機器証明書] をクリックします  
「機器証明書」エリアが表示されます。
- 6 [導入] をクリックします。
- 7 サーバー証明書の内容を入力します。  
「証明書要求」の入力ボックスに認証局から送られてきたサーバー証明書の内容を入力します。  
表示項目や設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- 8 [OK] をクリックします。  
「証明書状態」に「導入済み」が表示され、本機にサーバー証明書が導入されます。
- 9 管理者モードからログアウトします。
- 10 Web Image Monitor を終了します。

## SSL を有効にする

本機にサーバー証明書を導入後、SSL の設定を有効にします。

この設定は、サーバー証明書が自己証明書を利用する場合、または認証局証明書を利用する場合のどちらにも共通の方法です。Web Image Monitor で設定します。

- 1** Web ブラウザを起動します。
- 2** Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力し、本機にアクセスします。
- 3** Web Image Monitor の管理者モードにログインします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問合せください。
- 4** [設定] を押します。
- 5** 「セキュリティ」の [SSL/TLS] をクリックします。  
「SSL/TLS」エリアが表示されます。
- 6** 「SSL/TLS」の [有効] をクリックします。
- 7** 「SSL/TLS 通信許可設定」から暗号化通信モードを選択します。
- 8** [OK] を押します。  
SSL の設定が有効になります。
- 9** [OK] を押します。
- 10** 管理者モードからログアウトします。
- 11** Web Image Monitor を終了します。

### ↓ 補足

- ・「SSL/TLS 通信許可設定」を「暗号化のみ」に設定した場合、本機にアクセスするときは、「https://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力します。

## SSL（暗号化通信）のユーザーの設定

本機にサーバー証明書を導入し、SSL（暗号化通信）の設定を有効にしている場合、ユーザーのパソコンに証明書をインストールする必要があります。

Web Image Monitor や IPP で本機にアクセスするとき、セキュリティに関する警告ダイアログが表示された場合、[証明書のインポートウィザード] を起動し、証明書をインストールしてください。

### 1 セキュリティに関するダイアログが表示された場合、[証明書の表示] をクリックします。

証明書が表示されます。

証明書の内容を確認し、証明書の有効期限が切れているなどの問題が発生した場合は、管理者にご相談ください。

### 2 「全般」タブから [証明書のインストール] をクリックします。

「証明書のインポートウィザード」が表示されます。

### 3 「証明書のインポートウィザード」にしたがって、証明書をインストールします。

#### ↓ 補足

- ・「証明書のインポートウィザード」の操作については、Web Image Monitor、または Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。
- ・本機に導入しているサーバー証明書が認証局証明書の場合は、認証局に証明書ストアの場所を確認してください。
- ・IPP で本機にアクセスするときの証明書ストアの場所は、Network Monitor for Client のヘルプを参照してください。

## SSL/TLS 通信許可設定

SSL/TLS の暗号化通信モードを設定し、セキュリティの強度を変更することができます。

### ◆ 暗号化通信モードについて

暗号化通信モードによって暗号化通信を設定することができます。

|          |                                             |
|----------|---------------------------------------------|
| 暗号文のみ    | 暗号化通信のみを許可します。<br>暗号化できない場合は、通信できません。       |
| 暗号文優先    | 暗号化できる場合は、暗号化通信します。<br>暗号化できない場合は、平文で通信します。 |
| 暗号文 / 平文 | 暗号化、または平文の指定された方法で通信します。                    |

## 暗号化通信モードの設定

サーバー証明書を導入後、SSL/TLS の暗号化通信モードを設定します。  
この設定により、セキュリティの強度を変更することができます。  
Web Image Monitor から設定します。

- 1** Web ブラウザを起動します。
- 2** Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力し、本機にアクセスします。
- 3** Web Image Monitor の管理者モードにログインします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問合せください。
- 4** [設定] をクリックします。
- 5** 「セキュリティ」の [SSL/TLS] をクリックします。
- 6** 「SSL/TLS 通信許可設定」のドロップダウンメニューから暗号化通信モードを選択し、[OK] を押します。  
暗号化通信モードは、[暗号文のみ]、[暗号文優先]、[暗号文 / 平文] のいずれかを選択します。
- 7** 管理者モードからログアウトします。
- 8** Web Image Monitor を終了します。

### ↓ 補足

- Web Image Monitor から SSL/TLS 通信モードを設定することができます。Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## SNMPv3 暗号化通信の設定

Network Monitor for Admin などを使用し、各種の設定を行うときの通信データを暗号化通信することができます。

この設定により、通信データの改ざんを防止することができます。

Web Image Monitor から設定します。

- 1** Web ブラウザを起動します。
- 2** Web ブラウザのアドレスバーに「http://(本機のアドレスまたはホスト名)/」と入力し、本機にアクセスします。
- 3** Web Image Monitor の管理者モードにログインします。  
ログインユーザー名とログインパスワードについては、管理者にお問合せください。
- 4** [設定] をクリックします。
- 5** 「ネットワーク」の [SNMPv3] をクリックします。
- 6** 「SNMPv3 設定」の「SNMPv3 通信許可設定」から「暗号化のみ」を選択し、[OK] を押します。
- 7** 管理者モードからログアウトします。
- 8** Web Image Monitor を終了します。

### 補足

- Network Monitor for Admin を使用し、各種の設定を行うときの通信データを暗号化するためには、本機の [SNMPv3 通信許可設定] の設定以外にネットワーク管理者の [暗号パスワード] の設定と Network Monitor for Admin の [SNMPv3 認証情報の入力] の [暗号鍵] の設定が必要です。
- Network Monitor for Admin の「暗号鍵」の設定は、Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。

# Windows ターミナルサービス / MetaFrame を使用する場合

Windows ターミナルサービス /MetaFrame を使用方法の説明です。

## ★重要

- ・この機能はネットワーク接続をしているときに使用できます。

## 動作環境

使用可能な OS と MetaFrame との組み合わせは次のとおりです。

- ◆ Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition
  - ・ MetaFrame 1.8 (SP3/FR1+SP3/SP4/FR1+SP4)
  - ・ MetaFrame XP (SP1/FR1)
- ◆ Windows 2000 Server
  - ・ MetaFrame 1.8 (SP3/FR1+SP3/SP4/FR1+SP4)
  - ・ MetaFrame XP (SP1/SP2/FR1/FR1+SP2/FR2/SP3/FR1+SP2/FR2+SP3/FR3)
  - ・ MetaFrame Presentation Server 3.0
- ◆ Windows Server 2003/2003 R2
  - ・ MetaFrame XP (FR3)
  - ・ MetaFrame Presentation Server 3.0

## 制限

動作が制限される環境についての説明です。

### ◆「Windows ターミナルサービス」動作時

Windows NT Server 4.0 Terminal Server Edition または Windows 2000 Server ファミリでターミナルサービスを実行している環境で Network Monitor for Client をインストールする場合は、必ずインストールモードでインストールを行ってください。インストールモードでインストールを行うには、次の2通りの方法があります。

- 1) [コントロールパネル] の [アプリケーションの追加と削除] を使用して Network Monitor for Client をインストールします。
- 2) MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /INSTALL
```

インストールモードを終了するには、MS-DOS コマンドプロンプトで次のコマンドを入力します。

```
CHANGE USER /EXECUTE
```

## ↓補足

- ・詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

**◆ 印刷時**

サイズの大きな画像や、フォントが大量に含まれたデータを印刷すると、画像や文字抜けが発生する場合があります。事前検証のうえ、運用してください。

**◆ 「クライアントプリンタの自動作成機能」 使用時**

「クライアントプリンタの自動作成機能」とは、MetaFrame サーバーにログオンする時に、クライアント側で使用しているローカルプリンタの情報を基にして、MetaFrame サーバー側にて、そのクライアント専用の論理プリンタが自動的に作成される機能です。事前検証のうえ、運用してください。

- 大容量の画像データを印刷したり、ISDN などの電話回線を利用した WAN 環境でお使いになる場合、事前検証のうえ、運用してください。
- MetaFrame XP 1.0 以降をご使用の場合は、「Citrix 管理コンソール」より、「クライアントプリンターで使用可能な帯域幅」をお使いの環境に合わせて設定して、使用してください。
- サーバー側で印刷エラーが発生し、印刷ジョブや「クライアントプリンタの自動作成機能」で作成されたプリンターが削除されない場合、次の対処方法を行ってください。
  - MetaFrame 1.8 SP3/FR1+SP3/SP4、MetaFrame XP1.0 SP1/SP2/SP3/FR1  
レジストリにて「完了していない印刷ジョブを削除する」設定を実施します（詳細については MetaFrame の Readme を参照してください）。
  - MetaFrame XP1.0 FR2/FR3
  - MetaFrame Presentation Server 3.0  
Citrix 管理コンソールの「プリンタの管理」のプロパティにて「ログオフ時に保留中の印刷ジョブを削除する」設定を実施します。

**◆ 「プリンタードライバーの複製機能」 使用時**

事前検証のうえ、運用してください。

正しく複製がされない場合は、各サーバーにプリンタードライバーをインストールして、運用してください。

**◆ RPDL ドライバーを使用される場合**

ユニバーサルプリンタードライバー利用時（MetaFrame XP 1.0 FR1、FR2）、クライアント側のドライバーが RPDL ドライバー（RPDL ミニドライバー含む）の場合、用紙サイズいっぱい描画されたデータが、一部切れて印刷されてしまう場合があります。この場合は、印刷領域を「拡張」もしくは「最大」に設定して、ご使用ください。

**↓ 補足**

- 制限事項の詳細については、日立ホームページを参照してください。

**☰ 参照**

- P.13 「お使いになる前に」

# 搭載されているソフトウェアの著作権等に関する情報

## expat (Ver 1.95.2) について

本製品に搭載しているコントローラー等のソフトウェア（以下、ソフトウェア）には expat Ver 1.95.2（以下 expat1.95.2）を下記の条件のもとで使用しています。

- expat1.95.2 を含むソフトウェアに関するサポートと保証等は株式会社リコーが行うものであり、expat1.95.2 の作者および著作権者には一切の責任および義務はありません。

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd  
and Clark Cooper

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

### ↓ 補足

- expat1.95.2 に関する情報は次の URL が示す WWW サイトより入手が可能です。http://[expat.sourceforge.net/](http://expat.sourceforge.net/)

### 目 参照

- P.13 「お使いになる前に」

---

## NetBSD について

---

### 1. Copyright Notice of NetBSD

For all users to use this product:

This product contains NetBSD operating system:

For the most part, the software constituting the NetBSD operating system is not in the public domain; its authors retain their copyright.

The following text shows the copyright notice used for many of the NetBSD source code. For exact copyright notice applicable for each of the files/binaries, the source code tree must be consulted.

A full source code can be found at <http://www.netbsd.org/>.

Copyright (c) 1999, 2000 The NetBSD Foundation, Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

4. Neither the name of The NetBSD Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

### 2. Authors Name List

All product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.

The following notices are required to satisfy the license terms of the software that we have mentioned in this document:

This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.

This product includes software developed by Jonathan R. Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the NetBSD Foundation, Inc. and its contributors.

This product includes software developed by Manuel Bouyer.

This product includes software developed by Charles Hannum.

This product includes software developed by Charles M. Hannum.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou.

This product includes software developed by TooLs GmbH.

This product includes software developed by Terrence R. Lambert.

This product includes software developed by Adam Glass and Charles Hannum.

This product includes software developed by Theo de Raadt.

This product includes software developed by Jonathan Stone and Jason R. Thorpe for the NetBSD Project.

This product includes software developed by the University of California, Lawrence Berkeley Laboratory and its contributors.

This product includes software developed by Christos Zoulas.

This product includes software developed by Christopher G. Demetriou for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Paul Kranenburg.

This product includes software developed by Adam Glass.

This product includes software developed by Jonathan Stone.

This product includes software developed by Jonathan Stone for the NetBSD Project.

This product includes software developed by Winning Strategies, Inc.

This product includes software developed by Frank van der Linden for the NetBSD Project.

This product includes software developed for the NetBSD Project by Frank van der Linden

This product includes software developed for the NetBSD Project by Jason R. Thorpe.

The software was developed by the University of California, Berkeley.

This product includes software developed by Chris Provenzano, the University of California, Berkeley, and contributors.

---

## Netatalk (NetBSD 1.5.3 kernel)/NetaTalk

### 1.4b2+asan2.1.3 (pap/atp) について

---

Copyright (c) 1990,1991 Regents of The University of Michigan. All Rights Reserved.

10

---

## FreeBSD 4.6.2 について

---

Copyright (c) 1984, 1985, 1986, 1987, 1993

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Modifications Copyright (c) 1995, Mike Mitchell

Modifications Copyright (c) 1995, John Hay

---

## Sablotron

---

Sablotron (Version 0.82) Copyright (c) 2000 Ginger Alliance Ltd. All Rights Reserved.

- a) The application software installed on this product includes the Sablotron software Version 0.82 (hereinafter, “Sablotron 0.82” ), with modifications made by the product manufacturer. The original code of the Sablotron 0.82 is provided by Ginger Alliance Ltd., the initial developer, and the modified code of the Sablotron 0.82 has been derived from such original code provided by Ginger Alliance Ltd.
- b) The product manufacturer provides warranty and support to the application software of this product including the Sablotron 0.82 as modified, and the product manufacturer makes Ginger Alliance Ltd., the initial developer of the Sablotron 0.82, free from these obligations.
- c) The Sablotron 0.82 and the modifications thereof are made available under the terms of Mozilla Public License Version 1.1 (hereinafter, “MPL 1.1” ), and the application software of this product constitutes the “Larger Work” as defined in MPL 1.1. The application software of this product except for the Sablotron 0.82 as modified is licensed by the product manufacturer under separate agreement(s).
- d) The source code of the modified code of the Sablotron 0.82 is available at: <http://supportdownload.com/services/device/sablot/notice082.html>
- e) The source code of the Sablotron software is available at: <http://www.gingerall.com>
- f) MPL 1.1 is available at: <http://www.mozilla.org/MPL/MPL-1.1.html>

---

## RSA BSAFE<sup>®</sup>

---



- This product includes RSA BSAFE<sup>®</sup> cryptographic or security protocol software from RSA Security Inc.
- RSA is a registered trademark and BSAFE is a registered trademark of RSA Security Inc. in the United States and/or other countries.
- RSA Security Inc. All rights reserved.

---

# Open SSL

---

Copyright (c) 1998-2004 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com)). This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young ([eay@cryptsoft.com](mailto:eay@cryptsoft.com)) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

**10**

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

---

## Open SSH

---

The licences which components of this software fall under are as follows. First, we will summarize and say that all components are under a BSD licence, or a licence more free than that.

OpenSSH contains no GPL code.

1)

Copyright (c) 1995 Tatu Ylonen <ylo@cs.hut.fi>, Espoo, Finland All rights reserved As far as I am concerned, the code I have written for this software can be used freely for any purpose. Any derived versions of this software must be clearly marked as such, and if the derived work is incompatible with the protocol description in the RFC file, it must be called by a name other than "ssh" or "Secure Shell".

[Tatu continues]

However, I am not implying to give any licenses to any patents or copyrights held by third parties, and the software includes parts that are not under my direct control. As far as I know, all included source code is used in accordance with the relevant license agreements and can be used freely for any purpose (the GNU license being the most restrictive); see below for details.

[However, none of that term is relevant at this point in time. All of these restrictively licenced software components which he talks about have been removed from OpenSSH, i.e.,

- RSA is no longer included, found in the OpenSSL library
- IDEA is no longer included, its use is deprecated
- DES is now external, in the OpenSSL library
- GMP is no longer used, and instead we call BN code from OpenSSL
- Zlib is now external, in a library
- The make-ssh-known-hosts script is no longer included
- TSS has been removed
- MD5 is now external, in the OpenSSL library
- RC4 support has been replaced with ARC4 support from OpenSSL
- Blowfish is now external, in the OpenSSL library

[The licence continues]

Note that any information and cryptographic algorithms used in this software are publicly available on the Internet and at any major bookstore, scientific library, and patent office worldwide. More information can be found e.g. at "<http://www.cs.hut.fi/crypto>".

The legal status of this program is some combination of all these permissions and restrictions. Use only at your own responsibility. You will be responsible for any legal consequences yourself; I am not making any claims whether possessing or using this is legal or not in your country, and I am not taking any responsibility on your behalf.

#### NO WARRANTY

BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

2)

The 32-bit CRC compensation attack detector in deattack.c was contributed by CORE SDI S.A. under a BSD-style license.

Cryptographic attack detector for ssh - source code

Copyright (c) 1998 CORE SDI S.A., Buenos Aires, Argentina.

All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that this copyright notice is retained.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL CORE SDI S.A. BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY OR CONSEQUENTIAL DAMAGES RESULTING FROM THE USE OR MISUSE OF THIS SOFTWARE.

Ariel Futoransky <futo@core-sdi.com>

<<http://www.core-sdi.com>>

3)

One component of the ssh source code is under a 3-clause BSD license, held by the University of California, since we pulled these parts from original Berkeley code.

Copyright (c) 1983, 1990, 1992, 1993, 1995

The Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

4)

Remaining components of the software are provided under a standard 2-term BSD licence with the following names as copyright holders:

Markus Friedl  
 Theo de Raadt  
 Niels Provos  
 Dug Song  
 Kevin Steves  
 Daniel Kouril  
 Wesley Griffin  
 Per Allansson  
 Jason Downs  
 Solar Designer  
 Todd C. Miller

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5)

Portable OpenSSH contains the following additional licenses:

c) Compatibility code (openbsd-compat)

Apart from the previously mentioned licenses, various pieces of code in the openbsd-compat/ subdirectory are licensed as follows:

Some code is licensed under a 3-term BSD license, to the following copyright holders:

Todd C. Miller  
Theo de Raadt  
Damien Miller  
Eric P. Allman  
The Regents of the University of California

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

# 管理者の方へ

この説明書は、本機のセキュリティ機能について、管理者の方への補足情報です。ハードウェアガイドとあわせてご覧ください。

## IP アドレスについて

本書で「IP アドレス」と表記されている場合は、IPv4 と IPv6 の両環境に対応していることを示しています。お使いの環境に合わせてお読みください。

## パスワードについて

本機にログインする場合に、アカウントとしてユーザー名とパスワードの入力を要求されます。情報の漏洩や、第三者による不正操作の防止の為にユーザー名とパスワードは工場出荷時よりすぐに変更することをお勧めします。

以下のログインの際に、パスワードが要求されます。

- Web Image Monitor の管理者モードへログインするとき
- Network Monitor for Admin のユーザー情報管理ツールを起動するとき
- Network Monitor for Admin のアドレス情報管理ツールを起動するとき
- telnet で本機へ接続するとき

工場出荷時の設定の場合、ユーザー名は「admin」、パスワードは空欄です。

パスワードの設定は Web Image Monitor または telnet で行います。

ここで設定されたパスワードは、全てのログイン時に共通です。

### ↓ 補足

- パスワードの設定方法について詳しくは、『ソフトウェアガイド』「機器の監視」、または Web Image Monitor のヘルプを参照してください。
- パスワードを忘れた場合は、保守会社にご相談ください。
- パスワードを忘れたときや、管理者の交代時などは、Web Image Monitor からスーパーバイザーとしてログインし、管理者のパスワードを削除または新しく設定できます。
- スーパーバイザーの工場出荷時の値は、ログインユーザー名は supervisor、ログインパスワードは空欄に設定されています。

## [メニュー] キー機能の補足情報

### 管理者のための隠しメニュー

操作部では、本機を使用するために必要な各種の基本的な設定や調整を行うことができますが、不正アクセス、データの解析、改ざんの脅威から保護するため、通常は表示されない管理者のための「隠しメニュー」があります。

本機に搭載されている隠しメニューは次のとおりです。

- ◆「調整 / 管理 (チョウセイ / カンリ)」に含まれる隠しメニュー
  - ・ネットワークセキュリティ解除 (NW セキュリティカイジョ)
  - ・メニュープロテクト (メニュープロテクト)
  - ・テスト印刷禁止 (テストインサツキンシ)
  - ・用紙サイズエラー設定 (ヨウシサイズエラーセッテイ)
  - ・領域フィルコマンド (リョウイキフィルコマンド)
  - ・手差し給紙印刷 (テサシキョウシインサツ)
  - ・文書ロック設定 (ブンショロックセッテイ)
  - ・文書ロック解除 (ブンショロックカイジョ)
  - ・メモリー自動消去設定 (メモリーショウキョセッテイ)
  - ・メモリー全消去 (メモリーゼンショウキョ)
  - ・ログ転送設定 (ログテンソウセッテイ)
  - ・@ Remote サービス (アットリモートサービス)

↓ 補足

- ・「文書ロック設定」と「文書ロック解除」は、本機にオプションのハードディスクが装着されているときに表示されます。
  - ・「メモリー自動消去設定」と「メモリー全消去」は、オプションのセキュリティカードが装着されているときに表示されます。
  - ・@ Remote サービスはサービス対象外となります。
- ◆「インターフェース設定 (インターフェースセッテイ)」に含まれる隠しメニュー
    - ・USB 設定 (USB ソクド)

## 隠しメニューを表示する

隠しメニューは、操作部で特別なキー操作をすることによって表示させることができます。ここでは隠しメニューの表示方法の説明をします。

- 1** 本機がオンライン状態であることを確認します。
- 2** 操作部の [OK] キー、[戻る] キー、[メニュー] キーを順番に押します。メニュー画面が表示されます。
- 3** [▲] [▼] キーを押して、「チョウセイ / カンリ」を表示させ、[OK] キーを押します。
- 4** [▲] [▼] キーを押して、「NW セキュリティカイジョ」や「メニュープロテクト」などの隠しメニューが表示されることを確認します。これで隠しメニューを表示させ、設定の変更をすることができます。
- 5** 必要な設定が終了したら、[オンライン] キーを押します。通常のメニューが表示され、隠しメニューを表示させることはできなくなります。再度、隠しメニューを表示させる場合は、最初から操作してください。

- ◆調整 / 管理 (隠しメニュー) の項目
  - ・ネットワークセキュリティ解除 (NW セキュリティカイジョ)  
ネットワークセキュリティ設定を解除します。

- 設定を工場出荷時の設定に戻します。
- **メニュープロテクト (メニュープロテクト)**  
特定のメニュー項目の操作を制限します。
    - **レベル 1**  
「調整 / 管理」、「インターフェース設定」、「システム表示 (EM)」、「PSD 設定」、「PDF 設定」の操作が制限されます。
    - **レベル 2**  
レベル 1 に加えて、「用紙設定」、「システム設定」、「プログラム登録」、「エラー表示設定」、「エラー履歴印刷」、「一括リスト印刷」の操作が制限されます。
    - **しない (工場出荷時の設定)**  
メニュー項目の操作を制限しません。
  - **テスト印刷禁止 (テストインサツキンシ)**  
「テスト印刷」の操作を制限します。
    - **する**  
「する」に設定すると、通常は「テスト印刷」メニューが表示されなくなり、操作部から実行するすべてのテスト印刷をすることができなくなります。
    - **しない (工場出荷時の設定)**  
メニュー項目の操作を制限しません。
  - **用紙サイズエラー設定 (ヨウシサイズエラーセツテイ)**  
サイズ指定している用紙と長さの異なった用紙を給紙した場合は、用紙サイズエラーを検知します。
    - **検知する (工場出荷時の設定)**
    - **検知しない**
  - **領域フィルコマンド (リョウイキフィルコマンド)**  
工場出荷時の設定は「無効」になります。  
この設定は変更しないでください。
  - **手差し給紙印刷 (テサシキュウシインサツ)**  
工場出荷時の設定は「無効」になります。  
この設定は変更しないでください。
  - **文書ロック設定 (ブンショロックセツテイ)**  
蓄積したファイルに、間違ったパスワードで 10 回以上アクセスした場合に、そのファイルを自動的にロックします。
    - **する**
    - **しない (工場出荷時の設定)**
  - **文書ロック解除 (ブンショロックカイジョ)**  
間違ったパスワードで 10 回以上アクセスしてロックしたファイルのロックを解除します。
  - **メモリー自動消去設定 (メモリーショウキョセツテイ)**  
ハードディスクに一時的に保存されたデータを自動的に上書き消去します。
    - **自動消去 する / しない (工場出荷時の設定)**
    - **消去方式 NSA (工場出荷時の設定) / DoD / 乱数**
  - **メモリー全消去 (メモリーゼンショウキョ)**  
ハードディスクに蓄積されたすべてのデータを一括で上書き消去します。
    - **消去方式 NSA (工場出荷時の設定) / DoD / 乱数**
    - **消去実行**

- ログ転送設定（ログテンソウセツテイ）  
ログ転送しない設定にします。工場出荷時の設定は「ログ転送しない」です。  
ログ転送する設定にする場合には、オプションのソフトウェアが必要です。
- @ Remote サービス（アットリモートサービス）  
@ Remote サービスとの通信を禁止する機能です。
  - キンシスル
  - キンシシナイ（工場出荷時の設定）

↓ 補足

- 「文書ロック設定」と「文書ロック解除」は、本機にオプションのハードディスクが装着されているときに表示されます。
- 「メモリー自動消去設定」と「メモリー全消去」は、オプションのセキュリティカードが装着されているときに表示されます。

◆ インターフェース設定（隠しメニュー）の項目

- USB 設定  
USB の通信速度を設定します。
  - フルスピード  
USB の通信速度を USB1.1 に固定します。
- 自動設定（工場出荷時の設定）

# ネットワークセキュリティレベル設定

セキュリティの強度を変更できます。

Web Image Monitor からレベルの設定を行えます。また、Web Image Monitor より部分的な変更を行うと、どのレベルでもない状態となります。

この設定により不正なアクセスを制限できます。

セキュリティレベルは[レベル0]、[レベル1]、[レベル2]、[ユーザー設定]から選択します。[レベル2] に設定すると、最高度のセキュリティ強度を持ちます。脅威から守るべき情報が極めて重要なときに設定します。

[レベル1] に設定すると、適切なセキュリティ強度を持ちます。例えば社内 LAN に接続するときなどに設定します。

[レベル0] に設定すると、全機能を最も容易に利用できます。脅威から守るべき情報がないときに設定します。

[ユーザー設定] に設定すると、レベル0 から2 までのどれにも属さない設定をすることができます。

## ↓ 補足

- ・設定項目の詳細は、Web Image Monitor のヘルプを参照してください。

## 各機能とセキュリティモードレベルの関係

以下の表は、各機能とセキュリティモードレベルの関係を IPv4 環境を例に説明しています。

○ = 使用可能です。

— = 使用不可です。

▲ = ポートが開いています。

■ = ポートが閉じています。

☆ = 自動

★ = 必ず暗号

× = 暗号化優先

|              | 機能                    |                | セキュリティモードレベル |      |      |
|--------------|-----------------------|----------------|--------------|------|------|
|              |                       |                | レベル0         | レベル1 | レベル2 |
| TCP/IP       | TCP/IP                |                | ○            | ○    | —    |
|              | HTTP                  | ポート 80         | ▲            | ▲    | ▲    |
|              | IPP                   | ポート 80         | ▲            | ▲    | ▲    |
|              |                       | ポート 631        | ▲            | ▲    | ■    |
|              |                       | ポート 443        | ▲            | ▲    | ▲    |
|              | SSL                   | ポート 443        | ○            | ○    | ○    |
|              |                       | SSL/TLS 通信許可設定 | ×            | ×    | ★    |
|              | DIPRINT               |                | ○            | ○    | —    |
|              | LPR                   |                | ○            | ○    | —    |
|              | FTP                   |                | ▲            | ▲    | ▲    |
|              | ssh                   |                | ▲            | ▲    | ▲    |
|              | SFTP                  |                | ▲            | ▲    | ▲    |
|              | RSH/RCP               |                | ○            | ○    | —    |
|              | TELNET                |                | ○            | —    | —    |
|              | Bonjour               |                | ○            | ○    | —    |
|              | BMLinkS               |                | ○            | ○    | —    |
|              | SSDP                  |                | ▲            | ▲    | ■    |
|              | NETBIOS over TCP/IPv4 |                | ▲            | ▲    | ■    |
|              | DNS                   |                | ○            | ○    | —    |
| SMB          |                       | ○              | ○            | —    |      |
| NetWare      | NetWare               |                | ○            | ○    | —    |
| AppleTalk *1 | AppleTalk             |                | ○            | ○    | —    |
| SNMP         | SNMP                  |                | ○            | ○    | ○    |
|              | SNMP v1v2 による許可設定     |                | ○            | —    | —    |
|              | SNMP v1v2 機能          |                | ○            | ○    | —    |
|              | SNMP v3 機能            |                | ○            | ○    | ○    |
|              | SNMP v3 通信許可設定        |                | ☆            | ☆    | ★    |

\*1 「AppleTalk」を使用するには、オプションの PS3 カードが必要です。

# ハードディスクを上書き消去する

本機に搭載されたオプションのハードディスクには、プリンターのデータ、ユーザーコード別カウンターを記録します。

## ハードディスクのデータを上書き消去する

この機能を使用するためには、オプションのセキュリティカードが必要です。本機を廃棄するときに、ハードディスクに蓄積されていたすべてのデータを上書き消去することや、一時的に保存していたデータを自動で上書き消去することで、データ漏洩を防止することができます。

### ↓ 補足

- ハードディスクの容量や消去方式によっては数時間かかることがあります。消去処理中は「ショウキョショリチュウデス」のメッセージが表示されます。メモリー全消去の実行時は本機の操作はできません。メモリー全消去の中止の操作のみできます。

#### ◆ メモリー自動消去設定

ハードディスクの逐次消去を行うためには [メモリーショウキョセツテイ] の設定をします。

工場出荷時には「シナイ」に設定されています。

#### ◆ メモリー全消去

ハードディスクの一括消去を行うためには [メモリーゼンショウキョ] の操作をします。

#### ◆ 消去方式

消去方式を次の中から選択することができます。

工場出荷時は [NSA] に設定されています。

|                            |                                                                   |
|----------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| NSA <sup>*1</sup> 方式 (NSA) | ハードディスク内のデータを乱数2回、ゼロ1回で上書きします。                                    |
| DoD <sup>*2</sup> 方式 (DoD) | データを固定値、固定値の補数、乱数で上書きします。                                         |
| 乱数方式 (ランズウ)                | データを指定された回数の乱数で上書きします。<br>乱数の書き込み回数は1～9回まで選択でき、工場出荷時は3回に設定されています。 |

<sup>\*1</sup> National Security Agency (米) 国家安全保障局

<sup>\*2</sup> Department of Defense (米) 国防総省

## メモリー自動消去の設定（メモリーショウキョセツテイ）

機器管理者が設定します。

パソコンから本機に出力されたデータは、オプションのハードディスクに一時的に保存されます。メモリー自動消去設定を使用すると、ハードディスク内に残っているデータを自動的に上書き消去することができます。

上書き消去は、ジョブごとに自動的に行われます。

印刷動作が優先され、上書き処理はこれらのジョブが終わったあとに開始されます。

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 [▲] [▼] キーを押して [チョウセイ / カンリ] を選択し、[OK] キーを押します。
- 3 [▲] [▼] キーを押して [21. メモリーショウキョセツテイ] を選択し、[OK] キーを押します。
- 4 [▲] [▼] キーを押して [1. ジドウショウキョ] を選択し、[OK] キーを押します。  
3秒後に、「メモリーショウキョセツテイ」画面に戻ります。
- 5 [▲] [▼] キーを押して、[2. ショウキョ ホウシキ] を押します。  
消去方式は、[NSA]、[DoD]、[ランスウ] のいずれかを選択します。  
「NSA」を選択した場合は、手順 8へ進んでください。  
「DoD」を選択した場合は手順 9へ進んでください。  
[ランスウ] を設定する場合は手順 6へ進んでください。
- 6 [▲] [▼] キーを押して [ランスウ] を選択し、[OK] キーを押します。
- 7 1~9の間で [▲] [▼] キーを押して書き込みの回数を入力し、[OK] キーを押します。  
メモリー自動消去が設定されます。
- 8 [NSA] を選択し、[OK] キーを押します。  
メモリー自動消去が設定されます。
- 9 [DoD] を選択し、[OK] キーを押します。  
メモリー自動消去が設定されます。

### 補足

- ・セキュリティカード導入前やメモリー自動消去を [シナイ] に設定されていたときのハードディスク使用領域は、メモリー自動消去を [スル] に設定後も残存データが上書きされないことがあります。
- ・万一、残存データが残っている状態で本機の電源スイッチを「OOff」にすると上書き処理は中断され、電源スイッチを再び「IOn」にしたときに再開されます。電源が切れている間、残存データはハードディスク内に残ったままとなります。また、ハードディスクが壊れることがあります。残存データを確認する方法については、「残存データを確認する」を参照してください。

- 途中で上書き方式を変更した場合は、変更以前のハードディスク使用領域も変更後の消去方式で上書きされます。

## ■ 残存データを確認する

- 1 [メニュー] キーを押します。
- 2 [▲] [▼] キーを押して [データジョウタイカクニン] を選択し、[OK] キーを押します。
- 3 残存データの状態が表示されます。
  - ・ ショウキョチュウデス  
データを消去中です。このメッセージが表示されている間は本機の電源を「Off」にしないでください。
  - ・ ショウキョタイショウデータナシ  
消去する対象のデータはありません。
  - ・ ショウキョタイショウデータアリ  
消去待ちのデータがあります。

## メモリー自動消去を使用しない

- 1 「メモリー自動消去の設定」の手順 1～2と同様に操作します。
- 2 [▲] [▼] キーを押して [シナイ] を選択し、[OK] キーを押します。  
上書き消去は行われません。

### ↓ 補足

- メモリー自動消去を再度実行するときは、「メモリー自動消去の設定」の手順をやり直してください。

## 上書き消去できるデータ / できないデータ

上書き消去できるデータと、上書き消去できないデータは以下のとおりです。

|              |                                                                                                                                                           |
|--------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 上書き消去できるデータ  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷のデータ</li> <li>・ 機密印刷 / 試し印刷 / 保留印刷 / 保存文書のデータ *1</li> <li>・ スプール印刷のデータ</li> <li>・ PDF ダイレクトプリントのデータ</li> </ul> |
| 上書き消去できないデータ | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザーコード別カウンター</li> <li>・ イメージオーバーレイデータ *2</li> </ul>                                                             |

\*1 機密印刷 / 試し印刷 / 保留印刷のデータは、出力されてはじめて上書き消去の対象となります。保存文書は削除しない限り上書き消去はできません。

\*2 イメージオーバーレイデータは削除されてはじめて上書き消去データの対象になります。

## メモリー全消去の操作（メモリーゼンショウキョ）

本機を移設または廃棄するとき、ハードディスクに蓄積されていたすべてのデータを一括上書き消去することができます。

### ★重要

- ・ユーザーコード、ユーザーコード別カウンター、ユーザーがダウンロードしたプリンターフォント、Embedded Software Architecture を用いたアプリケーション、および SSL サーバー証明書もメモリー全消去の対象となっています。メモリー全消去後に使用する場合は保守会社にご相談ください。

### ↓補足

- ・メモリー全消去を行う前に、Network Monitor for Admin を利用して、ユーザーコード、ユーザーコード別カウンターのデータをバックアップをすることができます。詳細については Network Monitor for Admin のヘルプを参照してください。

**1** 本機に接続されているケーブルをすべて取り外します。

**2** [メニュー] キーを押します。

**3** [▲] [▼] キーを押して [チョウセイ / カンリ] を選択し、[OK] キーを押します。

**4** [▲] [▼] キーを押して [22. メモリーゼンショウキョ] を選択し [OK] キーを押します。

**5** [▲] [▼] キーを押して [1. ショウキョ ホウシキ] を選択し [OK] キーを押します。

消去方式は、[NSA]、[DoD]、[ランスウ] のいずれかを選択します。

「NSA」を選択した場合は、手順 **8** へ進んでください。

「DoD」を選択した場合は手順 **9** へ進んでください。

[ランスウ] を設定する場合は手順 **6** へ進んでください。

**6** [▲] [▼] キーを押して [ランスウ] を選択し、[OK] キーを押します。

**7** 1~9 の間で [▲] [▼] キーを押して書き込みの回数を入力し、[OK] キーを押します。

3 秒後に、「1. ショウキョ ホウシキ」画面に戻ります。

**8** [▲] [▼] キーを押して [NSA] を選択し、[OK] キーを押します。

3 秒後に、「1. ショウキョ ホウシキ」画面に戻ります。

**9** [▲] [▼] キーを押して [DoD] を選択し [OK] キーを押します。

3 秒後に、「1. ショウキョ ホウシキ」画面に戻ります。

**10** [▲] [▼] キーを押して [2. ショウキョ ジッコウ] を押します。

確認のメッセージが表示されます。

**11** メモリー全消去が完了したら [OK] キーを押して電源を切ります。

**↓ 補足**

- ・メモリー全消去が完了する前に電源スイッチを「Off」にすると、上書き消去は中止され、データはハードディスク内に残ったままとなります。また、ハードディスクが壊れることがあります。上書き処理中に電源を切られないように必ず確認してください。
- ・メモリー全消去が完了する前に電源スイッチを「Off」にした場合は、電源スイッチを再び「On」にしたときに、メモリー全消去を続きから行います。
- ・メモリー全消去中にエラーが発生したときは、電源を一度「Off」にしてください。再び電源を「On」にし、手順**2**から行ってください。

## メモリー全消去を中止する

**1** メモリー全消去処理中に [ジョブリセット] キーを押します。

**2** [OK] キーを押します。

メモリー全消去は中止されます。

**↓ 補足**

- ・途中で中止した場合は、データが残っています。再度、「メモリー全消去」を実行して消去してください。

**3** 電源を切ります。

**↓ 補足**

- ・メモリー全消去を再度実行するときは、電源スイッチを「On」にして「メモリー全消去の操作」の手順をやりなおしてください。

# 索引

## アルファベット索引

|                                                  |                         |
|--------------------------------------------------|-------------------------|
| access                                           | 210                     |
| ANK サイズ                                          | 321                     |
| ANK フォント                                         | 321                     |
| autonet                                          | 211                     |
| AutoNet 機能                                       | 343                     |
| bmlinks                                          | 211                     |
| CD-ROM からのプリンタードライバーの<br>インストールに失敗したとき           | 53                      |
| CD-ROM 収録ソフトウェア                                  | 310                     |
| CR、LF、FF 機能                                      | 321                     |
| devicename                                       | 213                     |
| DHCP                                             | 342, 343                |
| dhcp                                             | 214                     |
| diprint                                          | 215                     |
| dns                                              | 215                     |
| domainname                                       | 216                     |
| /etc/hosts                                       | 271                     |
| /etc/printcap                                    | 271                     |
| ftp (直接印刷)                                       | 266                     |
| help                                             | 217                     |
| hostname                                         | 217                     |
| ifconfig                                         | 218                     |
| info                                             | 218                     |
| ipv6                                             | 219                     |
| lpr                                              | 220                     |
| ipp                                              | 219                     |
| IP アドレスの代わりにホスト名を<br>使用                          | 262                     |
| IP アドレスの設定 (UNIX)                                | 268                     |
| lpr (直接印刷)                                       | 265                     |
| LPR ポート                                          | 35                      |
| MetaFrame                                        | 355                     |
| mshell                                           | 209                     |
| NetBSD                                           | 358                     |
| netware                                          | 220                     |
| NetWare プリントサーバ                                  | 41                      |
| リモートプリンター                                        | 41                      |
| Network Monitor for Admin<br>インストール              | 186, 187, 188, 194, 311 |
| Network Monitor for Admin の<br>インストール            | 184                     |
| Network Monitor for Admin を使う                    | 183                     |
| Network Monitor for Client<br>199, 200, 311, 312 |                         |
| Network Monitor for Clienti 経由での<br>印刷通知         | 258                     |
| Network Monitor for Client で IPP を<br>使用する       | 201                     |
| Network Monitor for Client の<br>インストール           | 23, 80                  |
| Network Monitor for Client ポート                   | 24, 27                  |
| Network Monitor for Client ポートの<br>設定変更          | 30                      |
| Network Monitor for Client ポートを<br>使う            | 23                      |
| passwd                                           | 221                     |
| pathmtu                                          | 221                     |
| PDF 設定メニュー                                       | 168                     |
| PDF ダイレクトプリント                                    | 79, 80                  |
| PDF マニュアル                                        | 316                     |
| PostScript (Windows) で印刷するとき                     | 44                      |
| prnlog                                           | 222                     |
| PS 設定メニュー                                        | 166                     |
| rqp (直接印刷)                                       | 265                     |
| bonjour                                          | 212                     |
| route                                            | 222                     |
| RPCS                                             | 310                     |
| RPDL の印刷条件設定項目一覧表                                | 319                     |
| set                                              | 223                     |
| show                                             | 225                     |
| slp                                              | 225                     |
| smb                                              | 226                     |
| SNMP                                             | 234                     |
| snmp                                             | 226                     |
| SNMPv1                                           | 234                     |
| SNMPv2                                           | 234                     |
| SNMPv3                                           | 234                     |
| SNMP コミュニティ名設定ツール                                | 234                     |
| sntp                                             | 229                     |
| spoolsw                                          | 229                     |

|                                              |            |
|----------------------------------------------|------------|
| SSL (暗号化通信) の設定                              | 347        |
| SSL 設定の流れ (自己証明書)                            | 347        |
| SSL 設定の流れ (認証局証明書)                           | 347        |
| Standard TCP/IP ポート                          | 32         |
| status                                       | 231        |
| ssdp                                         | 230        |
| syslog                                       | 231        |
| TCP/IP 使用時の注意と制限                             | 300        |
| telnet                                       |            |
| 209, 210, 211, 212, 213, 214, 215, 216, 217, |            |
| 218, 219, 220, 221, 222, 223, 225, 226, 229, |            |
| 230, 231, 232                                |            |
| TrueTypeWorld                                | 313        |
| upnp                                         | 232        |
| USB 接続                                       | 46         |
| USB 接続がうまくいかないとき                             | 50         |
| web                                          | 232        |
| Web Image Monitor                            |            |
| 129, 175, 177, 178, 180, 194, 343            |            |
| Web Image Monitor のヘルプについて                   |            |
| 180                                          |            |
| Web ブラウザを使う                                  | 175        |
| Windows 2000                                 | 66, 67, 68 |
| Windows 2000 と USB で接続する                     | 46         |
| Windows 95/98/Me                             | 64, 65     |
| Windows NT 4.0                               | 75, 76, 77 |
| Windows Server 2003/2003 R2                  | 69, 70, 71 |
| Windows Vista                                | 72, 73, 74 |
| Windows Vista と USB で接続する                    | 49         |
| Windows XP                                   | 69, 70, 71 |
| Windows XP Home Edition の場合                  | 55         |
| Windows XP、Windows Server 2003/2003 R2       |            |
| と USB で接続する                                  | 47         |
| Windows からのファイル直接印刷                          |            |
| 261, 264, 261, 262                           |            |
| Windows ターミナルサービス                            | 355        |
| Windows ネットワークプリンター                          | 38         |
| Windows ネットワークプリンターの設定                       |            |
| 257                                          |            |
| Windows の印刷ポートを使用する                          | 19         |
| wins                                         | 232        |
| WINS サーバーの設定                                 | 343        |
| WINS サーバーを使用する場合                             | 343        |

## あ行

|                     |                |
|---------------------|----------------|
| 合紙                  | 125            |
| アプリケーションからプロパティを    |                |
| 表示する                | 65, 68, 74, 77 |
| イメージオーバーレイ          | 118, 119, 120  |
| イメージ濃度              | 321            |
| いろいろな印刷             | 79, 125        |
| 印刷時の注意              | 123, 126       |
| 印刷条件設定項目            | 321            |
| 印刷条件の設定             | 317, 318       |
| 印刷条件リストの印刷          | 330            |
| 印刷条件リストの見方          | 331            |
| 印刷条件を登録する           | 332            |
| 印刷の中止               | 116, 117       |
| 印刷部数 (UNIX)         | 279            |
| 印刷方向                | 321            |
| 印刷方法 (直接印刷)         | 264            |
| 印刷領域                | 321            |
| 印刷を中止する             | 116            |
| 印字モード               | 321            |
| インストールシエルの実行        |                |
| (UNIX)              | 268            |
| インストールシエルの実行結果      |                |
| (UNIX)              | 271            |
| インターフェース設定メニュー      | 170            |
| 上余白                 | 321            |
| エミュレーションとプログラム      |                |
| (UNIX)              | 275            |
| エミュレーションの切り替え       | 317            |
| エラー文書表示             | 112            |
| エンジン解像度             | 321            |
| おすすめインストール          | 17             |
| お使いになる前に            | 13             |
| オプション構成             | 57, 58         |
| オプション構成の設定          | 57             |
| オプション指定 (UNIX)      | 274            |
| オプション指定の変更方法 (UNIX) | 281            |
| オプション装着状況           | 151            |

## か行

|             |     |
|-------------|-----|
| 外字文字数       | 321 |
| 解像度 (UNIX)  | 281 |
| カウンター情報     | 151 |
| 各使用説明書の記載内容 | 10  |
| 漢字コード       | 321 |

|                |                                        |
|----------------|----------------------------------------|
| 漢字サイズ          | 321                                    |
| 監視する機器の設定      | 199                                    |
| 漢字フィルター (UNIX) | 276                                    |
| 漢字フォント         | 321                                    |
| かんたんセットアップ     | 9                                      |
| 管理者モード         | 180                                    |
| 管理者用パスワードを設定する | 197                                    |
| 機器情報           | 237                                    |
| 機器の監視          | 175, 183, 199, 202, 209, 235, 239, 247 |
| 機器の状態表示        | 185                                    |
| 機器の状態表示 (UNIX) | 282                                    |
| 機器の状態を表示       | 200                                    |
| 機器の設定          | 194                                    |
| 機密印刷           | 89                                     |
| 機密文書を消去する      | 94                                     |
| キャンセルコード       | 321                                    |
| 給紙トレイ          | 321                                    |
| 給紙トレイ (UNIX)   | 276                                    |
| 給紙トレイを選択する     | 336                                    |
| 強制印刷           | 114                                    |
| 行ピッチ           | 321                                    |
| クイックガイド        | 9                                      |
| 国別指定           | 321                                    |
| グラフィックスユニット    | 321                                    |
| コマンドを使用する      | 80                                     |
| コミュニティ名        | 234                                    |

## さ行

|                  |     |
|------------------|-----|
| 最新ソフトウェアのダウンロード  | 309 |
| 最新の OS について      | 309 |
| サポート対象外機能一覧      | 308 |
| システム設定メニュー       | 156 |
| システム設定 (EM) メニュー | 163 |
| システムログ情報         | 247 |
| 自動改行             | 321 |
| 「自動メール通知」の設定     | 204 |
| 取得情報の内容          | 239 |
| 消去方式             | 373 |
| 使用説明書について        | 9   |
| 使用説明書の分冊構成       | 9   |
| 商標・略称について        | 12  |
| ジョブプリセット         | 114 |
| スプール印刷           | 122 |
| スプール印刷ジョブ一覧の確認   | 193 |

|               |       |
|---------------|-------|
| スプールディレクトリの作成 | 272   |
| スペーシングユニット    | 321   |
| 接続方法の確認       | 19    |
| セットアップ        | 267   |
| UNIX          | 267   |
| セットアップ (直接印刷) | 261   |
| 操作部           | 14    |
| 操作部を使って印刷する   | 106   |
| 操作部を使って機密印刷する | 90    |
| 操作部を使って保留印刷する | 99    |
| 双方向通信が働かない場合  | 58    |
| 双方向通信が働く条件    | 57    |
| ソート           | 121   |
| ソート部数 (UNIX)  | 280   |
| ソフトウェアガイド     | 9, 10 |

## た行

|                    |        |
|--------------------|--------|
| ダイナミック DNS 機能を使用する | 345    |
| ダイレクトプリント          | 215    |
| 試し印刷               | 81, 98 |
| 試し印刷文書を消去する        | 85     |
| 調整管理メニュー           | 153    |
| 直接印刷               | 79     |
| 著作権                | 357    |
| テスト印刷メニュー          | 148    |
| 搭載エミュレーション情報       | 151    |
| 登録したフォームで印刷する      | 118    |
| 登録したフォームを使用して印刷する  | 120    |
| トップページを表示する        | 177    |
| ドライバー              | 310    |
| トレイを選んで印刷する        | 114    |

## な行

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 2 部目以降を印刷する (試し印刷)         | 82  |
| ネットワークインターフェースボードの情報       | 240 |
| ネットワーク経由で確認できる情報           | 235 |
| ネットワークセキュリティレベル設定          | 371 |
| ネットワーク接続                   | 19  |
| ネットワークで運用する場合の注意事項         | 341 |
| ネットワークに ISDN 回線を接続している場合 1 | 341 |

## は行

|                                       |                                    |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| バージョン情報                               | 151                                |
| ハードウェアガイド                             | 9                                  |
| 排紙トレイ (UNIX)                          | 279                                |
| バナーページの設定                             | 44                                 |
| パラレル接続                                | 51                                 |
| 半角ピッチ                                 | 321                                |
| 左余白                                   | 321                                |
| 表紙                                    | 123                                |
| 表示言語メニュー                              | 174                                |
| ファイル一覧<br>(CD-ROM 収録ソフトウェア)           | 310                                |
| ファイルにコピーする場合<br>(UNIX)                | 282                                |
| フォームデータの登録                            | 119                                |
| フォームフィードの設定                           | 44                                 |
| 不正コピーガード機能                            | 337                                |
| 不明なデバイスの削除                            | 50                                 |
| プリンターウィンドウからプロパティを<br>表示する            | 64                                 |
| プリンター言語情報                             | 151                                |
| プリンタードライバ                             | 57, 58                             |
| プリンタードライバ設定画面の<br>表示方法                | 69, 72, 75                         |
| プリンタードライバのインストール<br>.....             | 17, 19, 23, 32, 35, 38, 41, 46, 51 |
| プリンタードライバのインストール<br>(IPP)             | 27                                 |
| プリンタードライバのインストール<br>(TCP/IP)          | 24                                 |
| CD-ROM からのプリンタードライバのイ<br>ンストールに失敗したとき | 55                                 |
| プリンタードライバの画面と設定方法<br>.....            | 64                                 |
| プリンターのリセット後に印刷するとき<br>.....           | 45                                 |
| プリンタープロパティ                            | 71                                 |
| プリンタウィンドウから印刷設定を<br>表示する              | 67, 73                             |
| プリンタウィンドウからドキュメントの<br>既定値を表示する        | 76                                 |
| プリンタウィンドウからプロパティを<br>表示する             | 66, 72, 75                         |
| プリンタと FAX ウィンドウから印刷設定を<br>表示する        | 70                                 |

## プリンタと FAX ウィンドウから

|                 |               |
|-----------------|---------------|
| プロパティを表示する      | 69            |
| プリントサーバーの準備     | 257           |
| プリントサーバーを使用する   | 21            |
| プリントジョブ情報       | 239           |
| プリントログ情報        | 240           |
| プログラム削除         | 334           |
| プログラム登録         | 332           |
| プログラム内容印刷       | 335           |
| プログラム呼び出し       | 333           |
| 文書複製の抑止 (不正コピー) | 337           |
| 文書を消去する         | 109           |
| ページ長            | 321           |
| 変倍率             | 321           |
| 保存文書            | 105, 106, 109 |
| 保留印刷文書を消去する     | 102           |
| 本体機器名とコメントの変更   | 198           |

## ま行

|                             |                    |
|-----------------------------|--------------------|
| マークについて                     | 11                 |
| マスクパターン (不正コピー)             | 339                |
| メール通知機能                     | 202, 204, 205, 207 |
| メールの認証                      | 205                |
| メッセージ一覧                     | 247                |
| メニューキー一覧                    | 135                |
| メニュー構成とモード                  | 178                |
| メニューロック (機器側操作部)            | 196                |
| メモリー自動消去設定                  | 373                |
| メモリーショウキョセッテイ               | 374, 373           |
| メモリー全消去                     | 373                |
| メモリーゼンショウキョ                 | 373                |
| メモリー内残存データ状態確認メニュー<br>..... | 142                |
| メモリー容量と用紙サイズ                | 59                 |
| メモリー自動消去の設定                 | 374                |
| 文字ストリング                     | 321                |
| 文字ピッチ                       | 321                |

## や行

|                |     |
|----------------|-----|
| ユーザー情報管理ツールの起動 | 186 |
| ユーザー情報の管理      | 186 |
| ユーザー別印刷枚数情報の保存 | 188 |
| ユーザー別印刷枚数の表示   | 187 |
| ユーザー用紙種類       | 127 |
| 要求時メール通知の設定    | 205 |

---

|                    |     |
|--------------------|-----|
| 要求時メールの送信 .....    | 207 |
| 用紙サイズ (UNIX) ..... | 277 |
| 用紙種類 (UNIX) .....  | 278 |
| 用紙種類の設定 .....      | 197 |
| 用紙設定メニュー .....     | 144 |

## ら行

---

|                   |     |
|-------------------|-----|
| リミットレス給紙 .....    | 321 |
| 両面印刷 .....        | 321 |
| 両面印刷 (UNIX) ..... | 280 |
| 両面とじ方向 .....      | 321 |
| ローカル接続 .....      | 21  |
| ログファイルの作成 .....   | 273 |

# HITACHI

---

株式会社 日立製作所 情報・通信システム社 ITプラットフォーム事業本部  
〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下 1 番地

■製品に関するお問い合わせ■

HITACカスタマ・アンサ・センター（HCAセンター）

 **0120-2580-12**

ご利用時間 9:00～12:00、13:00～17:00  
(土・日・祝日・弊社指定休日を除く)

PL35X0B-003

製造元:株式会社リコー

© Hitachi, Ltd. 2014. All rights reserved.